

Syllabus

心理学部
子ども発達教育学科

2019～2020 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子、鈴木 英治				NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	社会科学部・心理学部・アニメーション文化学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この科目の主要なテーマは、グローバル化が深化する現代世界における国際性と地域文化である。到達目標は、学生が、本学の所在地である備中高梁という場所が地域文化圏「吉備の国」としてどのような文化的・歴史的特色があるのかを十分に理解し、さらに、世界の文化や社会の多様性を学ぶことによって国際人となるための基礎を修得できるようになることである。学生は、日本と世界とのつながりを把握し、備中高梁(吉備の国)の自然環境、歴史、精神風土についての基礎知識を学修しつつ、ローカルな日常生活とグローバルな国際社会との関係から、多文化共生の基本的な意義と課題について理解できるようになる。						
概要	(地) 吉備国際大学のメインキャンパスが立地する岡山県高梁市は、日本における政治や教育、福祉などの分野で先進的かつ指導的な活躍をした人材を多く輩出した地である。このような地域の歴史・文化・社会の特色について多角的に紹介するこの科目は、本学の地域志向教育の科目群の一つである。 さらに、この科目は、吉備国際大学の教育目標である地域に根ざしグローバルに活躍できる「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」教育への序論として位置づけられる、高梁を中心とする文化圏「吉備の国」の特色を学び、また国際人養成の基礎として世界の文化や社会の多様性を学ぶ。いわば、吉備国際大学学生としての知的基盤を培う科目である。						
評価方法	毎回の講義で作成・提出する小レポートをもとに、(1) 授業内容についての理解度(60%) および (2) 授業への参加の積極性・理解しようとする取り組みの姿勢(40%) から成績評価を行う。						
履修条件・注意事項	履修にあたっては毎回必ず小レポートを提出する必要がある。2行未満のレポートや名前のみを記載して提出されたレポートについては欠席扱いとする。授業中は積極的にノートを取り、自分なりの関心と問題意識をもって聴講すること。受講は、各回の授業テーマについて基礎知識・情報を確認する予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について自ら入手可能な資料等を用いて調べ理解を深めるよう復習を行うこと。 学内外の十数人の講師が分担するので、授業の進行状況によって講義スケジュールに変更が生じる可能性がある。変更がある場合にはその都度受講生に連絡する。 授業中の私語やスマホ・ケータイなど迷惑行為は一切認めない。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題が指示される。						
オフィスアワー	授業終了後教室にて。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1. 序・「国際」の意味とグローバル化 2. 東アジアの国際関係論 3. (地) 順正学園と備中高梁 4. (地) 本学の地(知)の拠点整備事業 5. (地) アニメーションから見た高梁 6. (地) 高梁市 - ひと・まち・自然 7. (地) 備中松山城とともに 8. 'My own place' アイルランド 9. 私のアフリカ体験 10. インド 11. ドイツ 12. フィンランド 13. EU(欧州連合)-地域共同体の形成と展開 14. EUの挑戦 15. まとめ・世界の中の日本 最終試験:「評価方法」を参照	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	高橋睦子 高橋睦子・李分一 高橋睦子・加計美也子 高橋睦子・河村顕治 高橋睦子・井上博明 高橋睦子・近藤隆則 高橋睦子・J. Fawsitt 高橋睦子・畷伊知朗 高橋睦子・大下朋子 高橋睦子・大原秀行 高橋睦子 高橋睦子 高橋睦子

教科書 1	『国際理解のために』 ※購入不要 著者: 高橋 和夫 出版社: 放送大学教育振興会 ISBN: 978-4595314261
教科書 2	
参考書 1	『異文化理解入門』 ※購入不要 著者: 原沢 伊都夫 出版社: 研究社 ISBN: 978-4327377342
参考書 2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠				
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001		
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。								
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス								
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。								
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。								
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験			講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠	
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験			講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		
教科書 1			まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社				
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域学概論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	村上 勝典					NO.	GE-KE-1-002	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	(地)地域に起こっている様々な課題解決に向けて取り組んでいる地域貢献活動を1年次生に紹介し、地域社会の諸問題に対して大学生として何が出来るかを考える力を育てる。各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域の諸問題を発掘し、学生として出来ることを議論することで、地域社会に貢献しようとするところや姿勢を持つことを到達目標とする。							
概要	地域の諸問題については、高梁市の各部局より講師を招き高梁市の現状と今後の問題点を教授して貰うとともにグループ討議を行い、積極的に問題解決能力を養う。 この科目は、一部の授業時間において企業経験のある外部講師を招いて講義をしていただき、学生の理解を深める。							
評価方法	毎回の授業時にレポートの提出を求める。このレポートで50%、"ボランティアフォーラムのレポート"で50%の、総合評価とする。なお、レポートは授業でフィードバックするので復習しておくこと。							
履修条件・注意事項	資料等を配布するので、間違いないように受け取ること。また外部からの講師による講義なので、特に遅刻をしないこと。地域社会への関心を向ける良い機会なので、熱心な受講態度を期待する。							
自己学習	以下の通り、毎回の授業につき予習と復習にそれぞれ2時間を用いて取り組むこと。予習として、毎時間まえもってテキストや資料等に目を通し、疑問点を整理しておくこと。復習として、毎時間終えた範囲を振り返り、自分のノートにその内容を整理しておくこと。							
オフィスワ-	授業後、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			第1回 オリエンテーション、地域学概論で学ぶ内容	講義	学科教員			
			第2回「高梁市の市勢振興について」	講義	外部講師			
			第3回「高梁市の生涯学習について」	講義	外部講師			
			第4回「高梁市の農業振興について」	講義	外部講師			
			第5回「高梁市の観光振興について」	講義	外部講師			
			第6回「高梁市の定住政策について」	講義	外部講師			
			第7回「高梁市の環境政策について」	講義	外部講師			
			第8回「高梁市の健康づくり政策について」	講義	外部講師			
			第9回「頼久寺と小堀遠州」	講義	外部講師			
			第10回「高梁基督教会堂(岡山県指定史跡)をめぐる歴史と人物」	講義	外部講師			
			第11回「吹屋の歴史と観光」	講義	外部講師			
			第12回「宇治地域住民総働のまちづくり」	講義・AL	学科教員			
			第13回 DVD教材(内容:山田方谷)	講義	学科教員			
			第14回 ボランティアフォーラムへの参加	講義	学科教員			
			第15回 ボランティアフォーラムへの参加	試験	学科教員			
			第16回 レポート試験					
教科書 1	適宜資料を配布する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	地域貢献ボランティア			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	GE-KE-2-003
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	(知)「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる」をテーマとする。 学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動を行うことにより、地域社会に貢献しようとする ところや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこる問題点を理解し、それを解決するために地域社会へ積極的に参加できるようにすることを到達目標とする。						
概要	キャリア教育の一環として、社会人の基礎力を身につけるために、地域貢献ボランティアを行う。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時における注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を10コマ分(20時間以上)行う。 ボランティア活動は、ボランティア活動予定表(5月～12月末まで)から活動時間合計が20時間以上になるよう選択し、活動を行う。 その後、ボランティア活動報告書(1,000字以上)を作成し、学科別にて発表を行う。						
評価方法	ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。 具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%の割合で評価する。						
履修条件・注意事項	「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学習により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が参加する任意保険(学生教育研究災害保険「学研災」)に加入すること。 ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受け入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。 ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。						
自己学習	ボランティア活動に参加する前に、参加するするボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。 また、ボランティア終了後には、その都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。						
オフィスアワー	10号館3階個人研究室において、毎週水曜5時限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ボランティア活動の基礎的理解 2. ボランティア活動の注意点と活動計画作成 3. ボランティア活動 4. ボランティア活動 5. ボランティア活動 6. ボランティア活動 7. ボランティア活動 8. ボランティア活動		講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習	外部講師 藤井 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師	9. ボランティア活動 10. ボランティア活動 11. ボランティア活動 12. ボランティア活動 13. 活動報告 14. ボランティアフォーラム 15. ボランティアフォーラム 16. 試験(活動報告書)		実習 実習 実習 講義 講義 講義 レポート試験	外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 藤井 藤井 藤井 藤井
教科書 1	資料を適宜配布する						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎、雲津 英子、川上 はる江、栗田 喜勝、中野 明子					NO.	GE-CG-1-001
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、卒業後の社会的自立と職業的自立に向けて大学時代の過ごし方を考え、計画できるようになることである。到達目標は、社会が求める人間像(自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力)について考え、学生時代をどのように過ごすべきか、各自の具体的目標をもつことができることである。						
概要	合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている。合同授業は、吉備国際大学の大学生として学生生活を送るための諸注意と卒業後に向けての意識付けの授業で構成されている。学科単位の授業は、各学科の特性を加味し、教員の経験や実績を活かした内容となる。全授業を、ワークシートや配布資料をファイルし、キャリアポートフォリオとして整理し、個人の成長の記録として卒業まで活用する。						
評価方法	第2回基礎学力試験・kiuidル実施状況(30%)、ワークシートやレポート等を整理したキャリアポートフォリオの内容(40%)、学科単位の授業でのプレゼンテーション・授業態度(30%)によって評価する。授業で課した小課題は、コメントをつけてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	合同授業日と各学科授業日で教室が異なるので、教室を間違わないように留意すること。復習として、各回の授業のワークシートやレポートをキャリアポートフォリオとして整理すること。また、各回の授業で学習したことをもう一度深く考え、自己分析などを実行する。						
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。 オムニバス形式で毎回講師が変わるので、予習および復習を各2時間程度は行って、十分理解を深めること。						
オフィスワ-	各担当教員のオフィスアワーを確認すること。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 授業ガイダンス 2. (合同)基礎学習講座1回目テスト 3. (合同)キャリア形成とは 4. (合同)新聞活用 新聞の読み方を学ぶ 5. (合同)メンタルヘルス 6. (合同)性格・適性試験・行動計画を立てる 7. 自分の考え方や行動の傾向を理解する 8. 自分の進路を考えよう 9. 幼稚園教諭の仕事 10. 保育・教育に関わる仕事①表現(言葉かけ・話し方) 11. 保育所保育士の仕事 12. 小学校教諭の仕事 13. (合同)基礎学習講座2回目テスト・ディスコ勉強の仕方 14. 児童福祉施設の児童指導員の仕事 15. 学修のまとめ 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上はる江 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 栗田喜勝 栗田喜勝 雲津英子 雲津英子 秀真一郎 川上はる江 外部講師 中野明子 川上はる江 栗田喜勝					
教科書 1	授業時に資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	キャリアVIEW 著者:渡辺三枝子・東田晋三 出版社:学事出版 ISBN:4-7619-1293-6						
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎、雲津 英子、藤井 和郎、川上 はる江、栗田 喜勝、中野 明子					NO.	GE-CG-1-001	
配当学科	子ども発達教育 (留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	テーマは、卒業後の社会的自立と職業的自立に向けて大学時代の過ごし方を考え、計画することができることである。到達目標は、社会が求める人間像(自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力)について考え、学生時代をどのように過ごすべきか、各自の具体的目標を持つことができることである。							
概要	合同授業と各学科の授業日とで構成されている。合同授業は、4年後に向けて大学生生活の送り方を意識するための授業、就職試験の一般教養的学力の模擬試験(現在の自分の実力を知るため)とそのフォロー、実社会で使われる日本語能力を上げるための日本語講座で構成されている。							
評価方法	ワークシートやレポート等を整理したキャリアポートフォリオの内容6割、学科単位授業でのプレゼンテーション2割、授業態度2割によって評価する。授業で課した小課題は、コメントをつけてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	合同授業日と各学科授業日とで教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。復習として、各回の授業のワークシートやレポートをキャリアポートフォリオとして整理すること。また、各回の授業で学習したことをもう一度深く考え、自己分析などを実行する。							
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。 オムニバス形式で毎回講師が変わるので、予習復習を各2時間程度は行って、十分理解を深めること。							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者	
1. (合同)授業ガイダンス ・1年生の学び		講義	外部講師					
2. (合同)日本での生活(3年後に向けて)		講義	外部講師					
3. (合同)留学生の日本の法律		講義	外部講師					
4. (合同)留学生の地域での生活		講義	外部講師					
5. 異文化理解①子どもの生活		講義	栗田喜勝					
6. 異文化理解②子どもの遊び		講義	栗田喜勝					
7. 自分の考え方や行動の傾向を理解する		講義	中野明子					
8. 自分の進路を考えよう		講義	栗田喜勝					
9. 幼稚園教諭の仕事		講義	雲津英子					
10. 保育・教育に関わる仕事①表現(言葉かけ・話し方)		講義	雲津英子					
11. 保育所保育士の仕事		講義	栗田喜勝					
12. 小学校教諭の仕事		講義	川上はる江					
13. 保育・教育に関わる仕事③音楽		講義	栗田喜勝					
14. 児童福祉施設の児童指導員の仕事		講義	中野明子					
15. 学修のまとめ		講義	栗田喜勝					
16. 試験		試験	栗田喜勝					
教科書 1	授業時に資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	キャリアVIEW 著者:渡辺三枝子・東田晋三 出版社:学事出版 ISBN: 4-7619-1293-6							
参考書 2								

授業科目名	キャリア開発 I			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秀 真一郎、加藤 博仁、雲津 英子、川上 はる江、栗田 喜勝、中野 明子					NO.	GE-CG-1-001
配当学科	子ども発達教育(秋学期入学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、卒業後の社会的自立と職業的自立に向けて大学時代の過ごし方を考え、計画することができることである。到達目標は、社会が求める人間像(自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力)について考え、学生時代をどのように過ごすべきか、各自の具体的目標を持つことができることである。						
概要	合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている。合同授業は、吉備国際大学の大学生として学生生活を送るための諸注意と卒業後に向けての意識付けの授業で構成されている。学科単位の授業は、各学科の特性を加味し、教員の経験や実績を活かした内容となる。全授業を、ワークシートや配布資料をファイルし、キャリアポートフォリオとして整理し、個人の成長の記録として卒業まで活用する。						
評価方法	ワークシートやレポート等を整理したキャリアポートフォリオの内容6割、学科単位授業でのプレゼンテーション2割、授業態度2割によって評価する。授業で課した小課題は、コメントをつけてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	合同授業日と各学科授業日とで教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。復習として、各回の授業のワークシートやレポートをキャリアポートフォリオとして整理すること。また、各回の授業で学習したことをもう一度深く考え、自己分析などを実行する。						
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。 オムニバス形式で毎回講師が変わるので、予習復習を各2時間程度は行って、十分理解を深めること。						
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 授業ガイダンス 2. (合同)留学生の日本の法律 3. (合同)留学生の地域での生活 4. (合同)日本での生活(3年後に向けて) 5. 異文化理解①子どもの生活 6. 異文化理解②子どもの遊び 7. 自分の進路を考えよう 8. 自分の考え方や行動の傾向を理解する 9. 幼稚園教諭の仕事 10. 保育・教育に関わる仕事(言葉かけ・話し方) 11. 保育所保育士の仕事 12. 小学校教諭の仕事 13. 児童福祉に関わる仕事 14. 児童福祉施設の児童指導員の仕事 15. 学科でのまとめ 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上はる江 外部講師 外部講師 外部講師 秀真一郎 秀真一郎 栗田喜勝 栗田喜勝 外部講師 雲津英子 外部講師 川上はる江 中野明子 中野明子 栗田喜勝 栗田喜勝		
教科書 1	毎回プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	キャリアVIEW 著者:渡辺三枝子他 出版社:学事出版社 ISBN:4-7619-1293-6						
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発Ⅱ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎、雲津 英子、川上 はる江、栗田 喜勝、中野 明子					NO.	GE-CG-3-002	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>【テーマ】自分に適した職業進路を具体的に選択し、就活のため、具体的能力を發揮できるようにする。</p> <p>【到達目標】自分に適した職業進路を選択することができる。就職活動ができる能力を身につける。選択した進路および社会が求める人間像について考え、身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性やコミュニケーション力を再確認し実質的なものにすることができる。</p>							
概要	<p>就職活動や進学のためのノウハウを身につけ、それらが実行できるようになるための授業である。そのため各自に適した具体的な進路選択力と就職活動実践力などを身につける。合同授業と、各学科単位での授業の2形態で行う。合同授業は、外部講師等による就職活動に向けた実践講座等である。学科単位の授業は、それぞれの進路に対しての具体的な指導等である。また、毎授業のミニレポートを積み上げて就職活動に活かせるように各自でファイルする。</p>							
評価方法	<p>毎回のレポート内容(30%)、期末試験(50%)、授業態度(20%)によって評価する。授業で課した小課題は、コメントをつけてフィードバックする。</p>							
履修条件・注意事項	<p>毎回、授業内容の復習をし、職業選択と就職活動の実践および自立に向けて深く考え、自己分析、業界分析等を実行し、就職活動の準備を段階的にしておくこと。</p> <p>合同授業日と各学科授業日で教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。</p>							
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p> <p>予習および復習を各2時間程度は行って、十分理解を深めること。</p>							
オフィスワ-	<p>個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。</p>							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業について 2. 各学科(進路調査票)就職サイト登録 3. 就職スタートアップ 4. 業界・企業を知ろうエ 5. 履歴書の書き方 6. インターンシップの必要性・ビジネスマナー 7. 自己分析・自己PR 8. 面接対策・GO/集団・個人 9. SPI対策(筆記試験対策) 10. 新聞活用・世の中を知る 11. 夏休みを最大限に活用しよう 12. 労働関係法規 13. 就職活動の具体的準備 14. 就職の心構え 15. 学修のまとめ 16. 試験(学科) 		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上はる江 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 秀真一郎 栗田喜勝 栗田喜勝 栗田喜勝					
教科書 1	毎回プリントを配布する							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要なとされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。							
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。							
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。							
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。							
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。							
オフィスワ-	岡山キャンパス131研究室:春 木曜日2時限目 秋 木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室:春 火曜日1時限目 秋 金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作)		講義・演習	天岡					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		講義	天岡					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標本化・コード)		講義	天岡					
第4回 OSとアプリケーション								
第5回 ファイルシステム操作								
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作		講義	天岡					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題		講義・演習	天岡					
第8回 表計算ソフト操作		演習	天岡					
第9回 表計算ソフト課題								
第10回 プレゼンテーションソフト操作		講義・演習	天岡					
第11回 プレゼンテーションソフト課題								
第12回 ネットワークとインターネット		演習	天岡					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ		講義・演習	天岡					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決		演習	天岡					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑		講義・演習	天岡					
第16回 単位認定試験		講義	天岡					
		AL・演習	天岡					
		講義	天岡					
		講義	天岡					
		実技試験	天岡					
教科書 1	情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-IT-1-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	①社会人になった時、事務処理でEXCELの活用ができる技術を身に付ける。 ②統計学の基礎を学ぶ。 以上のことを到達目標とする。							
概要	EXCELの基本と、書式や関数の使い方を説明しながら、関数を利用した処理の演習をおこなう。また事務処理でよく利用される形式の集計や計算を想定した課題問題を使って、書式や関数の設定、並びに正しい結果になっているかの検証方法などを身に付ける。 なお、課題を通して学んだ知識が定着しているか、グループ討論を導入したアクティブ・ラーニング形式の授業も実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当。ビジネスの現場で必要とされる情報処理技術について講義、演習、アクティブ・ラーニングによって学生の理解を深める。							
評価方法	課題問題の解答の提出と説明(理解度を確認するため、解答の提出と同時に、解答を導き出した過程の説明も求める。)の20%と、筆記試験の80%で評価する。 なお、評価のために実施した課題問題の解答手順は授業でフィードバックするので、しっかり復習をすること。							
履修条件・注意事項	配布されたマニュアルに基づいて予習しておくこと。 課題問題の提出後は解答に到る手順説明を求めるので、復習をしっかりとしておくこと。							
自己学習	欠席すると、授業で実施する課題問題の解答を提出できない。欠席した場合は次週の授業までに解答を提出できるよう、担当教員に教わりに行ったり、自主学習をしたりすること。 予習と復習を必ず行うこと。予習に1時間、復習に3時間程度要する。パソコンを使って、予習・復習することが望ましい。							
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 表計算の作成手順 2. 請求書の作成①(書式や数式) 3. 請求書の作成②(関数や表の編集等) 4. 書式や関数の理解度の確認 5. 売上表の作成(データ入力) 6. 売上表の分析(ピボットテーブルとグラフ) 7. 集計やグラフの理解度の確認 8. アルバイトの勤務表の作成(日付・時間関数とデータチェック) 9. アルバイトの勤務表の分析 10. 時間関数の理解度の確認 11. アンケートデータの入力(入力規則) 12. アンケートの集計 13. 集計結果の分析 14. 統計の基本の理解度の確認 15. 総復習 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山	
教科書 1	初回授業時に情報処理Ⅱ用EXCELマニュアル(作成配布資料)を配布							
教科書 2								
参考書 1	統計の授業前に統計学の基礎の資料を配布							
参考書 2								

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 2. 方が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 3. 情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じるか理解できるようになる。 <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的な事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。</p> <p>主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習: 次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習: 授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。</p>						
オフィスアワー	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理・法・慣習 4 倫理とは何だろうか(1) 基本的な用語と枠組み 5 コンピューティングの歴史 コンピュータの誕生からパソコンの登場まで 6 コンピューティングの歴史 インターネット出現からIoT時代まで 7 身近な情報セキュリティ 8 メールやメッセージングアプリのセキュリティ 9 著作権の基礎 10 レポート作成の倫理問題 11 「漫画サイトが見られない」 12 個人上保護法の基礎知識 13 ポイントカードと個人情報 14 情報時代のプライバシー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者: 土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社: アイケイコーポレーション ISBN: 4874923240</p>						
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	今村 俊介					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>学生は、表計算ソフトExcelの応用関数や多言語OSについて理解を深め、実務に役立つ知識と技能を修得することができる。また、多言語OSの世界に触れることで情報処理活用の多面性を理解することができる。Excelの応用的な実務機能を演習形式で体得し、実務力を身につけることができる。また、情報処理Iにより情報処理の基礎やオフィスアプリケーション操作を一通り理解した学生が、さらにコンピュータを活用した社会に適応する上で必要な概念と関連技術・用語について理解を深めることができる。</p> <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>情報処理の実務的内容として、表計算ソフトExcelの応用課題作成を行う。また、Windowsと日本語OS(B-TRON)を比較考察し、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアと望ましい情報システムの形態を実機学習を通して理解する。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>なお、この科目は、コンピュータ・インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、実社会において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>実習を重視して進めるので、遅刻は厳禁とする。</p> <p>原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とするが、9月入学生や編入生・再履修生等については個別に対応する。PC台数の制限があるため、このクラス希望者全員が受講可能とならないことがある。</p> <p>各回の授業に対して予習・復習を十分におこなうこと。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがある。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと(90分)。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと(90分)。</p> <p>予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。</p>						
オフィスワ-	14号館6階個人研究室にて、火曜日2眼に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ul style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 表計算 関数:条件判断 3 表計算 関数:表の参照 4 表計算 条件付き書式 5 表計算 複合グラフ 6 表計算 ブック間集計 7 表計算 ピボットテーブル 8 表計算 小テスト 9 OSの多様性 10 TRONとは何か 11 イネーブルウェアと超漢字OS 12 日本語言語プログラムとは 13 日本語言語プログラム実践基礎 14 日本語言語プログラム実践応用 15 学習範囲プレテスト 16. 単位認定試験 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 講義 演習 演習 演習 演習 試験 	<ul style="list-style-type: none"> 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 		
教科書 1	よくわかる Microsoft Excel 2019応用 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-381-6						
教科書 2	「超漢字OS」「日本語言語プログラム」についてはプリントを適宜配布する。						
参考書 1	授業内で適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	英語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-1-001
配当学科	社会福祉 アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標とし、コミュニケーションができるような授業、指導をします。そのためには最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識が必要となります。それを行うことにより「学生は高校までの基本的な重要文法事項をおよそ復習でき、辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容を除けば、おおよそその文の内容を把握できる」ようになります。この授業に必要な最低限の単語を覚え、自宅で繰り返し自分で発音することを根気よく続けければ、これらの表現を使って学生は現在の社会の傾向や自分たちの関心や意志を伝えることができますように。						
概要	このテキストは、よりよい生活を送る上での健康に対する習慣をいろいろな角度から取り上げています。よく新聞や雑誌、テレビで取り上げられる内容がどのように英語では表現されるのかに着目し、これらの重要な表現、言い回しを暗記すれば、伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。						
評価方法	授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは課題や試験のあとで詳しい要点をまとめたものを配布することで行いたい。						
履修条件・注意事項	個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言っておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもといてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。						
自己学習	履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行ってください。また履修事項にもありますが予習、復習をそれぞれ2時間程度は行って下さい。そうすればかなり英語ができるようになるはずです。						
オフィスアワー	水曜日の3限に研究室(2号館6階)でお待ちしています。別の授業と重なっている人はご相談下さい。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 イントロダクション 2 眠りの素晴らしさ 1 3 眠りの素晴らしさ 2 4 塩の良し悪し 1 5 塩の良し悪し 2 6 素晴らしき水 1 7 素晴らしき水 2 8 温泉～自然の奇跡 1 9 温泉～自然の奇跡 2 10 ブルーゾーンからの健康的教訓 11 不健康な習慣 1 12 不健康な習慣 2 13 シャルウイダンス? 1 14 シャルウイダンス? 2 15 前期のまとめ 16 筆記試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見				
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-1-002
配当学科	社福 アニメ			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標としているため最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識をつけることが学習のテーマです。</p> <p>それを行うことにより「学生は高校までの基本的な文法事項を復習でき、そのうえで辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容以外なら、おおよその文の内容を把握できる」ようになります。</p> <p>英語の基本的な習得はもちろん、自分たちを見つめるきっかけをテキストの内容から自然と考えるようになるでしょう。</p> <p>この授業に必要な最低限の単語を覚え、繰り返し自分で発音することを続ければ、これらの表現を使って学生は現在の世の中の傾向や自分たちの考えを伝えることができるようになります。</p>						
概要	<p>このテキストは、よりよい生活を送るため、あらゆる側面からの健康的習慣が取り上げています。よく耳にする内容からあまり知られていないものまで、どのように英語で表現されているのかに着目してください。みなさんが意思や考えを伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。</p>						
評価方法	<p>授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは試験のあとで主要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたい。</p>						
履修条件・注意事項	<p>個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言っておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもとしてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。</p>						
自己学習	<p>履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行って下さい。予習に2時間、復習に2時間程度の時間が必要です。</p>						
オフィスワ-	水曜日の3限に研究室(2号館6階)でお待ちしています。別の授業と重なっている人はご相談下さい。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 砂糖のお話 1		演習	平見	
			2 砂糖のお話 2		演習	平見	
			3 コンパニオン・アニマル 1		演習	平見	
			4 コンパニオン・アニマル 2		演習	平見	
			5 音楽と医療 1		演習	平見	
			6 音楽と医療 2		演習	平見	
			7 傾聴のすすめ 1		演習	平見	
			8 傾聴のすすめ 2		演習	平見	
			9 共食の時代 1		演習	平見	
			10 共食の時代 2		演習	平見	
			11 おひとり様かひとりぼっちか		演習	平見	
			12 自分を信じて 1		演習	平見	
			13 自分を信じて 2		演習	平見	
			14 著者からのメッセージ		演習	平見	
			15 後期のまとめ		演習	平見	
			16 筆記試験		筆記	平見	
教科書 1	<p>Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-003
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>実践的な英語運用能力を養うことが目標です。映画を鑑賞しながらスクリプトを全訳していきます。古い時代の名作と言われている映画を1年かけて会話を勉強します。基本的には聴きやすいきれいな英語ですが、早くて最初はわからない学生もいるかもしれません。しっかりと予習、復習すれば短い会話が理解できるようになります。</p> <p>英語の実力は学生それぞれだと思いますから、ある程度は学生の能力に応じて理解できる分だけ理解できればよいと考えていますので、自分の実力より少しだけ高い内容が理解できるようになります。</p> <p>ただ短い、よく出てくる表現や言い回しはみなさん全員が身につくよう指導していきますので、予習、復習を万全にして授業に臨めば学生諸君は基本的な日常生活に使える表現の多くが言えるようになります。</p>						
概要	<p>第二次世界大戦が始まるころにアメリカで制作された名作です。イギリスが舞台となっています。日本人向けにしゃべっている英語ではありませんが、場面から、あるいは文法から英語が把握できることも結構あります。推測しながら、勘を働かせながら、理解することも大切です。根拠のない勘ではなく、ある程度根拠のある勘を働かせて聞いていく理解の仕方も学んでもらいます。</p>						
評価方法	<p>授業での発表や課題が70%、試験30で総合的に判断します。フィードバックは試験のあと、重要な要点をまとめたものを配布することで行いたい。</p>						
履修条件・注意事項	<p>復習を中心に勉強を進めてもらいます。ストーリーが見えると非常に面白い授業になりますから、遅刻、欠席しないよう授業に臨んで下さい。特にスラング辞典等を用意する必要はありません。特別な表現はこちらで解説いたします。できるだけ短い表現はその都度覚えるようにしてください。</p>						
自己学習	<p>授業で習った文章をとにかく口に出して言うことに全力をあげて下さい。必ず授業で習った意味をちゃんと理解しながら。(これに2時間程度は毎週費やして下さい。また時間があればいつでも実践して下さい。ほんの少しの時間で結構です。)予習としては次の授業でやるプリントを丹念に辞書を引き、訳をとってもらおうこととします。一回の予習におよそ1時間半から2時間程度でできる分量です。</p>						
オフィスアワー	<p>水曜日の3限に研究室(2号館6階)で対応します。授業と重なる人は相談して下さい。</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 オリエンテーション 2 ドイツへ宣戦布告 3 マイラとロイの出会い 4 オリンピア劇場 5 友人キティ 6 キャンドルライトクラブ 7 雨の中の再会 8 婚約 9 ロイの出兵 10 バレー団解雇 11 キティとの生活 12 ロイの母親との待ち合わせ 13 ロイの死 14 娼婦に 15 前期の総復習 16 単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見				
教科書 1	<p>プリントを配布します。</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>スクリーンプレイ 哀愁 出版社:フォーイン スクリーンプレイ ISBN:ISBN978-4-89407-445-3</p>						
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-004
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>一年を通して実践的な英語運用能力を養うことが目標ですが、後期は英語にもいくつかの種類があることを意識しながら勉強していきます。スクリプトを全訳していき、会話文を勉強しますが登場人物はイギリス人、アメリカ人、カナダ人、そしてロシア系の俳優が英語をしゃべっていて、さらにイギリス人はオックスフォード英語、中流階級の英語、そして労働者階級の英語をしゃべっています。したがって聴きやすいきれいな英語、そうではない英語と、さまざまあり、少し英語のバリエーションにも気付いてもらえると思います。しかししっかり何度も聴けば学生のみなさんは短い英文ですから理解できるようになります。</p> <p>前期にも書きましたが、英語の実力は学生それぞれ違うと思いますから、自分の能力に応じて理解できるだけ自分のものにしていて下さい。また自分の今の実力より少しだけ高い内容が理解できるよう指導します。</p> <p>ただ短い、よく出てくる表現や言い回しは全員が身につくようにして欲しいと思いますので、そのつもりで授業に臨んでもらいます。</p>						
概要	<p>第二次世界大戦がはじまるころにアメリカで制作された名作で、イギリスが舞台となっています。後期のストーリーはいろんなことを考えさせてくれる場面が続きます。おそらく多くの学生がストーリーに引き込まれ次がどうなっていくかが楽しみになって授業に臨むことができるでしょう。人間が持つ感情は何十年と経ち時代が変わっても変わらないことも知ってもらえると思います。英語の実力をつけることはもちろん、内容からいろいろなことが学べる教材です。</p> <p>前期同様、場面から、あるいは文法から内容、あるいは英語が把握できることも多々あります。推測しながら、勘を働かせ、理解することを前期同様に続けてもらいます。何度も言うようですが、根拠のない勘ではなく、ある程度根拠のある勘を働かせて聞いていく理解の仕方でも学んでもらいます。一本の映画のスクリプトを詳しく読み込み終えることで達成感を味わえるはずですよ。</p>						
評価方法	授業での発表30%、試験70%で総合的に判断します。フィードバックは試験のあとで要点を詳しく解説したプリントを配布することで行います。						
履修条件・注意事項	復習を中心に勉強を進めてもらいます。ストーリーが見えると非常に面白い授業になりますから、遅刻、欠席しないよう授業に臨んで下さい。特にスラング辞典等を用意する必要はありません。特別な表現はこちらで解説いたします。できるだけ短い表現はその都度覚えるようにしてください。						
自己学習	復習としては授業で訳した短い会話文を何度も声に出して読んだり、友人とペアになる機会があれば役を決めておたがいで再現することをやってください。とにかく繰り返しが多ければ多いほど多くのものが頭に残っていくと思います。意味を考えながら発音する癖をつけて下さい。予習は単語を辞書で引き、場面をイメージしながら会話文を楽しむようにして意味を取って下さい(約2時間程度)。復習は配布したプリントを何度も声を出して自分のものにして下さい(これも2時間程度)。						
試験	試験が終わったあとに試験の解説をします。なぜ間違ったのかをそこで確認できるようしっかりした態度で試験に臨んで下さい。						
オフィスアワー	水曜日の3限に研究室(2号館6階)にて対応します。授業で来られない人はご相談下さい。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1 前期の復習 2 ロイとの再会 3 スコットランド 4 叔父との会話 5 ロイの母親との会話 6 行方不明 7 ロイとキティの捜索 8 最終章 9 ヴィヴィアンリーの生涯 10 ロバートテイラーの生涯 11 マーロンルロイ監督について 12 マーロンルロイの他の作品 13 若草物語 14 心の旅路 15 全体の総復習 16 単位認定試験 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見
教科書 1	プリントを配布します。						
教科書 2							
参考書 1	スクリーンプレイ 哀愁 出版社:フォーイン スクリーンプレイ ISBN:ISBN978-4-89407-445-3						
参考書 2							

授業科目名	フランス語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次				NO.	GE-LF-1-001	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」をテーマとし、大学で始めて第二外国語としてフランス語を学ぶ学生が、初歩的なコミュニケーション技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ。日常的によく使われるフランス語の例文を覚えて話せるようになることを目標とする。						
概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が説明され、できるだけ実用的な語彙が自然に覚えられるようになっていく。						
評価方法	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した口頭試験の課題は、各授業で繰り返し練習することになるが、筆記試験としての単位認定試験まででそれらを書けるようにしておくことが求められる。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるように予習してくる。また、単位認定試験に向けてそれらを書けるように練習すること。耳と口と手で繰り返し練習することが求められるので要注意。						
自己学習	毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各2時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。その成果は、各週の口頭試験と最終週の単位認定試験(筆記)で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. アルファベットの発音・綴り字 2. 挨拶の表現 3. お元気ですか？ 4. 私は日本人です。 5. お願いします。 6. ありがとう。すみません。 7. 名前・歳を尋ねる 8. それは何ですか？ 9. ～が欲しいのですが。 10. ～が好きです。 11. ～はありますか？ 12. ～はできますか？ 13. ～するつもりです。 14. ～しなければなりません。 15. 場所・時を尋ねる 16. 単位認定試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次				
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵(著) 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅱ	履修期	2021年度 秋学期					
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-1-002	
配当学科	全学共通			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。							
概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。							
評価方法	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のス킬習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、最終的には、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。							
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰを履修していること。							
自己学習	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の結果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。							
オフィスワ-	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1. 綴字の読み方復習 2. ホテルに泊まる 3. 部屋・浴室にあるもの 4. 街を歩く 5. 交通手段を使う 6. 衣服を買う 7. アクセサリーを買う 8. 料理・飲み物の語彙 9. レストランで注文する 10. 食品に関わる語彙 11. マルシェに行く 12. 体の部分・病院 13. 時刻の表現を覚える 14. 季節・天気 15. よく使う形容詞 16. 単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	フランス語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-003
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語会話ができるようになる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。						
概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。						
評価方法	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくるよう注意すること。						
自己学習	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. あいさつ 2. 発音 3. 性と数 4. 前置詞 5. 規則動詞 6. 形容詞 7. 否定 8. 命令 9. 疑問 10. 副詞 11. 疑問副詞 12. 疑問代名詞 13. 不規則動詞 14. 所有形容詞 15. 疑問形容詞 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次					
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-004
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。						
概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。						
評価方法	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること。						
自己学習	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスワ-	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. 動詞allerとvenirの活用 2. 近接未来と近接過去 3. 命令形、否定表現 4. 疑問代名詞 5. 疑問副詞 6. 指示代名詞 7. 関係代名詞 8. 過去分詞 9. 直説法複合過去 10. 補語人称代名詞の語順 11. 比較級と最上級 12. 非人称構文 13. 直説法半過去 14. 直説法大過去 15. まとめの問題 16. 単位認定試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>本学におけるドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)」5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な第一歩となっていることをまず理解する必要がある。「ドイツ語 I」の授業では、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得する。そのことによって「ドイツ語 I」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。</p>								
概要	<p>この講義は、ドイツ語の初学者を対象としている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回の授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、会話文や読本部分、それに練習問題については、学生の事前の準備・学習が前提となっている。</p>								
評価方法	<p>予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。</p>								
履修条件・注意事項	<p>語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。</p>								
自己学習	<p>ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。</p>								
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション、ドイツ語の発音 2. 動詞の規則変化 3. 名詞の性 4. 名詞の複数形 5. 動詞の不規則変化 6. 定冠詞・不定冠詞 7. 命令形 8. 前置詞 9. 人称代名詞 10. 並列接続詞 11. 話法の助動詞 12. 未来の助動詞 13. zu不定詞 14. 形容詞の用法 15. 形容詞の格変化 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	<p>プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0</p>								
教科書 2									
参考書 1	<p>文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:ISBN-10: 481635137X </p>								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)Ⅰ5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な一歩となっている。「ドイツ語Ⅱ」では主に日常的な会話表現に触れながら、ドイツ語の基礎的な文法事項についての理解をさらに深めることにより、この授業の終了時には、学生は平易な日常会話レベルでの様々な表現がある程度読んだり、話せたり、聞き取ったりできるようになる。						
概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣やお祭り、社会問題などにも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているので、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 形容詞の比較変化 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 4. 動詞の3基本形 5. 過去形 6. 現在完了形 7. 従属接続詞 8. 副文 9. 再帰代名詞、再帰動詞 10. 分詞 11. 定関係代名詞 12. 不定関係代名詞 13. 動作受動 14. 状態受動 15. 接続法 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水
教科書 1	プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター! はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X						
参考書 2							

授業科目名	ドイツ語Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。								
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。								
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。								
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるものである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。								
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。								
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 動詞の現在人称変化 3. 出会いと自己紹介 4. 名詞の性と格 5. 家族について尋ねる 6. 不規則動詞、命令形 7. 明日の予定を尋ねる 8. 定冠詞、不定冠詞 9. 買い物に行く 10. 複数形 11. 本を探す 12. 前置詞 13. 週末の予定を尋ねる 14. 形容詞の格変化 15. 趣味について尋ねる 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06420-7								
教科書 2									
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-004
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。						
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 話法の助動詞 2. 昼食を食べに行く 3. 分離動詞、複文 4. 駅の窓口で尋ねる 5. zu不定詞 6. 休暇の計画を尋ねる 7. 動詞の3基本形 8. 旅の体験を語る 9. 過去形、現在完了形 10. ワイマールにて 11. 受動態 12. 意見を交換する 13. 関係代名詞 14. お別れ会 15. 接続法 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水		
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-255-25428-9 C1084						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-560-06420-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-1-001
配当学科	心理			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。						
概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、発音の練習と並行して、初級文法、簡単な日常会話、応用のきく文型などを習得する。						
評価方法	テーマ「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 単母音について	講義	孫基然					
第2回 複母音について	講義	孫基然					
第3回 子鼻母について	講義	孫基然					
第4回 鼻母音と音節について	講義	孫基然					
第5回 発音のまとめについて	講義	孫基然					
第6回 小テストについて	講義	孫基然					
第7回 判断文について	講義	孫基然					
第8回 人称代名詞、指示代名詞	講義	孫基然					
第9回 所在表現、所有表現	講義	孫基然					
第10回 連動文、助詞「了」	講義	孫基然					
第11回 存在の表現について	講義	孫基然					
第12回 前置詞「比」、結果補語	講義	孫基然					
第13回 方位詞、量詞について	講義	孫基然					
第14回 動詞の重ね方について	講義	孫基然					
第15回 願望助動詞について	講義	孫基然					
第16回 定期試験	筆記試験	孫基然					
教科書 1	シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1						
教科書 2							
参考書 1	中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-1-002
配当学科	心理・子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能の習得(基礎編)。中国語を約2年間学んだ学生が2年次秋期の3月に「中国語検定試験」準4級を受験できるレベルに到達するために段階的に到達目標を設定している。 中国語Ⅱでは、前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準4級の獲得へつなげていくことを目標とする。 本講義のラーニングアウトカムズは「コミュニケーション・スキル」と「多文化・異文化理解」である。						
概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。						
評価方法	テーマ「中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1、疑問詞疑問文1 2、的の使い方 3、疑問詞疑問文2 4、形容詞の文 5、数字 6、小テスト 7、日付、時刻 8、完了 9、介詞1 10、疑問詞疑問文3 11、時間量 12、介詞2 13、過去 14、助動詞1 15、助動詞2 16、定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然
教科書 1	シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1						
教科書 2							
参考書 1	中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-003	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(助動詞“得” 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頴、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	中国語さらなる一歩 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
参考書 2								

授業科目名	中国語IV			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-004	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただだけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(可能動詞“得”と助動詞“得”) 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:龍頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06910-3							
参考書 2								

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠					
教科書 1	レベルアップトレーニング文法N2 著者:坂本勝信 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2210-0						
教科書 2							
参考書 1	日本語パワードリル N2 文字・語彙 著者:松浦 真理子(他) 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 第25課 3. 第25課 4. 第28課 5. 第28課 6. 第31課 7. 第31課 8. 第34課 9. 第34課 10. 第37課 11. 第37課 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ 15. 総括 16. 単位認定試験		授業または講義 および演習 試験は筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験		授業は講義および演習 試験は筆記試験	井上
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.複合語として使われる言葉 7.名詞を使った言葉 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.N2対策 文字・語彙・文法 11.N2対策 文字・語彙・文法 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本					
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1	ISBN:						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大下 朋子				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)や読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.文法1課:～とき・～直後に 3.文法2課:～している(進行中) 4.文法3課:～後で 5.文法4課:範囲の始まりと終わり・その間 6.読解①[対比]ほかのものと比べる 7.読解②[言い換え]ほかの言葉で言い換える 8.読解③[比喩]ほかのものにととえる 9.読解④[疑問提示文]疑問文を使って話題を提示する 10.中間テスト(文法1～4課) 11.文法5課:～だけ 12.文法6課:～だけではなく、それに加えて 13.文法7課:～について、～を相手にして 14.文法8課:～を基準にして 15.文法9課:～に関連して、～に対応して 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)				
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク						
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	出版社:						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	磯 永二				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法は	担当者	秋学期授業計画	授業方法は	担当者		
1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業または 講義 および演習 試験は 筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業は講義 および演習 試験は筆記 試験	井上		
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.N2対策 文字・語彙・文法 7.N2対策 文字・語彙・文法 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.複合語として使われる言葉 11.名詞を使った言葉 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本		
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。							
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。							
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。							
オフィスアワー								
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2.11課 ～に関係なく・無視して 3.12課 強く否定する・強く否定しない 4.13課 ～(話題)は 5.14課 ～けれど 6.15課 もしそうなら・たとえそうでも 7.【中間テスト】11～15課 8.中間テストの解説 9.16課 ～だから(理由)(1) 10.17課 ～だから(理由)(2) 11.18課 できない・困難だ・できる 12.19課 ～を見て評価すると・～の立場で評価すると 13.20課 結果はどうなったか 14.21課 強く言う・軽く言う 15.22課 ～だろうと思う 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)	
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク							
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	日本語ⅡA				履修期	2021年度 春学期			
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。								
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。								
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。								
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 1課 時間関係 3. 2課 範囲の始まり・限度 4. 3課 限定・非限定・付加 5. 4課 例示 6. 5課 関連・無関係 7. 6課 様子 8. 【中間テスト】1～6課 9. 中間テストの解説 10. 7課 付随行動 11. 8課 逆接 12. 9課 条件 13. 10課 逆接条件 14. 11課 目的・手段 15. 12課 原因・理由 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)					
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640								
教科書 2	日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語ⅡB				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-004		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。								
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。								
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。								
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1. オリエンテーション 2. 8課 逆接 3. 9課 条件 4. 10課 逆接条件 5. 11課 目的・手段 6. 12課 原因・理由 7. 【中間テスト】8～12課 8. 中間テストの解説 9. 13課 可能・不可能・禁止 10. 14課 話題・評価の基準 11. 15課 比較対照 12. 16課 結末・最終の状態 13. 17課 強調 14. 18課 主張・断定 15. 19課 評価・感想 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640								
教科書 2	日本語ワードドリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	応用日本語 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・I A、応用日本語 I 秋春・I A、日本語研究 I 秋春・I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。						
自己学習	積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 第4課(2)学習項目と練習 7. 第4課(3)本文、作文 8. 第7課(1)学習項目と練習 9. 第7課(2)学習項目と練習 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(2)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-5]						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 統合理解問題 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスアワー	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。					
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。					
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。					
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>					
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。					
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. オリエンテーション 2. 文法14課 3. 文法15課 4. 文法16課 5. 文法17課 6. 読解① 7. 読解② 8. 読解③ 9. 読解④ 10. 中間テスト(14課～17課) 11. 文法18課 12. 文法19課 13. 文法20課 14. 文法21課 15. 文法22課 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上「 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上	
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者:友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-610-4					
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-88319-610-4					
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。						
自己学習	積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 第4課(2)学習項目と練習 10. 第4課(3)本文、作文 11. 第7課(1)学習項目と練習 12. 第7課(2)学習項目と練習 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(1)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I B、応用日本語 I B、日本語研究 I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006	
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。							
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。							
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。							
履修条件・注意事項	<p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。							
オフィスアワー	授業後、教室にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. 内容理解(短文) 3. 内容理解(短文) 4. 内容理解(中文) 5. 日本語能力試験対策 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 内容理解(中文) 10. 内容理解(長文) 11. 内容理解(長文) 12. 内容理解(長文) 13. 情報検索 14. 情報検索 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12							
教科書 2								
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583							
参考書 2								

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスアワー	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-006	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語ⅠA・応用日本語Ⅰ春A・日本語研究Ⅰ春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>						
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。						
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 本文と問題、漢字 3. 第2課 本文と問題、漢字 4. 第3課 本文と問題、漢字 5. 第4課 本文と問題、漢字 6. 第5課 本文と問題、漢字 7. 第6課 本文と問題、漢字 8. 第7課 本文と問題、漢字 9. N2直前試験対策 読解 10. N2直前試験対策 読解 11. N2直前試験対策 読解 12. 第8課 本文と問題、漢字 13. 総復習 14. まとめ 15. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上		
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者: 友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-610-4						
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者: 伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-88319-610-4						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語ⅡA			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-007
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。						
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。						
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 中間テスト・テストの解説 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西				
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0						
教科書 2							
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子 他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語ⅡB			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-008
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。						
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。						
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(長文) 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 日本語能力試験対策 10. 内容理解問題(長文) 11. 統合理解問題 12. 統合理解問題 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0						
教科書 2							
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。N2に合格してはじめて日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 N2合格には相当の覚悟が必要である。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 確認演習	講義・演習	磯					
2. 実践練習 課題理解① 1～10	講義・演習	磯					
3. 実践練習 課題理解② 11～20	講義・演習	磯					
4. 実践練習 ポイント理解① 1～9	講義・演習	磯					
5. 実践練習 ポイント理解② 10～18	講義・演習	磯					
6. 実践練習 概要理解① 1～10	講義・演習	磯					
7. 実践練習 概要理解② 11～20	講義・演習	磯					
8. 1～7総復習	演習	磯					
9. 実践練習 即時応答① 1～26	講義・演習	磯					
10. 実践練習 即時応答② 追加問題	講義・演習	磯					
11. 実践練習 即時応答③ 追加問題	講義・演習	磯					
12. 実践練習 統合理解① 1～5	講義・演習	磯					
13. 実践練習 統合理解② 6～10	講義・演習	磯					
14. 第1回模擬試験問題	演習	磯					
15. 第2回模擬試験問題	演習	磯					
16. 単位認定試験							
教科書 1	日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター 著者: 棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり 出版社: Jリサーチ ISBN: 978-4-86392-057-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A				履修期	2021年度 春学期			
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-009		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。								
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。								
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。								
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語 I ・応用日本語 I ・日本語研究 I の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することもできる。								
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。								
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077								
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。 学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A				履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。							
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。							
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。							
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくること。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。							
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験			演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3							
教科書 2	著者: 出版社:							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・読む・聞く・書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津					
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。「聴解の教材」では生活の場面でもひとりで対応できる能力を身につけるような授業を取り入れる。また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を自ら積極的にを行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。						
評価方法	授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外においてPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用することができる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した箇所の宿題を出すので、その課の語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	11. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク						

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。							
概要	この授業は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。							
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 ② 日本語 I 秋・応用日本語 I 秋・日本語研究 I 秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。							
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. オリエンテーション 確認演習 2. 文法演習 第1章1 3. 第1章 2, 3 4. 第1章 4, 5 5. 第2章 1, 2 6. 第2章 3, 4 7. 第2章 5, 6, 7 8. 総復習演習 ① 9. N2対策演習1 10. N2対策演習2 11. 第3章 1, 2, 3 12. 第3章 4, 5 13. 第4章 1, 2, 3 14. 第4章 4, 5 15. 第5章 16. 単位認定試験			講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯	
教科書 1	日本語能力試験対策 日本語総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子、松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	日本語研究ⅠB			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ⅰと併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ⅰの3科目(日本語ⅠB、応用日本語ⅠB、日本語研究ⅠB)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語Ⅰ・応用日本語Ⅰ・日本語研究Ⅰの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用することもできる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできる」ようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。 学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。						
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。						
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。						
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくること。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	著者: 出版社:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津		
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また生活の場面でもひとりでも対応できる能力を身につけるよう構成する。 また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。 他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにすることが目標である。						
評価方法	授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外においてPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回からファイル、ノートは持参すること。副教材(語彙の教材)については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した語彙の宿題を出すので、語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	11. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク						

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

授業科目名	日本語研究ⅡA			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-2-011
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	聴解能力の向上はもちろん、「話す」、「読む」、「書く」能力の向上にも努め、日本語能力試験N1合格を目指すめざす。日本語能力を更に向上させ、今後の大学での学びが充実し、日本での生活を自信を持っておくれるようにする。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。聴解練習はもちろん講義内で文法、語彙等の学習も行い、日本語能力試験N1レベルの語彙力・聴解力を修得する。						
評価方法	試験(50%)、小テスト等(30%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	N2を取得していることが絶対条件である。 N2を取得していない学生は、日本語関連科目Ⅱを履修できない。 より高い日本語能力獲得のため本講義の受講中にN1の取得を目指してほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 確認演習		講義・演習	磯				
2. 課題理解① 課題理解とは 練習問題1～5		講義・演習	磯				
3. 課題理解② 練習問題6～12		演習	磯				
4. ポイント理解① ポイント理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
5. ポイント理解② 練習問題 7～14		演習	磯				
6. 概要理解① 概要理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
7. 概要理解② 練習問題 7～12		演習	磯				
8. 1～7総復習		演習	磯				
9. 即時応答① 即時応答とは 敬語表現		講義・演習	磯				
10. 即時応答② 文末否定 慣用表現		講義・演習	磯				
11. 即時応答③ 練習問題1～8		演習	磯				
12. 即時応答④ 練習問題9～20		演習	磯				
13. 即時応答⑤ 練習問題21～30		演習	磯				
14. 総合理解① 統合理解とは		講義	磯				
15. 総合理解② 練習問題1～6		演習	磯				
16. 単位認定試験							
教科書 1	絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニングN1 聴解 著者:松岡 龍美 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-776-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	文章表現入門				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子					NO.	GE-CH-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。</p>							
概要	<p>講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の6つ領域で構成している。学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一步一步着実に高めていくことができる。毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が、小論文指導(表記法、文章表現等の指導)の経験を活かし、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>単位認定試験(70%)、授業態度(15%)、小テスト・復習テスト(15%)による総合評価 なお、小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直ししておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のN2(2級)以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。</p>							
自己学習	<p>毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。</p>							
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本語検定3級」に挑戦 2. はじめに 3. 敬語の種類と使い分け 4. 注意すべき敬語 5. 配慮を示す言葉 6. 品詞・活用の種類 7. ら抜き言葉・さ入れ言葉 8. 文のねじれと言葉の係り受け 9. 接続後・指示語と文章 10. 類義語・対義語 11. 動詞の自他・視点 12. 文体 13. コロケーション 14. 部首・音訓・熟語 15. 仮名遣い・送り仮名 16. 単位認定試験 				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津
教科書 1	<p>スキルアップ！ 日本語力 著者:名古屋大学日本語研究会GK7 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-80364-4</p>							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文学への招待			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-CH-0-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしよとする態度を身につけることを到達目標とする。						
概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、学生の読書活動、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。						
評価方法	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験(70%)、発表・討論への参加(15%)、受講態度(15%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。						
自己学習	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 文学とはなにか 2. 図書館活用方法の理解 3. 図書館活用の実践 4. 日本文学史(1)-上代文学 5. 日本文学史(2)-中古文学 6. 日本文学史(3)-中世文学 7. 日本文学史(4)-近世文学 8. 日本文学史(5)-近代文学 9. 日本文学史(6)-現代文学 10. 夏目漱石・森鷗外・泉鏡花の作品(討論) 11. 芥川龍之介の作品(討論) 12. 宮沢賢治の作品(討論) 13. 小林多喜二・太宰治の作品(討論) 14. 詩・俳句・短歌(討論) 15. まとめ 16. 単位認定試験		講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 レポート試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	日本文学概論 著者:島内裕子 出版社:財団法人 放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31342-4						
参考書 2							

授業科目名	美術の見方				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	前嶋 英輝					NO.	GE-CH-0-003
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語るができる能力を身につける。美術作品の「見方」の2つの可能性を考えてみる。1つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、2つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、2つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。						
概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみる事が大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。						
履修条件・注意事項	事前に次の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べる事が重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。						
自己学習	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間が必要である。						
オフィスアワー	2号館6階の前嶋研究室において、毎週月曜日5時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 対話型鑑賞と美術の見方 2. 世界の美術館散歩 3. 美術教育と人間形成 4. 古代オリエント 5. ギリシャ・ローマ・中世 6. ルネサンス・バロック 7. 古典主義・印象派 8. 後期印象派以降 9. インド美術とイスラム美術 10. 仏教美術の誕生とシルクロード 11. 飛鳥～平安 12. 鎌倉～室町 13. 安土桃山 14. 江戸 15. 現代の美術 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋		
教科書1	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。						
教科書2							
参考書1	テキスト名: 絵画をいかに味わうか 著者: 著者: ヴィクトル・I・ストイキツァ 出版社: 平凡社 ISBN: 978-4582206371						
参考書2							

授業科目名	音楽のたのしみ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	GE-CH-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「音楽とは何か」。人類は、なぜ音楽を創り出し、そして継承してきたのか。現在、音楽は生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、大多数の人々は、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。本講座では、人と音楽との関係、音楽そのものについて考察し、受講者一人ひとりが冒頭の問いに回答でき、人生における音楽の意味を理解できることを目標とする。</p>							
概要	<p>音楽の素材である音について知る。音楽は音素材をどのように組み合わせられて構成されているのか、その仕組みを知る。その仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、和音、リズムなど音楽の構成要素を、音楽分析を通して学ぶ。以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかをCDやDVDの視聴を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p>							
評価方法	<p>平素の学習態度、授業における課題、期末試験により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平素からテーマ「音楽とは何か」について、考察しておくこと。 ・音楽への姿勢として自分の趣向だけでなく、いろいろな音楽に耳を傾けるようにすること。 ・授業は、積み上げ方式ですすめるので、毎回の授業の課題を復習し、完全に理解しておくこと。 							
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を調査し、専門用語などについて予備知識もち、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業内容の反復学習を行って、十分な理解を持つようにすること。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスアワー	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何か 2. 音・音楽を知る 3. 音楽の構造1 音楽の三つのタイプ 4. 音楽の構造2 旋律と音階 5. 音楽の構造3 様々な音階 6. 音楽のジャンル1 概要 7. 音楽のジャンル2 芸術音楽 8. 音楽のジャンル2 民俗音楽 9. 音楽のジャンル3 ポピュラー音楽1 10. 音楽のジャンル4 ポピュラー音楽2 11. 音楽の聴き方1 ジャズを知る 12. 音楽の聴き方2 ジャズを楽しむ 13. 音楽の構造1 形式 14. 音楽の形式2 ソナタ形式 15. 音楽とは何か2 音楽の起源・機能 16. 単位認定試験 				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田
教科書 1	毎回授業内容に沿った資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	138億年の音楽史 著者:浦久 俊彦 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288381-8							
参考書 2								

授業科目名	生涯スポーツ論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	城山 訓郎					NO.	GE-CH-0-005
配当学科	経営社会・社会福祉・心理学部・アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標:国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。</p>						
概要	<p>少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員(保健体育)の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。</p>						
評価方法	定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を50%とし、レポートの記述内容30%、授業での積極的発言など授業態度を20%とする。						
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。また、学校現場を理解するという意欲をもって、主体的に授業に取り組むこと。						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習しておくこと。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01.オリエンテーション:講義の進め方 02.スポーツの意義:スポーツとは何か? 03.社会生活の変化とスポーツの視点 04.明治時代以降の学校体育 05.戦後の社会教育:高度経済成長期のスポーツ 06.スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング 07.成長、発育、発達とスポーツ 08.生涯スポーツと生きがいづくり 09.スポーツとトレーニング 10.スポーツと経済 11.スポーツの多様化と住民スポーツ 12.地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア 13.地域スポーツイベントと地域活性化 14.中高年齢のライフステージのスポーツ 15.まとめ 16.試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山
教科書 1	生涯スポーツの理論と実際 著者:日下 裕弘(著), 加納 弘二(著) 出版社:大修館書店 ISBN:978-4469266986						
教科書 2							
参考書 1	生涯スポーツ実践論 著者:野川春夫(著), 川西正志(著) 出版社:市村出版 ISBN:978-4902109290						
参考書 2							

授業科目名	哲学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができるようになる。</p>								
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスアワー	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 哲学という言葉の歴史と哲学の始まり			講義	山本					
2. バルメニデスとその影響			講義	山本					
3. ソクラテスとその影響			講義	山本					
4. プラトン			講義	山本					
5. アリストテレスの論理学と哲学			講義	山本					
6. アリストテレスの第一哲学＝神学			講義	山本					
7. ヘレニズム期の哲学とその後			講義	山本					
8. 西欧文明の成立			講義	山本					
9. 盛期中世の学問状況			講義	山本					
10. 14世紀の大変革			講義	山本					
11. ルネサンスと科学革命			講義	山本					
12. 科学革命と政治哲学			講義	山本					
13. 諸科学の成立と哲学			講義	山本					
14. 科学的心理学の成立と哲学の変容			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1			<p>西洋哲学史<古代から中世へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>						
参考書 2			<p>西洋哲学史<近代から現代へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310083</p>						

授業科目名	哲学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。</p>							
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>							
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>							
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>							
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>							
オフィスアワー	257研究室で木曜4限							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり。 エレア派とその影響 ソクラテスとその影響 プラトン アリストテレスの哲学 アリストテレスの第一哲学 ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況 西欧文明の成立 盛期中世の学問状況 14世紀の大変革 ルネサンスと科学革命 科学革命と政治哲学 19世紀における諸科学の成立と哲学 科学的心理学の成立と哲学の変容 総括 定期試験 			<p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 筆記試験</p>	<p>山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本</p> <p>山本 山本</p>	
教科書 1	配布資料							
教科書 2								
参考書 1	<p>西洋哲学史(古代から中世) 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>							
参考書 2								

授業科目名	宗教学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-002		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。そして現代において宗教に対し健全な態度を確立することができるようになる。これらが到達目標である。</p>								
概要	<p>後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 人類史と宗教:旧石器時代から新石器時代へ			講義	山本					
2. 日本の縄文時代			講義	山本					
3. 文明誕生:メソポタミア			講義	山本					
4. エジプト文明			講義	山本					
5. 古代ギリシャ世界			講義	山本					
6. ユダヤ教の成立			講義	山本					
7. ヘレニズム期の宗教			講義	山本					
8. キリスト教の成立と展開			講義	山本					
9. 初期のイスラーム			講義	山本					
10. ローマ・カトリック			講義	山本					
11. 宗教改革とその後			講義	山本					
12. 日本宗教史:古代・中世・近世			講義	山本					
13. 現代日本の宗教事情			講義	山本					
14. 現代世界の宗教事情			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1	配布資料								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	倫理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持って余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。</p>						
概要	<p>定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』と一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホップズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室、木曜3限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 「好きなこと」とは？ パスカルとニーチェの退屈論 暇と退屈の原理論 定住革命について 暇と退屈の系譜学 暇と退屈の経済史 ホップズ、ルソー、マルクス 暇と退屈の疎外論 暇と退屈の哲学 環世界論 暇と退屈の人間学 ハイデッガー 暇と退屈の倫理学 スピノザ 総括 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本
教科書 1	暇と退屈の倫理学 著者:国分功一郎 出版社:太田出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	心理学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典					NO.	GE-GA-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。人が生活している環境からいかに情報を取り入れ、蓄積し、利用するのか、あるいは、いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して、心理学のおもしろさに触れ、心理学の基礎的な考え方を理解することを到達目標とする。							
概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では、いくつかの領域における研究対象、方法、得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。							
評価方法	小テスト(50%)と定期テスト(50%)の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生(私語、飲食、内職等...)については、この限りではない。 小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。							
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので、集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに、3回に1回くらいの割合で小テストを行うので、特に復習には力を入れること。							
自己学習	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。(2時間) テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である(2時間)。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。							
オフィスワ-	森井:月4 橋本:月5 村上:水1 各教員研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
(1) オリエンテーション (2) 外界を探るこころの働き (3) 感覚と知覚 (4) 認知とは何か? (5) 発達-乳幼児期~青年期- (6) 発達-成人期~老年期- (7) 記憶のふしぎ (8) 本能と学習 (9)行動の源泉:欲求 (10)集団の認知 (11) 対人認知 (12) 態度変容 (13) ストレスと考え方 (14) 性格とは (15) 心理検査について (16) 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 森井 森井 森井 村上 村上 村上 村上 村上 全教員						
教科書 1	教科書は使用しない。							
教科書 2								
参考書 1	心理学 (New Liberal Arts Selection) 著者:無藤・遠藤・玉瀬・森 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641053694							
参考書 2								

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようにすることを、この講義の到達目標とする。							
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスワ-	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	グローバル化	第2回	「文化」と異文化	講義	高橋
			第3回	異文化交流と異文化理解	第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋
			第5回	他者とステレオタイプ	第6回	差異と差別	講義	高橋
			第7回	エスニシティと人種論	第8回	学校教育と多文化	講義	高橋
			第9回	文化統合と言語政策	第10回	多文化共生論	講義	高橋
			第11回	自己の中の異文化	第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋
			第13回	文化摩擦と紛争	第14回	相対化と自己内省	講義	高橋
			第15回	多文化共生の可能性	第16回	最終試験	講義	高橋
							最終試験	高橋
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342							
教科書 2								
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735							
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217							

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。								
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。								
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。								
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。								
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。								
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	グローバル化	講義	高橋						
第2回	「文化」と異文化	講義	高橋						
第3回	異文化交流と異文化理解	講義	高橋						
第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋						
第5回	他者とステレオタイプ	講義	高橋						
第6回	差異と差別	講義	高橋						
第7回	エスニシティと人種論	講義	高橋						
第8回	学校教育と多文化	講義	高橋						
第9回	文化統合と言語政策	講義	高橋						
第10回	多文化共生論	講義	高橋						
第11回	自己の中の異文化	講義	高橋						
第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋						
第13回	文化摩擦と紛争	講義	高橋						
第14回	相対化と自己内省	講義	高橋						
第15回	多文化共生の可能性	講義	高橋						
第16回	最終試験	最終試験	高橋						
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342								
教科書 2									
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735								
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217								

授業科目名	日本国憲法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	入江 祥子					NO.	GE-SI-0-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p><到達目標> 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。</p> <p><テーマ> 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。</p>						
概要	<p>法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。</p> <p>*実務経験のある教員による授業 本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。</p>						
評価方法	受講態度及び取組姿勢30%、各講義の最後実施する理解度を問う小テストの評価30%、定期試験40%の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。						
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること(特に私語、授業途中の入退室等)は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。						
自己学習	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。						
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか		講義	入江				
第2回:法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い		講義	入江				
第3回:法源とは何か、成文法、不文法		講義	入江				
第4回:憲法とは何か、実質的意味の憲法、立憲的意味の憲法		講義	入江				
第5回:憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法、成立背景、特徴		講義	入江				
第6回:国民主権の意味、その役割		講義	入江				
第7回:戦争の放棄、「戦争」の意味、「戦力」の意味		講義	入江				
第8回:人権の享有主体性、外国人の人権		講義	入江				
第9回:私人間効力の問題		講義	入江				
第10回:人権保障の限界、「公共の福祉」の意味		講義	入江				
第11回:「権力分立」の意味、権力的契機、正当性の契機		講義	入江				
第12回:国会の制度意義、その構成及び役割		講義	入江				
第13回:内閣の制度意義、その構成と役割		講義	入江				
第14回:裁判所の制度意義、その構成及び役割		講義	入江				
第15回:地方自治について		講義	入江				
第16回:試験		試験	入江				
教科書1	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。						
教科書2							
参考書1	六法						
参考書2							

授業科目名	民法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	生駒 正文					NO.	GE-SI-0-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	民法は、皆さんが社会生活をする上でのトラブルを解決するルールを定めていますので、民法を学習することにより、社会生活に役立つ実用的な知識が身に付きます。また、公務員試験や資格試験などの多くに試験科目として採用されていますので、これらの試験を目指す人にとっては、必修の科目といえます。従って、この授業では、次のステップとしての公務員試験や資格試験の勉強に円滑に移行することも念頭に置いて、民法の基礎を理解し記憶することを目標とします。						
概要	民法の基礎を理解するために、平易な概説書を使用し、具体的な事例を折り込み、分かりやすく説明します。予習、復習に活用してください。また、復習用に教科書に準拠した問題集を作成しますので、これを活用して知識を整理してください。あわせて、随時、資格試験(試験問題が公表されている行政書士試験を使用)の問題を取り入れ実践的なトレーニングを行います。この科目は、お大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	試験 70点 授業態度・意欲 30点 で評価						
履修条件・注意事項	①(予習)別途作成の上配布する補助教材を事前に一読し、授業にて学習する部分の概要を把握するとともに、わからない箇所や疑問に思う箇所などについてチェックしておくこと。 ②(復習)別途作成する問題集により、当日学習した部分について、問題を解き、正解を確認することにより、復習しておくこと。 ③遅刻、無断途中退出と私語は禁止します。 ④ポータブルな六法を携帯すること。						
自己学習	授業計画ごとに教科書を予習・復習しておくこと。						
オフィスワ-	(火)14:00~15:00(14号館6階生駒研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 民法概説 2. 人の能力 3. 制限能力者 4. 物 5. 法律行為と意思表示(意思も欠缺) 6. 法律行為と意思表示(瑕疵ある意思表示) 7. 代理 8. 無権代理 9. 無効と取り消し 10. 条件・期限・期間 11. 時効 12. 団体 13. 物権序論 14. 物権変動(不動産) 15. 物権変動(動産) 16. まとめ(定期試験)		講義	生駒正文				
教科書 1	法学講義案(第2章、第3章、第4章利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経済学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	張 秉煥					NO.	GE-SI-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	経済学を学ぶもっとも重要なインセンティブは、日常生活で目にするさまざまな経済的現象に関する分析的思考を修得することである。具体的には市場における消費者や企業といった経済主体の経済活動の論理を理解し、市場メカニズムの機能とその失敗、国民所得、経済成長、所得機会の変容および経済政策、そして実生活とのかかわり合いについて理解を深めることができる。						
概要	前半部では、個々の消費者の行動や企業の行動に関する分析をもとに、価格メカニズムについて学ぶ。具体的には需要供給メカニズム、市場の構造と価格分析、公共財と共有資源問題などに関する基礎的知識を修得する。後半部では、一国の経済全体の動きについて解説する。具体的には、国全体の総生産や所得水準の動き、所得分布や所得機会の変容、経済安定化政策などに重点をおく。随時経済学的思考や考え方を体験することができる現実の経済問題について解説を加える。						
評価方法	成績の配点は、随時のミニクイズや復習テスト30点、定期総合筆記試験(16回目授業)70点である。合計60点以上を合格とする。すべてのテストはテキスト類の持ち込み自由で行う。ただし、電子辞書以外の持ち込みは禁ずる。その他詳細については、受験ルールは学則に則るものとする。						
履修条件・注意事項							
自己学習	授業内容に基づき、「基礎的概念」や「現実とのかかわり合い」について理解を深めること。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 科学としての経済学 第2回 十大原理1__Trade-off等 第3回 十大原理2__GDP等 第4回 需要供給モデルと応用 第5回 市場構造と社会的厚生 第6回 独占市場、復習テスト1 第7回 独占的市場、寡占市場 第8回 現実の価格、価格弾力性 第9回 価格規制、外部性 第10回 公共財、復習テスト2 第11回 情報の非対称性 第12回 国民所得 第13回 経済成長、景気変動 第14回 所得機会、復習テスト3 第15回 経済安定化政策 第16回 単位認定筆記試験		講義および試験(第1回目の授業で詳細のシラバスを配付する)	張				
教科書 1	独自教材(パワーポイント版講義録・ワークブック型)						
教科書 2							
参考書 1	マンキュー入門経済学 著者:N.グレゴリー マンキュー(著)、足立 英之(翻訳) 出版社: 東洋経済新報社 ISBN:978-4492313862						
参考書 2							

授業科目名	社会学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	GE-SI-0-004
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 基礎社会学(社会学とは何か?・人口論・家族・教育・産業と老d峰) 到達目標 社会学の定義と考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業と労働の領域における現状と問題を理解させ、その解決法を考えさせる。学生たちが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。この講義で現代社会の様々な制度と問題を理解し。毎回実施する小テスト(記述式)で自分の考えを文章で記述する能力を向上させる。</p>						
概要	<p>この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>						
評価方法	小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	授業を欠席しないように。出席チェックの不正をしないように。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1.社会学とは何か 2.他の社会科学との違い 3.社会学は何の役に立つのか 4.世界の人口動向 5.日本の人口問題:少子高齢化 6.家族とは何か 7.変容する家族 8.現代家族の諸問題 9.教育の社会学 10.学力低下論争 11.教育と社会 12.教員の多忙化と燃え尽き 13.産業と労働 14.IT社会における労働 15.AIの進化と社会変動 16.定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278						
教科書 2	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。						
参考書 1	講義中にさまざまな参考文献を聴解する。						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治				履修期	2021年度 春学期	
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。						
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。						
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。						
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 人権の思想史 第2回 法の下での平等 第3回 平等権の課題 第4回 自由権 第5回 幸福追求権 第6回 生存権 第7回 生存権と福祉 第8回 教育・学習権 第9回 職業選択と人権 第10回 勤労の権利 第11回 参政権 第12回 請願権:裁判を受ける権利 第13回 子どもの権利 第14回 プライバシー権 第15回 環境権 最終試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋				
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者:安藤 高行 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03826-5						
教科書 2							
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者:山本 克司 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03172-3						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。						
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。						
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。						
オフィスアワー	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回	人権の思想史	講義	高橋	
			第2回	法の下での平等	講義	高橋	
			第3回	平等権の課題	講義	高橋	
			第4回	自由権	講義	高橋	
			第5回	幸福追求権	講義	高橋	
			第6回	生存権	講義	高橋	
			第7回	生存権と福祉	講義	高橋	
			第8回	教育・学習権	講義	高橋	
			第9回	職業選択と人権	講義	高橋	
			第10回	勤労の権利	講義	高橋	
			第11回	参政権	講義	高橋	
			第12回	請願権: 裁判を受ける権利	講義	高橋	
			第13回	子どもの権利	講義	高橋	
			第14回	プライバシー権	講義	高橋	
			第15回	環境権	講義	高橋	
			第16回	最終試験	最終試験	高橋	
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5						
教科書 2							
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3						
参考書 2							

授業科目名	社会と統計			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 匡				NO.	GE-SI-0-006	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	自然現象や社会現象についての量的データを統計的に整理したり分析したりすることは、計画立案や意思決定によく行われていることである。つまり、社会ではデータを整理し分析する能力が求められるとも言えることができる。本講義では、その統計学の入門をテーマとして、ディプロマポリシーに従って目的達成のためにどのようなデータを集め、それをどのように整理して、分析結果をどのように読み取るかという思考・判断力身に付けるのが到達目標である。						
概要	統計学はむずかしいと感じる人も多いが、身近なことに統計学がうまく応用されて役立っていることも多い。統計学の手法を使って数値データを分析することにより、あいまいな事柄に科学的な説得力を持たせることができる。本講義では、その分析に必要な知識である、Excelを活用してのデータの入力、度数分布表、ヒストグラム、平均と分散、仮説検定、散布図と相関係数などについて学習する。講義内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 担当教員が理事を務めているNPO社会福祉団体(会員数約1,300人)では、全国の自治体に対して統計的調査を行ったりしている。この科目では、分析の指導などにその担当教員のNPOでの知識が活用されている。						
評価方法	「統計の基礎的知識の理解」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、記述統計を中心とした理解度を問う試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。						
履修条件・注意事項	第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 受講者数は、パソコン教室の定員以内とする。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。						
オフィスアワー	春学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日1時限目 秋学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 スキル確認テスト・統計処理の概要 第2回 Excelの操作 第3回 度数分布表 第4回 ヒストグラム 第5回 データの散らばり具合 第6回 平均と分散 第7回 標準偏差 第8回 乱数とシミュレーション 第9回 検定の考え方 第10回 検定の実際 第11回 いろいろなグラフ 第12回 散布図 第13回 相関関係と因果関係 第14回 相関係数 第15回 回帰分析、まとめ 第16回 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤					
教科書 1	統計学の図鑑 著者: 涌井良幸・涌井貞美 出版社: 技術評論社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。							
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらに対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山						
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。						
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山		
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	物理学				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	萩野 正興					NO.	GE-NM-0-002		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と議論・演習		
テーマと到達目標	<p>テーマ: 学生が物理を身近なものとして捉えることができる。学生が物理の考え方を身につけることができる。 到達目標: 講義だけでなく、その講義に沿った内容の演習や議論を行い、深い学びを得られる。</p>								
概要	<p>「物理は難しい」「宇宙は神秘的に満ちている」そんな偏見を持っていませんか？ この担当教員は天文学者です。天文学者は物理学者です。ここでは物理や天文の考え方を勉強しましょう。 この授業では公式の暗記や板書をノートに書き写したりせず、「主体的」、「対話的」、「深い学び」というアクティブラーニングを実践します。 すなわち、前半は最新データに基づいた物理や宇宙の講義を行い、後半はそのテーマに沿った議論や背景にある物理の簡単な演習(実験や体験)を行います。 この授業の前と後では「世界が違って見える」ように努めます。</p>								
評価方法	論述形式試験(60%)、授業態度(40%)								
履修条件・注意事項									
自己学習	理科の知識は問いません。予習は必要ありません。アクティブラーニングを実践したいので、授業への積極的な参加をお願いします。復習は各自の興味で行ってください。								
オフィスワ-									
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1 イントロダクション / 宇宙とは 2 時間と空間 / 運動学 3 暦と太陽系 4 普通とは何か? / 統計学 5 みんな群れを作っている / 力学 6 暖かい? 冷たい? / 熱力学・流体 7 モーターの話 / 電磁気学 8 エネルギーとは何か? 9 虹と夕焼け / 光学 10 いろいろな波 / 波動 11 小さな世界 / 量子力学 12 空を見上げる / 観測技術・望遠鏡 13 宇宙に果てに / 現代の宇宙観 14 我々の置かれた環境 15 物理とは / まとめ 16 論述形式の試験			講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論	萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	ぼくらは「物理」のおかげで生きている 著者: 横川淳 出版社: 実務教育出版 ISBN: 978-4-7889-1178-9								
参考書 2									

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	香田 康年				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、それらについて考えること、様々な生物現象について考えることで、ヒトや様々な生物、および様々な現象について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。</p> <p>【到達目標】まず生物のシンカと一般用語の「進化」が意味がことなることを学び理解する。その際に、生物のシンカとはどのような現象なのかについて学び理解する。それを踏まえた上で、生物のシンカがどのような仕組みで起こるのかを学び理解する。</p> <p>それらを学ぶ際に、丸暗記するのではなく、様々な生物現象や人間について考える力、および物事の関係について考え、理解する力を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用し、自ら考え議論する力を養う。</p>						
概要	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義とQ&Aのアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容、範囲などは受講生の理解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は、講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。 ○1995年以来担当者として講義を行って来た。 						
評価方法	<p>20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点(70%)とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数(30%)で評価する。</p> <p>ただし、授業態度が悪ければ(授業にまじめに取り組まない場合)10点の範囲で減点する。</p> <p>各小テストは、論述記述式である。</p> <p>講義の内容から、重要な内容について説明記述させる問題を出题する予定である。</p> <p>授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていないことが、採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。</p> <p>なお、途中の小テストは、採点結果を返却し、フィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。</p> <p>教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。</p>						
自己学習	<p>【復習】</p> <p>授業内容は常識と異なることが多く、授業は前回までの理解を前提に進めるので、毎回必ず復習し、理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。</p> <p>またいつ小テストがあっても対応できるように、充分理解し、ノート整理しておくこと。復習には二時間程度かけて行う事を目安とする。</p> <p>【予習】</p> <p>過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、次回の授業内容について、参考書などを参考に、自分なりの現時点での理解を確認しておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。予習にも、二時間程度要することを目安とする。</p>						
オフィスアワー	講義担当者は非常勤講師なので、質問等があれば、授業後の休憩時間に行うこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1 生物のシンカと一般用語としての「進化」 2 生物のシンカの起こる仕組み 3 なぜたくさんの生物がいるのか？ 4 なぜ人類が存在しているのか？ 5 ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか 6 科学とはどのような学問か？ 7 生物とは？ 8 どんな生物、どんな動物がいるのか？ 9 クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか 10 “うんこ”と“おしっこ”の違いは？ 11 遺伝子と遺伝子の発現 12 人間の本性とは？ 13 本能と学習の真の関係 14 利己的行動と利他的行動 15 非血縁者間の利他行動のシンカ 16 様々な対人関係心理のシンカと神を信じる心のシンカ 17 最終試験(筆記試験) 	毎回講義とQ&A方式のアクティブラーニング	毎回香田康年					
教科書 1	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。						
教科書 2							
参考書 1	面白くて眠れなくなる生物学 著者:長谷川英祐 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-76860-1						

参考書 2

進化と人間行動

著者:長谷川寿一、長谷川真理子

出版社:東京大学出版会

ISBN:4-13-012032-8

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福田 富男				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは生物の基礎ともいえる生態、細胞や遺伝などに加え、人の健康に深く関係する生活習慣病などの幅広い知識を習得し、生物現象を広く正確に把握できる。</p> <p>具体的な学習内容は概要の欄にしめすものとし、これらに加え一般社会人として、正しく知識を活用できる能力を養い、学習の到達目標は授業内容の完全な理解を目指す。</p>						
概要	<p>学習の内容としては、(地)地域における森や植物、河川や水生生物の学習および実習などを素材として論文作成法を習得する。更に海と沿岸生物、アマモ場の生態、魚類生態などの諸分野の幅広い生物生態学の知識を学ぶ。加えて生物学と医学、細胞・遺伝などの基礎生物学を学び、それらをもとに老いと生物学、ヒトの一生と健康な生活などの基礎医学の諸分野、また再生医療や環境問題などこれからの生物学に関する広範囲の知識を習得する。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 医学博士。1969年から2003年まで岡山県水産試験場で生物生態学などを調査研究。2004年から、高校、専門学校、大学などで非常勤講師として勤める。医学他に必要な生物の知識を経験から教授する。</p>						
評価方法	<p>復習、小テスト他の課題対応、定期試験等の結果で総合的に評価する。</p> <p>定期試験(80%)、課題評価(20%)の結果で総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>基礎生物学を主体に自然科学、医学、環境、保健問題などに広く関心を持っていること。加えて、授業時間外の課題について各授業内で指示するので、必ず実行し失念しないよう留意しておくこと。また、配布資料は再発行しないので紛失しないこと。</p>						
自己学習	<p>ほぼ各週とも復習課題を課し、加えて前週の小試験を実施する。授業開始直後、それらの解答・解説を行い授業内容を確実に習得させる。また、復習課題は不定期に回収しその実施状況を把握・評価する。</p> <p>予習および復習には、各1時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物体と生物学の分野 2. 山林、植物の役目 3. 森林生態学実習 4. 水生生物と河川 5. 河川生態学実習 6. 論文作成法、海と生物の起源 7. アマモ場のはたらき 8. 細胞の発見と構造 9. 細胞の機能 10. ヒトとその遺伝子 11. 細胞分裂 12. ヒトの健康と次世代の子供 13. 生老病死,DNA,RNAの構造 14. DNAのはたらきと健康な生活 15. 今後の課題, 再生医療, 環境 16. 定期試験 		講義 講義 学外実習 講義 学外実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記	福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男				
教科書 1	<p>病気になるらない健康生活スタイル 著者:徳田安春、岸本暢将、星 哲哉 出版社:西村書店 ISBN:978-4-89013-612-4</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	化学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一				NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。						
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山					
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)						
教科書 2							
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	化学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。							
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山	
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)							
教科書 2								
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	人類生態学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	末吉 秀二					NO.	GE-NM-3-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。						
概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレイクダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。						
評価方法	到達目標を計るため、試験(80%)、小テスト(10%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。なお、評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。						
自己学習	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること(予習)、不明な点が理解できたかを確認すること(復習)。						
オフィスアワー	月曜日・金曜日(3限、5限)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1 オリエンテーション 2 生態系と人類の特性 3 人類の起源と進化 4 生存様式の変化と多様性 5 生業と社会 6 身体とその機能 7 行動の生態学 8 栄養と健康 9 病気の生態学 10 長期的な人口変化 11 人口指標と集団の適応 12 現代の人口問題 13 エネルギーと資源 14 ライフスタイルと環境		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉
教科書 1	人類生態学 著者:大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-052300-7						
教科書 2							
参考書 1	生態人類学を学ぶ人のために 著者:秋道智彌・市川光雄・大塚柳太郎編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-0561-7						
参考書 2							

授業科目名	統計学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-006	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	テーマは「数学としての統計学の理解と、推測統計学の実践」である。学生は、度数分布や確率分布の基礎概念を練習問題を解きながら習得する。その上で、母平均や母分散の区間推定や、仮説検定(母平均・母分散、適合度・独立性、母相関係数)の技法に習熟する。これによって学生は関係する分野の現実の問題でそれらの技法を使いこなすことができるようになる。							
概要	集団の代表値・散布度や二つの集団の相関などの度数分布論の基礎概念、二項分布・正規分布や χ^2 乗分布やt分布などの確率分布論の基礎概念を、問題演習を通じて習得する。しかるのち、母平均や母分散の区間推定や母平均・母分散や適合度・独立性や母相関係数に関わる仮説検定の問題を解き、さまざまな分野における応用への道を開く。							
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。							
履修条件・注意事項	順列・組合せ、確率、数列、微分積分の初歩など、ある程度の数学的知識は履修に際して必要条件である。							
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書と板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。							
オフィスアワー	257研究室で木曜4限							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. 度数分布 2. 代表値・散布度 3. 平均・分散の計算 4. 相関係数 5. 確率変数 6. 2次元確立分布 7. 二項分布 8. 正規分布 9. X^2 乗分布とt分布 10. 標本分布 11. 区間推定 12. 仮説検定 13. 母平均・母分散の検定 14. 適合度・独立性の検定 15. 総括 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本						
教科書 1	新統計入門 著者:小寺平治 出版社:裳華房 ISBN:4-7853-1099-5							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	数学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-007		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	医療系をはじめとする、広範囲の専門分野で将来必要となる数学的知識、つまり「1変数や2変数の微積分」がテーマである。限られた時間の中で基礎的なものに限定してその学習をおこなう。学生は1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解くことができるようになる。								
概要	まず1変数関数では、さまざまな初等的関数(整関数、三角関数、指数関数)の性質について学び、これらの関数やその逆関数の微分や積分を行なう。また級数展開について学ぶ。2変数関数では全微分という概念を理解し、さまざまな関数の微分や積分を行なう。また2変数関数の極値問題や重積分の問題を解く。こうして1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解く能力を身につける。								
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。								
履修条件・注意事項	数学I,A,II, Bを履修していること。それと毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。								
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 簡単な1変数関数と2次曲線 2. 三角関数と逆三角関数 3. 指数関数と対数関数 4. 1変数関数の微分 5. 初等関数の導関数、n次導関数 6. 平均値の定理とTaylor級数 7. 1変数関数の不定積分 8. 1変数関数の定積分 9. 2変数関数の微分 10. 2変数関数の極値 11. 2変数関数の累次積分 12. 重積分 13. 変数変換 14. 変数変換と積分 15. 総括 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	微分と積分 著者:三宅敏恒 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-00352-4								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	韓国地域社会				履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-2-305	
配当学科	経営社会				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定(平和)と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。							
概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事実を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。							
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。							
履修条件・注意事項	(1)授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。					(2)単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。		
自己学習	(1)参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2)受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。							
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1.オリエンテーション 2.韓国という国家 3.韓国の歴史(民族と国家) 4.韓国民主主義の位相と行方 5.韓国民主主義の制約 6.解放前の要因 7.解放後の要因 8.韓国の権威主義体制 9.民主化・人権擁護運動 10.1980年代の韓国 11.1980年代の政治体制 12.1980年代の民主化運動 13.1990年代の民主化政治 14.韓国政治社会の新潮流 15.韓国の民主主義と市民社会 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李						
教科書 1	現代韓国と民主主義 著者:李分一 出版社:大学教育出版 ISBN:4-88730-303-3							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	中国地域社会			履修期	2021年度 秋学期	
担当者	畑木 亦梅				NO.	SS-BU-2-309
配当学科	経営社会			年次	カリキュラムにより異なります。	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	中国は近年目覚ましい経済発展を遂げ、政治も変貌し、国際社会における存在も大きくなってきている。社会保障も整備されつつある。一方、腐敗事件が頻発し、社会格差が深刻化しているなど様々な問題も起きている。本講義は、こうした現代中国を分析する。本講義を受講することにより、現代中国の国家制度、社会構造とその変容、経済、環境及び外交、日中関係の現状と問題点などについて理解できるようになる。					
概要	本講義では、現代中国の国家制度、一党支配下の権力構造、社会構造とその変容、経済発展と格差問題、環境問題、外交問題などを様々な視点で捉え分析する。					
評価方法	授業態度、課題レポートなど(40%)、期末テスト(60%)で総合的に評価する。					
履修条件・注意事項	留学生が受講する場合、一定の漢字の読解力が必要である。					
自己学習	予習として、事前に授業資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。予習および復習には、2時間程度を要する。					
オフィスワ-	授業終了後教室にて					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 政治体制 3. 執政党 4. 多民族国家 5. 香港・マカオ問題 6. 台湾問題 7. 経済の高度成長 8. 経済のグローバル化 9. 社会構造の変容 10. 人口問題 11. 教育問題 12. 環境問題 13. 冷戦下の日中関係 14. 冷戦終結後の日中関係 15. まとめ 16. 期末試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅	
教科書 1	『5分野から読み解く現代中国』(2016) 出版社: 晃洋書房 ISBN: ISBN 978-4-7710-2720-6					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	経絡鍼灸学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-324
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。						
概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。						
評価方法	テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	公衆衛生学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-1-116
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。</p> <p>保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。</p>						
概要	<p>公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。</p>						
評価方法	<p>期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。</p>						
自己学習	<p>「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。</p>						
オフィスアワー	<p>6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表		講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬				
教科書 1	公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護学概論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-1-201	
配当学科	看護			年次	1			
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。</p> <p>〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解する。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解する。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる。</p>							
概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間や健康の基本的捉えかたについて理解する。この科目は、臨床での看護師の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護職者として必要とされる知識や能力について実践的に役立つ授業を実施する							
評価方法	筆記試験70% 課題レポート30%							
履修条件・注意事項	看護とは何かを考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心を持ち、視野を広げておく。							
自己学習	予習:授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。(90分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(90分)							
オフィスワ-	水曜日2時限目:6号館4階 6402・6438 研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 看護とは 看護の概念 2. 看護の役割と機能 3. 看護の対象の理解 人間のこころ・からだ・発達 4. 看護の対象の理解 地域での暮らし 5. 健康とは 6. ライフサイクルと健康・生活 7. 看護の歴史 8. 看護職のキャリア 9. 看護における倫理 現代社会と職業倫理 10. 看護における倫理 看護実践における倫理的問題 11. 看護サービスの提供 12. 看護をめぐる制度と政策 13. 国際化と看護 14. 災害時における看護 15. 私の看護観 16. 試験		1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.試験	1.掛谷 2.掛谷 3.澤田 4.澤田 5.澤田 6.澤田 7.掛谷 8.掛谷 9.掛谷 10.掛谷 11.掛谷 12.掛谷 13.澤田 14.澤田 15.掛谷・澤田 16.掛谷・澤田					
教科書 1	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 著者:茂野香おる 他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02181-4							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	作業療法概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	京極 真、岩田 美幸、三宅 優紀、狩長 弘親、山本 倫子、寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-203
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。</p> <p>【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p>						
概要	<p>作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目では、作業療法士としての実務経験をもつ教員や外部講師がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。						
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。						
自己学習	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。						
オフィスアワー	月曜4限(15:10～16:40)、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション、作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 作業療法の歴史(起源) 医学・作業療法用語の解説 7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト) 8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル) 医学・作業療法用語の確認テスト 9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM他) 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 予防領域の作業療法 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 生活行為向上マネジメント 15. 作業療法を取り巻く状況、まとめ 16. 試験		講義 AL AL AL AL 講義 講義 講義・筆記試験 講義	京極 岩田 寺岡 山本 岩田 京極 寺岡 寺岡				
教科書 1	作業療法学概論 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:二木淑子・能登真一 出版社:医学書院 ISBN:978-4260025355						
教科書 2	「作業」って何だろうー作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:978-4263216675						
参考書 1	基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:濱口豊太 出版社:医学書院 ISBN:978-4260030557						
参考書 2	作業療法士になろう! 著者:齋藤さわ子 出版社:青弓社 ISBN:978-4787210531						

授業科目名	人間と作業				履修期	2021年度 春学期	
担当者	寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-204
配当学科	作業療法				年次	1	
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	<p>テーマ:学生は、作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標:学生は、講義とアクティブラーニングを通して、作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる</p>						
概要	<p>作業とは、人間が経験すること全てである。 作業療法士になるためにはこの作業を理解し、作業療法という方法を使ってクライアントへ介入を行う必要がある。 そのためには作業がもつ力を理解し、健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり、やり方を変更したり、自身で運用できるようになることが求められる。 作業は経験である以上、どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する。 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される。 しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される。 この科目では、健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し、実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し、解釈出来るように構成している。 この科目は、作業科学を研究し、臨床現場で実践していた者が講義を行う。人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え、臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	試験60%、提出物20%、授業への態度20%で評価する。なお、提出物へのフィードバックは授業内で行う。						
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと						
自己学習	<p>予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み、事前にインターネットなどを活用し調べておくこと。 予習の時間は1時間程度とする。 講義終了時に、作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと。 課題は30分～1時間程度で行える内容で提供する。課題は次回の講義前までに提出すること。</p>						
オフィスワ-	授業終了後、教室で行う。それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 作業と健康と幸福の関係性 3. 意志力と作業、演習、宿題 4. 疲労と作業、演習、宿題 5. 感謝と作業、演習、宿題 6. フローと作業、演習、宿題 7. 人間関係と作業、演習、宿題 8. 挫折と作業、演習、宿題 9. ストレス軽減と作業、演習、宿題 10. 強みと作業、演習、宿題 11. レジリエンスと作業、演習、宿題 12. 自己肯定感と作業、演習、宿題 13. 講義と発表 14. 人間と作業まとめ 15. 単位認定試験	講義 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 講義、AL 筆記試験	寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡					
教科書 1	「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:4263216679						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	発達心理学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	宇都宮 真輝					NO.	PS-PS-1-307		
配当学科	心理				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。								
概要	様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。								
評価方法	評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。								
履修条件・注意事項	出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。								
自己学習	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。								
オフィスワ-	研究室にて、火曜日4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮					
教科書 1	よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	デジタルメディアと社会				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	大谷 卓史					NO.	AN-AN-1-108
配当学科	アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることが出来る。</p> <p>本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為・コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 2. 倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 3. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 <p>ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。</p>						
概要	<p>現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方や枠組みを活用する。</p> <p>映像作品やドキュメンタリーを手掛かりとして、現代における情報技術とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。視聴や紹介を予定する映像作品は授業計画を参照のこと。</p> <p>授業では映像作品のストーリーやそこで描かれた哲学的・倫理学的問題を紹介し、学生との議論を中心に進める。映像作品に関しては、事前に見ておくことが望ましい。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。</p> <p>予習:レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。</p> <p>復習:授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。</p>						
オフィスワ-	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉 4 倫理とは何だろうか(2) 倫理学の基本的な立場 5 グーグル革命(ビデオ教材) 6 サーチエンジンの倫理:スコア化する社会/ブラックボックス化する社会 7 ソーシャルネットワーキングサービス 8 フェイクニュースと情報の信頼 9 プライバシーの基礎 10 個人情報保護制度とその思想 11 監視と見守り 12 著作権の法・技術・ビジネス 13 ICTビジネスと社会(「アップル復活」を見る) 14 バーチャルリアリティー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1	レジュメ等資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者:土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社:アイケイコーポレーション ISBN:4874923240</p>						
参考書 2	<p>AIの倫理学 著者:クーケルバーク著、直江清隆訳者代表 出版社:丸善出版</p>						

授業科目名	心理学概論 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	橋本 翠					NO.	PS-CE-1-101
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】行動(心の働き)と環境との関わり、つまりヒトが環境に「適応する」とはどういうことなのか、について、感覚、知覚、記憶、学習の観点から理解する。</p> <p>【到達目標】人間の行動(心の働き)には、環境が大きな影響を与える。そのため、学生は人間がどのように外界からの情報を取り入れ、適応行動を行っていくのかについての理解を深めることができる。</p>						
概要	本講では、人間が自分を取り巻く環境からさまざまな情報を取り入れ、蓄積し、また多くの経験を積みながら、置かれた環境に適応していく。我々は、錯覚などを含めて外界をどのように捉えるのか、また、その情報をどのように記憶したり、忘却したりするのか、さらにそれらをもとにどのように適応行動を行っていくのかについて講義する。						
評価方法	学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。						
自己学習	予習については毎回、次の講義内容について指示をするので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げること(2時間)。						
オフィスワ-	月曜5限:個人研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
(1) OR/心理学とは (2) 心理学の課題と研究方法 (3) 感覚と知覚(外界を捉える) (4) 感覚と知覚(知覚と認知) (5) さまざまな知覚(視覚の不思議) (6) さまざまな知覚(感覚器官の性質) (7) 記憶とは (8) 記憶のしくみ(感覚記憶) (9) 記憶のしくみ(短期記憶) (10) 記憶のしくみ(長期記憶) (11) 記憶術の原理 (12) 学習の基本原則(古典的条件づけ) (13) 学習の基本原則(道具的条件づけ) (14) 認知学習 (15) 学習原理の応用 (16) 定期試験		講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本				
教科書 1	配布資料						
教科書 2							
参考書 1	心理学の基礎 四訂版 著者:今田寛, 宮田洋, 賀集寛 共編 出版社:培風館 ISBN:4-563-05670-7						
参考書 2							

授業科目名	心理学概論Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	三宅 俊治					NO.	PS-CE-1-102
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	多様な心理学分野の中で、時間の経過にともなって発達していく心理過程、また、心理社会的枠組みの拡大にともなって成長していく心理構造を理解するのがテーマである。講義内容の6割以上が理解できるようになる。						
概要	心理学分野は多様である。そのうち、ヒトとして生まれて、一人の人間として心理的な発達を遂げる過程を理解する。そして、人間社会の中で社会的に成長していく際の他者や社会的枠組みについても理解を深める。このように、時間軸に沿って、また心理社会的枠組みの拡大に沿って、深化・拡大していく心理過程について理解を深めることによって、教職免許履修の基礎と心理学的基礎が確立できる。						
評価方法	定期試験60点。予習・復習の証拠となる課題、レポート40点。計100点で評価する。						
履修条件・注意事項	毎回出席するのは当然のこと。私語・飲食厳禁。						
自己学習	予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについては返却する)。						
オフィスワ-	毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			①オリエンテーション ②環境と遺伝 ③誕生から青年へ ④生涯発達 ⑤パーソナリティ・性格・気質 ⑥パーソナリティ理論 ⑦モチベーション ⑧諸種の動機 ⑨知能 ⑩心理学における検査 ⑪脳と心 ⑫心の不調 ⑬適応の機制 ⑭ストレスの心理 ⑮健康心理 ⑯定期試験	説明 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治		
教科書 1	蘇りの心理学通論 著者:三宅俊治(著) 出版社:中央公論事業出版 ISBN:ISBNH978-89514-507-7 C3011						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子どもの心理発達			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-103
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	系統発生的な視点を取り入れながら、とくに子ども期に焦点を当て、ヒト・人間の発達・発生をとらえることをテーマとし、動物としてのヒト発達の特殊性や共通性を知り、発達心理学の幅広い知識を習得するとともに、心理学的な考え方を理解することを到達目標とする。						
概要	系統発生的な観点をふまえて、ヒトの特殊性を学ぶとともに、個体発生的な観点からは、胎児期から思春期に至る人間の行動や心的機能の発生、発達、成熟過程等の変化について学習する。また、人間のもつ諸機能の発達を相互関連的に理解し、それぞれの発達段階における発達の遅れやつまずきなどの問題についても学習する。 生涯発達の心理学を念頭に置きつつも、ここでは子どもの時期に焦点を当て、個々の心的機能・問題について多面的に概説していく。						
評価方法	小テスト(30%)、定期試験(70%)の結果に受講態度を勘案し総合的に評価する。つまり、テストで満点であっても受講態度が悪いと、不可ということもある。小テストは採点后、フィードバックとして返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	人間の発達の理解を深めるために真剣に学習に取り組むこと。 頻繁に、小テストを行うので、最低限、教科書の当該箇所は精読し、予習・復習を怠ることのないようつとめること。						
自己学習	予習:テキストの該当箇所の精読。(2時間) 復習:テキストとともに、講義中に配付する資料と返却された小テスト結果を中心に復習すること。(2時間)						
オフィスアワー	月曜4限 教員研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 発達における生物学的基盤 3. 胎児にできること 4. 新生児の見る世界、聴く世界 5. 発達初期の不思議 6. 母子相互作用を促進する仕組み 7. 愛着形成と親子関係 8. 愛着関係に影響する要因 9. 愛着剥奪の事例 10. 幼児期の認知発達 11. 遊びと認知発達 12. 遊びと仲間関係 13. ことばの前のことば 14. ことばの発達 15. まとめ 16. 試験 			講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井
教科書 1	乳幼児のこころ 著者:遠藤・佐久間・徳田・野田 出版社:有斐閣 ISBN:978-4-641-12429-5						
教科書 2							
参考書 1	幼児心理学への招待 [改訂版] 著者:内田伸子 出版社:サイエンス社 ISBN:978-4781911823						
参考書 2							

授業科目名	社会福祉			履修期	2021年度 春学期		
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-1-201
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	社会福祉の概要や現状と課題を理解することをテーマとし、下記を到達目標とする。 1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 2. 社会福祉の制度や実施体系について理解する。 3. 社会福祉の範囲や法体系について学ぶ。 4. 社会福祉の相談援助について理解する。 5. 社会福祉における利用者保護に関わる仕組みについて理解する。 6. 社会福祉の動向と課題について理解する。						
概要	少子高齢化社会の中で、保育者は子どもの保育や子ども家庭支援の役割を担っている。それらを果たするために必要な社会福祉の知識や技術について理解する。具体的には、社会福祉の制度や実施体系、社会福祉の範囲や法体系、相談援助の方法(ソーシャルワークの技術や方法)、利用者保護に関わる仕組みなどについて学ぶ。また、社会福祉の動向と課題についても理解する。身近な事例を用いて、討論する時間なども設けていきたい。						
評価方法	定期試験(評価基準6割)、課題(発表・提出物・レポート)(2割)、受講態度(2割)など総合的に判断する。課題に関しては、紙面によりコメントを返却し、講義の中でもフィードバックする。単位認定試験の後は、事前に配布する講義のまとめのプリントを見て内容を確認すること。						
履修条件・注意事項	欠席の場合、理由を書いた欠席届を提出してほしい。						
自己学習	授業計画に沿って、事前に教科書を読んで予習しておくこと。授業中に、疑問点や気づきをメモし、受講後調べておくこと。学習したことを整理して、ノートの左側などにキーワードを書き入れ、それを見出しとし説明ができるように復習すること。また、テレビや新聞などで報道される社会福祉に関する問題にも関連づけて考察し、ノート等にまとめておくこと。予習・復習は、毎回90分ずつおこなうこと。						
オフィスアワー	10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 社会福祉の理念と概念	講義	中野					
2. 子ども家庭福祉と社会福祉	講義	中野					
3. 社会福祉の道すじ	講義	中野					
4. 社会福祉の範囲と法体系	講義	中野					
5. 社会福祉行財政と実施機関	講義	中野					
6. 社会福祉施設と専門職	講義	中野					
7. 社会保障制度	講義	中野					
8. 社会福祉における利用者保護に関わる仕組み	講義	中野					
9. 社会福祉における相談援助(1)相談援助の意義と原則	講義	中野					
10. 社会福祉における相談援助(2)相談援助の方法と技術	講義	中野					
11. 社会福祉の動向と課題(1)障害のある人の福祉	講義	中野					
12. 社会福祉の動向と課題(2)高齢者の福祉	講義	中野					
13. 社会福祉の動向と課題(3)在宅福祉・地域福祉の推進	講義	中野					
14. 社会福祉の動向と課題(4)少子高齢化社会における子育て支援	講義	中野					
15. 社会福祉の動向と課題(5)諸外国の動向	講義	中野					
16. 単位認定試験	筆記試験	中野					
教科書 1	九訂『保育士をめざす人の社会福祉』 著者:相澤譲治他 出版社:(株)みらい ISBN:978-4860155377						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育の計画と評価				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-3-202
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、保育課程の編成に伴う基本的な理論と技法を理解することができる。保育における計画、実践、省察・評価、改善の過程について、全体構造とそれぞれの役割とその関係性について理解することができる。子どもにとって大切な遊びを中心とした保育カリキュラムについて、理論的な理解と子どもの発達を見通した保育のあり方、長期・短期の指導計画の意味とその実質的内容など、保育環境の構成にも考慮することで理解することができる。						
概要	保育の計画を立てる上で大切なこととは何か。また、計画、実践、省察・評価、改善におけるそれぞれの意味と役割の理解。保育内容の充実に伴い着目すべき点とその持つ意味。これらの内容について、その基本的内容と自らの理論を構築し、将来的に自らが立案する上での基礎を構築する。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育の計画を立てる上で、理解しておかなければならない基本的事項が多く含まれている。将来的に保育現場に必要な立案力には大切な内容となるため、予習・復習をしっかり行い、自らの計画、実践、省察・評価、改善の基礎を構築してください。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 保育の基本と計画-保育とは 2. 保育の基本と計画-保育を計画するとは 3. 指導計画の種類と役割 4. 保育における計画の考え方 -0, 1, 2歳児を中心に 5. 保育における計画の考え方 -3, 4, 5歳児を中心に 6. 小学校における計画との関係 7. 日案から週案の作成-幼稚園4歳児の場合 8. 日案から週案の作成-保育所3歳児の場合 9. 教育課程の見直し 10. 保育課程の見直し 11. 0, 1歳児の指導計画の実際 12. 2歳児の指導計画の実際 13. 3歳児の指導計画の実際 14. 4歳児の指導計画の実際 15. 5歳児の指導計画の実際 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀				
教科書 1	最新保育講座5 保育課程・教育課程総論 著者:柴崎正行・戸田雅美・増田まゆみ 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05733-7						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	子育て支援論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-1-203	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義は幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であるが、家庭や地域社会における子どもの育ちの保障をテーマとして、次世代育成支援や子ども家庭福祉の現状や課題について学ぶことにより、各種児童福祉施設や機関における子育て支援を担う保育者の専門性について理解することができる。							
概要	<p>今日の子どもを取り巻く生活環境の大きな変容の中で、家庭や地域における子育て力の低下により生じている様々な子育て問題について論じるとともに、各種の制度・政策による子育て支援プランについて概説し、子育て支援の役割を担う援助者に求められる専門性について考察する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 障がい児施設・児童養護施設の主任児童指導員、副園長として児童の発達支援および保護者に対する子育て支援を実践した。このような経験を踏まえ、保育者の専門性を活かした子育て家庭に対する支援の実践について実践例を交えた授業を行い、履修学生の理解を深めさせる。</p>							
評価方法	受講態度(40%)、課題レポート(60%)の結果を合わせて評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。							
履修条件・注意事項	子どもの権利保障や人権擁護、身近な自治体の取り組みなどにも関心を持ち、学びに積極的に取り組んでほしい。授業では教材資料を多数配布するので事前に目を通し(予習)、授業後は内容を整理し、以後の学習に活用すること(復習)。							
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 毎回配布する資料整理や自己検索資料収集等、アクティブラーニングの学修態度が肝要である。</p>							
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 子ども・子育てを取り巻く環境 子育て支援に求められること 子育て支援の思想と現実 子育て支援の基礎 子ども虐待とドメスティック・バイオレンス(DV) 子育て支援の内容と方法 子育て支援ネットワークの意義 保育制度の改革動向 子育て支援の事例 要養護児への支援例 被虐待児への支援例 不登校児への支援例 非行児への支援例 心身障害児への支援例 学習のまとめ レポート試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田	
教科書 1	初回講義時に授業用資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	子育て・子育て支援学 著者:寺見陽子編著 出版社:保育出版社(直販扱い) ISBN:978-4-938795-93-1							
参考書 2								

授業科目名	子ども文化論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-2-204
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「子どもの文化」を大きなテーマとして捉え、「子ども」に焦点をあて、子どもの持つ独自の文化を理解することができる。そのなかで、子ども本来の文化とはどのようなものであるのか、文化が子どもにどのような影響を与えたのかについて、自らの経験と照らし合わせながら考えて行くことができる。さらには、主にわが国における子ども文化の現状・課題について考えていき、保育者・教師としての資質・力量が備わっていくようにすることができる。						
概要	子ども文化について考えることで、自らの持つ子ども観をより大きくする。さらに、子どもに対する自身の想像と現実とのギャップに対応する知識と応用力を身につける。子ども文化を様々な視聴覚文化財の視点からとらえ、活用法とそれぞれの視聴覚文化財の持つ特徴を理解し、子どもとの間に存在する架け橋をより確かなものとして作り上げていく。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	授業態度・提出物・試験の結果から総合的に評価する。 提出物などについては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 授業態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育現場に現在も生かされている内容だと意識し、積極的に取り組むこと。 子どもとの関わりや子どもの成長に密接に関係がある内容となる。 そのためにも、予習・復習をしっかりと行い内容を理解し、身につけること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 子ども文化とはー児童文化との対比からー 3. 子ども文化の定義 4. お話1ー基礎と理論 5. お話2ー実践と配慮事項 6. 紙芝居1ー基礎と理論 7. 紙芝居2ー実践と配慮事項 8. パネルシアター1ー基礎と理論 9. パネルシアター2ー作成 10. パネルシアター3ー実践と考察 11. 絵本1ー基礎と理論 12. 絵本2ー実践と配慮事項 13. 絵本3ー理解と考察 14. 絵本4ーまとめ 15. 児童文化をめぐる諸問題とこれからの展望 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀					
教科書 1	明日の保育・教育に活かす 子ども文化 著者:田中卓也・藤井伊津子・橋爪けい子・小島千重子【編】 出版社:溪水社 ISBN:978-4-86327-284-2						
教科書 2							
参考書 1	児童文化と保育 こころ豊かな文化を育むために 著者:高橋 司 編 出版社:宮帯出版社 ISBN:978-4-900833-54-8						
参考書 2							

授業科目名	子ども家庭福祉				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-1-205
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「子ども家庭福祉の概要を理解し、これからの課題や展望について学ぶ」をテーマとする。 到達目標は以下の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 子ども家庭福祉の人権擁護について理解する。 3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 						
概要	<p>児童虐待や家庭内暴力(DV)、子どもの貧困、障害児問題、社会的養護など、児童家庭福祉の現状や課題を明らかにし、それに対応した制度や法体系、専門職について理解する。また、保育・教育・医療・療育などのネットワークの中で課題の解決を考察し、地域で子育て家庭を支える一員として実践できる保育士になれるよう指導したい。身近な話題を取り上げ討議する時間なども設けていきたい。</p>						
評価方法	<p>定期試験(評価基準6割)、課題(提出物・レポート)(2割)、受講態度(2割)など総合的に判断する。課題に関しては講義の中でフィードバックする。単位認定試験後は、授業の内容をまとめたプリント(授業期間に配布)にて内容を確認すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>新聞やニュース、参考文献などから、児童家庭福祉の問題に関する情報を収集しておくこと。</p>						
自己学習	<p>授業計画に沿って、事前に教科書を読んで予習しておくこと。授業中に、疑問点や気づきをメモしておき、受講後調べておくこと。学習したことを整理して、ノートの左側などにキーワードを書き入れ、それを見出しとし、説明ができるように復習すること。また、テレビや新聞などで報道される児童・家庭に関する問題とも関連づけて考察し、ノートにまとめておくこと。予習・復習は、毎回90分ずつおこなうこと。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども家庭福祉の理念と概念 2. 子ども家庭福祉の歴史 3. 現代社会と子ども家庭福祉 4. 子どもの人権擁護の歴史 5. 児童の権利に関する条約と子どもの人権擁護の現状と課題 6. 子ども家庭福祉の制度と法体系 7. 児童福祉施設及び子ども家庭福祉の専門職 8. 子ども虐待・DVとその防止 9. ひとり親家庭、貧困家庭等の子どもと支援 10. 障害のある子どもの現状と支援 11. 母子保健と子どもの健全育成 12. 少年非行等の現状と支援 13. 少子化と地域子育て支援 14. 多様な保育ニーズへの対応 15. 子ども家庭福祉の動向と展望 16. 単位認定試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野		
教科書 1	<p>保育士をめざす人の児童家庭福祉 著者:伊達悦子・辰巳 隆 編 出版社:みらい ISBN:978-4-86015-356-4</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	相談援助の理論と方法 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-206
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、ソーシャルワークの観方や援助方法の基本を知ることである。社会福祉の援助技術であるソーシャルワークの援助対象や援助観、援助方法などの基本的な知識を得ることができる。ソーシャルワーカーとしての望ましい価値、知識、技術を身につけることが目標である。						
概要	社会福祉援助技術の全般について講義する。援助活動の意義、専門職の援助活動、援助技術の理論、援助技術の体系、援助技術の展開過程などである。講義では、学生の理解を深めるために、具体的な事例や現在の援助技術の動向についてもふれる。また、学生による発表も実施する。						
評価方法	授業態度(10%)、提出物・発表(20%)、試験(70%)によって評価する。試験結果は点数と解答のコメントをフィードバックする。						
履修条件・注意事項	単位の取得には3分の2以上の出席が条件。参考文献による予習と授業後の復習を行うこと。						
自己学習	予習として、授業範囲について、参考文献を使い整理しておくこと。わからないところはまとめておくこと。この予習には90分以上費やすこと。 復習として、授業で学んだことをまとめること。適宜、宿題を出す。復習には90分以上費やすこと。						
オフィスワ-	毎週火曜日4限をオフィスアワーとしている。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 社会福祉援助技術を学ぶ意義 2. 相談援助の理論と方法(序論) 3. 社会福祉と社会福祉援助活動 4. 社会福祉サービスと社会福祉援助活動の関係 5. 社会福祉援助活動の基本的枠組み 6. ソーシャルワーカーと専門援助活動 7. ソーシャルワーカーの専門性の構造 8. 専門的な援助関係とコミュニケーション 9. ソーシャルワークの価値と倫理 10. 社会福祉援助技術の源流 11. 社会福祉援助技術の確立 12. 社会福祉援助技術の発展 13. 日本における社会福祉援助技術 14. 援助的コミュニケーション 15. ソーシャルワークの事例解説 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野				
教科書 1	授業では毎回レジュメを配布する。必要な文献はその都度紹介する。						
教科書 2							
参考書 1	相談援助の理論と方法 I 著者: 社会福祉士養成講座編集委員会編 出版社: 中央法規出版 ISBN: 978-4-8058-3254-7						
参考書 2							

授業科目名	相談援助の理論と方法Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-207
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、社会福祉の援助技術であるソーシャルワークの基本的な考え方や方法を知ることである。ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークなどの広範なソーシャルワークの方法について、適切なアセスメントができ、望ましい技術を身につけていくことができる。						
概要	社会福祉援助技術の全般について講義する。援助活動の意義、専門職の援助活動、援助技術の理論、援助技術の体系、援助技術の展開過程などである。講義では、学生の理解を深めるために、具体的な事例も取り上げる。						
評価方法	授業態度(10%)、提出物・発表(20%)、試験(70%)によって評価する。試験結果はその点数やコメントをフィードバックする。						
履修条件・注意事項	単位の取得には3分の2以上の出席が条件。参考文献による予習と授業後の復習を行うこと。						
自己学習	予習として、参考文献などを熟読しておくこと。わからないところはまとめておくこと。 復習として、授業で学んだことを整理しておくこと。適宜、宿題を出す。予習、復習には各90分以上を費やすこと。						
オフィスアワー	毎週火曜日4限をオフィスアワーとしている。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 社会福祉援助技術の理論の動向 2. 専門技術をめぐる日本と海外の動向 3. 社会福祉援助技術の共通概念 4. 社会福祉援助技術の体系 5. 社会福祉援助技術の構成内容 6. 個別援助技術の意義・定義 7. 集団援助技術の意義・定義 8. 地域援助技術の意義・定義 9. 社会福祉援助技術の基本原則 10. 個別援助技術の構造と機能 11. 集団援助技術の構造と機能 12. 集団援助技術の構造と機能 13. 社会福祉援助技術の記録と評価 14. マッピング技法とケーススタディ 15. ソーシャルワークのまとめ 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野
教科書 1	毎回レジュメを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	相談援助の理論と方法Ⅰ 著者:社会福祉士養成講座編集委員会編 出版社:中央法規出版 ISBN:978-4-8058-3254-7						
参考書 2							

授業科目名	健康・医療心理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	村上 勝典					NO.	PS-CE-1-210
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「人の健康に対する意識、及び意識や行動(健康関連行動、生活習慣など)が健康に及ぼす影響・効果を理解する」ことが授業のテーマである。 到達目標は、健康行動に関する基礎的な理論の理解と、生活習慣病の予防やストレスマネジメントについて理解できることである。						
概要	健康心理学についての基礎的な内容を紹介する。健康に関連する心理学的な知見、健康心理学で用いるアセスメントや、カウンセリングなどについて紹介する。また、健康心理学で用いられる心理テストの体験を取り入れておこなう。						
評価方法	テーマ「人の健康に対する意識、及び意識や行動(健康関連行動、生活習慣など)が健康に及ぼす影響・効果を検討する」の到達度について、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)と試験(60%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。						
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。						
自己学習	予習(2時間程度)として、次回の授業計画の内容について調べ、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。						
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 健康心理学とは 2. 健康行動に関する基礎理論 3. 動機づけ理論 4. 健康行動とその理論モデル 5. 健康問題に関する予防 6. ストレスとは 7. ストレスに関するモデル 8. ストレス対処 9. 疾病とパーソナリティ 10. ソーシャルサポート 11. アセスメント 12. 健康心理カウンセリング 13. チーム医療と役割 14. 医療領域の対象疾患と支援 15. 災害心理学 16. 期末試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上
教科書 1	プリントを配布する						
教科書 2							
参考書 1	健康・医療心理学 著者:宮脇稔・大野太郎・藤本豊・松野俊夫(編) 出版社:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-26577-2						
参考書 2							

授業科目名	保育の心理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-212	
配当学科	子ども発達教育				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p>							
概要	<p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p>							
評価方法	<p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p>							
自己学習	<p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p>							
オフィスワ-	月曜4限 教員研究室							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 発達を考える(1章) 3. 人・モノとの出会い(2章) 4. コミュニケーション・愛着(2章) 5. 遊び・好奇心・知識(3章) 6. 他者との関わり(3章) 7. 学校での学び(第4章) 8. 学びのつまずき(4章) 9. 学校のでの人間関係(5章) 10. 人間関係のつまずき(5章) 11. 青年期の発達課題(6章) 12. 職業と自己理解(6章) 13. 親としての発達(7章) 14. 発達理論と発達支援(8章) 15. まとめ 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井				
教科書 1	保育の心理学 I 著者: 無藤 隆・藤崎真知代 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-2738-9							
教科書 2								
参考書 1	エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者: 岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社: 新曜社 ISBN: 978-4-7885-0907-8							
参考書 2								

授業科目名	臨床心理学概論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-215	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「こころの問題の理解と援助」を学習のテーマとするが、本講を受講することにより、保育・教育・社会福祉の実践現場における発達相談や適応相談に必要な臨床心理学の基礎知識を習得し、対人援助実践力の向上に資することができる。							
概要	<p>医療の現場のみならず、学校や福祉施設などの様々な相談援助場面においても、臨床心理学に関する様々な知見は必要なものとなってきている。そこで本講では臨床心理学の基礎理論、パーソナリティ論、各種心理療法の基礎について論じ、臨床心理学の援助アプローチと医学的治療アプローチ、社会福祉の援助アプローチの相違について考察する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 障がい児施設や児童養護施設の主任児童指導員・副園長として相談援助の実践に従事した。このような経験を踏まえ、相談援助における各種の臨床心理学の援助アプローチの意義や課題、相談援助実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>							
評価方法	受講態度(40%)、課題レポート(60%)の結果により評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。							
履修条件・注意事項	講義時に資料を多数配布するので事前に目を通し(予習)、授業後はファイル等に整理しながら学習に活用してほしい(復習)。							
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>							
オフィスアワー	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 対人援助とは 様々な援助アプローチ こころの問題とは 適応と不適応について 子どもの発達障害について AD/HD、LD、PDD、PTSD等について 臨床心理学の歴史について パーソナリティの構造と機能について 精神分析について コンプレックスについて パーソナリティの発達理論について 心理アセスメントについて 各種心理検査の基礎について 各種心理療法の実際について 学習のまとめ 				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田
教科書 1	初回講義時に授業用資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	よくわかる臨床心理学 著者: 下山晴彦編著 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 4-623-03709-6							
参考書 2								

授業科目名	学習・言語心理学				履修期	2021年度 春学期	
担当者	土居 正人					NO.	PS-CE-3-216
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	【テーマ】学習による人の行動の科学的理論を理解することである。 【到達目標】心理学の基礎として、学習・行動理論の代表的な理論と応用方法を理解し、自らの必要性に応じて活用できる。						
概要	代表的な学習理論である、古典的条件付け・オペラント条件付け、社会的学習の基礎理論と応用について概説する。学習とは、「活動や訓練あるいは観察の結果として生じた永続的な行動の変容」と定義される。「行動」が条件付けによって獲得されることを理解し、様々な環境要因によって行動が生じることを学ぶ。特に、古典的条件づけとオペラント条件付けについては、具体的な例をあげて理解を深めていく。						
評価方法	単位認定試験(50%)で評価する。講義中の課題の取り組み状況により加点を行う(50%)。各回において小レポートの課題を出す。それに対するフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	授業内において課題を出す。また、授業の後半にレポート課題も出す予定である。全時間出席することを原則とする。						
自己学習	予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。プリント・ノートの当該箇所を予習しておくこと。プリントやノートを見ながら予習・復習(合計4時間)をし、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。						
オフィスアワー	月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.学習とは 3.学習心理学の歴史 4.古典的条件付け 5.古典的条件付けの手続き 6.ソーンダイクの試行錯誤学習 7.ケーラーの洞察学習 8.ワトソンの行動主義 9.オペラント条件付け 10.強化スケジュール 11.社会的学習理論:模倣学習 12.社会的学習理論:観察学習 13.応用行動分析:ABC分析 14.応用行動分析:行動記録 15.応用行動分析:強化の原理 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 認定試験	土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居				
教科書 1	プリント配布、板書を行う。						
教科書 2							
参考書 1	心理学 新版 著者:無藤隆、森敏昭 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN-10: 4641053863 ISBN-13: 978-4641053861						
参考書 2							

授業科目名	障害者・障害児心理学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤原 直子					NO.	PS-CE-3-217
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>授業テーマは、発達障害をはじめとするさまざまな障害の種類や特性を理解し、心理師として現場において支援する具体的な方法を学ぶことである。</p> <p>具体的には、さまざまな障害による制約や特性、個々に対応するためのアセスメント、支援方法等について、障害ごとに理解していく。</p> <p>「障害」とは何か、その種類、症状・特性、診断基準、支援方法等の知識を習得し、実際の心理臨床に生かすことを目標とする。</p>						
概要	<p>主に発達障害についてDVD視聴、テキストの輪読、講義、グループ演習を通して学んでいく。</p> <p>各テーマについて、適宜レポートや課題を課したり、グループ演習や討議によって理解を深めたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、心理師として障害児者に対する心理的支援の実務経験(小中高等学校におけるスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回指導・研修会講師、心理相談室における発達障害児のカウンセリング、保護者支援等)がある教員が担当する。障害児者の支援において必要な知識や技法を、実際の事例も紹介しながら教授していく。</p>						
評価方法	<p>授業への取り組みを重視し、定期的な小テストおよびレポート課題と最終試験を行い、総合的に評価する。</p> <p>成績評価は、おおむね、授業・演習態度10%、小テスト・レポート30%、最終試験60%とする。小テストや講義内の課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>レポートは、必ず提出期限までに提出すること。</p> <p>予習として、授業内容にあたる部分の教科書を熟読してくること。</p> <p>授業中に配布するプリント(ワークシート)を用いて、復習すること。</p>						
自己学習	<p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する(2時間以上)。</p> <p>②授業内で実施する小テストの結果をふまえ、未習得の部分を復習する。</p> <p>③授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う(レポート課題も含め2時間以上)。</p>						
オフィスワ-	研究室にて、毎週月曜日2限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. さまざまな障害の種類と特徴 3. 発達障害の診断 4. 発達障害支援における心理職の役割 5. 注意欠如・多動症の特性と診断 6. 注意欠如・多動症への支援と治療 7. 限局性学習症の特性と診断 8. 限局性学習症への支援 9. 自閉スペクトラム症のアセスメント 10. 包括的アセスメント 11. 自閉スペクトラム症(ASD)の理解と支援 12. ASDの行動の特徴 13. ASDの認知の特徴 14. ASDの家族への支援、ペアレント・トレーニング 15. 事例紹介、まとめ 16. 最終試験		講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原				
教科書 1	公認心理師のための「発達障害」講義 著者: 下山 晴彦・桑原 齊・田中 康雄・稲田 尚子・黒田 美保・宮川 純 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-3045-7						
教科書 2							
参考書 1	障害児者の理解と教育・支援 著者: 橋本 創一・菅野 敦・林安 紀子・大伴 潔・小林 巖・渡邊 貴裕・霜田 浩信・武田 鉄郎・千賀 愛・池田 一成 出版社: 金子書房 ISBN: 978-4-7608-2639-1						
参考書 2							

授業科目名	対人関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-219
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。						
概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。						
自己学習	1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9						
参考書 2							

授業科目名	社会的養護 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-220
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「児童の社会的養護」と「児童の自立支援」をテーマとして、施設養護における児童の権利保障や最善の利益について、その理念と実践を学ぶことを目標とするが、受講により社会的養護の現状と課題について理解できる。						
概要	<p>児童養護は児童本来の家庭における養護と児童福祉施設や機関などによる社会的養護の連携協力によって初めて全うされる。このことを踏まえて、社会的養護の中でも特に児童福祉施設による児童養護の考え及びその現状を詳細に論じると共に、養護上の基本原理とその実践について考察する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 児童養護施設の主任児童指導員・副園長として児童養護の実践に従事した。このような経験を踏まえ、今日の社会的養護の意義や体制上の課題、社会的養護実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無) (40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	保育士養成課程の必修科目であるので注意すること。受講前の予習や受講後の復習をしっかりと行い、主体的、積極的に参加してほしい。また、授業の中で各種のファイル資料を呈示するのでよく整理し、活用してほしい。						
自己学習	<p>1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 児童養護とは 2. 児童福祉の理念と児童養護 3. 家庭の機能と家庭養護 4. 社会的養護の意義 5. 社会的養護の体系と機能 6. 施設養護の意義 7. 施設養護の展開:児童の発達段階とのかかわり 8. 施設養護の展開:援助者の養育態度とのかかわり 9. 施設養護の展開:被虐待児への援助 10. 里親養護の実際 11. 地域における子育て支援の実際 12. 施設養護の歴史:日本における施設養護の歩み 13. 施設養護の歴史:西欧における施設養護の歩み 14. 施設養護の基本原理 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	社会的養護(第4版) 著者:小池由佳他編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-07656-7						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育原理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-1-301
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、保育に携わる上で基礎概念となる保育の原理を理解できると共に、より柔軟な保育理念を身に付けるための考察力を培うことができる。保育における歴史や思想を知ること、現在の保育に至る流れをより深く理解することができる。さらに、乳幼児期の子どもにおける発達を考察し、保育内容を考慮した上での計画の意義・重要性を知ることができる。保育者とは？この疑問に対して、自らの答えを見つけ出すことができる。						
概要	保育の基礎を構築することから、自らの保育観、子ども観、保育士観、保護者観が磨かれていく。そのためにも、概念・理念を知ることから始まり、歴史的思想を理解することで、今の保育思想を次につなぐものへ変える力をつける。毎回の講義の中で自らの保育に対する基礎作りを求める。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育の基盤作りという意識を持って取り組むこと。前述したように、保育の基礎・基盤を構築するために大切な授業です。予習・復習をしっかり行い、自らの保育観を作り上げてください。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 保育とは何か 2. 保育の基盤としての子ども観 3. 子ども理解から出発する保育 4. 子どもが育つ環境の理解 5. 保育内容・方法の原理-保育の基本と保育内容・方法 6. 保育内容・方法の原理-子どものための保育内容とは 7. 保育の計画と実践の原理 8. 保育における健康・安全の原理 9. 保育の歴史に何を学ぶか-歴史を振り返る 10. 保育の歴史に何を学ぶか - 西欧における集団保育施設の誕生と発展 11. 保育の歴史に何を学ぶか-わが国における集団保育施設の誕生と発展 12. 保育者に求められるもの 13. 現代の子育てと子育て支援 14. 保育の現状と課題 15. 「保育原理」の原理を問う 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀				
教科書 1	新しい保育講座1 保育原理 著者:渡邊英則・高嶋景子・大豆生田啓友・三谷大紀 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-08027-4						
教科書 2							
参考書 1	現代の保育学4 保育原理【第7版】 著者:待井和江 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	保育原理Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-1-302	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	現在保育現場において求められているものは多様化し、細分化されてきている。当然、保育者自身に求められるものも変わってきている。学生は、今保育者として求められているものとは何か？子どもたちにとっての保育者とは？保護者にとっての保育者とは？そのような疑問に対する答えを、役割と論理・制度的位置づけ・専門性などの面から自ら見つけ出すことのできる考察力と保育者観を身につけることができる。							
概要	幼稚園・保育所における保育者の役目や求められているものをしっかり理解することが大切となる。そのためにも理論に基づいた保育者の専門性に関する知識・基礎を理解する必要がある。そうすることで、個性のある魅力ある保育者、自分が保育者としてできることを自ら見つけ出すことができるようになる。ただ単なる知識の詰め込みではなく、自らが考える講義となるよう、投げかけに対する答えを見つけて出すことを求める。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。							
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)							
履修条件・注意事項	保育者となるために必要な知識はもちろん、保育者としての心構えや保育内容を考えるために必要な基盤であることを意識し、積極的に取り組むこと。保育者として身につけておかなければならない大切な内容であることを理解し、予習復習をしっかりと行うこと。							
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。							
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 「保育者になる」ということ 2. 魅力的な保育者とは 3. 保育者の一日一日のスタート～給食～ 4. 保育者の一日一給食～「保育者」という仕事～ 5. 子どもがわかる・育つということ 6. 子どもを読み解くということ 7. 子どもと一緒に心と体を動かす仕事(幼稚園の場合) 8. 子どもと一緒に心と体を動かす仕事(保育所の場合) 9. 絵本を通して豊かな生活を生み出す保育者 10. 子どもと豊かに生活するための保育者の個性 11. 保護者や家庭と一緒に歩む仕事 12. 学び合う保育者～保育者の成長～ 13. 学びあう保育者～「語り合い」・「学びあう」～ 14. 保育者の専門性とは 15. 専門性を高めるために 16. 試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀	
教科書 1	最新保育講座2 保育者論[第2版] 著者:汐見稔幸・大豆生田啓友 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-076-38-3							
教科書 2								
参考書 1	改訂 保育者論 著者:民秋言 編著 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-3211-8							
参考書 2								

授業科目名	保育原理Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-2-303
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	保育所における保育の基盤となる保育所保育指針は、とても重要であり十分に理解されるべきものである。この講義を通して、学生は保育所保育指針における全5章を深く理解し、保育制度の現状を学ぶことができる。さらに、現代の保育課題に対しての知識を高めることができる。						
概要	保育所保育指針を熟読し、しっかりと理解することがこの講義の内容すべてとなる。日本における保育の中心となす保育所保育指針の理解、さらにはその理解をベースとし、今後の保育観を作り上げる内容となる。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	授業態度・提出物・試験の結果から総合的に評価する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にする事。 授業態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育現場との共通知識だということを忘れずに、積極的に取り組むこと。 実際の子どもの成長を知る上でも、大切な内容となる。 そのためにも、予習・復習をしっかりと行い身につけること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 総則1 -保育所保育に関する基本原則(保育所の役割・保育の目標・保育の方法)		講義	秀				
2. 総則2 -保育所保育に関する基本原則(保育の環境・保育所の社会的責任)・養護に関する基本的事項		講義	秀				
3. 総則3 -保育の計画及び評価		講義	秀				
4. 総則4 -幼児教育を行う施設として共有すべき事項		講義	秀				
5. 保育の内容1 -乳児保育に係るねらい及び内容		講義	秀				
6. 保育の内容2 -1歳以上3歳未満児の保育に係るねらい及び内容(基本的事項・ねらい及び内容1)		講義	秀				
7. 保育の内容3 -1歳以上3歳未満児の保育に係るねらい及び内容(ねらい及び内容2・保育の実施に関わる配慮事項)		講義	秀				
8. 保育の内容4 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(基本的事項)		講義	秀				
9. 保育の内容5 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(ねらい及び内容)		講義	秀				
10. 保育の内容6 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(保育の実施に関わる配慮事項)		講義	秀				
11. 保育の内容7 -保育の実施に関して留意すべき事項		講義	秀				
12. 健康及び安全1 -子どもの健康支援・食育の推進		講義	秀				
13. 健康及び安全2 -環境及び衛生管理並びに安全管理・災害への備え		講義	秀				
14. 子育て支援		講義	秀				
15. 職員の資質向上		講義	秀				
16. 試験		筆記試験	秀				
教科書 1	平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 <原本> 著者:文部科学省、厚生労働省、内閣府 出版社:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-0258-0						
教科書 2							

参考書 1

適宜紹介する。

参考書 2

授業科目名	子どもの保健			履修期	2021年度 春学期		
担当者	西田 啓子					NO.	PS-CE-1-304
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 GW
テーマと到達目標	新生児から児童までの正常な発達と発育を理解し、乳幼児期、児童期に重要な専門家のかかわりを学修する。						
概要	教科書「子どもの保健」をテキストとし、テキストに沿って子どもの保健の意義、子どもの理解、正常な子どもの生理的変化、感染症、ワクチン接種について、アレルギー、免疫などについて、視聴覚教材やGWなどを取り入れて、学修する。毎回講義の初めには、前回の講義についての確認を行う。						
評価方法	授業出席日数、授業態度、試験などを含め、総合的に評価判定する。						
履修条件・注意事項	教科書を必ず購入する。資料が多いので、ファイリングできるように準備しておく。授業態度は積極的且つ、真摯であること。						
自己学習	毎週、予習復習を行い、自ら質問ができるようにしておく。						
オフィスワ-	毎週水曜日						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 子どもの保健とは 2. 身体の成長と発達 3. 成長と発達 4. 子どもの生理機能と発達 5. 睡眠とは 6. 子どもの栄養・離乳食 7. 子どもの生活と健康 8. 子どもの事故と予防 9. 遺伝とは 10. 子どもの症状 11. 感染症 12. アレルギーと免疫	講義 DVD学修	西田啓子					
教科書 1	子どもの保健 改定第3版 著者:渡辺 博 出版社:中山書店 ISBN:978-4-521-74487-2						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子どもの健康と安全				履修期	2021年度 春学期	
担当者	西田 啓子					NO.	PS-CE-2-305
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・演習 実習・DVD
テーマと到達目標	「子どもの保健 I A」および、「子どもの保健」で学んだ基礎知識をもとに、実際の子どもたちへのかかわり方や、体調不良時への対応、応急処置など、実技や演習を中心に実際的なスキルを身につける						
概要	子どもの健康管理、日常生活の援助方法、体調不良時や緊急時の対応など、演習を通じて実際に行う。また、発達や応急処置に関しては動画やDVD視聴を通じてイメージできるように学修する。						
評価方法	授業態度を最も重視する。出席日数、実習中の態度、試験は実技試験とし、総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	教科書を購入すること。資料が多くなるので、ファイルができるよう準備しておく。実技洋中心になるので、まじめな態度で臨むこと。						
自己学習	毎回の復習、予習を怠らない。質問ができるくらいの準備をして講義に臨むこと。						
オフィスワ-	毎週水曜日						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 子どもの健康と保育環境 演習に臨む姿勢 2. 衛生管理・事故防止・ 危機管理・災害への備え 3. 体調不良時への対応 4. 子どもと感染症 5. 緊急処置とエビペン実習 6. 保育における保健対応の基本 7. 健康および安全管理の実施体制 保健活動の計画と評価 保健だよりの作成 8. 活動計画の評価と発表		1. 講義 2. DVD・ 講義 3. 講義 4. 講義 スライド 5. 外部講師 6. 実技 7. GW	1~4・6~7 西田啓子 5. 外部講師				
教科書 1	これだけはおさえたい 保育者のための 子どもの健康と安全 著者:渡辺 博 出版社:中山書店 ISBN: 978-4-521-74487-2						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	乳児保育 I			履修期	2021年度 春学期	
担当者	加藤 寿美子				NO.	PS-CE-2-308
配当学科	子ども発達教育			年次	2	
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	子どもの発達理解・子どもや保護者への援助のあり方,子どもの生命の尊さ,命を育むことの意義を学び温かな人間性と諸科学の理論に裏づけられた保育実践力を身につけることを到達目標とする。					
概要	<p>わずか半世紀前までは,出生直後の子どもはまだ目も見えず耳も聞こえない状態であると思われていた。そして,この無能状態の子どもだから大人が世話をしなければいけないとの説明がされていた。</p> <p>しかし,その後の様々な研究により,出生時にはすでに五感の発達が進んでいること,また,自ら移動したりすることはできなくとも,泣く微笑むなどの行為が周りの人に働きかける大きな力となり,子どもと大人の相互の関わりとしての生活が展開していることも理解されるようになってきた。</p> <p>子どもが保育所,幼稚園などで保育者と出会うのは,出生からいくらかの年月を経てからのことであるが,どの子どもも,それまでの発達の過程をたどり,それぞれの個人差を含みながらではあるが,月齢,年齢相応の段階に進んでいるのである。子どもの発達に寄り添う保育者は,子どもの発達の過程を十分理解し,育ちゆく子どもの姿に関心を寄せ,そこにふさわしい関わり方のできる人であってほしい。そのような保育者と子どもとの相互の関わりこそが「乳児保育」である。その中で学びを深めることを重点に扱うことを目標にしています。</p>					
評価方法	授業への積極的参加態度(40%)知識の修得度を確認するための試験(40%)自ら調べまとめる能力を確認するための課題レポート(20%)で評価する。					
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するのでファイルを用意する。					
自己学習	1)事前に課題を出しそれについて調べてきたことを元にして授業を行うので予習が必須である。 2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。					
オフィスワ-	授業終了後,教室において実施する。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. 乳児保育とは 2. 保育園における乳児保育 3. 満1歳児未満の保育(生後6カ月未満) 4. おおむね6カ月から1歳未満 5. 満1歳児の保育 6. 満1歳児の生活・遊びの援助・環境の工夫 7. 満2歳児の保育 8. 乳児保育の環境 9. 保育所保育指針に見る保育の環境 10. 乳児保育における保健活動 11. 病気と対策・薬・事故防止と安全対策 12. 保育の計画 13. 乳児保育と連携(保育所・保護者・地域) 14. 保育所における子育て支援 15. 乳児保育の未来 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤				
教科書 1	テキスト:やさしい「乳児保育」【改訂版】 著者:神蔵 幸子・金 允貞編著 出版社:(株)青踏社 出版年:2019年 3月23日 ISBN:978-4-902636-17-8					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	障害児保育Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	池本 貞子					NO.	PS-CE-2-312
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>近年、様々な障害を抱える子どもたちが、保育所や幼稚園で地域の子もたちと一緒に生活をする「統合保育」が進んでいる。地域の中で共に生活することは、専門機関による療育・訓練とは違った意味で障害の改善に繋がることは明らかであり、その支援が「保育」の任務である。また、障害を持つ子どもとともに保育を受ける事が障害を持たない子どもたちの発達にも大きな影響を与えている。</p> <p>本講義では、①障害児保育の入り口として、障害の特徴、障害児保育の概念について理解した上で、「統合保育」について考える。②障害別の保育方法について理解して上で、保育所・幼稚園における保育計画について実践的に学ぶ。③関係機関との連携について理解する。</p>						
概要	<p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「統合保育」の仕組みと障害の特性について理解する。 2. 個別指導計画の作成とケースカンファレンスについて実践的に学ぶ。 3. 関係機関との連携について学ぶ。 4. 保護者との連携について考える。 <p>上記の内容を中心に、養護教諭の経験を基に講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>この科目では、障害の定義、障害の特徴についての理解、個別指導計画の作成などを目標としていることから、知識の習得状況を確認する試験、受講態度、グループワークの参加状況等により総合的に評価する。</p> <p>評価基準は、試験(60%)、受講態度(20%)、グループワークへの関わり(20%)で評価する。</p> <p>なお、教科書の他に配布する参考資料については、授業の中でフィードバックするので試験までに見直しておく。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に対する姿勢について、目的意識を持って積極的に取り組むことを望む。</p> <p>障害児理解を深めるために、日ごろから関心を持ち予習・復習を心がける。</p>						
自己学習	<p>日頃から子どもの健康問題などに興味・関心を持ち、予習として教科書・新聞・雑誌をよく読んで理解し、疑問点・質問事項はまとめておく。復習は講義内容をノートに整理し振り返りをする。予習および復習には2時間程度が望ましい。</p>						
オフィスワ-	<p>授業終了後、意見また質問について対応する。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 障害児とは 3. 発達の遅れについて 4. 知的障害とその支援 5. 発達障害とその支援 6. 視覚・聴覚障害とその支援 7. 言語障害とその支援 8. 運動障害とその支援 9. 統合保育の意義と仕組み 10. 統合保育の実際 11. 個別指導計画の重要性 12. 個別指導計画の作成 13. 関係機関との連携 14. 保護者との連携 15. 就学に向けて 16. 試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本					
教科書 1	<p>幼稚園・保育所の先生のための障害児保育テキスト 新訂版 著者:若井淳二・水野薫・酒井幸子 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-80347-0</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	社会的養護Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-314
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「各種児童福祉施設における子どもたちの日常生活の理解」と「施設児童の心身の成長発達援助」の理解をテーマとするが、受講により児童ケアワーカー(保育士)に必要な児童養護の専門知識、技能、倫理を習得することができる。						
概要	<p>養護内容の実践の場である児童福祉施設のうち、本講では特に居住型施設を中心に、児童養護の体系や各種児童福祉施設の概要、施設生活の内容、各種専門職の役割等について、受講生自らの研究発表を通じて学ぶ。また、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの各段階での養護内容の実践について事例を通じて学ぶ。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 児童養護施設の主任児童指導員・副園長として児童養護の実践に従事した。このような経験を踏まえ、今日の社会的養護の内容や課題、社会的養護実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>						
評価方法	受講態度(20%)、個別またはグループ発表(30%)、課題レポート(50%)により評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	保育士養成課程履修学生のみ受講となるので注意すること。受講に際しては事前の学習(予習)と事後学習(復習)をしっかりと行うこと。						
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>						
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 施設養護の意義と特質 施設養護の実際 施設養護の内容(1)乳児院 施設養護の内容(2)児童養護施設 施設養護の内容(3)母子生活支援施設 施設養護の内容(4)児童自立支援施設 施設養護の内容(5)情緒障害児短期治療施設 施設養護の内容(6)知的障害児施設 施設養護の内容(7)自閉症児施設 施設養護の内容(8)肢体不自由児施設 施設養護の内容(9)重症心身障害児施設 施設養護の内容(10)里親養護 ビデオ視聴による養護内容の理解 施設養護内容の課題 学習のまとめ 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田
教科書 1	社会的養護(春期・社会的養護で使用するテキストと同一) 著者:小池由佳他編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07656-7						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育内容指導(健康)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	柴倉 初美					NO.	PS-CE-2-315
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な幼児期における、運動、生活習慣は、体格、運動能力の発達はもとより、心身の病気に対する抵抗力などの防衛体力、さらには、安全という視点からも大きな影響を及ぼす。こうした健康という保育内容の歴史的・概括的枠組みから、その具体的留意点までを理解できるようにする。 保育現場での運動指導の計画策定、指導案の作成、指導技術の習得ができる。						
概要	子どもにおける健康・安全についての知識を、運動指導、発育発達や、安全への配慮などの視点から学習する。また、机上の学習だけにとどまらずに、運動指導の計画立案・実施法を実際にできるようにするための実習や模擬保育、情報機器及び教材を活用した応急処置などの実技講習を行うなどして理解を深める。						
評価方法	受講態度(30%)、指導案(25%)、中間振り返り(20%)、レポート課題(15%)、ポートフォリオ(10%)により総合的に評価する。中間試験及びレポート課題はその都度フィードバックを行うため、講義終了後までに内容に関して把握しておくこと。						
履修条件・注意事項	実習的内容も含むため、あらかじめ次回の内容をよく確認し、予習、復習、準備物の確認等を怠らないこと。						
自己学習	事前の自己学修として、各回の内容に関して、教科書・保育所保育指針・幼稚園教育要領を読み込み理解するとともに、図書館の文献及びwebサイト等を参考にし、乳児期・幼児期の発達段階やそれに応じた運動について理解を深めること。 事後の自己学修として、講義で理解が足りなかった部分について、図書館の文献及びwebサイト等を参考にまとめておこなう。いずれも、1日あたり2時間程度を目安とする。						
オフィスワ-	授業後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:オリエンテーション(授業の進め方・評価の方法)		演習					
第2回:領域「健康」のねらいと内容		演習					
第3回:子どもの身体の発達		演習					
第4回:子どもの運動の発達		演習					
第5回:安全と健康		演習					
第6回:心の発達と健康		演習					
第7回:遊びと健康その1(ボール遊び、用具を使った運動遊び)・教材研究		演習					
第8回:遊びと健康その2(サーキット遊び)・教材研究		演習					
第9回:遊びと健康その3(まねっこ遊び、じゃんけん遊び、伝承遊び)・教材研究		演習					
第10回:交流体験活動(運動遊び)		演習					
第11回:応急処置の実際について(情報機器及び教材の活用)		演習					
第12回:幼児期の運動発達の時代変化について		演習					
第13回:運動遊びと保育者の関わりについて		演習					
第14回:運動遊びの指導案の作成		演習					
第15回:運動遊びの振り返り		演習					
教科書 1	演習 保育内容 健康 著者:河邊貴子 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-5099-0						
教科書 2							
参考書 1	保育所保育指針解説 著者:厚生労働省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814482						
参考書 2	幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814475						

授業科目名	保育内容指導(人間関係)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-2-316
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p><乳幼児が人と関わる力を身につけていくために保育者にもとめられる力とは何かを考える> 乳幼児が他の人々と親しみ、支え合って生活できるようになるために、保育に求められることは何かを理解する。 そのためには保育内容の領域「人間関係」について理解すると共に、乳児との応答関係が形成されるための、保育者の関わり方や環境作りの重要性について理解する。そして、乳幼児が人と関わる力を身につけていくための現代的課題についても理解する。</p>						
概要	<p>1. 幼稚園教育要領の保育内容「領域(人間関係)」、保育所保育指針の保育内容「領域(人間関係)」について解説書を読み合ったりディスカッションしたりすることから理解する。 2. 情報機器及び教材の活用を通じて保育の実践例に触れながら、話し合いやロールプレイングを通して模擬保育を実施し、乳幼児が人と関わる力をいかに身につけていくかを探る。 3. 実践記録を見たり、ディスカッションやテキストを読み合ったりしながら、領域「人間関係」と保育実践との関係について考察する。 4. 話し合いや触れ合い遊びを体験しつつ教材研究を行い、乳幼児期の発達に寄り添った関わり方を学ぶとともに指導案の作成を行う。</p>						
評価方法	<p>保育において人と関わる力を育成するためには、保育者自身の人との関わり方が大きく影響する。したがって、授業においても学生自らが人間関係力を深めていこうとする姿勢で授業に参加していることが大切と考える。そのため、授業への参加態度や課題への取り組みを重視する。したがって、試験(50%)、課題提出と発表および授業への参加態度(50%)により評価する。課題や発表は評価し授業でフィードバックするので、予習復習や試験に活かすこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業以外に日常生活においても、人と関わる力を豊かにしていくよう心がけて、生活していただきたい。 また、生活の中で、子どもや子どもを取り巻く社会のありように関心をもって、観察したり触れたりして、子どもについての情報を収集することが授業にのぞむ事前学修となる。 保育は保育者のかもし出す雰囲気が大きく影響する。それぞれがよりよい個性的な雰囲気を創ることができるよう、一人一人が保育を学ぶ者であるという自覚と、他者への思いやりをもって学びを深めていってほしい。</p>						
自己学習	<p>・普段の生活の中で、子どもや親子、子ども用品等、子どもや子どもを取り巻く環境に関心を持ち、発達の過程のどの状況にあるかを調べたり触れたりする。そして、子どもの発達や状況について理解を深めること。 ・触れあい遊び(わらべ歌・手遊び・ゲーム等)をお互いに教え合いながら、乳幼児期の発達を促す遊びのポケットを増やすこと。 ・自分の子どもの頃のことなど家族と会話をし、家族とともに自分自身への理解を深め、いろいろな人との繋がりを改めて感じたり、自分自身の存在について大切に思えるようになること。 以上の事前・事後学修には1コマ2時間以上必要である。</p>						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週月曜日5限、水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育内容の領域「人間関係」とは 2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針にみる領域「人間関係」 3. 領域「人間関係」の「ねらい・内容」と10の姿(情報機器及び教材の活用) 4. 乳幼児期の人と関わる力が育つ道筋と保育方法 5. 幼児期前期の人と関わる力が育つ道筋と保育方法 6. 幼児期後期の人と関わる力が育つ道筋と保育方法 7. 保育実践記録から探る主体的な遊び 8. 保育実践記録から探る信頼関係の形成 9. 保育実践記録から探る道徳性・規範意識の芽生え 10. わらべうたのカーわらべ歌の心地よさと触れ合いの広がり 11. 昔話にみる生きる力ー昔話の分析ー 12. 伝承遊びを通して生まれる人と繋がる力ー体験を思い出し伝える力にするー 13. 保育における年中行事の意義ー子どもの成長と伝承文化における体験ー(教材研究) 14. 人と関わる力を育むための保育における指導案の作成と模擬保育 15. 人と関わる力の育成に向けて保育に求められる課題 16. 定期試験 	講義 講義 講義 講義 講義 ディスカッション ディスカッション ディスカッション ディスカッション ディスカッション 演習 演習 実習 実習 ディスカッション 筆記試験	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井		
教科書 1	『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』 著者: 文部科学省 出版社: フレーベル館 ISBN: 978-4-577-81447-5						
教科書 2	『保育所保育指針解説 平成30年3月』 著者: 厚生労働省						

出版社:フレーベル館
ISBN:978-4-577-81448-2

参考書 1

適宜指示する

参考書 2

授業科目名	保育内容指導(環境)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-2-317
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	単独
テーマと到達目標	<p><テーマ> 幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された保育内容(環境)領域の「ねらい及び内容」について環境領域と関連させて理解を深め、幼児発達に即して、主体的・対話的で学びが実現する過程を踏まえ具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることを基本とする。</p> <p><到達目標> 1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域(環境)の「ねらい及び内容」並びに全体構造を理解できる。 2) 領域(環境)の「ねらい及び内容」を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解できる。 3) 領域(環境)において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科などとのつながりを理解できる。以上を到達目標とする。</p>						
概要	<p>本授業は、子どもの幼児期においてかかわる身近な環境(自然環境、物的環境、人的環境、社会環境)とのかかわりによる人間形成の基礎を築くための意義について具体的な事例の考察により理解する。加えて保育内容(環境)の指導現場に欠かせない環境構成のあり方指導案作成なども含めた基礎理論を学び、次の実践的な保育指導法につながる基礎力を修得する。授業は教科書、視聴覚機材を活用したり、実際に自然観察や社会資源の調査をしたりしながら保育における領域「環境」への理解を深めていく。授業方法は、主には質疑応答、レポート発表・討論等の参加型学習を中心にするため、自己学習(予習・復習を各2時間程度)を充実させて授業に臨むことが必要となる。</p>						
評価方法	<p>授業は、教科書、参考書、配布資料、体験、調査等で進められ、発表や質疑応答の参加型学習方式で行われ、各自またはグループでの討論における発言頻度、その内容など授業への積極的参加度(40%)を重視し、筆記試験による知識修得度(40%)並びに課題レポート発表・討論など(20%)で総合評価する。なお、評価のために実施した課題やレポート等はフィードバックするので毎回見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>初回から筆記用具を必ず持参し、毎回配布される参考資料をファイルにまとめ、自習した資料も加えた「マイノート」として整理し、討論や演習の際に持参して授業の参加度を上げること。</p>						
自己学習	<p>1. 授業では講義の他に、事前に提示された課題に対して調べたことを材料に討論、演習を取り入れた参加型学習方式で進められるので、個人、グループ発表準備などが必須である。 2. 毎回配布資料があるのでファイルして、自習したものを加えた「マイノート」として整理し、復習を行うこと。 3. 期末試験(筆記試験)が実施され、出席のみの単位取得はできない。また、予習・復習(各2時間程度)を必ず行うこと。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<p>1. 幼児教育の意味と領域「環境」のとらえ方 2. 「環境」の指導目標とねらい及び留意点 3. 幼児の発達と環境とのかかわりの「ねらいと内容」 4. 環境の構成と再構成のあり方の「ねらいと内容」 5. 保育「環境」の指導案作成の「ねらいと内容」 6. 動物とのかかわりの「ねらいと内容」 7. 植物とのかかわりの「ねらいと内容」 8. 物的環境とのかかわりの「ねらいと内容」 9. 自然事象とのかかわりの「ねらいと内容」 10. 数量やずけいとのかかわりの「ねらいと内容」 11. 地域とのかかわりの「ねらいと内容」 12. 情報機器および教材とのかかわりの考察 13. 他の領域や小学校教育とのかかわりの意義 14. 子どもの環境へのかかわりと保育者の役割 15. 総括 16. 定期試験(筆記試験)</p>			<p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 実習 講義 講義 GW GW ディスカッション 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p>
教科書 1	<p>保育内容 環境 (第3版) 著者:編著:榎沢良彦・入江礼子 出版社:建帛社 ISBN:ISBN978-4-7679-5082-2</p>						
教科書 2							

参考書 1	コンパス 保育内容 環境 著者:編著:高橋貴志・目良秋子 共著:青木聡子 他 出版社:建帛社 ISBN:ISBN978-4-7679-5062-4
参考書 2	子どもと環境(理論編) 著者:監修:小田 豊 編者:奥井智久、芦田 宏 出版社:三晃書房 ISBN:ISBN978-4-7830-8002-2

授業科目名	保育内容指導(言葉)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小坂田 佐弓				NO.	PS-CE-2-318	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:子どもの言葉の発達と獲得について理解し、絵本などを教材として保育を構想する方法を身に付けることができる。</p> <p>到達目標:①幼稚園教育要領の領域「言葉」のねらい及び内容について理解している。 ②子どもの言葉の発達と獲得について理解し、子どもが言葉を獲得するために、保育者として援助する能力及び言葉の発達に即した環境を構成する能力を身につけている。 ③言葉の発達を、発達していく過程にある子どもの全体像の中で評価することができる。 ④生活体験の中で培われた言葉の力が、小学校の国語科学習につながっていくことを理解している。</p>						
概要	<p>まず領域「言葉」のねらいと内容を学び、子どものコミュニケーションとしての言葉について考える。次いで子どもが発達段階において言葉をどのように獲得していくのか学習する。その上で、子どもが安心して表現したり、興味や関心をもって聞いたり、イメージ豊かに考えたりできる力を育てるために指導案を作成し、模擬保育を通じて保育者がどのように援助・指導すべきか理解する。また情報機器及び教材を活用して、言葉を育てる文化財や遊びについて討論したり実演したりして、言葉による伝え合いの楽しさ・喜びを知る。こうした中から培われた言葉の力が、国語科学習へとつながっていくことを理解する。</p>						
評価方法	<p>この科目では、子どもの言葉の発達と獲得について理解し、保育者として保育を構想する方法を身に付けることを目的としていることから、知識および能力の修得状況を計るため、定期試験結果や実習、授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、絵本の読み聞かせや紙芝居の上演実習(30%)、ディスカッションにおける発言頻度・発言内容、および授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、授業終了時や実習時に提出してもらったコメントカードについてはフィードバックを行うので、単位認定試験までに確認しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回の授業におけるディスカッションなどに主体的に参加・発表できるように、予習として授業計画に記載されていることについて調べ学習を行っていただくこと。絵本などを紹介することが多いので、見やすいよう教室のなるべく前の方に座ること。</p>						
自己学習	<p>ディスカッションの内容、講義で取り上げた児童文化財の内容や感想についてノートをまとめ、復習を行っておくこと。予習および復習には各1時間程度を要する。絵本の読み聞かせや紙芝居の上演実習を行うので、自らの演じる物を選び練習しておくこと。</p>						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.概論:保育内容「言葉」に関する領域 2.子どもの言葉:言葉の教育のねらい 3.子どもの言葉:言葉の機能 4.子どもの言葉:発達と獲得(出生から生後8、9か月) 5.子どもの言葉:発達と獲得(生後8、9か月から2歳) 6.子どもの言葉:発達と獲得(3歳から6歳) 7.子どもの生活と言葉:言葉を聞くこと・わかること 8.子どもの生活と言葉:言葉で表現すること 9.子どもの生活と言葉:言葉で考えること 10.言葉と環境:人との関わり 11.言葉と環境:社会環境との関わり 12.言葉と環境:文化財との関わり(絵本)[読み聞かせ] 13.言葉と環境:文化財との関わり(童話・紙芝居)[上演] 14.言葉と環境:文化財との関わり(人形劇) 15.言葉遊びの楽しさ 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 ディスカッション ディスカッション 実習 実習 講義 実習 筆記試験	小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田		
教科書 1	使用しない(必要に応じて資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1	最新保育講座保育内容「言葉」 著者:柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78E+12						
参考書 2	幼稚園教育要領解説(最新版), 保育所保育指針解説書						

授業科目名	保育内容指導(表現)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊、佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-2-319
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「子どもの表現活動の理解および造形・音楽表現の技法と技術」をテーマとする。前半の造形表現では、環境づくりの課題として「子ども参加の空間デザイン」をテーマに壁面空間のグループ製作を通して保育内容の指導に必要な造形表現力を養う。後半の音楽表現では、音・音楽による表現方法の学習を通して、作品作りや表現ができる。						
概要	「子どもの表現活動の理解および造形・音楽表現の技法と技術」「実際の保育現場において適切な援助および指導ができる能力」の習得を行うために、教材研究、情報機器及び教材の活用、指導案作成、模擬保育を実施する。						
評価方法	模擬保育(題材の理解とねらい、指導・援助の確かさなど)(50点)、および授業に取り組む姿勢(事前準備と自己学習、かたづけ、提出物)(50点)によって評価する。 講義内で適宜フィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	必要な教材は用意するが、特に指示されたものは必ず準備して授業に臨むこと。指示された準備(予習)をして授業に望むこと。また、授業内容を記録(復習)すること。						
自己学習	造形表現では、事前の学修として、普段から様々な環境整備(お店のショウウィンドウや公共施設の子ども室などの室内構成、壁面装飾)を観察し、どんな工夫や意図があるかに触れること。事後の学修として、講義で理解できなかった知識や技能について自宅学修を行うこと。いずれも、2時間を学修時間の目安とする。 音楽表現では、事前の学修として、普段から身の回りの様々な音や音楽に触れ、感性を磨いておくこと。事後の学修として、講義で理解できなかった知識や技能について自宅学修を行うこと。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回:オリエンテーション 第2回:「子ども参加の空間デザイン」について・情報機器及び教材の活用 第3回:グループ分け、教材研究 第4回:指導案作成 第5回:準備制作 第6回:模擬保育 第7回:模擬保育 第8回:模擬保育ふりかえり 第9回:感性と表現 第10回:身体と音楽表現 第11回:身の回りのものと音楽表現 第12回:楽器と音楽表現 第13回:子どもと一緒にできる音遊び1 詩に音をつける 第14回:子どもと一緒にできる音遊び 2CDの音楽と手作り楽器によるアンサンブル 第15回:作品発表・模擬保育	講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習	上田・佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田		
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者:榎 英子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-295-3						
教科書 2	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者:全国大学音楽教育学会中四国地区学会編著 出版社:音楽之友社 ISBN:4-276-31274-4						
参考書 1	幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5						
参考書 2	保育所保育指針解説 著者:厚生労働省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814482						

授業科目名	保育内容指導(保育内容総論)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-2-320
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	学生は、保育内容を総合的に学び、保育現場において展開される園生活や保育者の位置づけを考えることができる。乳幼児期における1年の違いをしっかりと理解し、発達基準として子どもの成長を理解することができる。また、実際に指導計画を立案し、グループディスカッションをすることで指導案の重要性を認識することができる。						
概要	保育内容において様々な知識・経験を積み中で、その総合的理解を求める内容となる。絵本や手遊びといった、情報機器及び教材の活用法などを含む専門的知識をいかにして実際の保育現場に盛り込んでいくのか、発達段階にあった計画とはどういうものなのか、などのより実践的内容を認識し、得た知識を活かす方法を学んでいく。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	授業態度、提出物、課題発表から総合的に評価する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にする事。 成績評価基準:授業態度(10%)、提出物(60%)、課題発表(30%)						
履修条件・注意事項	保育実習前の大切な講義であることを忘れず、意欲的に取り組みこと。 また、予習・復習をしっかり行い、乳幼児の発達段階を理解するようにしてください。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 生涯発達と保育内容 保育の一日と内容 乳児・低年齢児の園生活と保育内容及び情報機器の活用 3歳児の園生活と保育内容 4歳児の園生活と保育内容 5歳児の園生活と保育内容 特別支援としての保育内容 園生活から学ぶ生きる力 環境と関わる遊びの生活 保育内容の計画と教材研究 グループ別指導案作成計画の発表1—模擬保育1 グループ別指導案作成計画の発表2—模擬保育2 グループ別指導案作成計画の発表3—模擬保育3 グループ別指導案作成計画の発表4—模擬保育4 グループ別指導案作成計画の発表5—模擬保育5 および まとめ 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL AL AL	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀		
教科書 1	MINERVA保育実践学講座4 保育内容総論 著者:田中亨胤・名須川知子 編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-04600-1						
教科書 2							
参考書 1	平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 <原本> 著者:文部科学省、厚生労働省、内閣 出版社:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-0258-0						
参考書 2							

授業科目名	基礎技能(音楽A)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-1-321
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマは「子どもの豊かな音楽活動を援助する知識・技術」の習得。指導者は、保育や幼・小学校教育現場における子どもの音楽活動が実践できなくてはならない。そのために必要な音楽的な知識・技能の習得を目指す。本講座では、①歌唱表現の基礎となる呼吸法、発声法、ソルフェージュ練習により、子どもの歌が素歌で歌える、②ピアノ演奏の基本である5指を中心にした初級曲の演奏ができる、③主要三和音(I、IV、V)のカデンツが正しい運指で弾ける、④簡易楽器の演奏と取り扱いができる。						
概要	授業は個人レッスンとクラス授業の二形態で行う。個人レッスンでは、ピアノの基本的な奏法を習得する。また、クラス授業では、呼吸法、発声法、ソルフェージュ練習、鍵盤楽器によるカデンツ演奏、楽典の学習を行う。						
評価方法	平素の学習態度と期末試験(実技・筆記)により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、平素の課題への取り組み(30%)、授業参加態度(20%)。平素の取り組みでは課題を実施し、結果は一人ひとり簡単な解説を付す形でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	初回、各自のピアノ演奏力が担当者に分かるように、一曲用意してくること。授業は、ピアノ個人レッスンと歌唱法その他グループ演習(クラス授業形態)を組み合わせる。グループ分けは初回に発表する。ピアノ、唱歌とも予習する。レッスンで○(丸)をもらった曲はいつでも弾けるように復習を重ねること。						
自己学習	予習として、前回の授業で課された課題曲について、譜読みを行い、歌唱及びピアノ演奏練習を、1週間十分復習しておくことが必要不可欠である。難しい、また、分からないところはまとめておくこと。復習として、「○」をもらった曲は、いつでも歌える(弾ける)ように、日々練習を怠らないこと。予習及び復習は、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. ピアノ奏法、ソルフェ 予備知識 2. ピアノ奏法、楽典 3. ピアノ奏法、ソルフェ 4分音符他 4. ピアノ奏法、ソルフェ 3/4拍子 5. ピアノ奏法、ソルフェ 8分音符 6. ピアノ奏法、ソルフェ 16分音符 7. ピアノ奏法、ソルフェ 付点音符 8. ピアノ奏法、ソルフェ 3連音符 9. ピアノ奏法、ソルフェ 6/8拍子 10. ピアノ奏法、ソルフェ 短調 11. ピアノ奏法、カデンツ 音階と音程 12. ピアノ奏法、カデンツ 音の重なり 13. ピアノ奏法、カデンツ C; I, IV, V 14. ピアノ奏法、簡易楽器奏法 15. ピアノ奏法、簡易楽器合奏 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 実技試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田		
教科書 1	基礎から学べるピアノ1, 2, 3 著者:本廣明美・加藤照恵編著 出版社:ドレミ楽譜出版社 ISBN:978-4-285-11830-8						
教科書 2	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者:全国大学音楽教育学会中四国地区学会編著 出版社:音楽之友社 ISBN:4-276-31274-4						
参考書 1	日本の子どもの歌ー唱歌童謡140年の歩み 著者:全国大学音楽教育学会編著 出版社:音楽之友社 ISBN:978-4-276-59025-0						
参考書 2							

授業科目名	基礎技能(音楽B)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-2-322
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは「子どもの豊かな音楽活動を援助する技術」の習得。指導者は、保育や幼・小学校教育現場における子どもの音楽活動が実践できなくてはならない。本講座では、音楽Aで習得した呼吸法、発声法、ソルフェージュ力を活かし①豊かな歌唱表現ができる、また、②読譜や演奏に欠かせない楽典を学び、音楽理論の基礎が習得する、③主要三和音(I、IV、V)を使った簡単な伴奏付ができる、そして、進度に合ったレベルの子どもの歌の弾き歌いができる。</p>						
概要	<p>授業は個人レッスンとクラス授業の二形態で行う。個人レッスンでは、現場で必須となる弾き歌いのレパートリーを広げていく。クラス授では、教材が子どもの生活や遊びから音楽表現へ結びつくよう、子どもの目線から捉えられる自然の様子や四季の移り変わり、生き物、食べ物、行事など子どもの生活の歌から小学校共通教材へと繋げていく。そして、歌詞を考察することにより、表現遊びや劇遊びへの発展の可能性等も探り、音楽表現を高めて行く。尚今期は新型コロナウイルス対策として、個人レッスンは秋学期開講に変更した。</p>						
評価方法	<p>平素の学習態度と期末試験(実技・筆記)により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、平素の課題への取り組み(30%)、授業参加態度(20%)。授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとり簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業は、ピアノ個人レッスンと歌唱法その他グループ演習(クラス授業形態)を組み合わせる。個人レッスンは、経験レッスン方式で行う。次回の課題曲について先生から説明と模範演奏により曲の理解を図り、それを1週間十分復習しておくことが必要不可欠である。クラス授業は主に子どもの歌の歌唱法を行うが、予習として旋律唱を行い、歌詞を記憶しておくこと。</p>						
自己学習	<p>予習として、前回の授業で課された課題曲について、譜読みを行い、歌唱及びピアノ演奏練習を十分に行うこと。難しい、また、分からないところはまとめておくこと。復習として、「○」をもらった曲は、いつでも歌える(弾ける)ように、日々練習を怠らないこと。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p>						
オフアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.子どもの生活とうた1季節・行事 2.子どもの生活とうた2 生き物・動物 3.子どもの生活とうた3 おはなしの歌 4.子どもの生活とうた4 ミニオペレッタ 5.子どもの生活とうた5 ミニオペレッタ 6.子どもの生活とうた6 ニオペレッタ 7.小学校共通教材(1)低学年 8.小学校共通教材(2)中学年 9.小学校共通教材(3)高学年 10.和音とコードネーム 11.ハ調のカデンツによる伴奏付 12.ヘ・ト調のカデンツ 13.簡単な移調:移調理論 14.簡単な移調:移調の実際 I-V 15.簡単な移調:移調の実際 I-IV-V 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 実技試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田				
教科書 1	基礎から学べるピアノ1, 2, 3 著者:本廣明美・加藤照恵編著 出版社:ドレミ楽譜出版社 ISBN:978-4-285-11830-8						
教科書 2	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者:全国大学音楽教育学会中四国地区学会 出版社:音楽之友社 ISBN:4-276-31274-4						
参考書 1	日本の子どもの歌ー唱歌童謡140年の歩み 著者:全国大学音楽教育学会編著 出版社:音楽之友社 ISBN:978-4-276-59025-0						
参考書 2							

授業科目名	基礎技能(図画工作)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-1-323
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「子どもの造形活動を援助するために必要な造形表現力を養うこと」をテーマに、「図画工作に関する基礎的な技能の習得」をめざす。 課題の作品制作を通して、子どもの造形表現に適した素材特性の理解、素材を活かす加工方法の理解と技能を養うことを到達目標とする。						
概要	子どもの造形活動を援助するためには、子どもの発達段階の理解と、発達段階に適した題材設定や準備、さらに保育者自身が素材や加工・技法に習熟している必要がある。 この授業ではおもに幼児教育のための題材を中心に、演習による作品制作を通して、1)子どもの造形表現活動の援助に必要な態度や姿勢が実感できる、2)子どもの発達段階に適した素材や技法、加工方法を体得する、3)保育に活用できる教材の加工と活用方法を体得することができる、の3つの側面から学習を進める。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●課題作品(素材・技法の理解と技能、課題の理解と活用、作品の完成度等)50% ●取組内容(準備・かたづけ、制作プロセスにおける気づきや発見、レポートなど)50% ※課題作品・レポートは評価の後、フィードバックを行います。						
履修条件・注意事項	授業は課題の制作などが中心になるため、自宅での制作が必要となる場合もある。						
自己学習	【予習】 普段から様々なアートや子どもたちの遊びや野外活動、造形表現に触れること。事前に参考テキストを読んで素材や加工、制作プロセスなどの概略を理解しておくこと。 【復習】 作品を完成させること。また実習での気づきや発見などをレポートにまとめること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ガイダンス、 第1章 造形表現の意義	講義	佐藤尚宏					
2. 第2章 表現を育む人になる 手の動き(1)土粘土による変形(球)	演習	佐藤尚宏					
3. 手の動き(2) 油粘土による変形(鳥)	演習	佐藤尚宏					
4. 手の動き(3)ゆびえのぐ・色遊び (フィンガーペインティング)	演習	佐藤尚宏					
5. 手と操作(1)カラーインク・色遊び(調色体験)	演習	佐藤尚宏					
6. 描く(1)紙の加工と構成 一切る・破る→貼る	演習	佐藤尚宏					
6. 描く(2)線描 クレヨンのお散歩	演習	佐藤尚宏					
7. 描く(3)透明水彩 ぬらし絵(色彩と感情・感覚)	演習	佐藤尚宏					
8. 描く(4)不透明水彩 色遊びによる柄・模様づくり	演習	佐藤尚宏					
8. 描く(5)不透明水彩 見えない物を表す(味)	演習	佐藤尚宏					
10. 作る(1)紙の加工と様々な形態 一切る・折る・曲げる	演習	佐藤尚宏					
11. 作る(2)紙の加工と形態 昆虫づくり	演習	佐藤尚宏					
12. (続き)	演習	佐藤尚宏					
13. 作る(3)紙の加工と形態 動物づくり	演習	佐藤尚宏					
14. (続き)	演習	佐藤尚宏					
15. まとめと鑑賞	演習	佐藤尚宏					
	講義・演習	佐藤尚宏					
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者: 榎 英子 出版社: 萌文書林 ISBN: 978-4-89347-295-3						
教科書 2							
参考書 1	出版社:						
参考書 2							

授業科目名	基礎技能(小児体育)				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	関 孝之					NO.	PS-CE-1-324		
配当学科	子ども発達教育				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	児童の体力・運動能力は下げ止まりの傾向にあることが報告されているが、それと同時に高い群と低い群の2極に分かれているとの報告もある。こうした現状の原因として、幼児期・児童期における運動遊びの減少が指摘されている。そこで、本講義では、体力・運動能力の基礎を培う幼児期・児童期の運動の質的向上をテーマとし、子どもの発達段階に即した運動遊びを実際に体験しながら理解し、それを幼児・児童に指導できるようになることを到達目標とする。								
概要	多くの運動遊びを体験し、その実際と指導のポイントを学習する。								
評価方法	受講態度(60%)と課題(40%)を組み合わせで評価する。 また、課題に関しては講義内でフィードバックを行うため講義終了までに内容を再確認しておくこと。								
履修条件・注意事項	毎時間実技を行うので、運動のできる服装・シューズを必携すること。								
自己学習	事前の学修についてはシラバスを参照し、毎時のテーマな内容に関する技能のポイントや子どもに指導する際の指導方法などを予習しておくこと。 事後の学修については、講義内で行った内容に関して自身の不足部分を補うために、実技の自主練習やWeb等を使った知識面に関する理解度の深化をはかること。 目安の時間数については、それぞれ1日2時間とする。								
オフィスアワー	授業後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					第1回	オリエンテーション	演習	1.関	
					第2回	ボールを使った遊び1(基礎)	演習	2.関	
					第3回	ボールを使った遊び2(習得)		3.関	
					第4回	ボールを使った遊び3(応用)	演習	4.関	
					第5回	道具を使った遊び1(コマ)		5.関	
					第6回	道具を使った遊び2(竹馬)	演習	6.関	
					第7回	道具を使った遊び3(一輪車)		7.関	
					第8回	道具を使った遊び4(応用)	演習	8.関	
					第9回	伝承遊び1(鬼遊び)	演習	9.関	
					第10回	伝承遊び2(昔遊び)	演習	10.関	
					第11回	伝承遊び3(応用)		11.関	
					第12回	マットを使った遊び1(基礎)	演習	12.関	
					第13回	マットを使った遊び2(習得)	演習	13.関	
					第14回	マットを使った遊び3(応用)	演習	14.関	
					第15回	総括	演習	15.関	
							演習		
							演習		
							演習		
教科書1	適宜資料を配布								
教科書2									
参考書1	小学校学習指導要領解説 体育編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03467-6								
参考書2	幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5								

授業科目名	基礎技能Ⅱ(音楽)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-2-325
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマは「保育・教育実践における音楽指導力の習得」。本講座では、音楽A・Bで習得した音楽の基礎技能・知識とコードネームのカデンツ力により、①簡単な即興演奏や子どもの歌の伴奏付ができる、また、②簡単な器楽合奏編曲ができる、既成曲を応用したミニオペレッタの創作ができる。						
概要	コードネームによる伴奏付や子どもの声域に合わせるために必要な移調奏、即興的な伴奏の仕方や合奏の編曲法も行う。授業は、鍵盤楽器その他の楽器を使った体験を重視し、また、編曲などでは楽譜を書く作業と並行して、楽譜ソフトのシベリウスを使ってPCで自作品のモニターを行います。						
評価方法	平素の学習態度、授業における課題、提出作品及び自作品の演奏により総合的に評価する。評価の割合は、提出作品と演奏(50%)、授業の課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。						
履修条件・注意事項	本講座は、音楽の構造(旋律、和音、リズム、形式など)の学習が中心となる。音楽は感性と思われているが、実は極めて論理的な学問である。音楽の構造に触れて、音楽の本質的理解に興味を持つ学生を求める。『歌う、弾く、表現する保育者になろう』の第4章を熟読し、理解しておくこと。例題で行う楽曲分析を他の楽曲で、復習を行うこと。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、前回の授業内容を理解し、日々反復練習に励み、いつでも発表できるようにしておくこと。予習及び復習は、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 楽曲分析1 旋律と和音 2. 楽曲分析2 形式 3. 伴奏法1 I-V 4. 伴奏法2 I-IV-V 5. 伴奏法3 色々な伴奏形 6. ミニオペレッタの創作1 作品分析 7. ミニオペレッタの創作2 台本作り 8. ミニオペレッタの創作3 選曲 9. ミニオペレッタの創作4 練習 10. ミニオペレッタの創作 上演 11. 編曲の実際1 スケッチ譜 12. 編曲の実際2 スコア(総譜) 13. 編曲の実際3 パート譜・演奏 14. 編曲の実際4 作品の推敲 15. 編曲の実際5 作品の演奏 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 作品発表	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田		
教科書 1	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者: 全国大学音楽教育学会中四国地区学会編著 出版社: 音楽之友社 ISBN: 4-276-31274-4						
教科書 2	日本の子どもの歌ー唱歌童謡140年の歩み 著者: 全国大学音楽教育学会編著 出版社: 音楽之友社 ISBN: 978-4-276-59025-0						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	基礎技能Ⅱ(図画工作)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-1-326
配当学科	子ども発達教育				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「子どもの造形活動を援助するために必要な造形表現力を養うこと」をテーマに、主に幼児期から小学生を想定し「図画工作科の授業づくりに関する基礎的な技能の習得」をめざす。課題の作品制作を通して、子どもの造形表現に適した素材特性の理解、素材を活かす加工方法の理解と技能を養い、さらに教材研究のポイントとして課題の特徴と望ましい子どもの体験との関係を想定する力を養うことを到達目標とする。						
概要	子どもの造形活動を援助・指導するためには、子どもの発達段階の理解と、発達段階に適した題材設定や準備、さらに保育者自身が素材や加工・技法に習熟している必要がある。この授業では主に幼児期から小学生を想定し、特に授業づくりのための教材研究と表現技能を実践的に演習による実技作品制作を通して習得する。 1) 子どもの造形表現活動の援助に必要な態度や姿勢が実感できる、 2) 子どもの発達段階に適した素材や技法、加工方法を体得する、 3) 保育に活用できる教材の加工と活用方法を体得することができる、 の3つの側面から学習を進めるが、この授業では特に初等教科教育図画工作も視野に入れた実技課題を学修する。						
評価方法	●課題作品(素材・技法の理解、課題の理解、作品の完成度等)50% ※課題作品は評価したのち返却し、必要なフィードバックは授業内でを行います。 ●取組姿勢(準備、製作プロセス、かたづけ、レポート)50%						
履修条件・注意事項	必要な教材は用意するが、特に指示されたものは必ず準備して授業に臨むこと。指示された準備(予習)をして授業に望むこと。また、授業内容を記録(復習)すること。						
自己学習	【予習】事前にテキストを読んで素材や加工、制作プロセスなどの概略を理解しておくこと。 【復習】作品を完成させること。また授業の内容をまとめること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。 ※普段から様々なアートや子どもたちの遊びや野外活動、造形表現に触れること。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. ガイダンス 2. 指編み・あやとり 3. 技法①スクラッチ 4. 技法②折り染 5. 技法③デカルコマニー 6. 技法④フロッターージュ 7. まとめ 一様な技法とその意味 8. 小物① ポップアップカード 9. 小物① 続き 10. 小物② マカロニリース 11. 描く① 線で表すー造形と感情 12. 描く② 水彩ー自然物の観察 13. 描く② 続き 14. 描く③ 写実表現ー人物クロッキー 15. 描く③ 写実表現ー人物クロッキー続	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏 佐藤尚宏		
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者: 榎 英子 出版社: 萌文書林 ISBN: 978-4-89347-295-3						
教科書 2							
参考書 1	適宜資料を配付する。						
参考書 2							

授業科目名	保育実習指導 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎、藤井 伊津子、中野 明子					NO.	PS-CE-3-327
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	授業の到達目標及びテーマ:保育士養成過程において修得した教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うことを目的とする。						
概要	<p>授業の概要:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習の意義・目的・内容についての理解を深め、各自の実習目的・課題を明確にする。 2. 実習記録や指導案の書き方を学び、具体的な実習準備を行う。 3. 保育者としての職業倫理、特に個人のプライバシーの保護と守秘義務、子どもの人権の尊重について理解する。 4. 実習後は、実習総括・評価を行い、新たな学習目標を明確にする。 <p>保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。</p>						
評価方法	<p>受講態度、課題発表、レポート等の提出物などから総合的に判断する。</p> <p>成績評価基準:受講態度(15%)、課題発表(15%)、提出物(20%)、レポート(50%)</p> <p>なお、授業中に提出したものについては授業の中でフィードバックするので、実習までにしっかり見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>保育実習において大切な講義となるので、休まずに必ず出席すること。</p> <p>毎回の講義が実習に直結しています。しっかりと予習・復習を行うようにしてください。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。</p> <p>復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。</p> <p>予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・実習にあたって 2. 保育の理解 3. 実習の心構えについて 4. 実習の実際 5. 初めての保育実習-保育の心とマナー- 6. 実習記録の意義・方法を理解する 7. 実習日誌の形式と意味 8. 実習日誌の書き方 9. 見学実習 10. 自己課題について 11. 自己課題の作成および実習における指導計画とは 12. 指導計画の作成 13. 実習の基準と留意事項および実習のまとめ 14. 実習事前最終確認 15. 事後指導(実習報告) 		<p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 AL 講義 AL</p> <p>AL 講義</p> <p>講義 AL</p>	<p>秀・中野</p> <p>秀 秀・藤井 秀 秀・藤井</p> <p>秀</p> <p>秀・藤井 秀 秀 秀</p> <p>秀・藤井 秀</p> <p>秀 秀</p>				
教科書 1	保育所実習の手引き 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	保育実習指導 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子、秀 真一郎					NO.	PS-CE-3-328
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>保育士養成課程において習得した教科の知識・技能を基礎とし、これらを児童福祉施設等(保育所以外)で実践する能力を身につけることをテーマとし、以下のことを到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義・目的を理解する。 2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。 						
概要	<p>保育実習の意義と目標を明確に理解し、実習先施設の役割や機能を理解する。それらに基づいて実習に向けて自らの課題を明らかにし、実習計画書を作成する。課題達成に必要な事前学習を明確にし、取り組む。利用児・者理解のために必要な障害理解や児童虐待、社会的養護等について整理する。実習に際して必要な留意事項を確認する(子どもの人権の尊重、最善の利益の考慮、守秘義務、プライバシーの保護など)。実習における観察や記録について理解する。事後指導において、実習の総括と課題の明確化を行う。</p>						
評価方法	<p>受講態度、課題発表、レポート等の提出物などから総合的に判断する。成績評価基準:受講態度(15%)、課題発表(15%)、提出物(20%)、レポート(50%)。全授業過程をふりかえり、評価を含めてフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>実習先への送付書類など提出物が多くあります。忘れることがないように注意して下さい。</p>						
自己学習	<p>各自の実習先と施設種別について良く調べ、レポートを作成すること。その他の課題についても時間をかけておこなうこと。発表の際には、その方法についても工夫すること。ディスカッションにも積極的に参加すること。予習・復習には毎回90分ずつあてること。</p>						
オフィスワ-	火曜4限 研究室にておこないます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 施設実習の意義と目的 3. 実習先施設の概要理解 <ol style="list-style-type: none"> (1)児童養護施設・乳児院 4. 実習先施設の概要理解 <ol style="list-style-type: none"> (2)障害児・者施設 5. 実習先施設の概要理解 <ol style="list-style-type: none"> (3)児童心理治療施設 6. 利用児・者の理解 <ol style="list-style-type: none"> (1)障害児・者の理解 (障害について、合理的配慮、インクルージョン等) 7. 利用児・者の理解 <ol style="list-style-type: none"> (2)子どもを取り巻く問題 (社会的養護、児童虐待等) 8. 児童自立支援計画について 個別支援計画について 9. 事前訪問について 提出書類の作成について 10. 実習計画書の作成について 11. 記録の書き方について 12. 実習心得(プライバシーの保護、守秘義務、最善の利益の考慮等) お礼状について、最終確認 13. 事後指導 <ol style="list-style-type: none"> (1)実習報告書の作成 14. 事後指導 <ol style="list-style-type: none"> (2)実習報告会の準備 15. 事後指導 <ol style="list-style-type: none"> (3)実習報告会 				
教科書 1	『施設実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編 出版社:岡山県保育士養成協議会						
教科書 2							
参考書 1	『より深く理解できる施設実習』一施設種別の計画と記録の書き方 著者:松本峰雄監修 藤 京子 増南太志 中島健一朗 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-221-2						
参考書 2							

授業科目名	保育実習指導Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子、秀 真一郎					NO.	PS-CE-3-329
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	保育実習Ⅱについての実習内容の理解と準備及び実習後の振り返り 保育士養成課程において修得した教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うことが重要である。そのために学生が、保育実習ⅠからⅡへとつなげるには自身の学びがどのように発展し、実習へと展開されるべきなのかを理解することができる。						
概要	1. 各自の実習目的・課題を明確にする中で、実習で活用できる技術の習得と習得した技術の活用方法について理解する。 2. 実習記録や指導案の書き方を学び、生きた保育における記録や指導案について理解する。 3. 保育者として大切な技術向上を図りながら、そこに込められる保育の心や論理の構築を図る。 4. 実習後は、実習総括・評価を行い、新たな学修目標を明確にする。 この科目は保育士としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし保育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	保育者を目指すものとしての受講態度、課題発表、レポート等の提出物などから総合的に判断する。 成績評価基準：課題発表及び受講態度(30%)、提出物(20%)、指導案の作成及びレポート(50%) なお、提出された課題・指導案は評価しフィードバックするので復習し、次回の予習に活かすこと。発表についても評価し、フィードバックするので予習復習につなげ実践力をつけていくこと。						
履修条件・注意事項	保育実習において大切な講義となるので、休まずに必ず出席すること。毎回の講義が実習に直結しています。しっかりと予習・復習を行うようようしてください。						
自己学習	実習を実りあるものにしていくために、授業の予習復習は欠かせない。事前学修として講義内容にあわせて各自テキストを参考にし、実習日誌の整理や指導案の作成、指導実習に備えての実技の準備などが必要であり、授業後には事前学修の修正や自己課題をさらに深めていくことが求められる。そのため予習復習には、毎回各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 保育士の専門性と職業倫理についての理解 3. 保育実習の実際 4. 実習記録の実際(実習日誌の記録とは・「手引」を基にして) 5. 実習記録の実際(実際の記録による学び) 6. 指導案の実際(指導案とは・「手引」を基に) 7. 指導案の実際(実際の指導案による学び・ディスカッション) 8. 保育実践力の育成:指導案作成と模擬(絵本) 9. 保育実践力の育成(紙芝居) 10. 保育実践力の育成(手遊び) 11. 保育実践力の育成(発達と季節を考慮した遊び・手作りおもちゃ) 12. 保育実践力の育成(発達と季節を考慮した遊び1) 13. 保育実践力の育成(発達と季節を考慮した遊び2) 14. 実習事前最終確認(指導案・準備物等) 15. 事後指導(実習報告会)・まとめ	講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	秀・藤井 藤井 秀・藤井 藤井 藤井 秀・藤井 藤井 秀・藤井 藤井 秀・藤井 藤井 藤井 秀・藤井 秀・藤井					
教科書 1	保育所実習の手引き 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育実習 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎、藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-331
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	保育現場において、今までに得た知識や技術が、いかに子ども達へと実践され、機能しているかを体験する。また、実際に子どもと触れ合うことにより、より深く子どもの姿を理解し、子どもと保育士との関わりを様々な視点から考察する。保育所における実際の保育士の役割を正しく理解し、保育所・家庭・地域社会の三角形における保育士の役割を考察する。						
概要	保育所実習において、今までに得た知識を知識として留めておくのではなく、いかに実戦で役立たせるかという視点で取り組むことを求める。子どもが好きという気持ちを前面に出し、“好きだけではできない仕事”ではなく、“好きだから出来る仕事”ということを実感する。 以上の中で保育士としての職務内容、役割、職業倫理などについて理解を深める。 保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	実習先の評価(6割)と教員による評価(4割)から総合的に評価する。 なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。						
履修条件・注意事項	毎回のテーマにそった資料を配布するので熟読し、復習もしっかりすること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。実習期間中は、毎回設定する課題に対して意識して取り組み、十分振り返り、日誌を通して考察すること。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。予習・復習には90分以上あてること。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(秀)その他各担当教員のオフィスアワーを参照のこと。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 保育所実習について 2.指導実習(1)実習施設の理解 3.(2)保育計画の理解 4.(3)保育の一日の流れ等。 5.参加実習(1)子どもの姿(養護・教育の視点から) 6.(2)指導計画の理解(3)保育技術(日常生活援助)(4)保育技術(遊びの援助) 7.指導実習(1)指導計画の実際 8.(2)職員間の役割分担、職員同士のチームワーク 9.保育所実習全体を通して、次の(1)～(7)を学習する。(1)子どもの安全 10.(2)疾病予防 11.(3)子どもの家庭 12.(4)地域社会の理解 13.(5)保育士としての職業倫理 14.(6)記録や計画の書き方 15.(7)自己課題への取り組み		実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井				
教科書 1	『保育所実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育実習 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-332
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>児童福祉施設等の利用児・者を理解し、施設保育士の役割や業務内容を理解することをテーマとする。そのために以下を到達目標とする。①児童福祉施設の役割や機能を理解する。②観察や関わりを通じて、利用児・者への理解を深める。③既習の教科目の内容を踏まえ、利用児・者や家族(家庭)への支援について理解する。④保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。</p>						
概要	<p>児童福祉施設等の利用児・者の生活を理解し、保育士の業務内容を具体的に知る。利用児・者の理解を深め、一人一人に応じた関わりや支援ができるように努める。また、利用児・者の生活に関する安全対策についても理解する。また、児童自立支援計画(個別支援計画)に基づいて、職種間の連携や他職種との連携が行われている様子について学ぶ。実習日誌における考察を深め、記録に基づく省察や自己評価ができるように努める。</p>						
評価方法	<p>実習先の評価(6割)と教員による評価(4割)から総合的に評価する。 なお、実習内容については、実習事後指導において、実習報告書の作成や実習報告会の開催を通してフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>事前に設定した実習課題を意識して、積極的に実習に臨むこと。</p>						
自己学習	<p>保育実習指導 I Bの内容を整理して実習に臨むこと。事前に設定した実習課題を意識し、実習指導者のアドバイスを受けながら日々の課題を設定し、反省会や実習日誌において振り返り、考察する。施設の日課や保育士の業務を理解し、利用児・者の状態に応じた関わりなど、実践の内容を深めていけるように工夫する。予習・復習には90分以上あてること。実習内容の振り返りについては、事後指導において、実習報告書の作成や実習報告会の準備などを通しておこなう。</p>						
オフィスワ-	火曜日 4限 研究室にておこないます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 児児童福祉施設等における子どもの生活を理解する 2. 実習施設の概要を理解する(利用児・者、目的、役割、機能、職員体制等について) 3. 利用児・者について理解する(1)子どもの発達について(乳幼児～) 4. (2)障害理解(知的障害・身体障害) 5. (3)障害理解(発達障害・てんかん) 6. (4)児童虐待 7. 子どもの心身の状態に応じた生活と対応について学ぶ 8. 子どもの活動と環境について学ぶ 9. 安全対策や環境整備について学ぶ 10. 計画に基づく活動や援助を学ぶ 11. 支援計画の理解と活用について理解する 12. 記録に基づく省察や自己評価について学ぶ 13. 施設保育士の役割と倫理について学ぶ(1)保育士の業務内容 14. (2)職員間の役割分担や連携 15. (3)職業倫理や守秘義務について学ぶ 	<p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p>	<p>中野 中野</p> <p>中野 中野</p> <p>中野 中野</p> <p>中野 中野 中野 中野</p> <p>中野 中野 中野 中野</p>		
教科書 1	『施設実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編 出版社:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1	『より深く理解できる施設実習』一施設種別の計画と記録の書き方一 著者:松本峰雄監修 藤 京子 増南太志 中島健一朗 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-221-2						
参考書 2							

授業科目名	保育実習Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎、藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-333
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>1. 保育現場を実際に触れ、実践において必要な日々の心構え、子どもと関わる上で重要となる保育理論、そして体調管理の重要性を理解する。</p> <p>2. 地域社会や子どもひとりひとりの持つ家庭環境の違いを考慮し、保育実践におけるニーズに対しての理解力・対応力について考える。</p> <p>3. 毎日の保育場面から、自己の持つ知識・経験・技術における課題を明確にし、自己解決力を身に付ける。</p>						
概要	<p>保育実習Ⅰで得た保育現場での知識や経験を基に自らの特色を生かした保育とは何かということ、自ら構築していく。その上でも、指導案は勿論のこと日々の保育の中でも“保育の個性”を理解し、掴み取っていく。</p> <p>具体的には保育現場に身を置き、保育の実務経験を有する保育者から次のことを学ぶ。</p> <p>1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解する。</p> <p>2. 子どもの観察や関わり方の視点を明確にすることを通して保育を理解する。</p> <p>3. 学内での学びや保育実習Ⅰを基礎として保育や保護者支援について総合的に学ぶ。</p> <p>4. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める。</p> <p>5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。</p> <p>6. 保育士としての自己課題を明確にする。</p> <p>保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。</p>						
評価方法	実習先の評価(60%)と、実習日誌及び実習巡回指導等を基にした教員の評価(40%)をもとに総合的に評価する。実習中の課題は実習終了後に反省会や、個人面談を行いフィードバックするので、事後の実習や将来につなげること。						
履修条件・注意事項	健康維持に努め、意欲的に取り組むこと。						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。</p> <p>予習復習には授業計画に沿って、各2時間の程度求められる。</p>						
オフィスワ-	毎週月曜日2限目(秀)、水曜日5限(藤井)をオフィスアワーとする						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<p>1. オリエンテーション</p> <p>2. 子どもひとりひとりへの理解</p> <p>3. ひとりひとりの子どもに即した保育方法</p> <p>4. 子どもの発達の遅れなどへの配慮</p> <p>5. 子どもの最善の利益への配慮</p> <p>6. 子どもの家庭とのコミュニケーション方法</p> <p>7. 地域社会との連携の方法</p> <p>8. 保育士としての職業倫理の理解</p> <p>9. 指導計画の立案と実践</p> <p>10. 指導計画の立案と実践</p> <p>11. 指導計画の立案と実践</p> <p>12. 指導計画の立案と実践</p> <p>13. 指導計画の立案と実践</p> <p>14. 指導計画の立案と実践</p> <p>15. 指導計画の立案と実践</p>		<p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p>	<p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p>	<p>1. 指導計画の立案と実践</p> <p>2. 指導計画の立案と実践</p> <p>3. 指導計画の立案と実践</p> <p>4. 指導計画の立案と実践</p> <p>5. 指導計画の立案と実践</p> <p>6. 指導計画の立案と実践</p> <p>7. 指導計画の立案と実践</p> <p>8. 指導計画の立案と実践</p> <p>9. 指導計画の立案と実践</p> <p>10. 指導計画の立案と実践</p> <p>11. 指導計画の立案と実践</p> <p>12. 指導計画の立案と実践</p> <p>13. 自己課題への取り組み</p> <p>14. 自己課題の評価と反省</p> <p>15. まとめ</p>		<p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p>	<p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p> <p>藤井・秀</p>
教科書 1	保育所実習の手引き 著者：岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子育て支援			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-335
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	子育て、子育て支援としてのカウンセリングとソーシャルワークの基礎知識を理解し、援助のための基本姿勢や実践方法を養うことができる。到達目標は、保護者面接に必要な価値観や知識、技術を身につけることである。						
概要	グループワークやエクササイズ、ロールプレイ、事例研究などの体験学習法を中心として、多少の講義も行いながら、自分の対人行動の理解を促し、子どもと家庭の問題を知り、親面接のあり方を検討する。そして、対人援助のスキルを練習する。						
評価方法	授業への取り組み姿勢(30%)、知識・技術の習得度(30%)、レポート(40%)によって評価する。毎回の演習終了後にふりかえりを行い、学生へのフィードバックを行う。さらに、授業日程終了後、全プログラムについてふりかえり、評価についてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	遅刻しないこと。学習体験の場では感じることを、考えること、言語化すること。復習として、学んだことを日常の場面で練習すること。						
自己学習	予習としては参考文献を通して授業のテーマについて調べておくこと。復習として授業で学び、気づいたことを整理し、日常生活の中で実践しながら、スキルを身につける努力をすること。予習、復習にはそれぞれ90分以上を費やすこと。						
オフィスアワー	火曜日 4限 研究室にておこないます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. 講義(保育相談支援とは) 2. ワーク(自分の対話の傾向理解) 3. ワーク(自分の性格理解) 5. 講義(子どもの行動問題) 6. ワーク(問題行動の意味とアセスメント) 7. 事例(保育現場) 8. ワーク(対人援助スキル) 9. 講義(育児不安の心理) 10. ワーク(親子・家庭の理解と援助) 11. ワーク(初回面接) 12. 講義(親面接の方法) 13. ワーク(親面接のスキル) 14. 事例(親面接の検討) 15. ロールプレイ 16. 単位認定試験		講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野
教科書 1	毎回新たな学習プログラムを提示する。						
教科書 2							
参考書 1	実践・保育相談支援 著者:青木紀久代編著 出版社:(株)みらい ISBN:978-4-86015-336-6						
参考書 2							

授業科目名	子どもの国語			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	PS-CE-2-336	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>本講義は、幼稚園および小学校教員に必要な国語の基礎的知識の修得をテーマとし、学生が教員採用試験に出題される問題に対応できるレベルを到達目標とする。</p> <p>①教師を目指す者として、敬語・文法・漢字・文章表現など、国語の基礎的知識を習得するとともに、子ども・保護者などの他者に対して正しく美しい会話表現ができる基礎的技能を身に付ける。</p> <p>②教師を目指す者として、文字を書くことの重要性に気付き、正しい筆順で字形の整った美しい文字を書くことができる。</p>						
概要	<p>敬語・文法・漢字・文章表現など、国語の基礎的知識を身に付けるとともに、伝統的な言語文化であることわざ・慣用句などを学び、伝統的な言語文化について理解を深める。さらに、このような日本語力の獲得によって、子どもへの言葉かけ、あるいは保護者との話し方など、会話(コミュニケーション)能力の育成を図る。また、書写や読書指導に関する理解を深め、幼稚園および小学校教員として必要な国語の基礎的知識を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、幼稚園および小学校教員に必要な図書館の利用についての知識や表記法、文章表現等の指導に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>受講態度・課題(提出物・レポート)・単位認定試験の成績で総合的に評価する。 単位認定試験(60%)、課題(提出物・レポート)(30%)、受講態度(10%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	毎回の講義でプリントを配布するため、ファイルを用意すること。						
自己学習	日常生活の中で、読書や新聞を読む習慣を身に付けること。 本講義は予習復習を必要とする。復習では、講義を振り返り、内容を理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. はじめに なぜ「子どもの国語」を学ぶのか		講義	雲津				
2. 漢字の理解(1)-漢字の基礎		講義	雲津				
3. 漢字の理解(2)-漢字の応用		講義	雲津				
4. 文法の理解(1)-文法の基礎		講義	雲津				
5. 文法の理解(2)-文法の応用		講義	雲津				
6. 敬語の理解(1)-敬語の基礎		講義	雲津				
7. 敬語の理解(2)-敬語の応用		講義	雲津				
8. 文章表現力の育成(1)-文章表現の基礎		講義	雲津				
9. 文章表現力の育成(2)-文章表現の応用		講義	雲津				
10. 会話表現力の育成(1)-会話表現の基礎		講義・AL	雲津				
11. 会話表現力の育成(2)-会話表現の応用		講義・AL	雲津				
12. 伝統的な言語文化-ことわざ・慣用句		講義	雲津				
13. 読書指導の方法と実践		講義	雲津				
14. 文字文化と書写		講義・AL	雲津				
15. まとめ		講義	雲津				
16. 単位認定試験		筆記試験	雲津				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	保育学生のための実践国語表現 著者:原田 留美 出版社:おうふう ISBN:978-4-273-03479-5						
参考書 2	保育者になるための国語表現 著者:田上 貞一郎 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-147-5						

授業科目名	子どもの社会				履修期	2021年度 春学期			
担当者	白神 幹夫					NO.	PS-CE-2-337		
配当学科	子ども発達教育				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習		
テーマと到達目標	将来、学校現場において社会科の授業の実践できる教員の養成がテーマであり、小学校教員に必要な社会科の授業における基礎的知識および実践的指導力の育成を目的とし、小学校教員採用試験に合格できるようになる。								
概要	「小学校学習指導要領」および「小学校学習指導要領解説 社会編」を中心に、小学校における社会科の学習内容を理解すること、また社会科の授業構成に必要な基礎的事項、指導方法・技術についても学ぶ。 学習指導案の作成、検討会、模擬授業を実施し、講義の充実を目指したい。								
評価方法	定期試験(70%) レポート等提出物(15%) 積極的な参加態度(15%) 評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。								
履修条件・注意事項	教科書として「小学校学習指導要領解説 社会編」を使用するので毎回持参する。その他については必要に応じて関係資料、参考資料を配付する。 ノート作成は必ず行うこと。毎回の講義の予習復習も行っていほしい。なお、模擬授業の指導案はワープロソフトで作成し人数分授業の前に全員に提出することとする。								
自己学習	学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう、教材研究に取り組んでいただきたい。 予習復習が2時間程度必要です。								
オフィスワ-	毎授業終了時に教室にて実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. はじめに 一講義の進め方など 2. 小学校社会科教育の目標・学力・学習指導要領の変遷 3. 3学年の内容と学習指導 4. 4学年の内容と学習指導 5. 5学年の内容と学習指導 6. 6学年の内容と学習指導 7. 小学校社会科教育の評価 8. 学習指導案 9. 学習指導案作成 I 教材選択 10. 学習指導案作成 II 教材研究 11. 指導案検討会 12. 模擬授業 I 13. 模擬授業 II 14. 模擬授業 III 15. 授業反省とまとめ 16. 筆記試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL AL 筆記試験	白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神					
教科書 1	小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年6月 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	子どもの算数				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	鳥居 恭治					NO.	PS-CE-2-338
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	幼児や児童の数量概念や図形概念の養成や基礎作りができるために必要な数学の専門性や数学的な考え方の力量を習得するため、(1)数学的な考え方に関する知見を深め、(2)算数科の授業の基本及び4領域の内容を理解し、(3)数学的な考え方を基にして問題解決を図る、ことができるようになる。						
概要	算数科の授業づくりを行うには、その指導内容等に関する数学的な専門知識が必要である。算数科の目標、活用力の育成など基礎的な事項を理解した上で、算数の授業の基本を概観する。また、数と計算、図形、測定・変化と関係、データの活用の4領域について、その内容や指導についての理解を深める。さらに、数学的な考え方を使った問題解決を考察することなどを通して、魅力ある算数科の授業づくりができる素地を養う。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等)を総合的に評価する。 レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。						
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。						
オフィスワ-	毎授業の前・後及び休憩時間等を実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 算数科の目標 数学的な考え方 算数科の授業 算数科の指導 領域「数と計算」の意義 領域「数と計算」の内容 領域「図形」の意義 領域「図形」の内容 領域「測定・変化と関係」の意義 領域「測定・変化と関係」の内容 領域「データの活用」の意義 領域「データの活用」の内容 数学的な考え方を使って問題を解く①(演算) 数学的な考え方を使って問題を解く②(図形) 数学的な考え方を使って問題を解く③(測定・変化と関係) 試験 			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習 演習 演習 筆記試験	鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59010-5						
教科書 2	算数の基本問題 小学5年 著者:日能研教務部 出版社:みくに出版 ISBN:978-4-8403-0400-9						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子どもの理科			履修期	2021年度 春学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-2-339
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	理科教育では、(1)自然に親しみ、観察、実験を行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てること、(2)自然の事物・現象についての実感を持った理解を図ること、を通して科学的な見方や考え方を養う事が目的である。 本授業では、理科を指導するにあたり、理科の内容を4つの分野(物理、科学、生物、地学)で整理し、必要な知識を身に付ける。また、単元構成の仕方や学習指導案の書き方についても学習し、教育実習で理科の授業ができる力を身に付ける。						
概要	学習指導要領および環境に優しい理科教育を学習する。次に、子どもに分かりやすく理科の内容を教えるために、理科の内容を4つの分野(物理、化学、生物、地学)で整理する。特に、学習指導要領に示されている実感を伴った理解を可能にするために、本大学付近の里山での植物を教材として生物の学習をする。さらに、小学校から中学校への接続を意識して、専門的な内容も学ぶ。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	この科目では、講義ごとの積極的参加態度(20%)、知識の修得程度を確認するための試験(60%)、自ら調べ、まとめる能力を確認するためのレポート(20%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	講義では自作のプリントを使うので、講義で説明した重要な点をプリントに記入して、プリントを整理しておき、いつでも提出できるようにしておく。また、毎回の講義で復習用のプリントを配布するので、次回の講義に必ず提出できるようにしておく。さらに、講義の終了時には、次回の講義について知らせるので、各自が利用している情報機器などで予習をしておく。						
自己学習	予習2時間 (1)事前にテキスト、配布資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 復習2時間 2)毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3)単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスアワー	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 学習指導要領と環境に優しい理科教育の学習 2. 小学校の理科(物理1)の学習(光と磁石など) 3. 小学校の理科(物理2)の学習(力のつりあいなど) 4. 小学校の理科(物理3)の学習(電気) 5. 小学校の理科(化学1)の学習(空気と水) 6. 小学校の理科(化学2)の学習(溶け方) 7. 小学校の理科(化学3)の学習(水溶液と状態変化) 8. 小学校の理科(生物1)の学習(植物) 9. 大学で栽培している身近な植物についての学習 10. 小学校の理科(生物2)の学習(昆虫、魚) 11. 小学校の理科(生物3)の学習(人体) 12. 小学校の理科(地学1)の学習(太陽と地面) 13. 小学校の理科(地学2)の学習(天気) 14. 小学校の理科(地学3)の学習(土地のつくりなど) 15. 講義の総括 16. 単位認定試験		講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 模擬授業 模擬授業 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	小学校学習指導要領解説 理科編 著者:文部科学省 出版社:大日本図書株式会社 ISBN:978-4-477-01949-9						
教科書 2	教科書「新しい理科」3～6年 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-10456-7						
参考書 1	「自分ごとの問題解決」をめざす理科授業 著者:村山哲哉 出版社:図書文化 ISBN:978-4-8100-3640-4						
参考書 2							

授業科目名	子どもの生活				履修期	2021年度 春学期	
担当者	鳥居 恭治					NO.	PS-CE-2-340
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「子どもの生活体験」をテーマとして、日常生活における文化・伝統や生活習慣、保育・教育の場における人間関係や自然、との関わりについて理解することを目標とする。また、本講義は幼稚園・小学校教諭一種免許取得のための専門科目であり、履修により保育・教育実践力を身につけることができる。						
概要	子どもたちが日常の活動や生活体験を通して、身近な社会や自然とのかかわりに興味や関心を持ち、生活上必要な習慣や技能を身につけ、自立への基礎を培うことができるよう援助することの意義について学ぶとともに情報機器の扱いや教材の活用法についても学ぶ。 具体的には、子どもたちが家庭や地域生活において経験する各種の年中行事を題材として、グループによる研究発表・討議を行うことにより理解を深める。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	受講態度(20%)、レポート提出(20%)、グループ発表・討議への取り組み(20%)、期末試験(40%)の結果を合わせて総合的に評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	グループ発表に際しては、資料調べやレジュメ作成(予習)、小道具の準備係等の役割分担を決め、全員の自発的積極的参加による責任発表を行うこと。発表後はグループで反省討議(復習)を行うこと。 子どもの生活場面や環境に関心を持ち、受講生自身の生活力・社会性の向上にも努めてもらいたい。						
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	毎授業の前・後及び休憩時間等に実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 「子どもの生活」を学ぶ目標と意義 2. 「子どもの生活」の内容(1) 4月の行事を通じて 3. 「子どもの生活」の内容(2) 5月の行事を通じて 4. 「子どもの生活」の内容(3) 6月の行事を通じて 5. 「子どもの生活」の内容(4) 7月の行事を通じて 6. 「子どもの生活」の内容(5) 9月の行事を通じて 7. 「子どもの生活」の内容(6) 10月の行事を通じて 8. 「子どもの生活」の内容(7) 11月の行事を通じて 9. 「子どもの生活」の内容(8) 12月の行事を通じて 10. 「子どもの生活」の内容(9) 1月の行事を通じて 11. 「子どもの生活」の内容(10) 2月の行事を通じて 12. 「子どもの生活」の内容(11) 3月の行事を通じて 13. まとめ(1) 子どもの活動と気付きについて 14. まとめ(2) 情報機器の扱いと教材の活用法 15. まとめ(3) 子どもの願いと評価について 16. 試験	講義 筆記試験	鳥居 鳥居					
教科書 1	「生活科で子どもは何を学ぶか」 著者:須本良夫 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03503-1						
教科書 2	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 生活編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03464-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子どもの音楽				履修期	2021年度 春学期	
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-1-341
配当学科	子ども発達教育				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「子どもの保育内容・教育内容に関わる音楽の専門知識・技術の習得」をテーマに、子どもの音楽表現を援助するために必要な知識や技術を学び、幼稚園教育要領・保育所保育指針の精読及びわらべうた遊びや子どもの歌の歌唱を通して、子どもの音楽活動の意味が理解できるようになる。音楽の専門知識・技術の点では、簡単な楽譜が読める、子どもの歌が歌える。鍵盤楽器で簡単な曲が弾けるようになる。</p>						
概要	<p>テキストは、子どもの音楽表現について、序章と14の章で構成されています。授業は、各章のテーマについて、ディスカッションし、グループで表現活動を実践し、それらを通してまとめをするという形で進めます。また、テーマによっては、調査やフィールドワーク等も行います。</p>						
評価方法	<p>平素の課題(レポート、設問回答等)と期末試験(実技・筆記)及び授業参加態度により総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(40%)、平素の課題への取り組み(40%)、授業参加態度(20%)。授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業は、テキストに沿って行うので、テキストを忘れないこと。また、課された課題は提出できるようにまとめ、期限の日を持参すること。</p>						
自己学習	<p>幼児期は未分化なので、日常生活の音の中に潜む音楽の芽に注意を働かせ、感性を磨くこと。前回の復習は勿論のこと、次の予告された章について予習し、主旨の把握、疑問点などを把握しておくこと。予習及び復習は2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 「表現」って何 2. 子どもの発達と音楽表現 3. 生活や遊びの中での音楽表現 4. 歌唱表現①わらべうた遊び 5. 歌唱表現②子どもの歌唱 6. 「コダーイの音楽教育」から学ぶ 7. 楽器表現活動①楽器を奏でる 8. 楽器表現活動②手作り楽器 9. オルフの音楽教育 10. 「ダルクローズ」の音楽教育 11. 聴く活動 12. 創造的音楽づくり 13. 声や歌で表現 14. ピアノで表現 15. 子どもの活動への即興演奏 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田					
教科書 1	実践しながら学ぶ 子どもの音楽表現 著者:石井玲子 出版社:保育出版社 ISBN:978-4-938795-78-8						
教科書 2							
参考書 1	幼稚園教育指導書 増補版 著者:文部省 出版社:フレーベル館 ISBN:4-577-82016-1						
参考書 2							

授業科目名	子どもの図画工作				履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-1-342	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義(演習有)	
テーマと到達目標	「<子どもの造形活動の援助>に関する基本的な事項の理解」をテーマとし、「造形表現の意義」「表現が育むこと」「造形の素材や技法」「子どもの造形表現の発達段階」「造形活動の適切な援助と指導」等について教科書に沿った講義を中心に学習を進め、学生が子どもの造形表現において適切な判断基準を養うことを到達目標とする。							
概要	子どもたちは遊びを通して自分をたしかめ、想像力を耕し世界を理解していきます。幼児期に開花する造形的な想像力は遊ぶ力の豊かさそのもので、造形表現は子どもの根源的な力を育みます。この授業ではテキスト第1～4章を中心に、造形表現について「何を」「なぜ」「どのように」学ぶのかを学修し、造形教育に求められている役割や課題を知り、保育・教育現場において実践していくべき方向を考えます。又、内容を体感的に理解するために、一部演習を行う場合があります。							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●レポート課題・実技課題作品などの評価:50% <ul style="list-style-type: none"> ※レポート課題は評価したのち、必要なフィードバックはコメントか授業内で行います。 ●授業に取り組む姿勢(準備,参加態度,発言・発表など):50% 							
履修条件・注意事項	教科書を中心に進めるので必ず持参すること。それ以外の教材・資料はおおむね用意します。							
自己学習	【予習】事前にテキストを読んで、疑問点などを書き出しておくことが望ましい。 【復習】授業内容を踏まえ概要を理解すること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。							
オフィスワ-	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション「子どもと造形表現」			講義	佐藤尚宏				
2. 1-1,保育における造形表現の意味			講義	佐藤尚宏				
3. 1-2,造形表現の意義			講義	佐藤尚宏				
4. 1-3,遊びと造形表現			講義	佐藤尚宏				
5. 2,表現を育む人になる(1)			講義	佐藤尚宏				
6. 2,表現を育む人になる(2)			講義	佐藤尚宏				
7. 2,表現を育む人になる(3)			講義	佐藤尚宏				
8. 3,造形を楽しむための造形(1)			講義	佐藤尚宏				
9. 3,造形を楽しむための造形(2)			講義	佐藤尚宏				
10. 4-1-(1),表現の発達の基礎理論			講義	佐藤尚宏				
11. 4-1-(2)(3),描画表現と造形表現の発達論			講義	佐藤尚宏				
12. 4-2,子どもの描画の特徴とその背景			講義	佐藤尚宏				
13. 4-3,発達に即した援助			講義	佐藤尚宏				
14. 4-4,発達過程に見られる個人差			講義	佐藤尚宏				
15. まとめ			講義	佐藤尚宏				
			講義	佐藤尚宏				
			講義	佐藤尚宏				
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者:榎 英子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-295-3							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	子どもの家庭			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	幸坂 寛子、中野 明子					NO.	PS-CE-2-343
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	子どもたちが生活者として自立する上で必要な生活技術と知識について食生活、衣生活、住居、家族の生活の各分野についての理解を深めます。また、調理や被服製作など基礎的な技術を身に付けるための実習や体験を行うことで、子どもたちが生活者としての自立能力を育てるための、楽しみながら行うことのできる実践的・体験的学習のあり方を考えます。そして、一人の生活者として日常生活を豊かにする家庭科力を身に付ける事を目的とします。						
概要	食生活・衣生活・住居・家族の生活の各分野について基礎的かつ基本的内容を取り扱います。特に実践的な内容を深めるとともに、基礎的な技術を身に付けるための調理実習、被服製作、リサイクル活動などの実技内容についても学習します。各分野ごとに学習内容の習得状況を確認するための小テストを実施します。						
評価方法	授業への積極的参加態度(30%)、課題及びレポート・作品等の提出物(20%)、小テスト(20%)、最終試験(実技試験、筆記試験)(30%) 評価のために行った課題及びレポートについては、授業でフィードバックをするので最終試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	初等家庭科教育法の基礎となる科目のため、初等教科教育法(家庭)を履修予定の人は必ず履修すること。各分野を通じて課題の実施・提出を求めます。また、授業への参加態度や積極的な取り組みを評価へ大きく反映させます。毎回プリントを配布しますので、各自教科専用のファイルを準備し、受講に際して予習復習を行いこと。最終試験は実技試験と筆記試験の両方を課します。						
自己学習	毎回授業の際に時事の授業内容に関するプリントを配布するので、各自ファイルを準備して整理すること。また、毎回次時の学習内容等についても予告をすることで事前学習して授業に臨むこと。授業後、自分の毎日の生活を振り返り、実践につなげること。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1、オリエンテーション:講義の目的、進め方について 2、食生活と健康 3、食品と栄養 4、食生活の計画と実践 5、食品の調理性と食事の計画(献立作成と栄養計算) 6、日常の食事と調理の基礎(調理実習) 7、調理計画と実践(調理実習) 8、衣生活と健康 9、被服の選択と管理 10、被服計画と縫い方の基礎(基礎縫い) 11、生活に役立つ物の製作(小物の製作) 12、住生活と健康 13、住まいの管理 14、家庭生活の工夫 15、消費生活と資源 16、単位認定試験(実技試験・筆記試験)	講義 演習 演習 演習 実習 実習 演習 演習 実習 実習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 実技試験	幸坂・中野 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂		
教科書 1	毎回プリントを配布して使用します。						
教科書 2							
参考書 1	家庭科の教科書 著者:楠田 恵子 出版社:山と溪谷社 ISBN:978-4-635-13001-1						
参考書 2							

授業科目名	子どもの体育			履修期	2021年度 春学期			
担当者	関 孝之					NO.	PS-CE-2-344	
配当学科	子ども発達教育			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	幼児期から就学前期の運動経験は、以降の体力・運動能力はもとより、他者との関わりなどの社会的適応力、精神的発達にも大きな影響をおよぼすことが知られている。そこで本講義では、「子ども期に必要な運動の質・量」をテーマとし、それを指導するための技術を身につける。							
概要	毎回の講義は、前半では幼児教育および初等教育における体育の役割を概論的に理解するとともに、子ども期において必要な運動を理解するため、とくに運動の基礎理論を学習する。後半では、子どもたちに体育を指導するための教授学的基礎理論を学習した上で、その実技や内容・教授方法について実践・理解する。							
評価方法	受講態度(60%)と課題及びポートフォリオ(40%)を組み合わせる。また、課題に関しては講義内でフィードバックを行うため講義終了までに内容を把握しておくこと。							
履修条件・注意事項	毎時の講義の中で、運動のできる服装・シューズ等を準備する。また、ポートフォリオのためのA4穴あきファイルを準備しておくこと。							
自己学習	各授業計画に記載のある内容について、学習指導要領などを参考として事前の予習を行うこと。事後の復習に関しては、実技・理論ともに講義内で不足した部分についての学習を励行し、習得・理解を定着させること。事前事後ともに2時間程度を目安とする。							
オフィスワ-	授業後、教室にて							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション (授業の進め方・評価の方法など)		講義・演習	1.関 2.関 3.関					
第2回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その1(体づくり運動・体ほぐし運動)		講義・演習	4.関 5.関 6.関					
第3回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その2(ボール遊び、鬼遊び)		講義・演習	7.関 8.関 9.関					
第4回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その3(ゴール型のボールゲーム基礎)		講義・演習	10.関 11.関 12.関					
第5回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その4(ゴール型のボールゲーム応用)		講義・演習	13.関 14.関 15.関					
第6回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その5(ネット型のボールゲーム基礎)		講義・演習						
第7回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その6(ネット型のボールゲーム応用)		講義・演習						
第8回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その7(用具を使った運動遊び、器械運動の動きづくり)		講義・演習						
第9回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その8(器械運動その1 マット運動)		講義・演習						
第10回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その9(器械運動その2 とび箱)		講義・演習						
第11回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その10(表現遊び)		講義・演習						
第12回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その11(リズム遊び、表現)		講義・演習						
第13回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その12(リズムダンス基礎)		講義・演習						
第14回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その13(リズムダンス応用)		講義・演習						
第15回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その14(フォークダンス)		講義・演習						
教科書 1	適宜資料を配布する							
教科書 2								
参考書 1	小学校学習指導要領解説 体育編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03467-6							

参考書 2

幼稚園教育要領解説
著者:文部科学省
出版社:フレーベル館
ISBN:978-4577814475

授業科目名	子どもの英語				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	池上 真由美					NO.	PS-CE-2-345	
配当学科	子ども発達教育				年次	2		
必修・選択	選択科	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマ:小学校外国語科内容論 到達目標:小学校で英語を教えるために必要な基礎的な知識を理解する。</p>							
概要	<p>英語の言語的な特徴や第二言語としての習得のメカニズムを理解し、発達段階に応じた効果的な学習方法について理解を深める。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、演習への意欲や態度等を総合的に評価する。)</p>							
履修条件・注意事項	<p>基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>							
自己学習	<p>前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。また、クラスルームイングリッシュについては、各自で繰り返し練習し、自信をもって使えるようにすること。なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>							
オフィスアワー	<p>月曜日2時限目をオフィスアワーとする。</p>							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				第1回:小学校英語教育の変遷と第二言語習得理論 第2回:第二言語習得理論と語用論 第3回:英語の音声 第4回:発音と綴りの関係 第5回:英語の文構造・文法 第6回:英語の語彙 第7回:児童文学(絵本) 第8回:児童文学(子ども向けの歌や詩) 第9回:異文化理解 第10回:英語の書き方 第11回:英語コミュニケーション(聞くこと) 第12回:英語コミュニケーション(読むこと) 第13回:英語コミュニケーション(話すこと) 第14回:英語コミュニケーション(書くこと) 第15回:英語コミュニケーション(領域統合型の言語活動) 定期試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上
教科書 1	<p>小学校英語はじめる教科書 著者:吉田研作(監修)小川隆夫、東仁美 出版社:mpi ISBN:ISBN978-4-89643-584-9</p>							
教科書 2								
参考書 1	<p>小学校で英語を教えるためのミニマム・エッセンシャルズ 著者:酒井英樹、滝沢雄一、亙理陽一 出版社:三省堂 ISBN:ISBN:978-4-385-36138-3</p>							
参考書 2								

授業科目名	保育指導法(健康)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	柴倉 初美					NO.	PS-CE-2-346
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>児童期の体力・運動能力は総じて低下の傾向にあるとされている。これは児童期の体力・運動能力の基礎となる幼児期の運動機会の減少が理由の1つと考えられる。そこで、本講義は、幼稚園教諭・保育士を志望する者を対象とし、生涯を通じて健康で安全な生活を営む基盤としての幼児期の健康領域における配慮などについて理解できることを目的とする。幼稚園・保育園において、運動指導及び運動関連の行事運営を実践するため、発達段階の理解や発達に応じた運動指導の重要性及び方法について理解できることを目的とする。</p>						
概要	<p>講義の前半は、幼児の生活と身体発達、小学校とのつながりについて理解を深める。中盤では、情報機器及び教材を活用した課題解決型学習を通して、子どもの発達段階を理解し発表する。その後、子どもの発達段階に応じた運動指導について指導案を作成し、模擬保育により実践する。次に、講義の後半では、運動行事について、企画、立案から実施までを受講者自身で行う。これらの活動を通して、運動と健康の関連及び運動指導の実践力を身につける。</p>						
評価方法	<p>授業態度(40%)、プレゼンテーション(20%)、運動指導の実践(20%)、行事運営の取組状況(20%)により評価する。プレゼンの内容及び運動実践における不足部分及び課題については適宜フィードバックを行うため、講義終了時まで各自で補完しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	講義内容の予習・復習を行うことで理解の深化・定着をはかること。						
自己学習	<p>事前学修として、幼稚園教育要領を読み込み理解するとともに、図書館の文献及びwebサイト等を参考にし、乳児期・幼児期の発達段階に応じた運動について理解を深めること。 事後学修として、講義で理解できなかった知識について、教科書や図書館の文献及びwebサイト等を参考に理解を深化させること。目安の時間数については事前事後ともに2時間を指定する。</p>						
オフィスワ-	授業後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>第1回: 領域「健康」のねらいと内容 第2回: 幼児の生活と身体発達及び運動遊びについて 第3回: 運動遊びと小学校体育の違いと共通性 第4回: 運動遊びと保育者の関わり及び安全な生活について 第5回: 発達段階に応じた運動遊びと健康①(0～1、2歳児の食事・睡眠・運動発達) 第6回: 発達段階に応じた運動遊びと健康②(3、4歳児の食事・睡眠・運動発達) 第7回: 発達段階に応じた運動遊びと健康③(5歳児の食事・睡眠・運動発達) 第8回: 先進的な保育実践の紹介・教材研究 第9回: 指導案の作成(発達段階に合わせた運動遊び・指導) 第10回: 発達段階に応じた運動遊び・運動指導その①(0～1、2歳児の運動遊び・模擬保育) 第11回: 発達段階に応じた運動遊び・運動指導その②(3、4歳児の運動遊び・模擬保育) 第12回: 発達段階に応じた運動遊び・運動指導その③(5歳児の運動遊び・模擬保育) 第13回: 運動行事の企画(部署・役割分担・企画) 第14回: 運動行事の運営方法その1(進行・実施内容) 第15回: 運動行事の運営方法その2(発達段階に応じた内容構成・実施方法) 運動行事の実際と総括</p>	<p>演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL</p>			
教科書 1	<p>演習 保育内容 健康 著者:河邊貴子 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-5099-0</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館</p>						

ISBN:978-4577814475

参考書 2

保育所保育指針解説
著者:厚生労働省
出版社:フレーベル館
ISBN:978-4577814482

授業科目名	保育指導法(人間関係)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-347
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	幼児が他の人々と親しみ、支え合って生活することができるように、幼児の自立心を育て人と関わる力の基礎を育てるための保育指導法を考察することができる。そのために幼児期の発達の特性と幼稚園教育要領「領域(人間関係)」について理解を深め、保育実践を具体的に想定し指導法を探索することができる。						
概要	<p>1. 「保育内容(人間関係)」での学びを基礎として、さらに実践記録や幼稚園教育要領「領域(人間関係)」について、情報機器及び教材を活用してディスカッションを行い指導法について学びを深める。</p> <p>2. 「保育内容(人間関係)」のワークブックに取り組みながら、幼児期の特性や幼児を取り巻く課題を考慮した保育実践にむけて課題をつかむ。</p> <p>3. 「幼児が友達と遊びの中で関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう」ことのできる活動の指導計画の作成と発表を通して、実践をイメージし保育について考察する。</p> <p>この科目は保育士として保育現場における実務経験をもつ教員が、保育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	課題の発表や積極的に授業を創造しようとする態度、ディスカッションからの学び等、授業への参加態度・課題レポート(40%)、指導案の作成(30%)指導案の発表(30%)で評価する。提出物は評価しフィードバックするので見直し、活かすこと。						
履修条件・注意事項	保育において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び領域「人間関係」の「ねらい」を達成するためには、保育者自身がその「ねらい」を意識し、自分自身の人と関わる力を豊かにしていく努力が求められます。授業の中でもその思いを持って、共に充実した授業になるよう取り組んでいきましょう。						
自己学習	授業では課題を基にしたディスカッションや模擬授業を行うため、事前の課題作成などの予習や事後のまとめや振り返りなどの復習が必要です。1コマの学修に2時間は必要です。						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<p>1. 保育の基本と保育内容(人間関係)とは</p> <p>2. 「幼稚園教育要領解説」から、幼児教育の基本について考察する</p> <p>3. 幼児期にふさわしい生活と領域(人間関係)・10の姿</p> <p>4. 幼児期に人と関わる力が育つために保育・教師に求められること</p> <p>5. 「幼稚園教育要領解説」から、保育内容(人間関係)の「ねらい・内容」について考察する</p> <p>6. 「幼稚園教育要領解説」から、保育内容(人間関係)の「内容の取り扱い」について考察する</p> <p>7. 個と集団が育つ保育とは</p> <p>8. 幼稚園における指導計画の作成(充実した遊びが生まれるために指導計画に求められること)</p> <p>9. 指導計画の作成と考察(模擬保育)①</p> <p>10. 指導計画の作成と考察(模擬保育)②</p> <p>11. 指導計画の作成と考察(模擬保育)③</p> <p>12. 指導計画の作成と考察(模擬保育)④</p> <p>13. 指導計画の作成と考察(模擬保育)⑤</p> <p>14. 幼児期に人と関わる力の基礎を育むために保育に求められること</p> <p>15. 人と関わる力の原点を見つめて</p>	<p>講義</p> <p>講義</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>演習</p> <p>講義</p>	<p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p>					
教科書 1	幼稚園教育要領解説 平成30年3月 著者: 文部科学省 出版社: フレーベル館 ISBN: 978-4-577-81447-5						
教科書 2							
参考書 1	最新保育講座8『保育内容「人間関係」』 著者: 森上史朗・小林紀子・渡辺英則 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-05498-5						
参考書 2							

授業科目名	保育指導法(環境)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-348
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	教育の	単位数	2	時間数	30	授業形態	単独(オンライン)
テーマと到達目標	<p><テーマ> 幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された保育内容(環境)領域の「ねらい及び内容」について環境領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ具体的な指導場面を構想する方法を身に付けることを基本とする。</p> <p><到達目標> 1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域(環境)の「ねらい及び内容」並びに全体構造を理解できる。 2) 領域(環境)の「ねらい及び内容」を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解できる。 3) 領域(環境)において幼児が身に付けていく内容の関連性や小学校も教科などとのつながりを理解できる。以上を到達目標とする。</p>						
概要	<p>保育指導法(環境)では、幼児が自然環境はじめ物的環境、人的環境、社会環境など様々な環境に主体的にかかわることにより感性を豊かにし、人間として生きる力の基礎となる心情、意欲、態度などを身に付けていくことの基本的意義を学習し、保育指導法(環境)の指導に保育者として必要な知識・技能を修得することを目的とする。加えて保育者が果たすべき役割の再確認を行うと同時に、保育指導法(環境)に関する具体的教材作成やICTを活用したプレゼンテーションの手法についても「模擬保育」の演習として取り組み、実際の保育環境の中で実践的な保育指導のできる能力を修得する。</p>						
評価方法	<p>本授業内容は教科書を中心に、教材研究、模擬保育を行う中で、領域環境の理解を図る。 「環境」に関する教材の立案・発表(20%) 模擬保育のための指導案作成と実践(約30%) 小テスト、レポートと発表(約30%) 毎回授業後に「感想文(200字程度)」を期限までに指定される場所に提出すること(20%)。</p> <p>なお、評価のために実施した課題やレポートについては、授業中にフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自ら学ぶ姿勢が何よりも大切です。 初回から筆記用具を必ず準備し、配布される参考資料等ファイルし、テキストや授業で得た事項および自習した資料も加えて「マイノート」として整理しましょう。</p>						
自己学習	<p>1. テキストを中心に参考書、配布資料を参照して授業に臨むこと。 2. 配布資料やレポートなど自習したものを加え、「マイノート」として整理し、必ず復習を行うこと。 3. 期末試験は授業の際に適宜示される「課題」についてのレポート模擬保育が筆記試験の代わりとなるので、理解度の評価を上げるために、各事項における内容のポイントを中心に予習・復習を必ず行うこと(各2時間)。</p>						
オフィスアワー	10号館3階、個人研究室において、水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 幼児教育の基本および新改訂教育要領の領域「環境」事項の確認	講義	藤井					
2. [環境を通しての教育と保育者の役割]	講義	藤井					
3. 保育「環境」の指導の「ねらいと内容」及び指導案作成	講義	藤井					
4. 植物にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
5. 動物にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
6. 用具・遊具にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
7. 自然現象にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
8. 数量や図形にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
9. 地域にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
10. 春・夏の生活にかかわる模擬保育	GW	藤井					
11. 秋・冬の生活にかかわる模擬保育	GW	藤井					
12. 情報機器にかかわる事例と実践指導の考察	GW	藤井					
13. ICT活用による実践指導教材研究(立案・作成・討論)	GW	藤井					
14. 小学校 教育との連携の在り方および領域(環境)の総括	GW	藤井					
15. 幼児を取り巻く環境の実際と保育における課題	ディスカッション	藤井					
教科書 1	<p>保育内容 環境 著者:編著:高橋貴志・目良秋子 出版社:建帛社 ISBN:ISBN 978-4-7679-5062-4</p>						
教科書 2	幼稚園教育要領解説(最新版)						

	出版社: 文部科学省HP
参考書 1	事例で学ぶ保育内容 領域 環境 著者: 監修: 無藤 隆 編集: 福元真由美 出版社: 萌文書林 ISBN: ISBN 978-4-89347-258-8
参考書 2	子どもと環境(理論編) 著者: 監修: 小田 豊 編者: 奥井智久、芦田 浩 出版社: 三晃書房 ISBN: ISBN 978-4-7830-8003-9

授業科目名	保育指導法(言葉)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 伊津子				NO.	PS-CE-2-349	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	教員の	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	幼児が自分なりの言葉で表現したり、相手の話を聞こうとしたりする意欲や態度、および豊かな言語感覚の基礎が育つための指導法を身に付けることができる。 そのために乳幼児期の言語発達の特性と幼稚園教育要領「領域(言葉)」について理解し、保育の実践場面を具体的に想定し、保育を構想する方法を身に付ける。						
概要	1. 乳幼児期の言葉の発達と特性について、情報機器及び教材を活用しながら実践例や資料を基に、ディスカッションしたりまとめて理解を深める。 2. 幼稚園教育の基本を確認しつつ「領域(言葉)」の「ねらい」や「内容」について学ぶ。 3. 絵本や紙芝居等の児童文化財を学生自身が鑑賞し、保育に向けて指導法を考察する。 4. 言葉を育む力となる保育教材の研究と作製を行い、その指導法を考察する。 5. 言葉を育む遊びについてグループで指導計画を作成し、模擬保育と振り返りを行う。 この科目は保育士として保育現場における実務経験をもつ教員が、保育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	授業への参加態度(20%)、課題(①絵本の調査・分析(15%)、②紙芝居の調査・分析(15%)、③指導計画の作成と模擬保育(10%)、科目最終試験(40%)) 提出課題はフィードバックする。						
履修条件・注意事項	日頃から乳幼児の言葉を育むために、自分自身の言語能力を磨く努力を心がけること、また、絵本や紙芝居、お話等、優れた児童文化財に触れることは、予習・復習として重要なことです。						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬保育に向けて各自で言葉の育ちを目的に、楽しい遊びの指導案を色々立案しておきましょう。 ・そして授業でさらに深めていくよう積極的に取り組みましょう。 ・幼児に語ってあげたいお話を覚え、実習で語れるようにしましょう。 ・絵本・紙芝居は幼児の重要な文化です。しっかり教材研究しましょう。 教材研究や作品作りは授業内ではできないので、事前・事後の取り組みが必要です。 (1コマの授業に対して、予習復習各2コマ分が必要です。)						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回: 保育指導法(言葉)とは・言葉の力とは 第2回: 言葉が生まれるころの大切な関わりと保育環境(0歳～1歳) 第3回: 自我が芽生え・育つころの言葉の発達に大切な関わりと保育環境(幼児期前記) 第4回: 他者と繋がる言葉・自分の中にひろがる言葉の世界を育む保育環境(幼児期後期) 第5回: 幼稚園教育要領「領域(言葉)」の「ねらい・内容」について考える 第6回: 幼稚園教育要領「領域(言葉)」の「ねらい・内容」と保育実践について考える 第7回: 特別な配慮の必要な子への保育について実践例を基に考える 第8回: 言葉を育む手作り教材の作製と発表、保育実践に向けての指導計画の作成と評価 第9回: 乳幼児の発達に添った絵本の教材研究 第10回: 乳幼児の発達に添った紙芝居の教材研究 第11回: グループによる指導計画の作成と模擬保育①(絵本を用いて) 第12回: グループによる指導計画の作成と模擬保育②(紙芝居を用いて) 第13回: グループによる指導計画の作成と模擬保育③(言葉遊び・お話会) 第14回: グループによる指導計画の作成と模擬保育④(劇遊び) 第15回: 幼児期における言葉の発達と課題 第16回: 定期試験				
教科書 1	『幼稚園教育要領解説(最新版)』 著者: 文部科学省 出版社: フレーベル館 ISBN: 978-4-577-81447-5						
教科書 2	『保育内容・言葉』 著者: 太田光洋/編著						

	出版社:同文書院 ISBN:978-4-8103-1471-7
参考書 1	『明日の保育・教育にいかす子ども文化』 著者:田中卓也・藤井伊津子・橋爪けい子・小島千恵子／編 出版社:溪水社 ISBN:978-4-86327-284-2
参考書 2	『保育所保育指針解説』 著者:厚生労働省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81448-2

授業科目名	保育指導法(表現)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	上田 豊、佐藤 尚宏				NO.	PS-CE-2-350	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	「子どもの造形表現や音楽表現の活動を援助する方法の理解」をテーマとして、子どもの豊かな表現を引き出し、育むことができる。幼児の表現は発達段階や環境等によって大きく変化を見せるが、それを受け止めて的確な援助ができる力の獲得が到達目標である。						
概要	幼児の表現活動について、発達とともに変化する表現の特徴、個々で異なる多様な表現、幼児が十分に表現活動を楽しむことができる環境設定(音楽、活動の場)や援助(言葉かけ、動機付け)などについてテキストや情報機器及び教材の活用から学ぶ。また、造形表現教材の制作研究、音・音楽による表現方法の実習により実践力を身につける。前半で造形表現を、後半で音楽表現を取り上げ、講義と演習、指導案作成、模擬保育によって子どもの表現の実際と援助方法について学ぶ。						
評価方法	評価方法は授業の中でのレポート課題、実技課題の評価(50点)と授業に取り組む姿勢(50点)による。また、レポート課題・実技課題に関しては講義内でフィードバックを行うため講義終了までに内容を把握しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業は課題の制作および発表が中心になるので、予習(教科書)および自宅での制作が必要となる。また、復習(ノートのまとめやレポート)を毎回きちんとすること。						
自己学習	<p>●造形表現では、</p> <p>1) 事前にテキストを読んで重要な点を要約し、疑問点やわかりにくい点などを書き出しておくこと。(参加型学習法により授業を行うので必須である。)</p> <p>2) 授業内容をふまえ、要約を完成させること。</p> <p>●音楽表現では、</p> <p>1) 普段から様々な音・音楽に触れ、自身の感性を磨いておくこと。</p> <p>2) 授業内容をふまえ、振り返りの自己学修を行うこと。</p> <p>いずれも、2時間程度を目安として事前事後学修を行うこと。</p>						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回:オリエンテーション	講義	上田・佐藤					
第2回:指導のねらいと指導案作成、保育者の役割(5-1、2)	講義と演習	佐藤					
第3回:指導形態、間接的な援助(5-3、4)	講義と演習	佐藤					
第4回:直接的な援助、模擬保育(5-5、6)	講義と演習	佐藤					
第5回:表現の動機と意欲(5-7、8)	講義と演習	佐藤					
第6回:模擬指導(各グループによる指導)	講義と演習	佐藤					
第7回:模擬指導(各グループによる指導)	講義と演習	佐藤					
第8回:模擬指導ふりかえり	講義と演習	佐藤					
第9回:領域「表現」の捉え方	講義と演習	上田					
第10回:乳幼児の音楽的発達とは	講義と演習	上田					
第11回:音を感じる、音で遊ぶ	講義と演習	上田					
第12回:歌う活動の実践と指導	講義と演習	上田					
第13回:奏でる活動の実践と指導	講義と演習	上田					
第14回:オペレッタを通しての音楽表現)	講義と演習	上田					
第15回:音楽表現活動における指導案の作成と模擬保育	講義と演習	上田					
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者:榎 英子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-295-3						
教科書 2	保育内容「音楽表現」 著者:石井玲子編著 出版社:教育情報出版 ISBN:978-4-909378-16-3						
参考書 1	幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5						
参考書 2	保育所保育指針解説 著者:厚生労働省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814482						

授業科目名	初等教科教育法(国語)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子					NO.	PS-CE-2-352
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本講義は、小学校教員に必要な国語科授業における基礎的知識の修得及び実践的指導力の育成をテーマとし、到達目標は次の4点とする。</p> <p>①国語科の目標や内容を理解し、学習指導案を作成することができる。 ②作成した学習指導案にもとづき、模擬授業を実施することができる。 ③授業評価を適切に行い、課題を見つけ、授業内容や指導方法を改善していくことができる。 ④デジタル教材の開発など、ICTを活用した指導方法を理解することができる。</p>						
概要	<p>小学校学習指導要領に示された国語科の目標や内容を理解するとともに、国語科授業の構成理論、指導方法、指導技術について学ぶ。さらに、ICTを活用した指導方法を追究して学習指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的指導力を身に付ける。書写においては、正しい姿勢や執筆法、基本的な指導過程、評価及び作品処理の方法、教材教具の創意工夫等、小学校における書写指導に必要な力を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、小学校教員に必要な図書館の利用についての知識や表記法、文章表現等の指導に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポート試験(40%)、模擬授業の発表内容(30%)、課題(提出物・レポート)(20%)、授業態度(10%)を総合的に評価する。課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	教科書は必ず持参すること。 必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。 必要な教材は用意するが、指示されたものは準備して講義に臨むこと。						
自己学習	模擬授業を行うため、学習指導案の作成など事前準備を行う必要がある。 本講義は予習・復習を必要とする。予習として、『小学校学習指導要領解説(国語)』の該当部分を読んで講義に臨むこと。復習では、講義を振り返り、内容を理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	110号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1. 国語を学ぶ意義・初等国語科教育の歴史 2. 国語科の目標と内容(学習指導要領の理解) 3. 指導計画の作成と内容の取扱い(学習指導要領の理解) 4. 学習指導案作成の方法 5. 発問・板書・机間指導・評価の方法 6. ICTを活用した指導方法 7. 教材研究の方法と授業の展開例「読むこと」(文学的文章) 8. 教材研究の方法と授業の展開例「読むこと」(説明的文章) 9. 教材研究の方法と授業の展開例「書くこと」(作文) 10. 教材研究の方法と授業の展開例「話すこと・聞くこと」 11. 教材研究の方法と授業の展開例「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」 12. 書写指導の方法 13. 模擬授業と授業評価(第1グループ) 14. 模擬授業と授業評価(第2グループ) 15. 模擬授業と授業評価(第3グループ) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL レポート試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03462-1				
教科書 2	現場で役立つ小学校国語科教育法 著者:牛頭哲宏・森篤嗣 出版社:ココ出版 ISBN:978-4-904595-26-8				
参考書 1	適宜、指示する				
参考書 2					

授業科目名	初等教科教育法(社会)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	白神 幹夫					NO.	PS-CE-3-353
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	将来、学校現場において社会科の授業の実践できる教員の養成がテーマであり、小学校教員に必要な社会科の授業における基礎的知識および実践的指導力の育成を目的とし小学校教員採用試験に合格できるようになる。						
概要	「小学校学習指導要領」および「小学校学習指導要領解説 社会編」を中心に、小学校における社会科の授業構成に必要な基礎的事項、理論、指導方法、指導技術などについて学ぶとともに、体験的な授業として教材研究、学習指導案作成、模擬授業を取り入れる。						
評価方法	定期試験(70%) レポート等提出物(15%) 積極的な参加態度(15%) 評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。						
履修条件・注意事項	毎時間、参考資料を配付するのでファイルを用意すること。なお、学習指導案作成に際しては必ずワープロソフトを活用して作成し、授業前に全員に公開することとする。						
自己学習	課題の予習復習、積極的授業参加態度を期待する。模擬授業が充実したものになるよう工夫していただきたい。予習復習には2時間程度は必要です。						
オフィスワ-	毎時間講義終了後教室にて実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
授業計画 第1回: はじめに・・・ 講義の進め方など 第2回: 社会科で育てたい子ども像 第3回: 教材研究の仕方 第4回: 1時間の授業の作り方 第5回: 基礎的スキル(発問・板書・調べ活動) 第6回: 基礎的スキル(話し合い活動・表現活動等) 第7回: 社会科の評価とは・・・(評価基準と評価規準・絶対評価と相対評価) 第8回: 社会科の評価の実践例と指導計画 第9回: 学習指導案の実際 第10回: 模擬授業に向けての教材づくり・教材研究 第11回: 学習指導案作成検討会 第12回: 模擬授業 第13回: 模擬授業 第14回: 模擬授業 第15回: 模擬授業とまとめ 第16回: 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL 筆記試験	白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神					
教科書 1	小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年6月 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	初等教科教育法(算数)				履修期	2021年度 春学期		
担当者	鳥居 恭治					NO.	PS-CE-3-354	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	子どもにとって魅力ある教材を開発して授業できる実践的指導力を身につけるため、(1)算数科の目標と内容について理解する、(2)デジタル教材を含めた魅力ある教材開発をする、(3)学習指導案を作成し授業実践(模擬授業)をする、(4)授業設計の計画・実践・評価の一連の考察を通して授業改善を計る、ことをねらいとしている。							
概要	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編の内容を熟知し、具体的な指導事例を通して算数科指導法の基礎的な事項を習得する。また、デジタル教材をはじめ子どもにとって魅力のある教材を開発して授業ができる実践的指導力を育成する。授業における効果的なICT活用方法を追究して学習指導案を作成し模擬授業を実施し、評価・改善を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場に実践的において役立つ授業を実施する。							
評価方法	〔試験〕60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) 〔提出物〕20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する) 〔授業への参加態度〕20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等)を総合的に評価する。 レポート課題は授業中で、試験は個別にフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されてプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。							
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄を整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。							
オフィスワ-	毎授業の前・後及び休憩時間等を実施する。							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 算数科の目標と内容 2. 各学年の内容①(1, 2年) 3. 各学年の内容②(3, 4年) 4. 各学年の内容③(5, 6年) 5. 指導計画の作成と内容の取り扱い 6. 魅力ある教材開発 7. 魅力あるデジタル教材開発 8. 魅力ある教材開発の実際 9. ICT活用による授業構成 10. ICT活用による授業構成の実際 11. 学習指導案の作成 12. 学習指導細案の作成 13. 模擬授業と授業分析①(第1グループ) 14. 模擬授業と授業分析②(第2グループ) 15. 模擬授業と授業分析③(第3グループ) 16. 試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習 講義・AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居				
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59010-5							
教科書 2	算数の基本問題 小学6年 著者:日能研教務部 出版社:みくに出版社 ISBN:978-4-8403-0401-6							
参考書 1	問題解決にもとづく算数指導 著者:島田 和昭 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-4910-7							
参考書 2								

授業科目名	初等教科教育法(理科)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 はる江				NO.	PS-CE-2-355	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ及び到達目標 「問題解決型の理科授業ができる力を身に付ける」をテーマに、小学校理科の指導に必要な基礎的な概念を構築し、育成すべき資質、能力を理解する。また、知識や実験技術の基礎を習得して理科教育の指導法を身に付けるために、学年ごとに育成する問題解決の能力を理解し、実験を取り入れながら確認する。それを基に単元計画や指導案を作成し模擬授業を行う。これらの学習を通して、理科の教え方を習得する。</p>						
概要	<p>授業の概要 学習指導要領解説 理科編を使用し、児童に身に付けさせたい資質、能力や科学的な見方や考え方を学年ごとに理解する。また、理科教育に必要な基本的な観察、実験技能を習得し、問題解決的な授業を展開するための資質、能力を育成する。必要に応じてインターネットなどの映像を活用する方法を取り入れる。具体的に学習指導案を作成し、模擬授業を通して指導力を身に付ける。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>学生に対する評価 授業では、テキストを事前に熟読してくることを前提とする。模擬授業(30%) 提出物(20%)最終試験(50%) なお、評価ために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと</p>						
履修条件・注意事項	<p>講義では自作のプリントを使うので講義で説明した重要な点を記入し、プリントを整理しておき、いつでも提出できるようにしておく。講義ごとに復習プリントを配布するので、次回の講義には必ず提出する。さらに、講義の終了時には次回の講義にふれるので参考書あるいは小・中学校の教科書で予習をしておく。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 復習2時間 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な 参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回:小学校における理科教育の目標、内容の概要 第2回:身に付けさせたい問題解決能力の系統 第3回:3学年理科で身に付けさせる見方、考え方 第4回:4学年理科で身に付けさせたい見方、考え方 第5回:5学年理科で身に付けさせたい見方、考え方 第6回:6学年理科で身に付けさせたい見方、考え方 第7回:単元構成の仕方と情報機器の活用 第8回:学習指導案の書き方 理科における評価 第9回:学習指導案作成 第10回:予備実験 第11回:模擬授業1、模擬授業2 相互評価 第12回:模擬授業3、模擬授業4 相互評価 第13回:模擬授業5、相互評価 第14回:授業改善の視点と問題解決型授業のポイント 第15回:理科講義の振り返り 第16回:定期試験	講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義・演習 講義・演習 模擬授業 模擬授業 講義 演習 講義・演習 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上		
教科書 1	小学校学習指導要領解説 理科編 著者:文部科学省 出版社:大日本図書株式会社 ISBN:978-4-477-01949-9						
教科書 2	教科書「新しい理科」3～6年 著者:毛利 衛 編 出版社:東京書籍株式会社 ISBN:978-4-487-10453-6						
参考書 1	「わかった」をめざす理科授業 著者:鷲見辰実、森田和義、佐々木床昭弘、白岩等 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03175-0C3037						
参考書 2							

授業科目名	初等教科教育法(図画工作)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-3-358
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	「図画工作科教育に関する基礎的な知識及び授業運営の実際」をテーマとして、児童の発達段階と育成を目指す資質・能力や、図画工作の特質や意義について理解した上で、学習指導の計画方法を学び、より良い授業づくりのための教育技能を獲得することを到達目標とする。						
概要	初等教育における図画工作の意義や役割、目標と内容、歴史などの理論及び学習指導計画と評価、情報機器の活用について学ぶ。さらに学習指導の実践に向けて〈造形あそび〉〈絵(版)〉〈立体〉〈工作〉〈鑑賞〉において児童の発達に沿ったふさわしい教材研究を行った上で、指導案の作成と模擬授業を行う。						
評価方法	節目のレポート課題、模擬授業の演習などの評価:70% 授業に取り組む姿勢(予習・復習課題、参加の態度や意見など):30% ※毎回の予習・復習課題は評価したのち、必要なフィードバックはコメントか授業内で行う。						
履修条件・注意事項	予習・復習(教科書)、および模擬授業の準備などの自宅学習が必要です。						
自己学習	【予習】事前にテキストを読んで、疑問点やわかりにくい点などを書き出しておくこと。 【復習】授業内容をふまえ、内容の理解を深めること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。 ※普段から様々なアートや子どもたちの遊びや野外活動、造形表現に触れること。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回:オリエンテーション、第1章図画工作科における学び	講義	佐藤尚宏					
第2回:学習指導要領(目標及び内容)	講義	佐藤尚宏					
第3回:第2章 図画工作科の内容	講義	佐藤尚宏					
第4回:第3章 図画工作科の指導法、学習指導計画と評価	講義	佐藤尚宏					
第5回:第2章 図画工作科の内容1,2,3、教材研究の意味	講義	佐藤尚宏					
第6回:模擬授業(A表現-造形遊び)	講義	佐藤尚宏					
第7回:模擬授業(A表現-造形遊び)	演習	佐藤尚宏					
第8回:第2章 図画工作科の内容4.5.6,7,8,9	演習	佐藤尚宏					
第9回:模擬授業(A表現-絵に表す)	講義	佐藤尚宏					
第10回:模擬授業(A表現-立体に表す)	演習	佐藤尚宏					
第11回:第2章 図画工作科の内容10,11,12,13,14,15	演習	佐藤尚宏					
第12回:模擬授業(工作に表す)	講義	佐藤尚宏					
第13回:模擬授業(工作に表す)	演習	佐藤尚宏					
第14回:模擬授業(B鑑賞)	演習	佐藤尚宏					
第15回:第5章 図画工作科の学びの広がり	講義	佐藤尚宏					
教科書 1	明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法 著者:新野貴則・福岡知子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-287-8						
教科書 2							
参考書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4536590112						
参考書 2							

授業科目名	初等教科教育法(家庭)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	幸坂 寛子					NO.	PS-CE-3-359
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	小学校家庭科を指導する上で必要な基礎的かつ基本的な知識と技術を習得する。学習指導案の作成や、評価計画の作成を通して授業の組み立てについての基礎的な知識及び技術を身につけるとともに模擬授業を通して小学校教師として必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、情報機器や教材を効果的に活用する能力および教材研究能力を養い、家庭科の授業を創造する指導力を養う。						
概要	小学校学習指導要領に示された小学校家庭科の目標・内容・方法・評価とそれに基づく授業構成の検討を行う。また、授業を行う上での指導計画、評価計画の作成を行い、模擬授業を行う。 実務経験のある教員による授業科目 この科目は教諭としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	授業への積極的参加態度(45%)、課題及びレポート等の提出物(35%)、最終試験(20%) 評価のために行った課題及びレポートについては、授業でフィードバックをするので最終試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	「子どもの家庭」の履修を履修条件とします。教職を目指す者としての自覚を持って授業に臨むことを強く希望します。そのため、授業への参加態度や積極的な取り組みを大きく評価へ反映させます。模擬授業に関するレポートの提出を重視するため指導案、本事案、指導細案、板書計画、ワークシートの作成をしっかりと行い、必ず、期日厳守で提出してください。受講に際して予習・復習を十分行うこと。						
自己学習	各授業計画にある内容について事前に予習し授業に臨むこと。模擬授業に関して、授業担当者以外も必ず指導案を作成し、授業後自己評価と改善を行うこと。 予習および復習には2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1、学習指導要領の変遷と家庭科の特徴 2、小学校家庭科の内容①・・・家族・家庭生活 3、小学校家庭科の内容②・・・衣食住の生活 4、小学校家庭科の内容③・・・消費生活・環境 5、指導計画について 6、ICT(情報機器)活用による授業構成と教材研究について 7、学習指導案の作成について 8、評価方法について 9、模擬授業①・・・「生活時間をマネジメント」 10、模擬授業②・・・「食べて元気に」 11、模擬授業③・・・「ご飯とみそ汁を作ろう」 12、模擬授業④・・・「手縫いを生活に生かそう」 13、模擬授業⑤・・・「ミシンを使って作ってみよう」 14、模擬授業⑥・・・「よりよい買い物の方法を考えよう」 15、模擬授業⑦・・・「環境のことを考えた生活を続けよう」 16、単位認定試験		講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂 幸坂				
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 家庭編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03466-9						
教科書 2	わたしたちの家庭科 小学校5・6年 2020版 著者:鳴海 多恵子他 出版社:開隆堂						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	初等教科教育法(英語)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	池上 真由美					NO.	PS-CE-3-361
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択科	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:小学校英語教授法と授業計画書の作成 到達目標:小学校英語教育に関する基礎理論を理解し、その指導法、教材作成、評価等に関する実施方法を習得する。</p>						
概要	<p>小学校外国語活動及び外国語科において、英語を教えるため必要な基礎理論(教育法・教材・指導案等)を学び、模擬授業(別途実施)を行って実践的な指導力を身に付ける。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、演習への意欲や態度等を総合的に評価する。)</p>						
履修条件・注意事項	<p>基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。また、クラスルームイングリッシュについては、各自で繰り返し練習し、自信をもって使えるようにすること。なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	月曜日2時限目をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1:小学校外国語教育の変遷と諸外国の初等外国語教育 2:小学校学習指導要領及び小・中・高の連携と小学校の役割 3:言語習得論一母語の習得と第二言語習得 4:基本的な外国語教授法と国語教育との連携 5:音声によるインプットの在り方 6:コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた意味のあるやり取り 7:受信から発信、音声から文字へ 8:文字指導と読む・書く活動の導入 9:児童の発話を引出し、やり取りを活性化する言語活動 10:英語での語りかけ方・クラスルームイングリッシュ 11:題材の選定と教材研究(ICT等の活用を含む) 12:指導計画と1時間の授業づくり、学習指導案の立案 13:ALT等とのチーム・ティーチングと学習評価(パフォーマンス評価を含む) 14:模擬授業と振り返り(1) 15:模擬授業と振り返り(2)、児童や学校の多様性への対応 16:定期試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上 池上				
教科書 1	小学校学習指導要領解説(外国語)、(外国語活動)(最新版) 著者:文部科学省						
教科書 2	小学校英語はじめる教科書 吉田 研作(監修)小川 隆夫・東 仁美 出版社:mpi ISBN:978-4-89643-584-9						
参考書 1	小学校外国語教材「We Can!1,2 指導編」(最新版) 小学校外国語活動教材「Let's Try 1,2 指導編」(最新版) 著者:文部科学省						
参考書 2							

授業科目名	教育原論(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	TC-CE-2-301	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育の基本的概念や教育の理念などについての理解を深める。 【到達目標】 1 教育の基本的概念 (1)教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解することができる。 (2)子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解することができる。 2 教育に関する歴史 (1)家族と社会による教育の歴史を理解することができる。 (2)近代教育制度の成立と展開を理解することができる。 (3)現代社会における教育課程を歴史的な視点から理解することができる。 3 教育に関する思想 (1)家庭や子どもに関わる教育の思想を理解することができる。 (2)学校や学習に関わる教育の思想を理解することができる。 (3)代表的な教育家の思想を理解することができる。</p>						
概要	<p>教師には教科指導力、生徒指導力などの力量が求められる。しかしそれらの力量は教育の基本的概念や教育の理念などの理解に支えられてこそ発揮できるのである。授業では、これら教育の基本的概念や教育の理念に加え、教育の歴史や思想、そしてこれまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、教育行政及び中学校校長の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の諸概念 2. 教育の本質及び目標並びに代表的な教育家の思想 3. 教育を成り立たせる諸要因と相互の関係 4. 近代教育制度の成立と展開並びに代表的な教育家の思想 5. 学校教育制度の変遷 6. 現代社会における教育課題①(日本国憲法下の教育施策) 7. 現代社会における教育課題②(幼稚園教育) 8. 現代社会における教育課題③(小学校教育) 9. 現代社会における教育課題④(特別支援教育) 10. 学習に関わる教育の思想 11. 学校と社会による教育の歴史 12. 家庭や子供に関わる教育の思想 13. 生涯学習社会と教育 14. 歴史的視点から見た教育課題 15. 学校に関わる教育の思想 16. 試験 	<p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL 筆記試験</p>	<p>藤井 藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井 藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井 藤井 藤井</p> <p>藤井 藤井 藤井</p>		
教科書 1	<p>なぜからはじめる教育原理[第2版] 著者:池田隆英、楠本恭之、中原平生 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-5072-3</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>教育原理 著者:矢藤誠慈郎・北野幸子編 出版社:中央法規</p>						

ISBN:978-4-8058-5202-6

参考書 2

- ①幼稚園教育要領解説(平成30年3月)
②小学校学習指導要領(平成29年告示)
著者:文部科学省
出版社:①フレーベル館
②東洋館出版社
ISBN:①978-4-577-81447-5|②978-4-491-03460-7

ISBN:①978-4-491-03461-4|②978-4-577-81447-5

参考書 2

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説(平成30年3月)
著者:内閣府・文部科学省・厚生労働省
出版社:フレーベル館
ISBN:978-4-577-81449-9

授業科目名	教育行政学(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎					NO.	TC-CE-2-303
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育行政の仕組みや関連する教育法規について学ぶとともに、教育行政を進める上で不可欠である保護者・地域との連携や学校安全に関する理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1 教育に関する制度的事項</p> <p>(1)公教育の原理及び理念を理解することができる。</p> <p>(2)公教育制度を構成している教育関係法規を理解することができる。</p> <p>(3)教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解することができる。</p> <p>(4)教育制度をめぐる諸課題について理解することができる。</p> <p>2 学校と地域との連携</p> <p>(1)地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解することができる。</p> <p>(2)地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解することができる。</p> <p>3 学校安全への対応</p> <p>(1)学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解することができる。</p> <p>(2)生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解することができる。</p>						
概要	<p>教育行政とは、国や地方公共団体が教育政策を実現するため、教育法規に基づいて教育制度を運用し教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うことをいう。また、教育行政を進める上で、学校と保護者、地域との連携は不可欠な時代となっている。学校評議員、学校評価、学校運営協議会などの制度を知ることも必要である。さらに、震災をはじめとした自然災害や学校管理下における事件・事故災害が繰り返し発生している現状から、災害発生時に対応できる素養や、災害の予防、あるいは被害を最小限に抑える方策等、学校安全に関する知識・技能等を身に付けておく必要がある。この授業では、テキストをもとに、これらの内容を学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、教育行政及び中学校校長の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する)</p> <p>[提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する)</p> <p>[授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する)</p> <p>レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄を整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 教育行政とは何か 2. 教員行政 3. 就学前教育行政と幼稚園・保育所・認定こども園 4. 初等中等教育行政と学校 5. 高等教育・私立学校行政と学校、特別支援教育と学校・学校外教育 6. 教育課程行政 7. 教育委員会と学校 8. 学校と外部環境 9. 学校安全 10. 学校施設・学校統廃合 11. 地方教育政治・地方教育行政 12. 教育財政 13. 中央政府 14. 文部科学省の仕事 15. 教育制度の法体系と原理 16. 試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義・AL 筆記試験	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井・外部講師 藤井 藤井					
教科書 1	<p>教育制度を支える教育行政(アクティベート教育学05) 著者:青木栄一 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-08539-2</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>2021年版 ポケット教育小六法 著者:伊藤良高 出版社:晃洋書房</p>						

ISBN: (2021年4月出版予定)

参考書 2

- ①幼稚園教育要領解説(平成30年3月)
②小学校学習指導要領(平成29年告示)
著者:文部科学省
出版社:①フレーベル館
②東洋館出版社
ISBN:①978-4-577-81447-5|②978-4-491-03460-7

授業科目名	教育心理学(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	TC-CE-2-304
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義は、教員免許(幼稚園・小学校教諭一種免許)取得のための必修科目であるが、授業のテーマとしては、教育心理学の学問的知見に基づき、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、学生が基礎的知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。到達目標としては、学生が幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解でき、さらに乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、具体的な内容を理解できる。また、学生が様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解し、主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解するとともに、幼児、児童及び生徒の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。						
概要	この講義は、幼児、児童及び生徒の心身の発達過程や特徴について講じるとともに、学習に関する基礎的知識や発達を踏まえた学習を支える指導について論じる。具体的には、幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する代表的理論について概説し、発達の概念及び教育における発達理解の意義、運動・言語・認知・社会性の発達等に関する具体的な内容について講じる。また、幼児、児童及び生徒の主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価のあり方等について、主体的な学習活動を支える指導の実際についても教授する。また、幼児、児童及び生徒の学習支援に役立つ臨床心理学的視点についても論じる。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	講義をしっかりと聞き学ぶ意志のあること。受講態度の不適切な者には退出を求めることがある。また、多くの講義資料をファイルデータとして提示するので、整理し学習に活用すること。なお、受講に際しては必ず復習を行うとともに、次回の予告に対して予習を行うこと。						
自己学習	1) 事前にファイル提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 教育心理学とは何か 2. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する基礎理論 3. 幼児期の心身の発達過程と特徴ー運動・感情・認知・言語・社会性の発達 4. 児童期の心身の発達過程と特徴ー身体運動能力・認知・社会性・仲間関係・自己概念の発達 5. 青年期の心身の発達と特徴ー身体・認知能力・アイデンティティ・自己意識・人間関係の発達 6. 学習のメカニズム(1)ー学習理論の系譜 7. 学習のメカニズム(2)ー認知的情報処理と記憶 8. 学習のメカニズム(3)ー動機づけと学習意欲 9. 学級集団と学習行動・学校生活 10. 学級集団づくりにおける教師の役割と友人関係の影響 11. 教育測定と評価の意義 12. 教育測定と評価の実際 13. 幼児、児童及び生徒の情緒問題・行動的問題と学習支援 14. 障害をもつ幼児、児童及び生徒への学習支援 15. 学修のまとめ 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田			
教科書 1	初回講義時にファイル資料データを提示するとともに、毎講義時にも新たなファイル資料データ提示する。				
教科書 2					
参考書 1	やさしい教育心理学 著者: 鎌原雅彦 出版社: 有斐閣アルマ ISBN: 978-641-12458-5				
参考書 2	子どもを育む心理学 著者: 小林芳郎他 出版社: 保育出版社 ISBN: 978-4-938795-61-0				

授業科目名	特別支援教育(初等教育)				履修期	2021年度 春学期			
担当者	藤吉 晴美					NO.	TC-CE-2-305		
配当学科	子ども発達教育				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この授業では、さまざまな障害の種類や特性を理解し、特別支援教育に携わる上で必要となる指導・支援法について学んでいく。具体的には、特別支援教育の理念とシステムを理解し、特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を知る。さらに特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒への適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につける。								
概要	特別支援教育では、特別支援学校や、保育園・幼稚園、小学校等において、様々な障害のある幼児・児童ひとりひとりのニーズに応じた適切な指導と支援が求められている。本科目では、特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の理解と指導内容・方法等の基本的事項について解説する。								
評価方法	試験60%、ミニレポート40%とする。 ミニレポートはコメントをつけフィードバックする。								
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさず行うこと。 ・積極的に授業に参加すること。 								
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書をよく読み、ポイントと思われるところ、理解できないところ、それぞれにマーカーを入れて授業を受けること。 ・復習のために授業の内容をノート、配布プリントに書くこと。その内容と教科書を照合し学びを深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 								
オフィスワ-	木曜2限:個人研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1:特別支援教育の理念と制度 2:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 3:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(1) 4:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(2) 5:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 6:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童に対する支援 7:特別支援の幼児・児童への組織的支援 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児・児童への対応8. 定期試験			1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 試験	1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 筆記試験					
教科書 1	はじめての特別支援教育 著者:拓植雅義 編 出版社:有斐閣アルマ ISBN:978-4-641-22038-6								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	教育課程論(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎					NO.	TC-CE-2-306
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育課程編成の意義や方法及びカリキュラム・マネジメントの意義に関する理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1 教育課程の意義</p> <p>(1)学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解することができる。</p> <p>(2)学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解することができる。</p> <p>(3)教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解することができる。</p> <p>2 教育課程編成の方法</p> <p>(1)教育課程編成の基本原則を理解することができる。</p> <p>(2)教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を理解することができる。</p> <p>(3)単元・学期・学年をまたいだ長期的な視点から、また幼児、児童や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解することができる。</p> <p>3 カリキュラム・マネジメント</p> <p>(1)学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解することができる。</p> <p>(2)カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解することができる。</p>						
概要	<p>教育の目的や目標を達成するために適切な教育課程を編成し、児童生徒の教育に当たることが学校には課せられている。そのために授業では、教育課程とは何か、教育課程の変遷、教育課程の法体系と学習指導要領、新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて考察する。また、カリキュラム・マネジメントについての基礎知識を身に付ける。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、教育行政及び中学校校長の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する)</p> <p>[提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する)</p> <p>[授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する)</p> <p>レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。</p> <p>授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。</p> <p>復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。</p> <p>なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1. 教育課程とカリキュラム 2. 教育課程とは何か 3. 教育の目的と教育課程の編成 4. 現代日本の教育課程の変遷 5. 幼児教育・小学校教育における教育課程 6. 教育課程の法と行政 7. 諸外国における教育課程の現状 8. 近年の教育改革の動向および今後の課題 9. 教育課程が登場するまで 10. 教育課程上の諸課題と展望 11. 新学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂のポイント 12. 「社会に開かれた教育課程」とカリキュラム・マネジメント 13. カリキュラムマネジメントのポイントと組織体制 14. カリキュラムマネジメントの具体例 15. 実践・カリキュラムマネジメント 16. 試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習 筆記試験	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井

教科書 1	はじめて学ぶ教育課程 著者:広岡義之 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07559-1
教科書 2	
参考書 1	①小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 ②幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:①東洋館出版社

	②フレーベル館 ISBN:①978-4-491-03461-4 ②978-4-577-81447-5
参考書 2	就学前教育の計画を学ぶ 著者:松村和子・近藤幹生・椛島香代 出版社:ななみ書房 ISBN:978-4-903355-74-0

授業科目名	道徳教育の理論と方法(初等教育)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	川上 はる江					NO.	TC-CE-3-307
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 討論 模擬授業
テーマと到達目標	道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。						
概要	授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を練り直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%) 提出物(20%) 最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。						
履修条件・注意事項	次回の授業で扱うテーマおよび内容は予告するので、(1)テキスト(場合によっては関連文献・資料など)に目を通すとともに、(2)問題意識(疑問や質問)をもって出席すること。						
自己学習	予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の課題を出すので要点をまとめておくこと						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回: 道徳教育を学ぶ視点 第2回: 人間と道徳,道徳教育 第3回: 戦前、戦後の道徳教育 第4回: 指導要領と道徳教育 第5回: 発達理論 第6回: 授業理論 第7回: 学校の道徳教育の構造 第8回: 道徳資料の読み方 第9回: 指導案の書き方 第10回: 教材研究、指導案作成 第11回: 模擬授業1(演習) 第12回: 模擬授業2(演習) 第13回: 総合単元的道徳学習 第14回: 構想表作成 第15回: 道徳教育における評価 第16回: 定期試験		講義 講義 演習 演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 模擬授業 模擬授業 講義 講義 講義・演習 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	道徳教育を学ぶ人のために 著者:小寺正一、藤永芳純(編) 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1404-0						
教科書 2	小学校学習指導要領解説 道徳編(平成29年版) 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-02376-2						
参考書 1	私たちの道徳 5,6年 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75187-9						
参考書 2	私たちの道徳 3,4年 著者:文部科学省 出版社:教育出版社 ISBN:978-4-316-30083-2						

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 はる江				NO.	TC-CE-2-308	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習 AL
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ及び到達目標 特別活動は、集団活動を通して課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行う活動である。集団や社会の一員として「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を持ちながら自主的、実践的な育てることを目標としている。また、総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的な学習を行い、よりよく課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。これらの教育方法上の特徴ゆえに、教科指導とは異なる役割を担っている。 本授業では、下記の3点を目標に学修し、学級活動及び総合的な学習の時間の学習指導案や活動計画を書き、授業構成ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動・総合的な学習の時間の意義、目標、内容を理解することができる。 2. 特別活動の指導法を実践的に理解することができる。 3. 総合的な学習の時間の指導計画を作成し、指導と評価の考え方を理解することができる。 						
概要	<p>授業の概要 特別活動、総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら、次の6点について学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導要領における特別活動の目標、主な内容、教育課程における位置づけ 2. 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の特質 3. 学級活動の指導案を作成し、模擬授業の実践と評価 4. 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、主な内容、教育課程上の位置づけ 5. 総合的な学習の時間における年間指導計画作成の仕方、単元計画の作成の仕方 6. 総合的な学習の時間について指導と評価の方法、その留意点 <p>※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>授業では、テキストを事前に熟読してくることを大前提にする。授業でレポートを出すこともあるので、レポートの評価も授業への参画状況として考える。 評価は、授業での発表や発表をめぐる発言、討論など(20%)、授業への参画状況(30%)、最終試験(50%)とで行う。 なお、評価ために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業前に、事前にテキストを読み込み、内容を理解するとともに、質問や疑問をまとめて来ることを望む。理解を進める上で、予習(一読)は大切。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習2時間 個別に課題を出すので少しずつまとめること</p>						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1: 授業オリエンテーション、特別活動の教育課程上の位置づけと役割 2: 特別活動の目標、主な内容 3: 学級活動の特質 4: 児童会、クラブ、学校行事 5: 特別活動の評価、連携 6: 年間計画 学習指導案書き方 7: 学習指導案作成(学級活動) 8: 模擬授業と評価 9: 模擬授業と評価 10: 模擬授業と評価 11: 総合 教育課程上の位置づけ 12: 総合的な学習 目標、内容 13: 年間計画、単元計画 14: 年間計画、単元計画の作成 15: 評価と留意点 16: 定期試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 模擬授業AL 講義 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上		
教科書 1	<p>新しい教職教育講座9 特別活動 著者: 中村豊 原清治 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08192-9</p>						
教科書 2	<p>新しい教職教育講座8 総合的な学習の時間 著者: 森田真樹, 篠原正典 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08191-2</p>						
参考書 1	<p>小学校学習指導要領 解説 総合的な学習の時間 著者: 文部科学省 出版社: 東洋館出版社 ISBN: 978-4-491-03468-3</p>						
参考書 2	<p>楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 著者: 国立教育政策研究所 出版社: 文溪堂 ISBN: 978-4-7999-0098-7C3037</p>						

授業科目名	教育の方法と技術(初等教育)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	今村 俊介、山本 泰弘					NO.	TC-CE-2-309
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、技術を学ぶ」をテーマとして、教授法の基礎理論と共に授業設計の仕方、学習指導の方法、学習形態、教育機器、教具の活用などについて基礎的・基本的な事項を学ぶ。到達目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教授法の歴史、教育方法の基礎理論を理解することができる。 2. 授業、保育を構成する基礎的な要件(児童生徒、教員、教材、環境)を知ることができる。 3. 多様な指導方法・技術として授業設計の仕方、指導法、学習形態、情報機器の活用等について理解し、情報機器を活用し教材を作成することができる。 4. ケースメソッドを取り入れたり、模擬場面指導を行ったりして実践的指導力をつけることができる。 						
概要	<p>講義と演習を取り入れて構成している。教育技術、授業・保育を構成する基礎的な要件については講義を通して学ぶ。教育の技術(板書、情報機器を使っての提示、課題の引き出し方)については、実際の具体的なプレゼンテーションの作成や発表などから学ぶ。その際、評価について学び、実際に評価することを通して理解を深める。また、「こんな時どうする」と、ケースメソッドを取り入れ、模擬場面指導を通して、実践的な指導方法を学修する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>授業ではテキストを事前に熟読してくることを前提とする。授業で学修してきたことを発表する形式を取り入れるので、発表内容について評価する。</p> <p>発表内容・討論(20%) プレゼンテーション(30%) 最終テスト(50%)で行う。</p> <p>なお、評価のために実施したレポート、小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業内容を効率的に理解し発展できるようにするために、その時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。</p> <p>復習2時間 授業時には前回の資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、要点を整理しておくこと。</p>						
オフィスワ-	<p>個人研究室にて、火曜日2限に実施。(今村) 授業終了後、教室で実施(山本)</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>第1回:オリエンテーション、教育の方法と技術とは</p> <p>第2回:テーマ発表の素案作成</p> <p>第3回:教育メディア活用と理論</p> <p>第4回:教育メディアの種類と機能</p> <p>第5回:教育メディア活用、教材作成計画と準備</p> <p>第6回:教育メディア活用、教材作成</p> <p>第7回:教育メディア活用、教材仕上げ</p> <p>第8回:評価の基本的な考え方と評価の作成</p> <p>第9回:前半グループによる発表と評価</p> <p>第10回:後半グループによる発表と評価</p> <p>第11回:子どもへの指導場面での問題点と解決の方向性</p> <p>第12回:ケースメソッド・模擬場面指導(遊び場面)</p> <p>第13回:ケースメソッド、模擬場面指導(学習場面)</p> <p>第14回:ケースメソッド、模擬場面指導(その他の場面)</p> <p>第15回:授業のまとめ・振り返り</p> <p>第16回:単位認定試験</p>	<p>講義</p> <p>GW</p> <p>講義・実技</p> <p>講義・実技</p> <p>講義・実技</p> <p>講義・実技</p> <p>講義・実技</p> <p>講義・GW</p> <p>プレゼン</p> <p>プレゼン</p> <p>講義</p> <p>ディスカッション</p> <p>ディスカッション</p> <p>ディスカッション</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p>	<p>山本</p> <p>山本</p> <p>今村</p> <p>今村</p> <p>今村</p> <p>今村</p> <p>今村</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p> <p>山本</p>		
教科書 1	<p>教育の方法と技術(第三版) 著者:柴田 義松 山崎 準二 【編】 出版社:学文社 ISBN:978-4-7620-2869-4</p>						
教科書 2	<p>教師自作ワークシート</p>						
参考書 1	<p>〈三訂版〉教育の方法と技術 著者:平沢 茂 〈編著〉 出版社:図書文化 ISBN:978-4-8100-8701-7</p>						

参考書 2

小学校学習指導要領(平成29年告示)
著者:文部科学省
出版社:東洋館出版社
ISBN:978-4-491-03460-7

授業科目名	幼児理解			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小坂田 佐弓					NO.	TC-CE-1-310
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:保育者の専門性の中核である幼児理解についての知識を身につけ、幼児理解の方法を具体的に理解する。</p> <p>到達目標:①一人一人の幼児の内面を理解し、信頼関係を築き、発達に必要な経験を幼児自ら獲得していけるように援助する力を身につけている。</p> <p>②遊びの中から「学び」の可能性をとらえることができる。</p> <p>③幼児理解を深める観察と記録の方法と意味を理解している。</p> <p>④子ども・家庭支援の必要性と、保護者とのかかわりの基本を理解している。</p>						
概要	<p>まず、子どもはどのようなものか、ディスカッションや絵本から考え、子どもを見るまなざしを理解する。次いで、保育場面の観察と記録を、グループディスカッションにより分析・考察して、子どもの内面を捉える。＜気になる＞子どもの対応について、その背景や要因を理解し、基本的な対応を学ぶ。共感的・受容的理解のカウンセリングマインドについて学び、子ども・家庭支援及び家庭連携の必要性とかかわりの基本を身につける。</p>						
評価方法	<p>この科目では、一人一人の子どもを理解し、援助できる能力を身に付けることを目的としていることから、知識および能力の修得状況を計るため、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況および自ら考えまとめる能力を確認するためのレポート試験(50%)、ディスカッションにおける発言頻度・発言内容(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、授業終了時に提出してもらうコメントカードについてはフィードバックを行うので、レポート試験までに確認しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回の授業におけるディスカッションなどに主体的に参加・発表できるように、予習として授業計画に記載されていることについて調べ学習を行ってこよう。絵本などを紹介することが多いので、見やすいよう教室のなるべく前の方に座ること。</p>						
自己学習	<p>ディスカッションの内容、講義で取り上げた児童文化財の内容や感想についてノートをまとめ、復習を行ってこよう。予習および復習には各1時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:保育のはじまりとしての「幼児理解」	講義	小坂田					
第2回:個々の子どもの「思い」への気づき	ディスカッション	小坂田					
第3回:絵本から学ぶ子どもの姿	講義	小坂田					
第4回:子どもを見る「目」:個別的・共感的まなざし	講義	小坂田					
第5回:子どもを見る「目」:概念的的理解と個別的的理解	講義	小坂田					
第6回:幼児理解と発達の理解	講義	小坂田					
第7回:幼児理解の基本としてのカウンセリングマインド	講義	小坂田					
第8回:観察と記録:共感的に見る	実習	小坂田					
第9回:観察と記録:記録をとることの意味	講義	小坂田					
第10回:理解と援助:個と集団の関係							
第11回:＜気になる＞子ども	ディスカッション	小坂田					
第12回:子ども・家庭支援及び家庭連携:子ども・家庭支援の必要性	講義	小坂田					
第13回:子ども・家庭支援及び家庭連携:保護者とのかかわりの基本	講義	小坂田					
第14回:子ども・家庭支援及び家庭連携:地域の子育て支援	ディスカッション	小坂田					
第15回:子ども理解と歴史							
第16回:定期試験	講義	小坂田					
	講義	小坂田					
	レポート試験	小坂田					
教科書 1	使用しない(必要に応じて資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1	<p>最新保育講座 子ども理解と援助 著者:高嶋景子・砂上史子・森上史朗 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78462E+12</p>						
参考書 2	幼稚園教育要領(最新版)						

授業科目名	生徒・進路指導論(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	TC-CE-3-311	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】生徒指導、キャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、キャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての児童を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 児童の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての児童を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 児童が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 						
概要	<p>生徒指導は、一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と原理 2. 学校における生徒指導体制、教育相談 3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携 4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導) 5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動) 6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校) 7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ) 8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害) 9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待) 10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害) 11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ) 12. キャリア教育とは何か 13. キャリア教育推進のために 14. 小学校におけるキャリア教育 15. 生徒指導の今後の方向性 16. 試験 	<p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験</p>	<p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p>					
教科書 1	<p>生徒指導提要 著者:文部科学省 出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0</p>						

教科書 2	小学校キャリア教育の手引き<改訂版> 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30025-2
参考書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03460-7
参考書 2	

授業科目名	教育実習指導(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江、鳥居 恭治					NO.	TC-CE-3-313
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育実習を行うために必要な基本的な知識や技能を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育実習に対して、明確な目的意識や課題意識を持つ。 2 教材研究、幼児・児童の理解など、教育実習生として必要な知識、技術を習得する。 3 教育実習生として必要な授業・保育等の実践的な指導力を身に付ける。 4 教育実習生として遵守すべき義務等について理解し、その責任を自覚したうえで教育実習に参加する意欲を高める。 						
概要	<p>教育実習は、観察、参加、実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることが求められる。</p> <p>この授業は、教育実習を行うための事前指導にあたる。教職意識を高めるとともに、実習に向けた基本的な知識や技能の習得をめざす。授業は、教育実習の目的と心得などの講義だけでなく指導案を作成して模擬授業・模擬保育を行うなど教育実習に向けての実践的な内容を取り扱う。必要に応じて幼稚園実習組と小学校実習組に分かれて講義・演習を行う。なお、指導案作成や模擬授業・模擬保育の準備は、正規の授業時間外に行うことになる。</p> <p>この授業の目的は、受講生にとって幼稚園や小学校における教育実習が有意義なものとなるよう事前及び事後の学修をすることにある。したがって、教育実習終了後にも、教師としての実践力向上のための努力を継続することが望まれる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小学校教員、小学校校長、指導主事等の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>模擬授業・模擬保育(60%)、レポート(20%)、受講態度(20%)により評価する。</p> <p>模擬授業・模擬保育、レポートの評価のフィードバックはその都度行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>教育実習を行うための必須単位である。</p> <p>教師という自覚を高めるためにも、欠席・遅刻には厳しく対処する。</p> <p>授業時間外にも小グループに分かれて模擬授業・模擬保育を行うこともある。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に資料を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。</p> <p>復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。</p> <p>予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の目的と心得 2. 実習に向けた準備と実習日誌の書き方 3. 4年生による実習経験談を聞く 4. 模擬授業・模擬保育のための基礎知識 5. 指導案の構成 6. 指導案の書き方 7. 指導案の作成の基礎 8. 指導案の作成 9. 指導案の診断 10. 指導案の修正 11. 模擬授業・模擬保育および講評Ⅰ(グループ1) 12. 模擬授業・模擬保育および講評Ⅱ(グループ2) 13. 模擬授業・模擬保育および講評Ⅲ(グループ3) 14. 模擬授業・模擬保育および講評Ⅳ(グループ4) 15. 模擬授業・模擬保育および講評Ⅴ(グループ5) 		<p>講義 講義</p> <p>演習 講義</p> <p>講義 講義 演習 演習 演習 演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p>	<p>全員 全員</p> <p>全員 全員</p> <p>全員 全員 全員 全員 全員 全員</p> <p>全員・外部講師 全員・外部講師</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p>				
教科書 1	<p>幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5</p>						
教科書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03461-4</p>						
参考書 1	<p>①小学校教育実習ガイド ②幼稚園・保育園・養護教育実習ハンドブック 著者:①石橋裕子他編 ②菊地明子 出版社:①萌文書林 ②明治図書</p>						

参考書 2

実習日誌の書き方
著者:相馬和子 他編
出版社:萌文書林

授業科目名	教育実習 I (初等教育)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江、鳥居 恭治					NO.	TC-CE-3-314
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼児、児童又は生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。 2 指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。 3 教育実習校(園)の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解することができる。 4 学級担任や教科担任等の補助的な役割を担うことができる。 						
概要	<p>教育実習は、観察、参加、実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることが求められる。</p> <p>教育実習においては、幼児・児童や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校(園)の幼児、児童の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、大学で学んだ教科・領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を、各教科や教科外活動の指導場面・保育で実践するための基礎を身に付けることが必要である。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	<p>実習園・実習校からの成績評価(50%)、実習日誌・指導案作成およびレポート提出(40%)、事前説明会、教員採用試験への積極的な取り組みなど(10%)による総合的評価で行う。また普段からの講義での予習・復習を忘れないようにする。なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「教育実習指導」の単位修得ができていない学生、教職志望意識が目立って低い学生については、実習を行うことはできない。実習前に各実習園・校における事前打ち合わせがあるため、実習学生は日程や事前準備などをしっかり把握・確認しておくことが必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に資料などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1.幼稚園・小学校の役割や1日の流れを理解する 2.子ども達の実際の様子を観察する 3.観察実習をもとに、実際に子ども達の学びに関わる(参加実習) 4.参加実習を重ね、子ども理解を深める 5.一人一人に対する子ども理解をもとに、学級全体に対する理解をする 6.参加実習の中で教師の実際について理解する 7.部分実習や研究授業を経験し、教師の役割を理解する 8.部分実習や研究授業から子ども達との関わりについて理解する 9.学校運営について理解する 10.学年運営について理解する 11.学級運営について理解する 12.学習指導について理解する 13.生徒指導について理解する 14.教員研修について理解する 15.教育者の任務について理解する 	<p>実習</p> <p>実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習 実習 実習</p>	<p>全員</p> <p>全員 全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員 全員 全員 全員 全員 全員</p>		
教科書 1	実習日誌・指導案は大学専用の実習簿を使用。						
教科書 2							
参考書 1	<p>幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5</p>						
参考書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03461-4</p>						

授業科目名	教育実習Ⅱ(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江、鳥居 恭治					NO.	TC-CE-3-315
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育者としての実践的力量的形成を図る。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領・幼稚園教育要領及び児童・幼児の実態等を踏まえた適切な学習指導案・指導案を作成し、授業・保育を実践することができる。 2 学習指導・保育に必要な基礎的技術(話法、板書、学習・保育形態、授業・保育展開、環境構成等)を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。 3 学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 4 教科指導以外の様々な活動の場面で適切に児童・幼児と関わることができる。 						
概要	<p>教育実習Ⅱは、教育実習Ⅰの経験を踏まえた上で、教育者としての実践的力量的形成を図ることを企図している。すなわち幼稚園・小学校に身を置き、幼児・児童と向き合うことで発達の実際や接し方について理解を深める。幼稚園実習では、指導教員の指導を受けながら、見学・観察・部分保育、全日保育、研究保育などを順次体験することになる。また小学校実習は、見学・模擬授業・研究授業などから構成される。見学・観察実習においては、指導教員の授業・保育を観察の視点をもって見させていなければならない。ただ漠然と授業・保育を観察していることがあってはならない。また、授業実習・保育実習に当たっては、幼児や児童に対し、彼らの大切な時間の一部を提供してもらっているのだという感謝の念をもち、幼児や児童に楽しくかつ充実した授業・保育が展開できるように周到に準備をする必要がある。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	<p>実習園・実習校からの成績評価(50%)、実習日誌・指導案作成およびレポート提出(40%)、事前説明会、教員採用試験への積極的な取り組みなど(10%)による総合的評価で行う。また普段からの講義での予習・復習を忘れないようにする。なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「教育実習指導」の単位修得ができていない学生、教職志望意識が目立って低い学生については、実習を行うことはできない。実習前に各実習園・校における事前打ち合わせがあるため、実習学生は日程や事前準備などをしっかり把握・確認しておくことが必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に資料などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1.幼稚園・小学校の役割や1日の流れを理解する 2.子ども達の実際の様子を観察する 3.観察実習をもとに、実際に子ども達の学びに関わる(参加実習) 4.参加実習を重ね、子ども理解を深める 5.一人一人に対する子ども理解をもとに、学級全体に対する理解をする 6.参加実習の中で教師の実際について理解する 7.部分実習や研究授業を経験し、教師の役割を理解する 8.部分実習や研究授業から子ども達との関わりについて理解する 9.学校運営について理解する 10.学年運営について理解する 11.学級運営について理解する 12.学習指導について理解する 13.生徒指導について理解する 14.教員研修について理解する 15.教育者の任務について理解する 	<p>実習</p> <p>実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習 実習</p>	<p>全員</p> <p>全員 全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員 全員 全員 全員 全員 全員</p>		
教科書 1	実習日誌・指導案は大学専用の実習簿を使用。						
教科書 2							
参考書 1	<p>幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5</p>						
参考書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03461-4</p>						

授業科目名	介護等体験の研究				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-362
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	介護等体験の意義・目的の理解がテーマであり、体験施設の概要や活動内容を把握すること、あわせて教職意識の明確化を図ることが到達目標である。						
概要	次年度以降実施する「介護等体験」の事前指導に当たる。様々な特別支援学校の先生や福祉施設の方に、それぞれの学校や施設の概要やそこでの介護等体験における注意事項等を講義していただく。						
評価方法	受講態度(40%)と毎回課されるレポート(60%)により評価する。						
履修条件・注意事項	介護等体験を行うことが義務づけられている小学校・中学校の教員免許状取得希望者には必修科目である。教員志望者に対する講義ということで、出席状況、受講態度等にはシビアである。講義予定回数は8回であり、実施日程にはくれぐれも注意すること。						
自己学習	予習:テキストの該当箇所を精読。授業で該当する施設について、図書館等で調べておくこと。(2時間) 復習・課題:外部講師の方のお話を整理してレポートにまとめること。(2時間) 日頃から、自分の教師適正について考えておくように。						
オフィスワ-	講義終了後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 介護等体験の意義・目的(第1部1～3章) 2. 介護等体験の実際(第2部2章, 3章) 3. 高齢者福祉施設の概要と介護等体験(外部) 4. 児童福祉施設の概要と介護等体験(外部) 5. 知的障害者福祉施設と介護等体験(外部) 6. 特別支援学校の概要と介護等体験(外部) 7. 特別支援学校(視覚障がい)の概要と介護等体験(外部) 8. まとめ・今後の予定(第1部4章)	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	森井 森井 外部講師 森井 外部講師 森井 外部講師 森井 外部講師 森井 森井		
教科書 1	教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版 著者: 現代教師養成研究会(編) 出版社: 大修館書店 ISBN: 4469268763						
教科書 2							
参考書 1	特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア 著者: 全国特別支援学校長会 編 出版社: ジアース教育新社 ISBN: 978-4-86371-522-6						
参考書 2							

授業科目名	外国語活動				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 泰弘					NO.	PS-CE-3-363	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「外国語活動の授業の基礎基本を学ぶ」をテーマとして、子どもたちが主体的・対話的に深く学び、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することのできる外国語活動の授業の在り方を考え、教員として指導観を持つことのできる能力を身につける。小学校外国語活動の目標や内容を確実に理解し、外国語活動の授業を行う基礎的・基本的な知識や技能を獲得するとともに、外国語活動の学習計画や指導案の作成方法を理解し、授業づくりに生かすことができるようになることを到達目標とする。							
概要	「小学校学習指導要領解説(外国語活動編)」を確実に理解し、外国語活動の授業で子どもたちが使用している教材を使って授業を実際に体験しながら、自信を持って外国語活動の授業ができるようにしていく。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。							
評価方法	授業では事前にテキストや配布資料を熟読していることを前提とする。実際に活動しながら授業を進めていくので、主体的・対話的な授業態度(発言回数や内容・活動意欲)や模擬授業などを重視する。 主体的・対話的な授業態度(20%)・模擬授業(30%)・単位認定試験(50%) 評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	予習と復習は必須である。小学校の子どもたちが外国語活動の授業で取り組んでいる活動(歌・チャンツ・クイズ・ゲームなど)を実際に体験しながら授業を進めていくので、積極的に参加すること。また、学習計画や指導案を作成し模擬授業をするので、自分なりの工夫を模擬授業に加えること。なお、必要に応じて印刷物を配布するので、初回授業よりファイルを用意すること。							
自己学習	テキストや事前配布資料で予習し、授業に臨むこと。また、前回の学修事項を基に質疑応答形式で授業を進めるので、復習し理解を深めること。予習および復習には、各2時間程度を要する。文部科学省のホームページには、学習指導要領や学習指導要領解説、外国語活動の補助教材などの資料が数多く掲載されている。また、書店にも、外国語活動に関する本や資料がたくさん並んでいる。これらを、予習や復習に役立てるようにしたい。							
オフアワー	授業終了後、教室で行う。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション		講義	山本					
2. 「外国語活動」の基本理念		講義	山本					
3. 小学校学習指導要領(外国語活動)解説		講義	山本					
4. 教材の構成		講義	山本					
5. 教材の内容		講義	山本					
6. 第二言語習得と指導の留意点		講義	山本					
7. 指導者の役割・指導法・指導技術		講義	山本					
8. 指導者の英語表現		講義・演習	山本					
9. 授業研究(映像視聴・討論)								
10. 指導目標や学習計画の立て方・評価方法・学習指導案の作成方法		ディスカッション	山本					
11. 学習計画・指導案作成		講義	山本					
12. 模擬授業の準備		GW	山本					
13. 模擬授業		GW	山本					
14. 模擬授業の振り返り		AL	山本					
15. 講義のまとめ・振り返り		ディスカッション	山本					
16. 単位認定試験		講義	山本					
		筆記試験	山本					
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編 著者:文部科学省 出版社:開隆堂 ISBN:978-4-304-05168-5							
教科書 2	Let's Try! 1(市販版指導編) 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-25970-0							
参考書 1	Let's Try! 2(市販版指導編) 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-25971-7							
参考書 2								

授業科目名	子ども総合演習 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	栗田 喜勝、中野 明子					NO.	PS-CE-1-401
配当学科	子ども発達教育				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習は、学生が大学における学びの意義を理解し、自主的に学ぶ態度と能力を涵養することをテーマとする。受講により、学生が「授業を聴く・ノートをとる力を養い、学習の基礎的リテラシーを修得できる」ことを到達目標とする。						
概要	学生の主体性を尊重し、学生の手立てる力を最大限引き出すという教授法をとりながら、大学生として専門教育を学ぶ上で必要な基礎知識、学力を身につけることができるよう指導する。						
評価方法	評価の視点としては、以下の3点があげられる。①授業のねらいと内容を理解したうえで、要点をつかむことができる、②一読すれば、授業内容が想起できるようなノートづくりができる、③ノートを読み返して、いくつかの疑問や質問を提起することができる。評価方法は、毎回の授業への取り組み姿勢(40%)、授業ノート評価・課題(60%)で行う。なお、毎授業時の課題については、評価をフィードバックするので次受講の参考にしてほしい。						
履修条件・注意事項	受講生の主体的な参加が基本であり、事前の予習や授業後の復習等も含め、受講態度が重視される。履修学生は必ず「授業ノート」を用意すること。授業は学科の教員がオムニバス形式で担当する。						
自己学習	予習として、毎回の授業テーマについて調べ、不明な点はまとめておくこと。復習として、授業での学びや気づきを整理しておくこと。適宜宿題を出す。宿題についてディスカッションが行われる場合には積極的に参加し、教員のコメントによってフィードバックされる場合にも、よく確認して復習すること。予習・復習にはそれぞれ毎回2時間ずつあてること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーを参照してください。急ぎの場合は昼休みを利用してください。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.大学における学び:これまでに「学び」と、これからの「学び」	演習	中野					
2.大学でのノートのとり方の基本:講義を聴いてノートをとる	演習	中野					
3.文章を読む力をつける:例文を読んで文章構造を分析する	演習	中野					
4.良い文章を書く基本(間違いやすい表現を中心に考える)	演習	中野					
5.エピソードやプロセスレコードの記述	演習	中野					
6.絵本を通して、共感や受容について表現する	演習	中野					
7.障害のある人のライフヒストリーを聴きとる(ビデオ教材から)	演習	中野					
8.大学図書館の役割・機能・利用方法について学び、大学生活の中で有効に活用する意義について学ぶ。	演習	栗田					
9.大学における学修技術・効果的な学修方法について学ぶ。	演習	栗田					
10.新聞記事を教材として、内容の要約・読解を行う。	演習	栗田					
11.新聞記事を参考にしながら意見文(論述)を作成する。	演習	栗田					
12.講義内容を正しく聞き取る	演習	栗田					
13.どうしたら正確に受け取れるのか	演習	栗田					
14.要点を読み取る。受け取った内容を要約する。	演習	栗田					
15.学修のまとめ	演習	栗田					
教科書 1	授業時に資料を配付する。						
教科書 2							
参考書 1	大学生 学びのハンドブック 著者:世界思想社編集部 編 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1647-1						
参考書 2							

授業科目名	子ども総合演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	藤井 和郎					NO.	PS-CE-3-403		
配当学科	子ども発達教育				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>【テーマ】児童等を指導するための方法及び技術を身に付ける。 【到達目標】子ども総合演習Ⅲは教職全般に関する科目であり、教育場面における諸課題に対する理解力と対応能力を身に付ける。</p>								
概要	<p>本演習では、上述のとおり教職を目指す学生が児童等に対する理解を深めるとともに、教育実践力を養成・向上することを目的としている。したがって、受講生が主体的、積極的に学修に取り組み、自らの課題を探り、真摯に受け止めて克服する努力が求められる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>								
評価方法	<p>演習の取り組み(30%)、レポート試験(70%)をもとに、授業への参画状況等を含め総合的に評価する。 演習はその都度、試験は個別にフィードバックを行う。</p>								
履修条件・注意事項	<p>教員をめざす強い意志を持って学修に臨むことを期待する。毎回授業資料を配付するので授業後はファイリングし、必ず事後学修を行うこと。</p>								
自己学習	<p>授業内容に関する自己学修(事前・事後学修)を行うことにより、本演習の学修効果を高めることができるので、関心を持ったことを自発的にしっかり調べ、多面的に理解を深めていくこと。なお、それぞれ約2時間の事前・事後学修が必要である。</p>								
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(保育者・教員の資質)			講義	藤井					
2. 学習指導要領改訂の背景			講義・演習	藤井					
3. 生徒指導提要			講義・演習	藤井					
4. いじめ防止対策推進法			講義・演習	藤井					
5. 不登校			講義・演習	藤井					
6. 学校教育相談			講義・演習	藤井					
7. 教育心理			講義・演習	藤井					
8. キャリア教育			講義・演習	藤井					
9. 人権教育			講義・演習	藤井					
10. 特別支援教育			講義・演習	藤井					
11. 学校教育に関する教育法規			講義・演習	藤井					
12. 子どもに関する教育法規			講義・演習	藤井					
13. 教員に関する教育法規			講義・演習	藤井					
14. 日本教育史			講義・演習	藤井					
15. 西洋教育史			講義・演習	藤井					
16. 試験			レポート試験	藤井					
教科書 1	使用しない。適宜、資料を配付する。								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する。								
参考書 2									

授業科目名	子ども総合演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-3-404
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習のテーマは「音楽にかかる諸知識・技能の応用」とし、既習の音楽関係科目、子どもの音楽、基礎技能Ⅰ(音楽A・B)ほかで習得した知識・技術を生きた音楽表現に結晶させることを目的とする。受講により、弾き歌いでは、自分の表現意図に沿った演奏ができる、そして、ピアノ伴奏では確実な運指を習得して、安定性の高い演奏ができる。						
概要	学生の主体性を尊重し、学生の興味・希望をできるだけ取り上げる。それに加えて、全国の保育所・幼稚園のアンケート結果から、希望の多かった歌、小学校の歌唱共通教材も取り上げ、それらを模範唱としての弾き歌い、幼児の音楽活動への伴奏など、保育者として現場に即した演奏力の取得を行う。						
評価方法	平素の課題(学習曲)と学習成果発表(実技)及び受講態度により総合的に評価する。評価の割合は、平素の課題への取り組み(40%)、受講態度(30%)、学習成果発表(30%)。授業では、毎回次回のテーマについて簡単な解説をして、課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに、簡単な講評をおこなうので、その後の参考にしてほしい。						
履修条件・注意事項	受講生の主体的な参加が基本であり、予習や復習をふくめ、受講態度を重視する。実技は、日々の積み重ねが基本となるので、日々練習を怠らないこと。						
自己学習	予習として、前回の授業で課された曲について、譜読みを行い、歌唱及びピアノ演奏練習を十分に行うこと。また、復習として、演奏できるようになった曲は、いつでも歌える(弾ける)ように、日々練習を怠らないこと。予習及び復習は、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 呼吸法、発声法 2. 歌唱表現① 明るい声・暗い声 3. 歌唱表現② かたい声・柔らかい声 4. 音楽表現① フレーズと表現 5. 音楽表現② テンポと表現 6. 音楽表現③ 強弱と表現 7. 音楽表現④ 形式と表現 8. 表現に関する言葉 9. ピアノ・ハ長調の旋律と運指 10. ピアノ・ヘ長調の旋律と運指 11. ピアノ・ト長調の旋律と運指 12. ピアノ・ニ長調の旋律と運指 13. ピアノ・ワン・コードの曲 14. ピアノ・ツー・コードの曲 15. ピアノ・スリー・コードの曲 16. 試験(演奏発表弾き歌)	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田		
教科書 1	授業時に資料を配付する。						
教科書 2							
参考書 1	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者:全国大学音楽教育学会中・四国地区学会 出版社:音楽之友社 ISBN:4-276-31274-4						
参考書 2	明日へ歌い継ぐ 日本の子供の歌 唱歌童謡140年の歩み 著者:全国大学音楽教育学会 出版社:音楽之友社 ISBN:978-4-276-59025-0						

授業科目名	里山総合演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎、雲津 英子					NO.	PS-CE-1-406
配当学科	子ども発達教育			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	里山というフィールドでの様々な体験学習を通して、人や自然に対する柔らかな感性を身につけること、また、社会や教育・保育現場での様々な課題に対して、創造力を発揮して確実に解決していくことが出来る実践力を身につけることができる。本演習を受講することにより、1.状況対応能力の修得、2.感性・創造力の養成、3.体力・運動能力の向上、4.相互関係力を向上することができる。						
概要	四季を通じた里山の変化に対応する活動(自然観察や里山整備、野菜・花卉栽培などの畑作業、きのこの栽培、炭焼き、薪づくりなど、および、フィールドアスレチック、ネイチャーゲームなど里山を楽しむ遊びの体験活動)を行い、自然に関わる活動の楽しさを味わうと同時に、知識と技術を習得する。その中で自分自身への気づきや課題などを基に、自分で授業のポートフォリオを作成する。これらのことを通して、子どもにとっての自然環境とのかかわりの意義について理解し、子どもたちとのかかわりへの夢や希望を抱かせる。						
評価方法	定期試験は実施せず、授業ポートフォリオ(50%)、活動への取り組み姿勢(50%)で評価する。なお、ポートフォリオについては毎授業後に教員のコメント付してフィードバックするので次回受講の参考にしてほしい。						
履修条件・注意事項	授業計画書で授業内容を確認して、服装、注意事項など準備をしっかりとって授業に臨むこと。また、授業後、ふりかえりシートによるポートフォリオ作成を必ず行う必要がある。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 なお、予習・復習については各2時間以上の取り組みが必要である。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)(秀)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション		演習	秀・雲津				
2.山の整備		演習	秀・雲津				
3.交流①「山遊び」事前指導		演習	秀・雲津				
4.幼稚園・保育園児との交流①:「山遊び」		演習	秀・雲津				
5.交流①「山遊び」事後指導交流		演習	秀・雲津				
6.畑の整備		演習	秀・雲津				
7.交流③「さつまいも苗植え」事前指導		演習	秀・雲津				
8.幼稚園・保育園児との交流③:さつまいも苗植え(1)		演習	秀・雲津				
9.幼稚園・保育園児との交流③:さつまいも苗植え(2)		演習	秀・雲津				
10.交流③:さつまいも苗植え事後指導		演習	秀・雲津				
11.川の整備		演習	秀・雲津				
12.交流④「川遊び」事前指導		演習	秀・雲津				
13.幼稚園・保育園児との交流④「川遊び」(1)		演習	秀・雲津				
14.幼稚園・保育園児との交流④:「川遊び」(2)		演習	秀・雲津				
15.交流④事後指導・まとめ、合同ポートフォリオ発表会		演習	秀・雲津				
教科書 1	特に指定しない。						
教科書 2							
参考書 1	授業の中で適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	里山総合演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秀 真一郎、雲津 英子					NO.	PS-CE-1-407	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	里山というフィールドでの様々な体験学習を通して、人や自然に対する柔らかな感性を身につけること、また、社会や教育・保育現場での様々な課題に対して、創造力を発揮して確実に解決していくことが出来る実践力を身につけることができる。本演習を受講することにより、1.状況対応能力の修得 2.感性・創造力の養成 3.体力・運動能力の向上 4.相互関係力を向上することができる。							
概要	四季を通じた里山の変化に対応する活動(自然観察や里山整備、野菜・花卉栽培などの畑作業、きのこの栽培、炭焼き、薪づくりなど、および、フィールドアスレチック、ネイチャーゲームなど里山を楽しむ遊びの体験活動)を行い、自然に関わる活動の楽しさを味わうと同時に、知識と技術を習得する。その中で自分自身への気づきや課題などを基に、自分で授業のポートフォリオを作成する。これらのことを通して、子どもにとっての自然環境とのかかわりの意義について理解し、子どもたちとのかかわりへの夢や希望を抱かせる。							
評価方法	定期試験は実施せず、授業ポートフォリオ(50%)、活動への取り組み姿勢(50%)で評価する。なお、ポートフォリオについては毎授業後に教員のコメント付してフィードバックするので次回受講の参考にしてほしい。							
履修条件・注意事項	授業計画書で授業内容を確認して、服装、注意事項など準備をしっかりとって授業に臨むこと。また、授業後、ふりかえりシートによるポートフォリオ作成を必ず行う必要がある。							
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。なお、予習・復習については各2時間以上の取り組みが必要である。							
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)(秀)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.交流⑤「さつまいもほり」事前指導 2.交流⑤「さつまいもほり」 3.交流⑤「さつまいもほり」事後指導 4.山の整備 5.交流⑥「やきいもと山あそび」事前指導 6.交流⑥「やきいもと山あそび」1やきいも 7.交流⑥「やきいもと山あそび」2山遊び 8.交流⑥「やきいもと山あそび」事後指導 9.山作業・フィールド整備「竹採取・広場の整備」 10.収穫祭準備 11.収穫祭1 野外調理 12.収穫祭2 野外遊び 13.次年度活動計画作成ー立案 14. 次年度活動計画作成ーディスカッション 15.ポートフォリオ発表会・まとめ			講義 演習 講義 演習 講義 演習 演習 講義 演習 演習 演習 演習 講義	秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津 秀・雲津	
教科書 1	特に指定しない。							
教科書 2								
参考書 1	授業時に適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	里山総合演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-2-408
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	里山というフィールドでの様々な体験学習を通して、人や自然に対する柔らかな感性を身につけること、また、社会や教育・保育現場での様々な課題に対して、創造力を発揮して確実に解決していくことが出来る実践力を身に付けることができる。本演習を受講することにより、1.状況対応能力の修得、2.感性・創造力の養成、3.体力・運動能力の向上、4.相互関係力の育成を行うことができる。						
概要	里山という自然環境の中で子どもたちと行動を共にしながら、彼らが動植物などに関心を抱き、種々の活動の中での発見や工夫、成功の喜びなどの感動体験を経験したり、熱中し没頭する様子を観察し、「子どもの世界」に触れることにより、子どもにとって自然と直接かかわる活動体験の意義を理解する。 具体的には、①子どもたちの里山活動の援助、支援体験学習を通して、里山での遊びや学習を、教育・保育へと接続させる理論と方法を学ぶ、②四季の里山の変化に相応する活動体験(生産・制作活動、自然観察等)を行う。						
評価方法	定期試験は実施せず、授業ポートフォリオ(50%)、活動への取り組み姿勢(50%)で評価する。なお、ポートフォリオについては毎授業後に教員のコメント付してフィードバックするので次回受講の参考にしてほしい。						
履修条件・注意事項	授業計画書で授業内容を確認して、服装、注意事項など準備をしっかりとって授業に臨むこと。また、授業後、ふりかえりシートによるポートフォリオ作成を必ず行う必要がある。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。なお、予習・復習については各2時間以上の取り組みが必要である。						
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認のこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.里山交流活動の目的・意義 3.里山活動とは 4.森の幼稚園に学ぶ 5.昨年度の里山交流活動を振り返って 6.自然と関わるということ(「センス・オブ・ワンダー」に学ぶ) 7.保育現場のDVDから子どもと自然の関わりについて学ぶ 8.「どろだんご」について考える 9.自然の素材で遊ぶ 10.里山交流活動で楽しむ手遊び 11.身近な植物で遊ぶ 12.野外活動の保育実践に学ぶ 13.里山交流活動に向けての課題 14.振り返りと今後に向けての計画 15.まとめ	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	全教員 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 全教員 全教員					
教科書 1	特に指定しない。						
教科書 2							
参考書 1	授業の中で適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	里山総合演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 伊津子				NO.	PS-CE-2-409	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	里山というフィールドでの様々な体験学習を通して、人や自然に対する柔らかな感性を身につけること、また、社会や教育・保育現場での様々な課題に対して、創造力を発揮して確実に解決していくことが出来る実践力の養成を目的とする。本演習を受講することにより、1.状況対応能力の修得 2.感性・創造力の養成 3.体力・運動能力の向上 4.相互関係力の育成を行うことができる。						
概要	里山という自然環境の中で子どもたちと行動を共にしながら、彼らが動植物などに関心を抱き、種々の活動の中での発見や工夫、成功の喜びなどの感動体験を経験したり、熱中し没頭する様子を観察させ、「子どもの世界」に触れさせることにより、子どもにとって自然と直接かかわる活動体験の意義を理解させる。 具体的には、①子どもたちの里山活動の援助、支援体験学習を通して、里山での遊びや学習を、教育・保育へと接続させる理論と方法を学ぶ、②四季の里山の変化に相応する活動体験(生産・制作活動、自然観察等)を行う。						
評価方法	定期試験は実施せず、授業ポートフォリオ(50%)、活動への取り組み姿勢(50%)で評価する。なお、ポートフォリオについては毎授業後に教員のコメント付してフィードバックするので次回受講の参考にしてほしい。						
履修条件・注意事項	授業計画書で授業内容を確認して、服装、注意事項など準備をしっかりとって授業に臨むこと。また、授業後、ふりかえりシートによるポートフォリオ作成を必ず行う必要がある。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。なお、予習・復習については各2時間以上の取り組みが必要である。						
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認のこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.交流④「さつまいもほり」事前指導 2.交流④「さつまいもほり」 3.交流④「さつまいもほり」事後指導 4.山作業・フィールド整備「竹採取・広場の整備」 5.山作業・フィールド整備「竹採取・広場の整備」 6.収穫祭準備 7.収穫祭1 まきわり 8.収穫祭2 火起こし 9.交流⑤「やきいもと山あそび」事前指導 10.交流⑤「やきいもと山あそび」 11.交流⑤「やきいもと山あそび」事後指導 12.プレーワーカー養成講座1 講演 13.プレーワーカー養成講座2 プレーパーク実践 14. ネイチャーゲーム 15.ポートフォリオ発表会・まとめ	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	藤井 全教員 藤井 藤井 藤井 全員 外部講師 外部講師 藤井 全教員 藤井 藤井 藤井 藤井 全教員		
教科書 1	特に指定しない。						
教科書 2							
参考書 1	授業の中で適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-410	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習は卒業必修科目であるが、対人援助の基礎と実際をテーマとして、様々な環境で生活する子どもの成長発達への援助について学ぶことにより、子育て・子育て支援の理解を深め、実践力の基礎を養うことができる。							
概要	人間の社会的行動のうち、援助行動に代表される「向社会的行動」の心理的・社会的背景について学び、サポートティブな人間関係について理解を深める。さらに、子どもの向社会的行動の発達特徴について学び、形成促進のための諸条件について考察する。							
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。							
履修条件・注意事項	ファイル資料として提示する関連文献の輪読を行うとともに、個別にレポート作成や課題発表を課すので積極的な参加が必要。なお、事前に関連文献に目を通して参加し(予習)、授業後のまとめをしっかりと行うこと(復習)。							
自己学習	1) 事前にファイル提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。							
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。							

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. オリエンテーション	演習	栗田			
2. 資料の配付と解説	演習	栗田			
3. 援助行動について(1)理論的背景	演習	栗田			
4. 援助行動について(2)実際の行動	演習	栗田			
5. 援助行動の動機づけについて(1)個人的動機	演習	栗田			
6. 援助行動の動機づけについて(2)社会的動機	演習	栗田			
7. 援助行動の規定要因について(1)個人的要因	演習	栗田			
8. 援助行動に規定要因について(2)社会的要因	演習	栗田			
9. 援助行動の促進要因	演習	栗田			
10. 向社会的行動について(1)幼少期	演習	栗田			
11. 向社会的行動について(2)児童期	演習	栗田			
12. 子どもの向社会的行動	演習	栗田			
13. 子どもの向社会的行動の発達について	演習	栗田			
14. 子どもに向社会的行動の促進要因	演習	栗田			
15. 授業のまとめ	演習	栗田			
16. 期末試験	試験	栗田			

教科書 1	初回講義時に授業資料をファイルにより提示する。
教科書 2	
参考書 1	社会心理学の新しいかたち 著者:竹村和久編著 出版社:誠信書房 ISBN:4-414-30159-9
参考書 2	

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-3-410
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、「道德教育」について、理論的な考察や学校現場での指導方法を実際の授業と関連付けて学ぶことができる。到達目標は次のとおりである。</p> <p>(1) 道德性の発達の理論について学び、現在の道德教育との関連を理解することができる。 (2) わが国の道德教育の歴史を学び、「教科化」へ向けての経緯を理解することができる。 (3) 道德教育の目標を理解し、内容について演習を通して学び方を習得することができる。</p>						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ピアジェ、コールバーグ、ブルの発達理論について学び、現在の道德教育との関連を理解する。 修身教科書による道德教育、戦後の全面主義的道德教育から総合単元的な道德教育、道德の教科化へ動き、現在問題になっていることなどを理解する。 学習指導要領、読みもの資料、各種の実践を基に、道德の内容項目の理解を深める。 <p>※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な研究や論文指導を行う。</p>						
評価方法	<p>課題・討議内容・発表内容で総合的に評価する。 課題(レポート・提出物) (50%)、討議内容・発表内容 (50%) 特にレポートは、毎時間レポートを書き、その積み重ねで評価する。なお、レポートについては、授業の中で常にフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート、提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 関連文献等を事前に読み、各自研究を進め、課題をもつ。 復習2時間 要点を整理しておくこと</p>						
オフィスワ-	木、金4限目 個人研究室(10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 道德正の発達理論 3. グループ討議 4. コールバーグ 5. 発達理論(グループ討議) 6. 道德教育の歴史 7. 日本における道德教育 8. 教授法における位置づけ 9. 解釈学的な教授法 10. 教育のモデル 11. 道徳的な人格への教育 12. 社会学的な視点 13. 美徳への教育 14. グループ討議・発表まとめ 15. まとめ、振り返り		講義 演習 演習 演習・AL 演習・AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	適宜指示する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	PS-CE-3-410	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育にかかわる各種教育技術を身に付け、積極的に子どもや保護者と向き合い、専門家としての責任を自覚した行動がとれる。</p> <p>【到達目標】生徒指導及び学校教育相談の理論と実際について、子どもたちの人格のよりよい発達をめざす立場から学校内外での様々な現象を考察することにより、教師として必要な知識と実践力の基礎を養うことができる。</p>						
概要	<p>生徒指導の意義と学校教育相談との関連を整理し、生徒指導上の問題行動等への対応について理解する。また、学校現場においては、消極的生徒指導はもとより、積極的生徒指導及び包括的教育相談の重要性が指摘されていることから、これを推進するための諸条件について考察する。さらに、関係学会または学校現場での教員研修会に参加し、実践力を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>レポート課題、課題発表、コメント用紙等(60%)、発表及び発言内容、教職への意欲や態度等授業への参画状況(40%)を総合的に評価する。 レポート課題等の評価は授業の中でその都度フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>グループ・ディスカッションや演習、個別に課されたレポート作成等に積極的に参加する態度が望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 消極的生徒指導とは 3. 個人発表・グループ討議①(課題設定と検討) 4. 個人発表・グループ討議②(発表) 5. 学会または学校現場における研修会への参加① 6. 学会または学校現場における研修会への参加② 7. 学会または学校現場における研修会への参加③ 8. 積極的生徒指導、包括的教育相談とは 9. 個人発表・グループ討議③(課題設定と検討) 10. 個人発表・グループ討議④(1グループ発表) 11. 個人発表・グループ討議⑤(2グループ発表) 12. ワークショップ体験①(SEL) 13. ワークショップ体験②(感受性訓練) 14. ワークショップ体験③(エンカウンターグループ) 15. まとめ		講義・演習 講義・演習 演習・AL 演習・AL 演習 演習 演習 講義・演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 演習 演習 講義・演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井				
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-3-410
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	現在の子どもが持つ生活環境や抱える問題は多様化し、複雑化してきている。ひとりひとりのニーズに対応するためには、個別の状況を把握することが求められる。学生は、現在の保育の場における諸問題を認識し、理解することができる。さらに、学生は、子どもの成長を援助する視聴覚文化財を理解し、それぞれの文化財のもつ特徴・有効性を知ることができる。						
概要	提示された様々なテーマにそって自ら取り組んだり、また自らが見つけ出したテーマを全体で取り組むことを中心に行う。さらに、実際に保育現場に行き、全員で取り組んだ視聴覚文化財を発表する取り組みも行う。						
評価方法	テーマに対する意欲・積極性、活動参加態度、課題発表、発表レジュメ等からの結果を総合的に評価する。課題発表や発表レジュメなどについてはフィードバックを行うので、必ず参考にとすること。						
履修条件・注意事項	個人、またはグループ単位で、子どもに関するテーマについて調べ、まとめ、発表し、討議を行う。さらに、それぞれの取り組みに対し、常に子どもたちのことを頭に入れながら取り組むこと(復習)。ねらい・目的意識・子どもの発達に対して、繰り返し考えることで身に付けるようにしてほしい(予習)。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 子どもにとっての“いい環境”とは？ 3. 現在の子どもが抱える問題 4. 個人発表・グループ討議 5. 個人発表・グループ討議 6. 個人発表・グループ討議 7. 施設見学 8. 個人発表・グループ討議 9. 子どもの成長を援助する視聴覚文化財 10. 子どもの成長を援助する視聴覚文化財 11. 施設見学 12. グループで深めたいテーマの検討 13. グループ内での検討 14. グループ内での検討 15. まとめ		講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀				
教科書 1	適宜資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-410
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>< 保育内容への理解を深め保育の実践力を身に付けることができる > 学生が、乳幼児の生活や乳幼児を取り巻く環境、及び保育実践を手がかりに、保育内容の視点から保育や幼児期の育ちについて考察し、自らの研究テーマを明確にすることができる。そして、演習Ⅱに向けて、自らの研究・実践計画を立てることができる。</p>						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の情報に触れたり地域の乳幼児親子に触れたりしながら、保育の現状について理解を深める。 ・自分自身についての振り返りや、体験を通して子どもや保育への理解を深める。 ・自分の研究テーマ決定に向けて、関心のある情報を収集しレポートしたり、保育教材の制作を行う。 						
評価方法	保育の実践記録や先行研究にふれ、自己課題を明確にしていこうとする取り組みを評価のポイントとする。したがって、評価は授業への取り組み、作品やレポートの発表等(50%)、課題レポート(50%)とする。評価については、授業の中でフィードバックするので、予習復習に活かすこと。						
履修条件・注意事項	時間をかけてこつこつと取り組み、積み重ねを大切にすること。 主体的に取り組むこと。						
自己学習	学生自身が自分で関心の高い分野の関係資料を収集したり、保育教材を制作したりしながら、自らの課題をつかむこと。授業時間以外に事前事後の調査やまとめ、作品制作など各自で十分時間をかけて取り組むことが求められる。予習復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週月曜日5限、水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 現在の子どもを取り巻く環境(1)子どもと家庭 2. 現在の子どもを取り巻く環境(2)小学校就学前までの子どもの居場所 3. 現在の子どもを取り巻く環境(3)子どもを取り巻く文化 4. 保育者に求められるもの (1)一人一人に寄り添う力 5. 保育者に求められるもの (2)発達へのまなざし 6. 保育者に求められるもの (3)質の高い保育とは 7. 保育者に求められるもの (4)子どもと共に生活する喜びとは 8. 保育者に求められるもの (5)あこがれの保育者像 9. 保育教材の作製(1) 10. 保育教材の作製(2) 11. 保育教材の作製(3) 12. 保育教材の作製(4) 13. 保育教材の作製(5) 14. 作品・レポートの発表 15. 作品・レポートの発表	講義 講義 講義 講義 講義 PBL PBL PBL 演習 演習 演習 演習 演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井					
教科書 1	適宜指導する。						
教科書 2							
参考書 1	保育者への扉 著者:澤津まり子 他 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-5048-8						
参考書 2	育ての心 著者:倉橋惣三 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577803172						

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子					NO.	PS-CE-3-410
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、教育(国語教育を含む)に関する理論的考察や実践方法について学ぶことである。</p> <p>到達目標は、次のとおりである。</p> <p>(1) 日本の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景を捉え、文学の発達のあらしやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶことを通して、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。</p> <p>(2) 文学作品・絵本・修身教科書・教育雑誌などから教育と子どもの歴史について理解するとともに、現代の教育問題や子ども問題の反省的な見方や捉え方を習得する。</p>						
概要	<p>(1) 文学作品を鑑賞することの意義について理解する。</p> <p>小学校国語科教育において、先人がはぐくんできた古典などの言語文化に親しむ態度の育成が求められている。保育士、幼稚園・小学校教員をめざす上で、文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景を捉え、文学の発達のあらしやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶことは、重要である。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表し、討論を行う。このような活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするのと同時に、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。</p> <p>(2) 文学作品・絵本・修身教科書・教育雑誌などから教育と子どもの歴史について理解する。</p> <p>「教育」とはなにか、「子ども」とはどのような存在か。文学・絵本・修身教科書・教育雑誌などから子どもの世界と多様な子ども観を時代背景とともに考察する。過去の日本社会のあり方や昔の教育・子どもの実態を学ぶことで、現代の教育問題や子ども問題の反省的な見方や捉え方を習得する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>受講態度、課題(レポート・提出物)、発表・討議参加などで総合的に評価する。</p> <p>課題(レポート・提出物)(40%)、発表・討議(40%)、受講態度(20%)</p> <p>なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート・提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として事前に関連文献に目を通して講義に参加し、復習として講義後のまとめをしっかりと行うこと。予習および復習は、各2時間程度行うこと。</p>						
オフィスワ-	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 文学を創作すること— J.K.ローリングとハリーポッターの誕生	演習 演習	雲津 雲津					
3. 文学作品を鑑賞することの意義と 国語教育における今日的課題	演習	雲津					
4. 日本文学史(1)- 上代文学・中古 文学	演習	雲津					
5. 日本文学史(2)- 中世文学・近世 文学	演習	雲津					
6. 日本文学史(3)- 近代文学	演習	雲津					
7. 日本文学史(4)- 現代文学	演習	雲津					
8. 作品分析(1)- 夏目漱石 『こころ』(討議)	演習	雲津					
9. 作品分析(2)- 森鷗外『舞姫』『高 瀬舟』(討議)	演習	雲津					
10. 作品分析(3)- 芥川龍之介『羅生 門』『鼻』『蜘蛛の糸』『杜子春』(討議)	演習	雲津					
11. 作品分析(4)- 絵本『おおきな木』 (村上春樹 訳)(討議)	演習	雲津					
12. 作品分析(5)- 『THE GIVING TREE』と『おおきな木』(村上春樹 訳) の比較(討議)	演習	雲津					
13. 作品分析(6)- 『THE GIVING TREE』と『おおきな木』を活用した授業 実践(討議)	演習	雲津					
14. 発表・討議 - 各自が行った 作品分析を発表・討議する	演習	雲津					
15. まとめ	演習	雲津					
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>THE GIVING TREE 著者:Shel Silverstein 出版社:Harper Collins ISBN:978-0-06-025665-4</p>						

参考書 2

おおきな木
著者:シエル・シルヴァスタイン
村上 春樹 訳
出版社:あすなろ書房
ISBN:978-4-7515-2540-1

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-411	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習は卒業必修科目であるが、対人援助の基礎と実際をテーマとして、様々な環境で生活する子どもの成長発達への援助について学ぶことにより、子育て・子育て支援の理解を深め、実践力の基礎を養うことができる。							
概要	人間の社会的行動のうち、援助行動に代表される「向社会的行動」の心理的・社会的背景について学び、サポートティブな人間関係について理解を深める。さらに、子どもの向社会的行動の発達特徴について学び、形成促進のための諸条件について考察する。							
評価方法	受講態度(20%)、課題発表(30%)、課題レポート(50%)の結果を総合的に評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。							
履修条件・注意事項	関連文献の輪読を行うとともに、個別にレポート作成や課題発表を課すので積極的な参加が必要。なお、事前に関連文献に目を通して参加し(予習)、授業後のまとめをしっかりと行うこと(復習)。							
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。							
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. オリエンテーション 2. 個別課題A発表(1) 3. 個別課題A発表に基づくグループ討議(1) 4. 個別課題B発表(2) 5. 個別課題B発表に基づくグループ討議(2) 6. 個別課題C発表(3) 7. 個別課題C発表に基づくグループ討議(3) 8. 個別課題D発表(4) 9. 個別課題D発表に基づくグループ討議(4) 10. 個別課題E発表(5) 11. 個別課題E発表に基づくグループ討議(5) 12. 個別課題F発表(6) 13. 個別課題F発表に基づくグループ討議(6) 14. 発表・討議のまとめ(質疑応答) 15. 発表・討議のまとめ(課題の整理)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田	
教科書 1	初回授業時に資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	対人援助の心理学 著者:望月昭編著 出版社:朝倉書店 ISBN:978-4-254-52677-6							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-3-411
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、「道徳教育」に関する分野から、各自で研究テーマを設定し、研究テーマに基づく資料収集・研究発表・討議を行うことにより、理論的考察や実践方法について学ぶことである。到達目標は次のとおりである。</p> <p>(1) 卒業論文作成に向けて、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行う。 (2) 研究テーマに基づく、教育問題や子ども問題のとらえ方を習得する。</p>						
概要	<p>演習Ⅰ、Ⅱの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを決め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。</p> <p>※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な研究や論文指導を行う。</p>						
評価方法	<p>課題・討議内容・発表内容で総合的に評価する。 課題(レポート・提出物)(50%)、討議内容・発表内容(50%) 特にレポートは、毎時間レポートを書き、その積み重ねで評価する。なお、レポートについては、授業の中で常にフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート、提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 テキスト, 文献等を読み、各自研究を進め、課題をもつ。 復習2時間 要点を整理しておくこと</p>						
オフィスワ-	木, 金4限目 個人研究室(10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 研究の中間発表及び討議 3. 研究の中間発表及び討議 4. 研究の中間発表及び討議 5. 研究発表の方法 6. 研究の見直し, 修正, 追究 7. 研究修正(発表資料作成) 8. 研究修正(発表資料作成) 9. 個別発表, グループ討議 10. 個別発表, グループ討議 11. 個別発表, グループ討議 12. 研究発表の準備 13. 研究発表の準備 14. 研究発表会 15. まとめ・振り返り	講義・演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上		
教科書 1	適宜指示する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎					NO.	PS-CE-3-411
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育にかかわる各種教育技術を身に付け、積極的に子どもや保護者と向き合い、専門家としての責任を自覚した行動がとれる。</p> <p>【到達目標】生徒指導及び学校教育相談の理論と実際について、子どもたちの人格のよりよい発達をめざす立場から学校内外での様々な現象を考察することにより、教師として必要な知識と実践力の基礎を養うことができる。</p>						
概要	<p>生徒指導の意義と学校教育相談との関連を整理し、生徒指導上の問題行動等への対応について理解する。また、学校現場においては、消極的生徒指導はもとより、積極的生徒指導及び包括的教育相談の重要性が指摘されていることから、これを推進するための諸条件について考察する。さらに、関係学会または学校現場での教員研修会に参加し、実践力を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>レポート課題、課題発表、コメント用紙等(60%)、発表及び発言内容、教職への意欲や態度等授業への参画状況(40%)を総合的に評価する。 レポート課題等の評価は授業の中でその都度フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>グループ・ディスカッションや演習、個別に課されたレポート作成等に積極的に参加する態度が望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研究の進め方 3. 個別課題の設定 4. 個別課題の追究①(追究の実際) 5. 個別課題の追究②(追究の実際と発表準備) 6. 個別課題の発表及びグループ討議①(1グループ発表) 7. 個別課題の発表及びグループ討議②(2グループ発表) 8. 個別課題の発表及びグループ討議③(3グループ発表) 9. 学会または学校現場における研修会への参加① 10. 学会または学校現場における研修会への参加② 11. 学会または学校現場における研修会への参加③ 12. 包括的教育相談に関するグループ討議①(効果検討) 13. 包括的教育相談に関するグループ討議②(プログラム開発) 14. 発表・討議のまとめ 15. まとめ 	<p>講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 演習 演習 演習・AL 演習・AL 講義・演習 講義・演習</p>	<p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p>		
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子				NO.	PS-CE-3-411	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>演習Ⅰに引き続き、学生が、障害のある子どもやおとなを取り巻く問題について理解を深めることをテーマとし、そのために、様々な障壁(制度上、物理的なもの、情報面、意識など)について理解し、障害児・者のQOLの向上のためにどのような合理的配慮が必要か考察できるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>社会福祉は実践を伴わなければならない学問であるが、その実践がどのような考え(思想)で突き動かされているかを見つめることも大切なことだろう。考え(思想)とは、言いかえればどのような障害理解(人間理解)をもっているかということになるのだろう。この障害理解(人間理解)を重視しながら、障害のある子どもやおとなを取り巻く問題について、障害のある子どもの登場する絵本や新聞記事、文献などを活用して考察したい。あわせて、みなさんの関心を持ったテーマについても掘り下げ、発表していく機会を持ちたい。</p>						
評価方法	<p>課題(レポート・提出物)(評価基準4割)、発表(3割)、討論参加態度(3割)などを総合して評価する。これらの課題や発表、討議参加に関しては、ディスカッションや教員によるコメントによってフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>前向きで積極的な姿勢を持って出席してほしい。</p>						
自己学習	<p>事前配布の資料によく目を通しておくこと。予習や復習に際して調べたことなどノートにメモしておくこと。新聞記事やテレビの報道など、障害児・者についての情報に常に関心をはらうこと。発表者は事前に十分な準備をすること。予習・復習には毎回90分ずつあてること。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 障害理解 (LD、AD/HDについて) 2. 障害理解 (自閉症について) 3. 障害理解 (聴覚障害、視覚障害) 4. 障害理解(肢体不自由、重症心身障害について) 5. 障害理解 (知的障害について) 6. 障害をテーマにした絵本 『あつおのぼうけん』 7. 障害テーマの絵本を読む 『だれもしらない』 8. 個人発表・討議(自由テーマ) 9. 個人発表・討議(自由テーマ) 10. 個人発表・討議(自由テーマ) 11. 個人発表・討議(自由テーマ) 12. 卒業論文作成に向けて 13. 卒業論文テーマについて 14. 卒業論文テーマ提出 15. 4年生との交流 (就職活動・卒論作成のアドバイスを受ける)	AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL 講義 講義 AL	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野		
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1	改訂新版 障害児者の理解と教育・支援 一特別支援教育/障害者支援のガイド 著者:橋本創一、菅野 敦他 出版社:金子書房 ISBN:978-4-7608-2639-1						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-3-411
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	現在の子どもが持つ生活環境や抱える問題は多様化し、複雑化してきている。ひとりひとりのニーズに対応するためには、個別の状況を把握することが求められる。学生は、現在の保育の場における諸問題を認識し、理解することができる。さらに、学生は子どもの成長を援助する視聴覚文化財を理解し、それぞれの文化財のもつ特徴・有効性を知ることができる。						
概要	提示された様々なテーマにそって自ら取り組んだり、また自らが見つけ出したテーマを全体で取り組むことを中心に行う。さらに、実際に保育現場に行き、全員で取り組んだ視聴覚文化財を発表する取り組みも行う。						
評価方法	テーマに対する意欲・積極性、活動参加態度、課題発表、発表レジュメ等からの結果を総合的に評価する。課題発表や発表レジュメなどについては、フィードバックを行うので必ず参考にとすること。						
履修条件・注意事項	個人、またはグループ単位で、子どもに関するテーマについて調べ、まとめ、発表し、討議を行う。さらに、それぞれの取り組みに対し、常に子どもたちのことを頭に入れながら取り組むこと(復習)。ねらい・目的意識・子どもの発達に対して、繰り返し考えることで身に付けるようにしてほしい(予習)。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. グループ発表 3. グループ発表 4. グループ発表 5. グループ発表 6. 現在の保育現場が抱える問題 7. 個人発表・グループ討議 8. 個人発表・グループ討議 9. 個人発表・グループ討議 10. 個人発表・グループ討議 11. 個人発表・グループ討議 12. 個人発表・グループ討議 13. 個人発表・グループ討議 14. グループによる保育現場での取り組み内容発表 15. まとめ	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀		
教科書 1	適宜資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-411
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>< 演習Ⅰでの取り組みを基に自己のテーマに主体的に取り組み調査内容をまとめることができる。 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習Ⅰを振り返り、Ⅱについて具体的な取り組みが主体的に計画できる。 ・研究計画に基づき調査し、レポートすることができる。 ・取り組んできた成果をまとめることができる。 						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回調査内容を報告し合い、ディスカッションを行いながら、次への課題を探る。 ・自分のテーマについて先行研究を調査し、レポートする。 ・文献調査やフィールドワークをおして、調査・研究を行う。 ・プレゼンテーション、全体発表を行う。 						
評価方法	<p>本演習は演習Ⅰでの取り組みを基に、自己のテーマに主体的に取り組むことが目的である。そのため、評価については授業への主体的参加態度(40%)、レポートの提出と発表または作品の提出(60%)とする。 レポートや作品についての評価を授業の中でフィードバックする。また、最終回の授業には全体の評価をフィードバックするので、演習Ⅲにつなげて欲しい。</p>						
履修条件・注意事項	<p>演習Ⅰから引き続き、テーマを大切に、挑戦していきましょう。 いつも自分の課題についてアンテナを張り、情報を収集したり、文章にしたりしていくことを心がけてまとめていきましょう。</p>						
自己学習	<p>保育に関わる自己の研究テーマについて関係資料を収集したり、保育教材を制作することは授業の事前事後に行われなければ、授業は進まない。こつこつと自らの課題に取り組むことが求められる。 したがって1コマにつき2時間程度の予習復習を要する。</p>						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 先行研究調査 2. 先行研究レポート(1) 3. 先行研究レポート(2) 4. 先行研究レポート(3) 5. フィールドワーク(1) 6. フィールドワーク(2) 7. フィールドワーク(3) 8. フィールドワーク(4) 9. フィールドワーク(5) 10. 研究レポートの作成 11. 研究レポートの作成 12. 研究レポートの作成 13. 研究レポートの作成 14. 発表 15. 演習Ⅲに向けて 	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井		
教科書 1	適宜指導する。						
教科書 2							
参考書 1	センス・オブ・ワンダー 著者:レイチェル・カーソン 出版社:新潮社 ISBN:4-10-519702-9						
参考書 2	幼児教育へのいざない 著者:佐伯胖 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-002080-3						

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子				NO.	PS-CE-3-411	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>演習Ⅱは、演習Ⅰの学修内容をさらに深めるとともに、4年次の卒業論文作成に向けて、研究情報の収集、研究テーマの設定、研究計画の立案をするために必要な知識・技術の修得をテーマとする。</p> <p>到達目標は、次のとおりである。</p> <p>(1) 日本の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景を捉え、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶことを通して、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解することができる。</p> <p>(2) 文学作品・絵本・修身教科書・教育雑誌などから教育と子どもの歴史について理解するとともに、現代の教育問題や子ども問題の反省的な見方や捉え方を習得することができる。</p> <p>(3) 卒業論文作成に向けて、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行うことができる。</p>						
概要	<p>(1) 文学作品を鑑賞することの意義について理解する。</p> <p>小学校国語科教育において、先人がはぐくんできた古典などの言語文化に親しむ態度の育成が求められている。保育士、幼稚園・小学校教員をめざす上で、文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景を捉え、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶことは、重要である。演習Ⅱでは、演習Ⅰの学びをさらに深め、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。</p> <p>(2) 文学作品・絵本・修身教科書・教育雑誌などから教育と子どもの歴史について理解する。</p> <p>「教育」とはなにか、「子ども」とはどのような存在か。文学・絵本・修身教科書・教育雑誌などから子どもの世界と多様な子ども観を時代背景とともに考察する。過去の日本社会のあり方や昔の教育・子どもの実態を学ぶことで、現代の教育問題や子ども問題の反省的な見方や捉え方を習得する。</p> <p>(3) 演習Ⅰ・Ⅱの学びをもとに、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>受講態度、課題(レポート・提出物)、発表・討議参加などで総合的に評価する。</p> <p>課題(レポート・提出物)(40%)、発表・討議(40%)、受講態度(20%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート・提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として事前に関連文献に目を通して講義に参加し、復習として講義後のまとめをしっかりと行うこと。予習および復習は、各2時間程度行うこと。</p> <p>「子ども総合演習Ⅱ」で学修した図書館の利用の仕方、文献・資料の探し方など、研究に必要な学修内容を復習しておくこと。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(教育とは何か、子どもとはどのような存在か) 2. 文学作品からみる教育と子ども(討議) 3. 絵本からみる教育と子ども(討議) 4. 修身教科書からみる教育と子ども(討議) 5. 教育雑誌からみる教育と子ども(討議) 6. 実際に使用された「モノ」からみる教育と子ども(討議) 7. 現代社会の子どもと教育のゆくえ(討議) 8. 文献・資料の探し方・論文の書き方 9. 研究情報の収集・精査 10. 研究テーマの着想・検討 11. 研究テーマの設定(発表) 12. 関連研究論文に基づく討議 13. 関連研究論文に基づく討議 14. 関連研究論文に基づく討議 15. まとめ 	<p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p>	<p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p> <p>雲津</p>		
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>教育と子どもの社会史 著者:小針 誠 出版社:梓出版社 ISBN:978-4-87262-626-1</p>						
参考書 2	<p>最新版 大学生のためのレポート・論文術 著者:小笠原 喜康</p>						

Syllabus

心理学部
子ども発達教育学科

2018 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	保育課程論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎				NO.	PS-CE-3-202	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、保育課程の編成に伴う基本的な理論と技法を理解することができる。保育における計画、実践、省察・評価、改善の過程について、全体構造とそれぞれの役割とその関係性について理解することができる。子どもにとって大切な遊びを中心とした保育カリキュラムについて、理論的な理解と子どもの発達を見通した保育のあり方、長期・短期の指導計画の意味とその実質的内容など、保育環境の構成にも考慮することで理解することができる。						
概要	保育の計画を立てる上で大切なこととは何か。また、計画、実践、省察・評価、改善におけるそれぞれの意味と役割の理解。保育内容の充実に伴い着目すべき点とその持つ意味。これらの内容について、その基本的内容と自らの理論を構築し、将来的に自らが立案する上での基礎を構築する。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので参考にすること。 成績評価基準:受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育の計画を立てる上で、理解しておかなければならない基本的事項が多く含まれている。将来的に保育現場に必要な立案力には大切な内容となるため、予習・復習をしっかり行い、自らの計画、実践、省察・評価、改善の基礎を構築してください。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 保育の基本と計画-保育とは 2. 保育の基本と計画-保育を計画するとは 3. 指導計画の種類と役割 4. 保育における計画の考え方 -0, 1, 2歳児を中心に 5. 保育における計画の考え方 -3, 4, 5歳児を中心に 6. 小学校における計画との関係 7. 日案から週案の作成-幼稚園4歳児の場合 8. 日案から週案の作成-保育所3歳児の場合 9. 教育課程の見直し 10. 保育課程の見直し 11. 0, 1歳児の指導計画の実際 12. 2歳児の指導計画の実際 13. 3歳児の指導計画の実際 14. 4歳児の指導計画の実際 15. 5歳児の指導計画の実際 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀				
教科書 1	最新保育講座5 保育課程・教育課程総論 著者:柴崎正行・戸田雅美・増田まゆみ 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05733-7						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	子ども文化論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-2-204
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「子どもの文化」を大きなテーマとして捉え、「子ども」に焦点をあて、子どもの持つ独自の文化を理解することができる。そのなかで、子ども本来の文化とはどのようなものであるのか、文化が子どもにどのような影響を与えたのかについて、自らの経験と照らし合わせながら考えて行くことができる。さらには、主にわが国における子ども文化の現状・課題について考えていき、保育者・教師としての資質・力量が備わっていくようにすることができる。						
概要	子ども文化について考えることで、自らの持つ子ども観をより大きくする。さらに、子どもに対する自身の想像と現実とのギャップに対応する知識と応用力を身につける。子ども文化を様々な視聴覚文化財の視点からとらえ、活用法とそれぞれの視聴覚文化財の持つ特徴を理解し、子どもとの間に存在する架け橋をより確かなものとして作り上げていく。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	授業態度・提出物・試験の結果から総合的に評価する。 提出物などについては、授業内においてフィードバックするので、参考にすること。 授業態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育現場に現在も生かされている内容だと意識し、積極的に取り組むこと。 子どもとの関わりや子どもの成長に密接に関係がある内容となる。 そのためにも、予習・復習をしっかりと行い内容を理解し、身につけること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 子ども文化とはー児童文化との対比からー 3. 子ども文化の定義 4. お話1ー基礎と理論 5. お話2ー実践と配慮事項 6. 紙芝居1ー基礎と理論 7. 紙芝居2ー実践と配慮事項 8. パネルシアター1ー基礎と理論 9. パネルシアター2ー作成 10. パネルシアター3ー実践と考察 11. 絵本1ー基礎と理論 12. 絵本2ー実践と配慮事項 13. 絵本3ー理解と考察 14. 絵本4ーまとめ 15. 児童文化をめぐる諸問題とこれからの展望 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀					
教科書 1	明日の保育・教育に活かす 子ども文化 著者:田中卓也・藤井伊津子・橋爪けい子・小島千重子【編】 出版社:溪水社 ISBN:978-4-86327-284-2						
教科書 2							
参考書 1	児童文化と保育 こころ豊かな文化を育むために 著者:高橋 司 編 出版社:宮帯出版社 ISBN:978-4-900833-54-8						
参考書 2							

授業科目名	相談援助の理論と方法 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-206
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、ソーシャルワークの観方や援助方法の基本を知ることである。社会福祉の援助技術であるソーシャルワークの援助対象や援助観、援助方法などの基本的な知識を得ることができる。ソーシャルワーカーとしての望ましい価値、知識、技術を身につけることが目標である。						
概要	社会福祉援助技術の全般について講義する。援助活動の意義、専門職の援助活動、援助技術の理論、援助技術の体系、援助技術の展開過程などである。講義では、学生の理解を深めるために、具体的な事例や現在の援助技術の動向についてもふれる。また、学生による発表も実施する。						
評価方法	授業態度(10%)、提出物・発表(20%)、試験(70%)によって評価する。試験結果は点数と解答のコメントをフィードバックする。						
履修条件・注意事項	単位の取得には3分の2以上の出席が条件。参考文献による予習と授業後の復習を行うこと。						
自己学習	予習として、授業範囲について、参考文献を使い整理しておくこと。わからないところはまとめておくこと。この予習には90分以上費やすこと。 復習として、授業で学んだことをまとめること。適宜、宿題を出す。復習には90分以上費やすこと。						
オフィスワ-	毎週火曜日4限をオフィスアワーとしている。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 社会福祉援助技術を学ぶ意義 2. 相談援助の理論と方法(序論) 3. 社会福祉と社会福祉援助活動 4. 社会福祉サービスと社会福祉援助活動の関係 5. 社会福祉援助活動の基本的枠組み 6. ソーシャルワーカーと専門援助活動 7. ソーシャルワーカーの専門性の構造 8. 専門的な援助関係とコミュニケーション 9. ソーシャルワークの価値と倫理 10. 社会福祉援助技術の源流 11. 社会福祉援助技術の確立 12. 社会福祉援助技術の発展 13. 日本における社会福祉援助技術 14. 援助的コミュニケーション 15. ソーシャルワークの事例解説 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野				
教科書 1	授業では毎回レジュメを配布する。必要な文献はその都度紹介する。						
教科書 2							
参考書 1	相談援助の理論と方法 I 著者: 社会福祉士養成講座編集委員会編 出版社: 中央法規出版 ISBN: 978-4-8058-3254-7						
参考書 2							

授業科目名	相談援助の理論と方法Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-3-207
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは、社会福祉の援助技術であるソーシャルワークの基本的な考え方や方法を知ることである。ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークなどの広範なソーシャルワークの方法について、適切なアセスメントができ、望ましい技術を身につけていくことができる。						
概要	社会福祉援助技術の全般について講義する。援助活動の意義、専門職の援助活動、援助技術の理論、援助技術の体系、援助技術の展開過程などである。講義では、学生の理解を深めるために、具体的な事例も取り上げる。						
評価方法	授業態度(10%)、提出物・発表(20%)、試験(70%)によって評価する。試験結果はその点数やコメントをフィードバックする。						
履修条件・注意事項	単位の取得には3分の2以上の出席が条件。参考文献による予習と授業後の復習を行うこと。						
自己学習	予習として、参考文献などを熟読しておくこと。わからないところはまとめておくこと。復習として、授業で学んだことを整理しておくこと。適宜、宿題を出す。予習、復習には各90分以上を費やすこと。						
オフィスアワー	毎週火曜日4限をオフィスアワーとしている。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 社会福祉援助技術の理論の動向 2. 専門技術をめぐる日本と海外の動向 3. 社会福祉援助技術の共通概念 4. 社会福祉援助技術の体系 5. 社会福祉援助技術の構成内容 6. 個別援助技術の意義・定義 7. 集団援助技術の意義・定義 8. 地域援助技術の意義・定義 9. 社会福祉援助技術の基本原則 10. 個別援助技術の構造と機能 11. 集団援助技術の構造と機能 12. 集団援助技術の構造と機能 13. 社会福祉援助技術の記録と評価 14. マッピング技法とケーススタディ 15. ソーシャルワークのまとめ 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野
教科書 1	毎回レジュメを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	相談援助の理論と方法Ⅰ 著者:社会福祉士養成講座編集委員会編 出版社:中央法規出版 ISBN:978-4-8058-3254-7						
参考書 2							

授業科目名	精神医学 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森信 繁				NO.	PS-CE-4-211	
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・グループ学習・発表
テーマと到達目標	<p>テーマ:精神医学 到達目標:公認心理師として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。 1. 精神医学の基礎的事項・総論的事項を理解できる。 2. 代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 3. 精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 4. 精神医学の歴史的な背景を理解できる。 5. 精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。</p>						
概要	<p>精神医療に関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、精神療法や社会福祉の支援の方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断・検査法や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、成績の評価にも反映します。 ＊実務経験のある教員による授業科目 この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>試験(80%)、グループ学習発表(10%)、授業態度(10%) フィードバック方法:提出されたグループ学習発表のレジメに、コメントや修正を記載して、学生に返却する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>必修専門科目。 公認心理師国家試験への対処も考慮しながら、講義を行う。 毎回プリントを配布するので、ファイリングを工夫すること。</p>						
自己学習	<p>予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。</p>						
オフィスアワー	木曜2限、6号館4階6401研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 精神障害とは、精神障害の成因と分類 2. 精神症状 3. 身体的検査、心理的検査 4. 器質性および症状性精神障害、精神作用物質による精神および行動の障害 5. 統合失調症、統合失調症性障害、妄想性障害(1) 6. 統合失調症、統合失調症性障害、妄想性障害(2) 7. 気分(感情)障害 8. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 9. 摂食障害・睡眠障害など、成人の人格・行動・性の障害 10. 精神遅滞、心理的発達の障害 11. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害 12. てんかん 13. 薬物療法、電気けいれん療法、精神療法 14. 精神科リハビリテーション 15. 精神保健福祉関連法律の概要		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信				
教科書 1	<p>精神医学テキスト 著者:上島 国利、立山 万里、三村 将 編 出版社:南江堂 ISBN:ISBN976-4-524-25942-7 </p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育の心理学 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸				NO.	PS-CE-2-213	
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p>						
概要	<p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p>						
評価方法	<p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p>						
自己学習	<p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p>						
オフィスワ-	月曜4限 教員研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 発達を考える(1章) 3. 人・モノとの出会い(2章) 4. コミュニケーション・愛着(2章) 5. 遊び・好奇心・知識(3章) 6. 他者との関わり(3章) 7. 学校での学び(第4章) 8. 学びのつまずき(4章) 9. 学校のでの人間関係(5章) 10. 人間関係のつまずき(5章) 11. 青年期の発達課題(6章) 12. 職業と自己理解(6章) 13. 親としての発達(7章) 14. 発達理論と発達支援(8章) 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井				
教科書 1	保育の心理学 I 著者: 無藤 隆・藤崎真知代 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-2738-9						
教科書 2							
参考書 1	エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者: 岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社: 新曜社 ISBN: 978-4-7885-0907-8						
参考書 2							

授業科目名	臨床心理学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-215	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「こころの問題の理解と援助」を学習のテーマとするが、本講を受講することにより、保育・教育・社会福祉の実践現場における発達相談や適応相談に必要な臨床心理学の基礎知識を習得し、対人援助実践力の向上に資することができる。							
概要	<p>医療の現場のみならず、学校や福祉施設などの様々な相談援助場面においても、臨床心理学に関する様々な知見は必要なものとなってきている。そこで本講では臨床心理学の基礎理論、パーソナリティ論、各種心理療法の基礎について論じ、臨床心理学の援助アプローチと医学的治療アプローチ、社会福祉の援助アプローチの相違について考察する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 障がい児施設や児童養護施設の主任児童指導員・副園長として相談援助の実践に従事した。このような経験を踏まえ、相談援助における各種の臨床心理学の援助アプローチの意義や課題、相談援助実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>							
評価方法	受講態度(40%)、課題レポート(60%)の結果により評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。							
履修条件・注意事項	講義時に資料を多数配布するので事前に目を通し(予習)、授業後はファイル等に整理しながら学習に活用してほしい(復習)。							
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>							
オフィスアワー	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 対人援助とは 2. 様々な援助アプローチ 3. こころの問題とは 4. 適応と不適応について 5. 子どもの発達障害について 6. AD/HD、LD、PDD、PTSD等について 7. 臨床心理学の歴史について 8. パーソナリティの構造と機能について 9. 精神分析について 10. コンプレックスについて 11. パーソナリティの発達理論について 12. 心理アセスメントについて 13. 各種心理検査の基礎について 14. 各種心理療法の実際について 15. 学習のまとめ 				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田
教科書 1	初回講義時に授業用資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	よくわかる臨床心理学 著者: 下山晴彦編著 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 4-623-03709-6							
参考書 2								

授業科目名	障害児・者の心理学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤原 直子					NO.	PS-CE-3-217
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>授業テーマは、発達障害をはじめとするさまざまな障害の種類や特性を理解し、心理師として現場において支援する具体的な方法を学ぶことである。</p> <p>具体的には、さまざまな障害による制約や特性、個々に対応するためのアセスメント、支援方法等について、障害ごとに理解していく。</p> <p>「障害」とは何か、その種類、症状・特性、診断基準、支援方法等の知識を習得し、実際の心理臨床に生かすことを目標とする。</p>						
概要	<p>主に発達障害についてDVD視聴、テキストの輪読、講義、グループ演習を通して学んでいく。</p> <p>各テーマについて、適宜レポートや課題を課したり、グループ演習や討議によって理解を深めたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、心理師として障害児者に対する心理的支援の実務経験(小中高等学校におけるスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回指導・研修会講師、心理相談室における発達障害児のカウンセリング、保護者支援等)がある教員が担当する。障害児者の支援において必要な知識や技法を、実際の事例も紹介しながら教授していく。</p>						
評価方法	<p>授業への取り組みを重視し、定期的な小テストおよびレポート課題と最終試験を行い、総合的に評価する。</p> <p>成績評価は、おおむね、授業・演習態度10%、小テスト・レポート30%、最終試験60%とする。小テストや講義内の課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>レポートは、必ず提出期限までに提出すること。</p> <p>予習として、授業内容にあたる部分の教科書を熟読してくること。</p> <p>授業中に配布するプリント(ワークシート)を用いて、復習すること。</p>						
自己学習	<p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する(2時間以上)。</p> <p>②授業内で実施する小テストの結果をふまえ、未習得の部分を復習する。</p> <p>③授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う(レポート課題も含め2時間以上)。</p>						
オフィスワ-	研究室にて、毎週月曜日2限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. さまざまな障害の種類と特徴 3. 発達障害の診断 4. 発達障害支援における心理職の役割 5. 注意欠如・多動症の特性と診断 6. 注意欠如・多動症への支援と治療 7. 限局性学習症の特性と診断 8. 限局性学習症への支援 9. 自閉スペクトラム症のアセスメント 10. 包括的アセスメント 11. 自閉スペクトラム症(ASD)の理解と支援 12. ASDの行動の特徴 13. ASDの認知の特徴 14. ASDの家族への支援、ペアレント・トレーニング 15. 事例紹介、まとめ 16. 最終試験		講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 筆記試験	藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原				
教科書 1	公認心理師のための「発達障害」講義 著者: 下山 晴彦・桑原 齊・田中 康雄・稲田 尚子・黒田 美保・宮川 純 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-3045-7						
教科書 2							
参考書 1	障害児者の理解と教育・支援 著者: 橋本 創一・菅野 敦・林 安紀子・大伴 潔・小林 巖・渡邊 貴裕・霜田 浩信・武田 鉄郎・千賀 愛・池田 一成 出版社: 金子書房 ISBN: 978-4-7608-2639-1						
参考書 2							

授業科目名	対人関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-219
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。						
概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。						
自己学習	1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9						
参考書 2							

授業科目名	社会的養護				履修期	2021年度 春学期			
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-220		
配当学科	子ども発達教育				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	「児童の社会的養護」と「児童の自立支援」をテーマとして、施設養護における児童の権利保障や最善の利益について、その理念と実践を学ぶことを目標とするが、受講により社会的養護の現状と課題について理解できる。								
概要	<p>児童養護は児童本来の家庭における養護と児童福祉施設や機関などによる社会的養護の連携協力によって初めて全うされる。このことを踏まえて、社会的養護の中でも特に児童福祉施設による児童養護の考え方及びその現状を詳細に論じると共に、養護上の基本原理とその実践について考察する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 児童養護施設の主任児童指導員・副園長として児童養護の実践に従事した。このような経験を踏まえ、今日の社会的養護の意義や体制上の課題、社会的養護実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>								
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。								
履修条件・注意事項	保育士養成課程の必修科目であるので注意すること。受講前の予習や受講後の復習をしっかり行い、主体的、積極的に参加してほしい。また、授業の中で各種のファイル資料を呈示するのでよく整理し、活用してほしい。								
自己学習	<p>1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>								
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<p>1. 児童養護とは</p> <p>2. 児童福祉の理念と児童養護</p> <p>3. 家庭の機能と家庭養護</p> <p>4. 社会的養護の意義</p> <p>5. 社会的養護の体系と機能</p> <p>6. 施設養護の意義</p> <p>7. 施設養護の展開:児童の発達段階とのかかわり</p> <p>8. 施設養護の展開:援助者の養育態度とのかかわり</p> <p>9. 施設養護の展開:被虐待児への援助</p> <p>10. 里親養護の実際</p> <p>11. 地域における子育て支援の実際</p> <p>12. 施設養護の歴史:日本における施設養護の歩み</p> <p>13. 施設養護の歴史:西欧における施設養護の歩み</p> <p>14. 施設養護の基本原則</p> <p>15. 学修のまとめ</p> <p>16. 期末試験</p>			<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p>	<p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p> <p>栗田</p>					
教科書 1	社会的養護(第4版) 著者:小池由佳他編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-07656-7								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	保育原理Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-2-303
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	保育所における保育の基盤となる保育所保育指針は、とても重要であり十分に理解されるべきものである。この講義を通して、学生は保育所保育指針における全5章を深く理解し、保育制度の現状を学ぶことができる。さらに、現代の保育課題に対しての知識を高めることができる。						
概要	保育所保育指針を熟読し、しっかりと理解することがこの講義の内容すべてとなる。日本における保育の中心となす保育所保育指針の理解、さらにはその理解をベースとし、今後の保育観を作り上げる内容となる。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	授業態度・提出物・試験の結果から総合的に評価する。 提出物などに関しては、授業内においてフィードバックするので、参考にする事。 授業態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%)						
履修条件・注意事項	保育現場との共通知識だということを忘れずに、積極的に取り組むこと。 実際の子どもの成長を知る上でも、大切な内容となる。 そのためにも、予習・復習をしっかり行い身につけること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習・復習においては2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 総則1 -保育所保育に関する基本原則(保育所の役割・保育の目標・保育の方法)		講義	秀				
2. 総則2 -保育所保育に関する基本原則(保育の環境・保育所の社会的責任)・養護に関する基本的事項		講義	秀				
3. 総則3 -保育の計画及び評価		講義	秀				
4. 総則4 -幼児教育を行う施設として共有すべき事項		講義	秀				
5. 保育の内容1 -乳児保育に係るねらい及び内容		講義	秀				
6. 保育の内容2 -1歳以上3歳未満児の保育に係るねらい及び内容(基本的事項・ねらい及び内容1)		講義	秀				
7. 保育の内容3 -1歳以上3歳未満児の保育に係るねらい及び内容(ねらい及び内容2・保育の実施に関わる配慮事項)		講義	秀				
8. 保育の内容4 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(基本的事項)		講義	秀				
9. 保育の内容5 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(ねらい及び内容)		講義	秀				
10. 保育の内容6 -3歳以上児の保育に関するねらい及び内容(保育の実施に関わる配慮事項)		講義	秀				
11. 保育の内容7 -保育の実施に関して留意すべき事項		講義	秀				
12. 健康及び安全1 -子どもの健康支援・食育の推進		講義	秀				
13. 健康及び安全2 -環境及び衛生管理並びに安全管理・災害への備え		講義	秀				
14. 子育て支援		講義	秀				
15. 職員の資質向上		講義	秀				
16. 試験		筆記試験	秀				
教科書 1	平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 <原本> 著者:文部科学省、厚生労働省、内閣府 出版社:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-0258-0						
教科書 2							

参考書 1	適宜紹介する。
参考書 2	

授業科目名	子どもの保健 I A				履修期	2021年度 春学期		
担当者	西田 啓子					NO.	PS-CE-1-304	
配当学科	子ども発達教育				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 グループワーク	
テーマと到達目標	新生児から児童までの正常な発達と発育を理解し、乳幼児期、児童期に重要な専門家のかかわりを学修する。							
概要	教科書「子どもの保健」をテキストとし、テキストに沿って子どもの保健の意義、子どもの理解、正常な子どもの生理的変化、感染症、ワクチン接種について、アレルギー、免疫などについて、視聴覚教材やGWなどを取り入れて、学修する。毎回講義の初めには、前回の復習と確認を行う。							
評価方法	授業出席日数、授業態度、試験などを含め、総合的に評価判定する。							
履修条件・注意事項	教科書を必ず購入する。資料が多いので、ファイリングできるように準備しておく。授業態度は積極的且つ、真摯であること。							
自己学習	毎週、予習復習を行い、自ら質問ができるようにしておく。							
オフィスワ-	毎週水曜日。							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 子どもの保健とは 2. 身体の成長と発達 3. 成長と発達 4. 子どもの生理機能と発達 5. 睡眠とは 6. 子どもの栄養・離乳食 7. 子どもの生活と健康 8. 子どもの事故と予防 9. 遺伝とは 10. 子どもの症状 11. 感染症 12. アレルギーと免疫			講義 DVD学修	西田啓子				
教科書 1	子どもの保健 改定第3版 著者:渡辺 博 出版社:中山書店 ISBN:978-4-521-74487-2							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	子どもの保健Ⅱ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	西田 啓子					NO.	PS-CE-2-306		
配当学科	子ども発達教育				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義 実技 演習 GW		
テーマと到達目標	「子どもの保健ⅠA」および、「子どもの保健」で学んだ基礎知識をもとに、実際の子どもたちへのかかわり方や、体調不良時への対応、応急処置など、実技や演習を中心に実践的なスキルを身につける。								
概要	子どもの健康管理、日常生活の援助方法、体調不良時や緊急時の対応など、演習を通じて実際に行う。また、発達や応急処置に関しては動画やDVD視聴を通じてイメージできるように学修する。								
評価方法	授業態度を最も重視する。出席日数、実習中の態度、試験は実技試験とし、総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	教科書を購入すること。資料が多くなるので、ファイルができるよう準備しておく。実技洋中心になるので、まじめな態度で臨むこと。								
自己学習	毎回の復習、予習を怠らない。質問ができるくらいの準備をして講義に臨むこと。								
オフィスワ-	毎週水曜日								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 子どもの健康と保育環境 演習に臨む姿勢 2. 衛生管理・事故防止・ 危機管理・災害への備え 3. 体調不良時への対応 4. 子どもと感染症 5. 緊急処置とエビペン実習 6. 保育における保健対応の基本 7. 健康および安全管理の実施体制 保健活動の計画と評価 保健だよりの作成 8. 活動計画の評価と発表			1. 講義 2. DVD・ 講義 3. 講義 4. 講義 スライド 5. 外部講師 6. 実技 7. GW	1~4・6~7 西田啓子 5. 外部講師					
教科書 1	これだけはおさえない 保育者のための 子どもの健康と安全 著者:内山有子・田中和香菜・両角理恵 出版社:創成社 ISBN:978-4-7944-8093-4								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	障害児保育Ⅱ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	池本 貞子					NO.	PS-CE-2-313	
配当学科	子ども発達教育				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>近年、様々な障害を抱える子どもたちが、保育所や幼稚園で地域の子もたちと一緒に生活をする「統合保育」が進んでいる。地域の中で共に生活することは、専門機関による療育・訓練とは違った意味で障害の改善に繋がることは明らかであり、その支援が「保育」の任務である。また、障害を持つ子どもとともに保育を受ける事が障害を持たない子どもたちの発達にも大きな影響を与えている。</p> <p>本講義では、①障害児保育の入り口として、障害の特徴、障害児保育の概念について理解した上で、「統合保育」について考える。②障害別の保育方法について理解して上で、保育所・幼稚園における保育計画について実践的に学ぶ。③関係機関との連携について理解する。</p>							
概要	<p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「統合保育」の仕組みと障害の特性について理解する。 2. 個別指導計画の作成とケースカンファレンスについて実践的に学ぶ。 3. 関係機関との連携について学ぶ。 4. 保護者との連携について考える。 <p>上記の内容を中心に、養護教諭の経験を基に講義し、学生の理解を深める。</p>							
評価方法	<p>この科目では、障害の定義、障害の特徴についての理解、個別指導計画の作成などを目標としていることから、知識の習得状況を確認する試験、受講態度、グループワークの参加状況等により総合的に評価する。</p> <p>評価基準は、試験(60%)、受講態度(20%)、グループワークへの関わり(20%)で評価する。</p> <p>なお、教科書の他に配布する参考資料については、授業の中でフィードバックするので試験までに見直しておく。</p>							
履修条件・注意事項	<p>授業に対する姿勢について、目的意識を持って積極的に取り組むことを望む。</p> <p>障害児理解を深めるために、日ごろから関心を持ち予習・復習を心がける。</p>							
自己学習	<p>日頃から子どもの健康問題などに興味・関心を持ち、予習として教科書・新聞・雑誌をよく読んで理解し、疑問点・質問事項はまとめておく。復習は講義内容をノートに整理し振り返りをする。予習および復習には2時間程度が望ましい。</p>							
オフィスワ-	<p>授業終了後、意見また質問について対応する。</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 障害児とは 3. 発達の遅れについて 4. 知的障害とその支援 5. 発達障害とその支援 6. 視覚・聴覚障害とその支援 7. 言語障害とその支援 8. 運動障害とその支援 9. 統合保育の意義と仕組み 10. 統合保育の実際 11. 個別指導計画の重要性 12. 個別指導計画の作成 13. 関係機関との連携 14. 保護者との連携 15. 就学に向けて 16. 試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本 池本						
教科書 1	<p>幼稚園・保育所の先生のための障害児保育テキスト 新訂版 著者:若井淳二・水野薫・酒井幸子 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-80347-0</p>							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	社会的養護内容				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-315
配当学科	子ども発達教育				年次	3	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「各種児童福祉施設における子どもたちの日常生活の理解」と「施設児童の心身の成長発達援助」の理解をテーマとするが、受講により児童ケアワーカー(保育士)に必要な児童養護の専門知識、技能、倫理を習得することができる。						
概要	<p>養護内容の実践の場である児童福祉施設のうち、本講では特に居住型施設を中心に、児童養護の体系や各種児童福祉施設の概要、施設生活の内容、各種専門職の役割等について、受講生自らの研究発表を通じて学ぶ。また、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの各段階での養護内容の実践について事例を通じて学ぶ。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 児童養護施設の主任児童指導員・副園長として児童養護の実践に従事した。このような経験を踏まえ、今日の社会的養護の内容や課題、社会的養護実践現場の実際についても論じ、履修学生の理解を深めさせる。</p>						
評価方法	受講態度(20%)、個別またはグループ発表(30%)、課題レポート(50%)により評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	保育士養成課程履修学生のみ受講となるので注意すること。受講に際しては事前の学習(予習)と事後学習(復習)をしっかりと行うこと。						
自己学習	<p>1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。</p> <p>2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。</p> <p>3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。</p>						
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 施設養護の意義と特質 施設養護の実際 施設養護の内容(1)乳児院 施設養護の内容(2)児童養護施設 施設養護の内容(3)母子生活支援施設 施設養護の内容(4)児童自立支援施設 施設養護の内容(5)情緒障害児短期治療施設 施設養護の内容(6)知的障害児施設 施設養護の内容(7)自閉症児施設 施設養護の内容(8)肢体不自由児施設 施設養護の内容(9)重症心身障害児施設 施設養護の内容(10)里親養護 ビデオ視聴による養護内容の理解 施設養護内容の課題 学習のまとめ 	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田		
教科書 1	社会的養護(春期・社会的養護で使用するテキストと同一) 著者:小池由佳他編著 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07656-7						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育内容(健康)			履修期	2021年度 春学期			
担当者	柴倉 初美					NO.	PS-CE-2-316	
配当学科	子ども発達教育			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な幼児期における、運動、生活習慣は、体格、運動能力の発達はもとより、心身の病気に対する抵抗力などの防衛体力、さらには、安全という視点からも大きな影響を及ぼす。こうした健康という保育内容の歴史的・概括的枠組みから、その具体的留意点までを理解できるようにする。 保育現場での運動指導の計画策定、指導案の作成、指導技術の習得ができる。							
概要	子どもにおける健康・安全についての知識を、運動指導、発育発達や、安全への配慮などの視点から学習する。また、机上の学習だけでなくとまらずに、運動指導の計画立案・実施法を実際にできるようにするための実習や模擬保育、情報機器及び教材を活用した応急処置などの実技講習を行うなどして理解を深める。							
評価方法	受講態度(30%)、指導案(25%)、中間振り返り(20%)、レポート課題(15%)、ポートフォリオ(10%)により総合的に評価する。中間試験及びレポート課題はその都度フィードバックを行うため、講義終了後までに内容に関して把握しておくこと。							
履修条件・注意事項	実習的内容も含むため、あらかじめ次回の内容をよく確認し、予習、復習、準備物の確認等を怠らないこと。							
自己学習	事前の自己学修として、各回の内容に関して、教科書・保育所保育指針・幼稚園教育要領を読み込み理解するとともに、図書館の文献及びwebサイト等を参考にし、乳児期・幼児期の発達段階やそれに応じた運動について理解を深めること。 事後の自己学修として、講義で理解が足りなかった部分について、図書館の文献及びwebサイト等を参考にまとめておこなう。いずれも、1日あたり2時間程度を目安とする。							
オフィスワ-	授業後、教室にて							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:オリエンテーション(授業の進め方・評価の方法)		演習						
第2回:領域「健康」のねらいと内容		演習						
第3回:子どもの身体の発達		演習						
第4回:子どもの運動の発達		演習						
第5回:安全と健康		演習						
第6回:心の発達と健康		演習						
第7回:遊びと健康その1(ボール遊び、用具を使った運動遊び)・教材研究		演習						
第8回:遊びと健康その2(サーキット遊び)・教材研究		演習						
第9回:遊びと健康その3(まねっこ遊び、じゃんけん遊び、伝承遊び)・教材研究		演習						
第10回:交流体験活動(運動遊び)		演習						
第11回:応急処置の実際について(情報機器及び教材の活用)		演習						
第12回:幼児期の運動発達の時代変化について		演習						
第13回:運動遊びと保育者の関わりについて		演習						
第14回:運動遊びの指導案の作成		演習						
第15回:運動遊びの振り返り		演習						
教科書 1	演習 保育内容 健康 著者:河邊貴子 出版社:建帛社 ISBN:978-4-7679-5099-0							
教科書 2								
参考書 1	保育所保育指針解説 著者:厚生労働省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814482							
参考書 2	幼稚園教育要領解説 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4577814475							

授業科目名	保育内容(言葉)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小坂田 佐弓				NO.	PS-CE-2-319	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:子どもの言葉の発達と獲得について理解し、絵本などを教材として保育を構想する方法を身に付けることができる。</p> <p>到達目標:①幼稚園教育要領の領域「言葉」のねらい及び内容について理解している。 ②子どもの言葉の発達と獲得について理解し、子どもが言葉を獲得するために、保育者として援助する能力及び言葉の発達に即した環境を構成する能力を身につけている。 ③言葉の発達を、発達していく過程にある子どもの全体像の中で評価することができる。 ④生活体験の中で培われた言葉の力が、小学校の国語科学習につながっていくことを理解している。</p>						
概要	<p>まず領域「言葉」のねらいと内容を学び、子どものコミュニケーションとしての言葉について考える。次いで子どもが発達段階において言葉をどのように獲得していくのか学習する。その上で、子どもが安心して表現したり、興味や関心をもって聞いたり、イメージ豊かに考えたりできる力を育てるために指導案を作成し、模擬保育を通じて保育者がどのように援助・指導すべきか理解する。また情報機器及び教材を活用して、言葉を育てる文化財や遊びについて討論したり実演したりして、言葉による伝え合いの楽しさ・喜びを知る。こうした中から培われた言葉の力が、国語科学習へとつながっていくことを理解する。</p>						
評価方法	<p>この科目では、子どもの言葉の発達と獲得について理解し、保育者として保育を構想する方法を身に付けることを目的としていることから、知識および能力の修得状況を計るため、定期試験結果や実習、授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、絵本の読み聞かせや紙芝居の上演実習(30%)、ディスカッションにおける発言頻度・発言内容、および授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、授業終了時や実習時に提出してもらったコメントカードについてはフィードバックを行うので、単位認定試験までに確認しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回の授業におけるディスカッションなどに主体的に参加・発表できるように、予習として授業計画に記載されていることについて調べ学習を行っていただくこと。絵本などを紹介することが多いので、見やすいよう教室のなるべく前の方に座ること。</p>						
自己学習	<p>ディスカッションの内容、講義で取り上げた児童文化財の内容や感想についてノートをまとめ、復習を行っておくこと。予習および復習には各1時間程度を要する。絵本の読み聞かせや紙芝居の上演実習を行うので、自らの演じる物を選び練習しておくこと。</p>						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.概論:保育内容「言葉」に関する領域 2.子どもの言葉:言葉の教育のねらい 3.子どもの言葉:言葉の機能 4.子どもの言葉:発達と獲得(出生から生後8、9か月) 5.子どもの言葉:発達と獲得(生後8、9か月から2歳) 6.子どもの言葉:発達と獲得(3歳から6歳) 7.子どもの生活と言葉:言葉を聞くこと・わかること 8.子どもの生活と言葉:言葉で表現すること 9.子どもの生活と言葉:言葉で考えること 10.言葉と環境:人との関わり 11.言葉と環境:社会環境との関わり 12.言葉と環境:文化財との関わり(絵本)[読み聞かせ] 13.言葉と環境:文化財との関わり(童話・紙芝居)[上演] 14.言葉と環境:文化財との関わり(人形劇) 15.言葉遊びの楽しさ 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 ディスカッション ディスカッション 実習 実習 講義 実習 筆記試験	小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田 小坂田		
教科書 1	使用しない(必要に応じて資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1	最新保育講座保育内容「言葉」 著者:柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美 編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78E+12						
参考書 2	幼稚園教育要領解説(最新版), 保育所保育指針解説書						

授業科目名	基礎技能(図画工作)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-1-324
配当学科	子ども発達教育				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「子どもの造形活動を援助するために必要な造形表現力を養うこと」をテーマに、「図画工作に関する基礎的な技能の習得」をめざす。 課題の作品制作を通して、子どもの造形表現に適した素材特性の理解、素材を活かす加工方法の理解と技能を養うことを到達目標とする。						
概要	子どもの造形活動を援助するためには、子どもの発達段階の理解と、発達段階に適した題材設定や準備、さらに保育者自身が素材や加工・技法に習熟している必要がある。 この授業ではおもに幼児教育のための題材を中心に、演習による作品制作を通して、1)子どもの造形表現活動の援助に必要な態度や姿勢が実感できる、2)子どもの発達段階に適した素材や技法、加工方法を体得する、3)保育に活用できる教材の加工と活用方法を体得することができる、の3つの側面から学習を進める。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●課題作品(素材・技法の理解と技能、課題の理解と活用、作品の完成度等)50% ●取組内容(準備・かたづけ、制作プロセスにおける気づきや発見、レポートなど)50% ※課題作品・レポートは評価の後、フィードバックを行います。						
履修条件・注意事項	授業は課題の制作などが中心になるため、自宅での制作が必要となる場合もある。						
自己学習	【予習】 普段から様々なアートや子どもたちの遊びや野外活動、造形表現に触れること。事前に参考テキストを読んで素材や加工、制作プロセスなどの概略を理解しておくこと。 【復習】 作品を完成させること。また実習での気づきや発見などをレポートにまとめること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ガイダンス、 第1章 造形表現の意義		講義	佐藤尚宏				
2. 第2章 表現を育む人になる 手の動き(1)土粘土による変形(球)		演習	佐藤尚宏				
3. 手の動き(2) 油粘土による変形(鳥)		演習	佐藤尚宏				
4. 手の動き(3)ゆびえのぐ・色遊び (フィンガーペインティング)		演習	佐藤尚宏				
5. 手と操作(1)カラーインク・色遊び(調色体験)		演習	佐藤尚宏				
6. 描く(1)紙の加工と構成 一切る・破る→貼る		演習	佐藤尚宏				
6. 描く(2)線描 クレヨンのお散歩		演習	佐藤尚宏				
7. 描く(3)透明水彩 ぬらし絵(色彩と感情・感覚)		演習	佐藤尚宏				
8. 描く(4)不透明水彩 色遊びによる柄・模様づくり		演習	佐藤尚宏				
8. 描く(5)不透明水彩 見えない物を表す(味)		演習	佐藤尚宏				
10. 作る(1)紙の加工と様々な形態 一切る・折る・曲げる		演習	佐藤尚宏				
11. 作る(2)紙の加工と形態 昆虫づくり		演習	佐藤尚宏				
12. (続き)							
13. 作る(3)紙の加工と形態 動物づくり		演習	佐藤尚宏				
14. (続き)		演習	佐藤尚宏				
15. まとめと鑑賞		講義・演習	佐藤尚宏				
教科書 1	保育をひらく造形表現 著者: 榎 英子 出版社: 萌文書林 ISBN: 978-4-89347-295-3						
教科書 2							
参考書 1	出版社:						
参考書 2							

授業科目名	基礎技能Ⅱ(音楽)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	PS-CE-2-326
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	テーマは「保育・教育実践における音楽指導力の習得」。本講座では、音楽A・Bで習得した音楽の基礎技能・知識とコードネームのカデンツ力により、①簡単な即興演奏や子どもの歌の伴奏付ができる、また、②簡単な器楽合奏編曲ができる、既成曲を応用したミニオペレッタの創作ができる。						
概要	コードネームによる伴奏付や子どもの声域に合わせるために必要な移調奏、即興的な伴奏の仕方や合奏の編曲法も行う。授業は、鍵盤楽器その他の楽器を使った体験を重視し、また、編曲などでは楽譜を書く作業と並行して、楽譜ソフトのシベリウスを使ってPCで自作品のモニターを行います。						
評価方法	平素の学習態度、授業における課題、提出作品及び自作品の演奏により総合的に評価する。評価の割合は、提出作品と演奏(50%)、授業の課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。						
履修条件・注意事項	本講座は、音楽の構造(旋律、和音、リズム、形式など)の学習が中心となる。音楽は感性と思われているが、実は極めて論理的な学問である。音楽の構造に触れて、音楽の本質的理解に興味を持つ学生を求める。『歌う、弾く、表現する保育者になろう』の第4章を熟読し、理解しておくこと。例題で行う楽曲分析を他の楽曲で、復習を行うこと。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、前回の授業内容を理解し、日々反復練習に励み、いつでも発表できるようにしておくこと。予習及び復習は、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 楽曲分析1 旋律と和音 2. 楽曲分析2 形式 3. 伴奏法1 I-V 4. 伴奏法2 I-IV-V 5. 伴奏法3 色々な伴奏形 6. ミニオペレッタの創作1 作品分析 7. ミニオペレッタの創作2 台本作り 8. ミニオペレッタの創作3 選曲 9. ミニオペレッタの創作4 練習 10. ミニオペレッタの創作 上演 11. 編曲の実際1 スケッチ譜 12. 編曲の実際2 スコア(総譜) 13. 編曲の実際3 パート譜・演奏 14. 編曲の実際4 作品の推敲 15. 編曲の実際5 作品の演奏 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 作品発表	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田		
教科書 1	歌う、弾く、表現する保育者になろう 著者: 全国大学音楽教育学会中四国地区学会編著 出版社: 音楽之友社 ISBN: 4-276-31274-4						
教科書 2	日本の子どもの歌ー唱歌童謡140年の歩み 著者: 全国大学音楽教育学会編著 出版社: 音楽之友社 ISBN: 978-4-276-59025-0						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育実習指導Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-4-331
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>保育実習Ⅰの内容を深め、これまで授業で学んだことも含め、総仕上げの実習をするための準備をするということをテーマに、以下のことを到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目標を理解し、保育について総合的に理解する。 2. これまでの実習や既習の教科目の内容や関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた改善について、実践や事例を通して理解する。 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 						
概要	<p>児童福祉施設等の利用児・者の理解を深め、最善の利益を考慮した保育について考察し、個々の状態に応じた課題を明らかにし、個別の支援計画を立て実施できるようにする。また保護者支援のあり方についても考察する。これまでに身につけた知識や技術をいかし、利用児・者の状態に応じた関わりを考察する。また、保育の観察、記録、自己評価に基づいて改善策を考えていけるようにする。保育士の専門性と職業倫理について確認する。事後指導において実習の総括と評価を行い、自己課題を明確にする。事例検討や支援計画立案に関する演習もおこなってきたい。</p>						
評価方法	<p>実習先の評価(6割)と学内講義(保育実習指導)の評価(4割)から総合的に評価する。授業過程をふりかえり、学んだことや評価をフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回のテーマにそった資料を配布するので熟読しておくこと。受講後は児童福祉施設や支援内容について、関連資料を探し確認すること。</p>						
自己学習	<p>各自の実習先について良く調べ、レポートを作成すること。授業中に出された課題について、関連資料にあたり、学習すること。発表の準備も怠らないこと。予習や復習を十分におこない、毎回90分ずつあてること。</p>						
オフィスワ-	火曜日 4限 研究室にておこないます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 実習先や利用児・者の理解を深める(概要表やレポートの作成)		演習	中野				
2. 子どもの最善の利益を考慮した保育に関する検討(事例検討も含む)		演習	中野				
3. 保護者支援の場面に関する検討		演習	中野				
4. 利用児・者の状態に応じた関わりについて(1)障害理解、被虐待児の対応		講義	中野				
5. 利用児・者の状態に応じた関わりについて(2)相談援助の理論や技術の活用		講義	中野				
6. 利用児・者の状態に応じた関わりについて(3)様々な保育場面における対応(ロールプレイ)		AL	中野				
7. 保育の全体計画に基づく計画(1)事例を使った計画の立案(グループ検討)		演習	中野				
8. 保育の全体計画に基づく計画(2)事例を使った計画の作成(グループ検討)		演習	中野				
9. 保育の全体計画に基づく計画(3)事例を使った計画の発表		AL	中野				
10. 観察や記録、自己評価について(エピソード記述の例を使った検討)		演習	中野				
11. 保育士の専門性と職業倫理について(保育所保育指針や全国保育士会倫理綱領に学ぶ)		演習	中野				
12. 実習の心得、実習前の確認事項		講義	中野				
13. 事後指導(1)実習の総括と自己評価、課題の明確化		演習	中野				
①実習報告書の作成							
14. 事後指導(2)実習の総括と自己評価、課題の明確化		演習	中野				
②実習報告会の準備							
15. 事後指導(3)実習の総括と自己評価、課題の明確化		AL	中野				
③実習報告会の開催							
教科書 1	『施設実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							

参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	保育実習 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	秀 真一郎、藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-332
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	保育現場において、今までに得た知識や技術が、いかに子ども達へと実践され、機能しているかを体験する。また、実際に子どもと触れ合うことにより、より深く子どもの姿を理解し、子どもと保育士との関わりを様々な視点から考察する。保育所における実際の保育士の役割を正しく理解し、保育所・家庭・地域社会の三角形における保育士の役割を考察する。						
概要	保育所実習において、今までに得た知識を知識として留めておくのではなく、いかに実戦で役立たせるかという視点で取り組むことを求める。子どもが好きという気持ちを前面に出し、“好きだけではできない仕事”ではなく、“好きだから出来る仕事”ということを実感する。 以上の中で保育士としての職務内容、役割、職業倫理などについて理解を深める。 保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	実習先の評価(6割)と教員による評価(4割)から総合的に評価する。 なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。						
履修条件・注意事項	毎回のテーマにそった資料を配布するので熟読し、復習もしっかりすること。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。実習期間中は、毎回設定する課題に対して意識して取り組み、十分振り返り、日誌を通して考察すること。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。予習・復習には90分以上あてること。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(秀)その他各担当教員のオフィスアワーを参照のこと。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 保育所実習について 2.指導実習(1)実習施設の理解 3.(2)保育計画の理解 4.(3)保育の一日の流れ等。 5.参加実習(1)子どもの姿(養護・教育の視点から) 6.(2)指導計画の理解(3)保育技術(日常生活援助)(4)保育技術(遊びの援助) 7.指導実習(1)指導計画の実際 8.(2)職員間の役割分担、職員同士のチームワーク 9.保育所実習全体を通して、次の(1)～(7)を学習する。(1)子どもの安全 10.(2)疾病予防 11.(3)子どもの家庭 12.(4)地域社会の理解 13.(5)保育士としての職業倫理 14.(6)記録や計画の書き方 15.(7)自己課題への取り組み		実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井 秀・藤井				
教科書 1	『保育所実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育実習Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎、藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-334
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>1. 保育現場を実際に触れ、実践において必要な日々の心構え、子どもと関わる上で重要となる保育理論、そして体調管理の重要性を理解する。</p> <p>2. 地域社会や子どもひとりひとりの持つ家庭環境の違いを考慮し、保育実践におけるニーズに対しての理解力・対応力について考える。</p> <p>3. 毎日の保育場面から、自己の持つ知識・経験・技術における課題を明確にし、自己解決力を身に付ける。</p>						
概要	<p>保育実習Ⅰで得た保育現場での知識や経験を基に自らの特色を生かした保育とは何かということ、自ら構築していく。その上でも、指導案は勿論のこと日々の保育の中でも“保育の個性”を理解し、掴み取っていく。</p> <p>具体的には保育現場に身を置き、保育の実務経験を有する保育者から次のことを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解する。 2. 子どもの観察や関わりの方角を明確にすることを通して保育を理解する。 3. 学内での学びや保育実習Ⅰを基礎として保育や保護者支援について総合的に学ぶ。 4. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 6. 保育士としての自己課題を明確にする。 <p>保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。</p>						
評価方法	実習先の評価(60%)と、実習日誌及び実習巡回指導等を基にした教員の評価(40%)をもとに総合的に評価する。実習中の課題は実習終了後に反省会や、個人面談を行いフィードバックするので、事後の実習や将来につなげる。						
履修条件・注意事項	健康維持に努め、意欲的に取り組むこと。						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。</p> <p>予習復習には授業計画に沿って、各2時間の程度求められる。</p>						
オフィスワ-	毎週月曜日2限目(秀)、水曜日5限(藤井)をオフィスアワーとする						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもひとりひとりへの理解 3. ひとりひとりの子どもに即した保育方法 4. 子どもの発達の遅れなどへの配慮 5. 子どもの最善の利益への配慮 6. 子どもの家庭とのコミュニケーション方法 7. 地域社会との連携の方法 8. 保育士としての職業倫理の理解 9. 指導計画の立案と実践 10. 指導計画の立案と実践 11. 指導計画の立案と実践 12. 指導計画の立案と実践 13. 指導計画の立案と実践 14. 指導計画の立案と実践 15. 指導計画の立案と実践 		実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導計画の立案と実践 2. 指導計画の立案と実践 3. 指導計画の立案と実践 4. 指導計画の立案と実践 5. 指導計画の立案と実践 6. 指導計画の立案と実践 7. 指導計画の立案と実践 8. 指導計画の立案と実践 9. 指導計画の立案と実践 10. 指導計画の立案と実践 11. 指導計画の立案と実践 12. 指導計画の立案と実践 13. 自己課題への取り組み 14. 自己課題の評価と反省 15. まとめ 		実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀 藤井・秀
教科書 1	保育所実習の手引き 著者:岡山県保育士養成協議会編						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保育実習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-4-335	
配当学科	子ども発達教育			年次	4			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	90	授業形態	実習	
テーマと到達目標	<p>保育実習Ⅰの内容を深め、これまで授業で学んだことも含め、総仕上げの実習をするということをテーマに、以下のことを到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。 3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4. 実習における自己の課題を理解する。 							
概要	<p>既習の教科目や実習の体験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)がどのように役割を果たし、機能しているかを深く学ぶ。施設の利用児・者の理解を深め、個々の状態に応じた課題を明らかにし、個別の援助計画を立案することを試みる。また施設における多様な専門職との連携や協働についても学ぶ。子ども(利用者)の家族への支援と対応について、面接場面などや生活場面において学ぶ。保育士の多様な業務を知る。保育士としての自己課題を明らかにする。施設と地域のつながりについても理解する。</p>							
評価方法	<p>実習先の評価(6割)と学内講義(保育実習指導)の評価(4割)から総合的に評価する。実習先の評価も含めて、授業過程もふりかえりながら、実習についてのフィードバックを行う。</p>							
履修条件・注意事項	<p>事前に設定した実習課題を意識して、積極的に実習に臨むこと。</p>							
自己学習	<p>保育実習指導Ⅲの内容をよく理解して実習に臨むこと。事前に設定した実習課題意識し、実習指導者のアドバイスを受けながら日々の課題を設定し、反省会や実習日誌において振り返り、考察を深める。施設の日課や保育士の業務を理解し、利用児・者の状態に応じた関わり、児童自立支援計画の立案など、実践の内容を深めていけるように工夫する。予習・復習には90分以上あてること。実習中の内容については、事後学習において、実習報告書の作成や実習報告会の準備などを通して振り返りをおこなう。</p>							
オフィスワ-	<p>火曜日 4限 研究室にておこないます。</p>							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先施設の理解を深める (1) 施設の目的・役割の理解 (2) 施設の機能・職員体制 (3) 日課の理解 4. 保育士の業務内容の理解 5. 個人差や生活環境に伴う子ども(利用者)のニーズの把握と課題の理解 6. 共感や受容する態度を身につける 7. 個別支援計画の作成 8. 個別支援計画の実施 9. 個別支援計画の評価 10. 子ども(利用者)の家族への支援と対応を学ぶ(生活場面) 11. 子ども(利用者)の家族への支援と対応を学ぶ(面接場面) 12. 施設における多様な専門職との連携について学ぶ 13. 施設における多様な専門職との協働について学ぶ 14. 地域社会との連携や協働のあり方を学ぶ。 15. まとめ 		<p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p>	<p>中野</p> <p>中野 中野 中野 中野</p> <p>中野</p> <p>中野 中野 中野 中野</p> <p>中野</p> <p>中野</p> <p>中野</p> <p>中野</p> <p>中野</p>					
教科書 1	『施設実習の手引き』 著者:岡山県保育士養成協議会編							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	子どもの国語			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	PS-CE-2-336	
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>本講義は、幼稚園および小学校教員に必要な国語の基礎的知識の修得をテーマとし、学生が教員採用試験に出題される問題に対応できるレベルを到達目標とする。</p> <p>①教師を目指す者として、敬語・文法・漢字・文章表現など、国語の基礎的知識を習得するとともに、子ども・保護者などの他者に対して正しく美しい会話表現ができる基礎的技能を身に付ける。</p> <p>②教師を目指す者として、文字を書くことの重要性に気付き、正しい筆順で字形の整った美しい文字を書くことができる。</p>						
概要	<p>敬語・文法・漢字・文章表現など、国語の基礎的知識を身に付けるとともに、伝統的な言語文化であることわざ・慣用句などを学び、伝統的な言語文化について理解を深める。さらに、このような日本語力の獲得によって、子どもへの言葉かけ、あるいは保護者との話し方など、会話(コミュニケーション)能力の育成を図る。また、書写や読書指導に関する理解を深め、幼稚園および小学校教員として必要な国語の基礎的知識を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、幼稚園および小学校教員に必要な図書館の利用についての知識や表記法、文章表現等の指導に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>受講態度・課題(提出物・レポート)・単位認定試験の成績で総合的に評価する。 単位認定試験(60%)、課題(提出物・レポート)(30%)、受講態度(10%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	毎回の講義でプリントを配布するため、ファイルを用意すること。						
自己学習	日常生活の中で、読書や新聞を読む習慣を身に付けること。 本講義は予習復習を必要とする。復習では、講義を振り返り、内容を理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. はじめに なぜ「子どもの国語」を学ぶのか		講義	雲津				
2. 漢字の理解(1)-漢字の基礎		講義	雲津				
3. 漢字の理解(2)-漢字の応用		講義	雲津				
4. 文法の理解(1)-文法の基礎		講義	雲津				
5. 文法の理解(2)-文法の応用		講義	雲津				
6. 敬語の理解(1)-敬語の基礎		講義	雲津				
7. 敬語の理解(2)-敬語の応用		講義	雲津				
8. 文章表現力の育成(1)-文章表現の基礎		講義	雲津				
9. 文章表現力の育成(2)-文章表現の応用		講義	雲津				
10. 会話表現力の育成(1)-会話表現の基礎		講義・AL	雲津				
11. 会話表現力の育成(2)-会話表現の応用		講義・AL	雲津				
12. 伝統的な言語文化-ことわざ・慣用句		講義	雲津				
13. 読書指導の方法と実践		講義	雲津				
14. 文字文化と書写		講義・AL	雲津				
15. まとめ		講義	雲津				
16. 単位認定試験		筆記試験	雲津				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	保育学生のための実践国語表現 著者:原田 留美 出版社:おうふう ISBN:978-4-273-03479-5						
参考書 2	保育者になるための国語表現 著者:田上 貞一郎 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-147-5						

授業科目名	子どもの社会			履修期	2021年度 春学期			
担当者	白神 幹夫					NO.	PS-CE-2-337	
配当学科	子ども発達教育			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習	
テーマと到達目標	将来、学校現場において社会科の授業の実践できる教員の養成がテーマであり、小学校教員に必要な社会科の授業における基礎的知識および実践的指導力の育成を目的とし、小学校教員採用試験に合格できるようになる。							
概要	「小学校学習指導要領」および「小学校学習指導要領解説 社会編」を中心に、小学校における社会科の学習内容を理解すること、また社会科の授業構成に必要な基礎的事項、指導方法・技術についても学ぶ。 学習指導案の作成、検討会、模擬授業を実施し、講義の充実を目指したい。							
評価方法	定期試験(70%) レポート等提出物(15%) 積極的な参加態度(15%) 評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	教科書として「小学校学習指導要領解説 社会編」を使用するので毎回持参する。その他については必要に応じて関係資料、参考資料を配付する。 ノート作成は必ず行うこと。毎回の講義の予習復習も行ってもらいたい。なお、模擬授業の指導案はワープロソフトで作成し人数分授業の前に全員に提出することとする。							
自己学習	学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう、教材研究に取り組んでいただきたい。 予習復習が2時間程度必要です。							
オフィスワ-	毎授業終了時に教室にて実施							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. はじめに 一講義の進め方など 2. 小学校社会科教育の目標・学力・学習指導要領の変遷 3. 3学年の内容と学習指導 4. 4学年の内容と学習指導 5. 5学年の内容と学習指導 6. 6学年の内容と学習指導 7. 小学校社会科教育の評価 8. 学習指導案 9. 学習指導案作成 I 教材選択 10. 学習指導案作成 II 教材研究 11. 指導案検討会 12. 模擬授業 I 13. 模擬授業 II 14. 模擬授業 III 15. 授業反省とまとめ 16. 筆記試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL AL 筆記試験	白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神					
教科書 1	小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年6月 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	子どもの算数				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	鳥居 恭治					NO.	PS-CE-2-338
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	幼児や児童の数量概念や図形概念の養成や基礎作りができるために必要な数学の専門性や数学的な考え方の力量を習得するため、(1)数学的な考え方に関する知見を深め、(2)算数科の授業の基本及び4領域の内容を理解し、(3)数学的な考え方を基にして問題解決を図る、ことができるようになる。						
概要	算数科の授業づくりを行うには、その指導内容等に関する数学的な専門知識が必要である。算数科の目標、活用力の育成など基礎的な事項を理解した上で、算数の授業の基本を概観する。また、数と計算、図形、測定・変化と関係、データの活用の4領域について、その内容や指導についての理解を深める。さらに、数学的な考え方を使った問題解決を考察することなどを通して、魅力ある算数科の授業づくりができる素地を養う。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等)を総合的に評価する。 レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。						
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。						
オフィスワ-	毎授業の前・後及び休憩時間等を実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 算数科の目標 数学的な考え方 算数科の授業 算数科の指導 領域「数と計算」の意義 領域「数と計算」の内容 領域「図形」の意義 領域「図形」の内容 領域「測定・変化と関係」の意義 領域「測定・変化と関係」の内容 領域「データの活用」の意義 領域「データの活用」の内容 数学的な考え方を使って問題を解く①(演算) 数学的な考え方を使って問題を解く②(図形) 数学的な考え方を使って問題を解く③(測定・変化と関係) 試験 			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習 演習 演習 筆記試験	鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居 鳥居
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59010-5						
教科書 2	算数の基本問題 小学5年 著者:日能研教務部 出版社:みくに出版 ISBN:978-4-8403-0400-9						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	子どもの生活				履修期	2021年度 春学期	
担当者	鳥居 恭治					NO.	PS-CE-2-340
配当学科	子ども発達教育				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「子どもの生活体験」をテーマとして、日常生活における文化・伝統や生活習慣、保育・教育の場における人間関係や自然、との関わりについて理解することを目標とする。また、本講義は幼稚園・小学校教諭一種免許取得のための専門科目であり、履修により保育・教育実践力を身につけることができる。						
概要	子どもたちが日常の活動や生活体験を通して、身近な社会や自然とのかかわりに興味や関心を持ち、生活上必要な習慣や技能を身につけ、自立への基礎を培うことができるよう援助することの意義について学ぶとともに情報機器の扱いや教材の活用法についても学ぶ。 具体的には、子どもたちが家庭や地域生活において経験する各種の年中行事を題材として、グループによる研究発表・討議を行うことにより理解を深める。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	受講態度(20%)、レポート提出(20%)、グループ発表・討議への取り組み(20%)、期末試験(40%)の結果を合わせて総合的に評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にとすること。						
履修条件・注意事項	グループ発表に際しては、資料調べやレジュメ作成(予習)、小道具の準備係等の役割分担を決め、全員の自発的積極的参加による責任発表を行うこと。発表後はグループで反省討議(復習)を行うこと。 子どもの生活場面や環境に関心を持ち、受講生自身の生活力・社会性の向上にも努めてもらいたい。						
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	毎授業の前・後及び休憩時間等に実施する。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 「子どもの生活」を学ぶ目標と意義	講義	鳥居			
2. 「子どもの生活」の内容(1) 4月の行事を通じて	講義	鳥居			
3. 「子どもの生活」の内容(2) 5月の行事を通じて	講義	鳥居			
4. 「子どもの生活」の内容(3) 6月の行事を通じて	講義	鳥居			
5. 「子どもの生活」の内容(4) 7月の行事を通じて	講義	鳥居			
6. 「子どもの生活」の内容(5) 9月の行事を通じて	講義	鳥居			
7. 「子どもの生活」の内容(6) 10月の行事を通じて	講義	鳥居			
8. 「子どもの生活」の内容(7) 11月の行事を通じて	講義	鳥居			
9. 「子どもの生活」の内容(8) 12月の行事を通じて	講義	鳥居			
10. 「子どもの生活」の内容(9) 1月の行事を通じて	講義	鳥居			
11. 「子どもの生活」の内容(10) 2月の行事を通じて	講義	鳥居			
12. 「子どもの生活」の内容(11) 3月の行事を通じて	講義	鳥居			
13. まとめ(1)子どもの活動と 気付きについて	講義	鳥居			
14. まとめ(2)情報機器の扱いと 教材の活用法	講義	鳥居			
15. まとめ(3)子どもの願いと 評価について	講義	鳥居			
16. 試験	筆記試験	鳥居			

教科書 1	「生活科で子どもは何を学ぶか」 著者:須本良夫 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03503-1
教科書 2	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 生活編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03464-5
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	子どもの体育			履修期	2021年度 春学期		
担当者	関 孝之					NO.	PS-CE-2-344
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	幼児期から就学前期の運動経験は、以降の体力・運動能力はもとより、他者との関わりなどの社会的適応力、精神的発達にも大きな影響をおよぼすことが知られている。そこで本講義では、「子ども期に必要な運動の質・量」をテーマとし、それを指導するための技術を身につけることができる。						
概要	毎回の講義は、前半では幼児教育および初等教育における体育の役割を概論的に理解するとともに、子ども期において必要な運動を理解するため、とくに運動の基礎理論を学習する。後半では、子どもたちに体育を指導するための教授学的基礎理論を学習した上で、その実技や内容・教授方法について実践・理解する。						
評価方法	受講態度(60%)と課題及びポートフォリオ(40%)を組み合わせて評価する。 また、課題に関しては講義内でフィードバックを行うため講義終了までに内容を把握しておくこと。						
履修条件・注意事項	毎時の講義の中で、運動のできる服装・シューズ等を準備する。 また、ポートフォリオのためのA4穴あきファイルを準備しておくこと。						
自己学習	各授業計画に記載のある内容について、学習指導要領などを参考として事前の予習を行うこと。事後の復習に関しては、実技・理論ともに講義内で不足した部分についての学習を励行し、習得・理解を定着させること。事前事後ともに2時間程度を目安とする。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
第1回 オリエンテーション (授業の進め方・評価の方法など)	講義・演習	1.関 2.関 3.関			
第2回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その1(体づくり運動・体ほぐし運動)	講義・演習	4.関 5.関 6.関			
第3回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その2(ボール遊び、鬼遊び)	講義・演習	7.関 8.関 9.関			
第4回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その3(ゴール型のボールゲーム基礎)	講義・演習	10.関 11.関 12.関			
第5回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その4(ゴール型のボールゲーム応用)	講義・演習	13.関 14.関 15.関			
第6回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その5(ネット型のボールゲーム基礎)	講義・演習				
第7回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その6(ネット型のボールゲーム応用)	講義・演習				
第8回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その7(用具を使った運動遊び、器械運動の動きづくり)	講義・演習				
第9回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その8(器械運動その1 マット運動)	講義・演習				
第10回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その9(器械運動その2 とび箱)	講義・演習				
第11回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その10(表現遊び)	講義・演習				
第12回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その11(リズム遊び、表現)	講義・演習				
第13回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その12(リズムダンス基礎)	講義・演習				
第14回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その13(リズムダンス応用)	講義・演習				
第15回 子どもの発達に即した運動・運動遊びの実践 その14(フォークダンス)	講義・演習				
教科書 1	適宜資料を配布する				
教科書 2					
参考書 1	小学校学習指導要領解説 体育編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03467-6				

参考書 2

幼稚園教育要領解説
著者:文部科学省
出版社:フレーベル館
ISBN:978-4577814475

授業科目名	教育行政学(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎					NO.	PS-CE-2-348
配当学科	子ども発達教育			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育行政の仕組みや関連する教育法規について学ぶとともに、教育行政を進める上で不可欠である保護者・地域との連携や学校安全に関する理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1 教育に関する制度的事項</p> <p>(1)公教育の原理及び理念を理解することができる。</p> <p>(2)公教育制度を構成している教育関係法規を理解することができる。</p> <p>(3)教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解することができる。</p> <p>(4)教育制度をめぐる諸課題について理解することができる。</p> <p>2 学校と地域との連携</p> <p>(1)地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解することができる。</p> <p>(2)地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解することができる。</p> <p>3 学校安全への対応</p> <p>(1)学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解することができる。</p> <p>(2)生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解することができる。</p>						
概要	<p>教育行政とは、国や地方公共団体が教育政策を実現するため、教育法規に基づいて教育制度を運用し教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うことをいう。また、教育行政を進める上で、学校と保護者、地域との連携は不可欠な時代となっている。学校評議員、学校評価、学校運営協議会などの制度を知ることも必要である。さらに、震災をはじめとした自然災害や学校管理下における事件・事故災害が繰り返し発生している現状から、災害発生時に対応できる素養や、災害の予防、あるいは被害を最小限に抑える方策等、学校安全に関する知識・技能等を身に付けておく必要がある。この授業では、テキストをもとに、これらの内容を学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、教育行政及び中学校校長の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する)</p> <p>[提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する)</p> <p>[授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する)</p> <p>レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。</p> <p>授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。</p> <p>復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。</p> <p>なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 教育行政とは何か 2. 教員行政 3. 就学前教育行政と幼稚園・保育所・認定こども園 4. 初等中等教育行政と学校 5. 高等教育・私立学校行政と学校、特別支援教育と学校・学校外教育 6. 教育課程行政 7. 教育委員会と学校 8. 学校と外部環境 9. 学校安全 10. 学校施設・学校統廃合 11. 地方教育政治・地方教育行政 12. 教育財政 13. 中央政府 14. 文部科学省の仕事 15. 教育制度の法体系と原理 16. 試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義・AL 筆記試験	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井・外部講師 藤井 藤井					
教科書 1	<p>教育制度を支える教育行政(アクティベート教育学05) 著者:青木栄一 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-08539-2</p>						
教科書 2							
参考書 1	<p>2021年版 ポケット教育小六法 著者:伊藤良高 出版社:晃洋書房</p>						

ISBN: (2021年4月出版予定)

参考書 2

- ①幼稚園教育要領解説(平成30年3月)
②小学校学習指導要領(平成29年告示)
著者: 文部科学省
出版社: ①フレーベル館
②東洋館出版社
ISBN: ①978-4-577-81447-5|②978-4-491-03460-7

授業科目名	保育指導法(環境)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-3-352
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	教育の	単位数	2	時間数	30	授業形態	単独(オンライン)
テーマと到達目標	<p><テーマ> 幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された保育内容(環境)領域の「ねらい及び内容」について環境領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ具体的な指導場面を構想する方法を身に付けることを基本とする。</p> <p><到達目標> 1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域(環境)の「ねらい及び内容」並びに全体構造を理解できる。 2) 領域(環境)の「ねらい及び内容」を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解できる。 3) 領域(環境)において幼児が身に付けていく内容の関連性や小学校も教科などとのつながりを理解できる。以上を到達目標とする。</p>						
概要	<p>保育指導法(環境)では、幼児が自然環境はじめ物的環境、人的環境、社会環境など様々な環境に主体的にかかわることにより感性を豊かにし、人間として生きる力の基礎となる心情、意欲、態度などを身に付けていくことの基本的意義を学習し、保育指導法(環境)の指導に保育者として必要な知識・技能を修得することを目的とする。加えて保育者が果たすべき役割の再確認を行うと同時に、保育指導法(環境)に関する具体的教材作成やICTを活用したプレゼンテーションの手法についても「模擬保育」の演習として取り組み、実際の保育環境の中で実践的な保育指導のできる能力を修得する。</p>						
評価方法	<p>本授業内容は教科書を中心に、教材研究、模擬保育を行う中で、領域環境の理解を図る。 「環境」に関する教材の立案・発表(20%) 模擬保育のための指導案作成と実践(約30%) 小テスト、レポートと発表(約30%) 毎回授業後に「感想文(200字程度)」を期限までに指定される場所に提出すること(20%)。</p> <p>なお、評価のために実施した課題やレポートについては、授業中にフィードバックするので見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自ら学ぶ姿勢が何よりも大切です。 初回から筆記用具を必ず準備し、配布される参考資料等ファイルし、テキストや授業で得た事項および自習した資料も加えて「マイノート」として整理しましょう。</p>						
自己学習	<p>1. テキストを中心に参考書、配布資料を参照して授業に臨むこと。 2. 配布資料やレポートなど自習したものを加え、「マイノート」として整理し、必ず復習を行うこと。 3. 期末試験は授業の際に適宜示される「課題」についてのレポート模擬保育が筆記試験の代わりとなるので、理解度の評価を上げるために、各事項における内容のポイントを中心に予習・復習を必ず行うこと(各2時間)。</p>						
オフィスアワー	10号館3階、個人研究室において、水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 幼児教育の基本および新改訂教育要領の領域「環境」事項の確認	講義	藤井					
2. [環境を通しての教育と保育者の役割]	講義	藤井					
3. 保育「環境」の指導の「ねらいと内容」及び指導案作成	講義	藤井					
4. 植物にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
5. 動物にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
6. 用具・遊具にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
7. 自然現象にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
8. 数量や図形にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
9. 地域にかかわる事例と実践指導の考察	講義	藤井					
10. 春・夏の生活にかかわる模擬保育	GW	藤井					
11. 秋・冬の生活にかかわる模擬保育	GW	藤井					
12. 情報機器にかかわる事例と実践指導の考察	GW	藤井					
13. ICT活用による実践指導教材研究(立案・作成・討論)	GW	藤井					
14. 小学校 教育との連携の在り方および領域(環境)の総括	GW	藤井					
15. 幼児を取り巻く環境の実際と保育における課題	ディスカッション	藤井					
教科書 1	<p>保育内容 環境 著者:編著:高橋貴志・目良秋子 出版社:建帛社 ISBN:ISBN 978-4-7679-5062-4</p>						
教科書 2	幼稚園教育要領解説(最新版)						

	出版社: 文部科学省HP
参考書 1	事例で学ぶ保育内容 領域 環境 著者: 監修: 無藤 隆 編集: 福元真由美 出版社: 萌文書林 ISBN: ISBN 978-4-89347-258-8
参考書 2	子どもと環境(理論編) 著者: 監修: 小田 豊 編者: 奥井智久、芦田 浩 出版社: 三晃書房 ISBN: ISBN 978-4-7830-8003-9

授業科目名	保育指導法(保育内容総論)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	秀 真一郎				NO.	PS-CE-4-355	
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	遊びを通した総合的教育を目指す中で、子ども理解と環境構成はその方法を決定する上で最も大切な要因となる。しかし、子ども理解と環境構成に対する視点はいくつも存在し、それぞれの視点によつての捉え方もまた違う。ご領域の関連性からくる「方法」の捉え方とその探り方について、自らの理論を構築し、柔軟な視野を見つけることを目的とする。						
概要	「方法」に対する視点は無数に存在する。子ども、遊び、環境、生活、人間関係などそれぞれの視点にはそれぞれの特徴を持つ。そのため、それぞれの視点を理解するだけでなく、それぞれの視点の持つ特徴をどのようにとらえるかという自らの理論を構築する必要がある。理論の伴う「方法」とは何か、保育現場において活用される教材を含む「方法」における答えを探し出してほしい。保育士としての実務経験を活かし、保育現場について実践的な授業を行う。						
評価方法	受講態度、提出物、試験から総合的に判断する。 成績評価基準: 受講態度(15%)、提出物(15%)、試験(70%) なお、授業中に提出したものについては授業の中でフィードバックするので、試験までにはしっかり見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	実習、さらには将来の現場において大切な内容も多く含まれることを意識し、積極的に取り組むこと。 指導法に対する理解を総合的な観点でとらえ、その内容を予習復習でしっかりと習得してもらいたい。						
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。 予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 「方法」を考えるとときに大切なこと		講義	秀				
2. 子どもと遊びの楽しさを共有する方法を探る		講義	秀				
3. 子どもが育つ環境をつくる方法を探る－幼稚園教育要領が示していること		講義	秀				
4. 子どもが育つ環境をつくる方法を探る－季節を視野に入れた環境構成		講義	秀				
5. 子どもとの充実した遊びや活動を組み立てていく方法を探る－遊びを通して育つということ		講義	秀				
6. 子どもとの充実した遊びや活動を組み立てていく方法を探る－保育の場において形態を考慮することとは		講義	秀				
7. 子どもとの充実した生活をつくるための方法を探る		講義	秀				
8. 子どもの育ちに即した援助の方法を探る－子どもが育つということ		講義	秀				
9. 子どもの育ちに即した援助の方法を探る－子どもと子どもの関係の広がり		講義	秀				
10. 栽培や行事を子どもとともに作りあげる方法を探る		講義	秀				
11. かかわりの難しさを感じる子どもへの援助の方法を探る－気になる子どもへの援助		講義	秀				
12. かかわりの難しさを感じる子どもへの援助の方法を探る－外国人の子どもへの援助		講義	秀				
13. 記録から方法を探る		講義	秀				
14. 連携という方法を探る		講義	秀				
15. 「方法」を探究していくために		講義	秀				
16. 試験		筆記試験	秀				
教科書 1	保育方法の実践的理解 著者:久富陽子+梅田優子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-128-4						
教科書 2							
参考書 1	平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 <原本>						

著者:文部科学省、厚生労働省、内閣府
出版社:チャイルド本社
ISBN:978-4-8054-0258-0

参考書 2

授業科目名	初等教科教育法(図画工作)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 尚宏					NO.	PS-CE-3-362
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	「図画工作科教育に関する基礎的な知識及び授業運営の実際」をテーマとして、児童の発達段階と育成を目指す資質・能力や、図画工作の特質や意義について理解した上で、学習指導の計画方法を学び、より良い授業づくりのための教育技能を獲得することを到達目標とする。						
概要	初等教育における図画工作の意義や役割、目標と内容、歴史などの理論及び学習指導計画と評価、情報機器の活用について学ぶ。さらに学習指導の実践に向けて〈造形あそび〉〈絵(版)〉〈立体〉〈工作〉〈鑑賞〉において児童の発達に沿ったふさわしい教材研究を行った上で、指導案の作成と模擬授業を行う。						
評価方法	節目のレポート課題、模擬授業の演習などの評価:70% 授業に取り組む姿勢(予習・復習課題、参加の態度や意見など):30% ※毎回の予習・復習課題は評価したのち、必要なフィードバックはコメントか授業内で行う。						
履修条件・注意事項	予習・復習(教科書)、および模擬授業の準備などの自宅学習が必要です。						
自己学習	【予習】事前にテキストを読んで、疑問点やわかりにくい点などを書き出しておくこと。 【復習】授業内容をふまえ、内容の理解を深めること。 ※事前・事後の学修は、各2時間以上必要です。 ※普段から様々なアートや子どもたちの遊びや野外活動、造形表現に触れること。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回:オリエンテーション、第1章図画工作科における学び	講義	佐藤尚宏					
第2回:学習指導要領(目標及び内容)	講義	佐藤尚宏					
第3回:第2章 図画工作科の内容	講義	佐藤尚宏					
第4回:第3章 図画工作科の指導法、学習指導計画と評価	講義	佐藤尚宏					
第5回:第2章 図画工作科の内容1,2,3、教材研究の意味	講義	佐藤尚宏					
第6回:模擬授業(A表現-造形遊び)	講義	佐藤尚宏					
第7回:模擬授業(A表現-造形遊び)	演習	佐藤尚宏					
第8回:第2章 図画工作科の内容4.5.6,7,8,9	演習	佐藤尚宏					
第9回:模擬授業(A表現-絵に表す)	講義	佐藤尚宏					
第10回:模擬授業(A表現-立体に表す)	演習	佐藤尚宏					
第11回:第2章 図画工作科の内容10,11,12,13,14,15	演習	佐藤尚宏					
第12回:模擬授業(工作に表す)	講義	佐藤尚宏					
第13回:模擬授業(工作に表す)	演習	佐藤尚宏					
第14回:模擬授業(B鑑賞)	演習	佐藤尚宏					
第15回:第5章 図画工作科の学びの広がり	講義	佐藤尚宏					
教科書 1	明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法 著者:新野貴則・福岡知子 出版社:萌文書林 ISBN:978-4-89347-287-8						
教科書 2							
参考書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4536590112						
参考書 2							

授業科目名	道徳教育の理論と方法(初等教育)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-3-366
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 討論 模擬授業
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ及び到達目標 道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。</p>						
概要	<p>授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を繰り返し直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%)提出物(20%)最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業内容を効率的に理解し、発展できるようにするためにその時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる</p>						
自己学習	<p>予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の要点をまとめておくこと</p>						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回: 道徳教育を学ぶ視点	講義	川上					
第2回: 人間と道徳,道徳教育	講義	川上					
第3回: 戦前、戦後の道徳教育	演習	川上					
第4回: 指導要領と道徳教育	演習	川上					
第5回: 発達理論	講義	川上					
第6回: 授業理論	講義	川上					
第7回: 学校の道徳教育の構造	講義	川上					
第8回: 道徳資料の読み方	講義	川上					
第9回: 指導案の書き方	講義	川上					
第10回: 教材研究、指導案作成	講義	川上					
第11回: 模擬授業1(演習)	模擬授業	川上					
第12回: 模擬授業2(演習)	模擬授業	川上					
第13回: 総合単元的道徳学習	講義	川上					
第14回: 構想表作成	講義	川上					
第15回: 道徳教育における評価	講義・演習	川上					
第16回: 定期試験	筆記試験	川上					
教科書 1	<p>道徳教育を学ぶ人のために(四訂版) 著者:小寺正一、藤永芳純(編) 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1404-0</p>						
教科書 2	<p>小学校学習指導要領解説 道徳編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-02376-2</p>						
参考書 1	<p>私たちの道徳 5,6年 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75187-9</p>						
参考書 2	<p>私たちの道徳 3,4年 著者:文部科学省 出版社:教育出版社 ISBN:978-4-316-30083-2</p>						

授業科目名	外国語活動				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 泰弘					NO.	PS-CE-3-368	
配当学科	子ども発達教育				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	「外国語活動の授業の基礎基本を学ぶ」をテーマとして、子どもたちが主体的・対話的に深く学び、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することのできる外国語活動の授業の在り方を考え、教員として指導観を持つことのできる能力を身につける。小学校外国語活動の目標や内容を確実に理解し、外国語活動の授業を行う基礎的・基本的な知識や技能を獲得するとともに、外国語活動の学習計画や指導案の作成方法を理解し、授業づくりに生かすことができるようになることを到達目標とする。							
概要	「小学校学習指導要領解説(外国語活動編)」を確実に理解し、外国語活動の授業で子どもたちが使用している教材を使って授業を実際に体験しながら、自信を持って外国語活動の授業ができるようにしていく。 ※実務経験のある教員による授業科目 小学校教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。							
評価方法	授業では事前にテキストや配布資料を熟読していることを前提とする。実際に活動しながら授業を進めていくので、主体的・対話的な授業態度(発言回数や内容・活動意欲)や模擬授業などを重視する。 主体的・対話的な授業態度(20%)・模擬授業(30%)・単位認定試験(50%) 評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。							
履修条件・注意事項	予習と復習は必須である。小学校の子どもたちが外国語活動の授業で取り組んでいる活動(歌・チャンツ・クイズ・ゲームなど)を実際に体験しながら授業を進めていくので、積極的に参加すること。また、学習計画や指導案を作成し模擬授業をするので、自分なりの工夫を模擬授業に加えること。なお、必要に応じて印刷物を配布するので、初回授業よりファイルを用意すること。							
自己学習	テキストや事前配布資料で予習し、授業に臨むこと。また、前回の学修事項を基に質疑応答形式で授業を進めるので、復習し理解を深めること。予習および復習には、各2時間程度を要する。文部科学省のホームページには、学習指導要領や学習指導要領解説、外国語活動の補助教材などの資料が数多く掲載されている。また、書店にも、外国語活動に関する本や資料がたくさん並んでいる。これらを、予習や復習に役立てるようにしたい。							
オフアワー	授業終了後、教室で行う。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション		講義	山本					
2. 「外国語活動」の基本理念		講義	山本					
3. 小学校学習指導要領(外国語活動)解説		講義	山本					
4. 教材の構成		講義	山本					
5. 教材の内容		講義	山本					
6. 第二言語習得と指導の留意点		講義	山本					
7. 指導者の役割・指導法・指導技術		講義	山本					
8. 指導者の英語表現		講義・演習	山本					
9. 授業研究(映像視聴・討論)								
10. 指導目標や学習計画の立て方・評価方法・学習指導案の作成方法		ディスカッション	山本					
11. 学習計画・指導案作成		講義	山本					
12. 模擬授業の準備		GW	山本					
13. 模擬授業		GW	山本					
14. 模擬授業の振り返り		AL	山本					
15. 講義のまとめ・振り返り		ディスカッション	山本					
16. 単位認定試験		講義	山本					
		筆記試験	山本					
教科書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編 著者:文部科学省 出版社:開隆堂 ISBN:978-4-304-05168-5							
教科書 2	Let's Try! 1 (市販版指導編) 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-25970-0							
参考書 1	Let's Try! 2(市販版指導編) 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-25971-7							
参考書 2								

授業科目名	生徒・進路指導論(初等教育)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	PS-CE-3-370	
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】生徒指導、キャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、キャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての児童を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 児童の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての児童を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 児童が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 						
概要	<p>生徒指導は、一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と原理 2. 学校における生徒指導体制、教育相談 3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携 4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導) 5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動) 6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校) 7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ) 8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害) 9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待) 10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害) 11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ) 12. キャリア教育とは何か 13. キャリア教育推進のために 14. 小学校におけるキャリア教育 15. 生徒指導の今後の方向性 16. 試験 	<p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験</p>	<p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p>					
教科書 1	<p>生徒指導提要 著者:文部科学省 出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0</p>						

教科書 2	小学校キャリア教育の手引き<改訂版> 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30025-2
参考書 1	小学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03460-7
参考書 2	

授業科目名	教育相談の基礎(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	PS-CE-4-372	
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学校教育相談を進める際の基礎的知識を学ぶとともに、カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1 教育相談の意義と理論</p> <p>(1)学校における教育相談の意義と課題を理解することができる。</p> <p>(2)教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解することができる。</p> <p>2 教育相談の方法</p> <p>(1)生徒の不応答や問題行動の意味並びに生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解することができる。</p> <p>(2)学校におけるカウンセリングマインドの必要性を理解することができる。</p> <p>(3)受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解することができる。</p> <p>3 教育相談の展開</p> <p>(1)職種の校務分掌に応じて、生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。</p> <p>(2)いじめ、不登校、虐待、非行等の課題に対する、生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解することができる。</p> <p>(3)教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組の必要性を理解することができる。</p> <p>(4)地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解することができる。</p>						
概要	<p>教育相談は、生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。授業では、予防・開発的教育相談について理解し、さらに不応答や問題行動等の課題への支援のための基礎的知識を学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する)</p> <p>[提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する)</p> <p>[授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する)</p> <p>レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。</p> <p>授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。</p> <p>復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄を整理して再確認すること。</p> <p>なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 学校教育相談の定義と歴史 子どもの理解と指導 子どもの発達と発達課題 生徒指導と学校教育相談 カウンセリングの理論と実際 豊かな授業を創造する教育相談的アプローチ 学級経営と学校教育相談 来談者中心カウンセリング ブリーフカウンセリング 社会性と情動の学習(SEL) 学級担任が行う学校教育相談 聴き方演習 事例検討 保護者との連携 危機管理と危機対応 試験 	<p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL</p> <p>演習 演習 講義・AL 講義・AL 筆記試験</p>	<p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p> <p>藤井 藤井 藤井 藤井 藤井</p> <p>藤井 藤井 藤井 藤井</p>		
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	<p>生徒指導提要 著者:文部科学省 出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0</p>						
参考書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03460-7</p>						

授業科目名	教職実践演習(幼・小)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江					NO.	PS-CE-4-375
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】子ども一人一人の個性を尊重し、子どもたちに生きる力を付けることができる教師になるため、自ら考え、自ら学ぼうとする態度を培う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。 2 挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。 3 子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。 4 子どもの反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。 						
概要	<p>教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じて「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。このような科目の趣旨を踏まえ、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科、保育内容等の指導力に関する事項を学修する。なお、第6～10回授業は、幼稚園・小学校の各グループに分かれて演習を行う。幼稚園グループは、保育場面で気になる子どもへの関わりや幼児教育の課題を考えるなどの演習を通して、具体的な指導法を身に付ける。小学校グループは、高梁市教育委員会の協力により、小学校での実務実習を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小学校教員、小学校校長、指導主事等の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	演習や実務実習の取り組み(30%)、レポート試験(70%)をもとに、授業への参画状況等を含め総合的に評価する。演習や実務実習はその都度、試験は個別にフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	幼稚園及び小学校教員志望学生を対象とし、教育実習を履修済みであること。						
自己学習	教職実践演習は、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。そのため、受講者は「教師になるために必要な資質能力」について、各自、探求していく必要がある。講義外においても自身の問題意識に応じた現代的な課題の文献やニュースなどの情報を積極的に得るようにし、自己の知識を深めること。なお、毎回の授業において内容は指示するが、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。						
オフィスワ-	月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教職履修カルテ」による学習の振り返り 2. 教師として必要なコミュニケーション能力-話し方 3. 教師として必要なコミュニケーション能力-聴き方 4. 教師に必要な規範意識、倫理観 5. 関係機関との連携 6. 幼小別グループ演習・実務実習① 7. 幼小別グループ演習・実務実習② 8. 幼小別グループ演習・実務実習③ 9. 幼小別グループ演習・実務実習④ 10. 幼小別グループ演習・実務実習⑤ 11. 特別支援教育 12. 学級経営と保護者対応 13. 保・幼・小連携の現状と課題 14. 求められる資質、能力(教員育成指標から) 15. 対人関係力アップのためのワークショップ 16. レポート試験 	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習・実習 演習・実習 演習・実習 演習・実習 演習・実習 演習・実習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 試験	雲津 雲津 雲津 藤井 藤井 全員 全員 全員 全員 全員 藤井 川上 川上 川上 鳥居 鳥居		
教科書 1	使用しない。適宜、資料を配付する。						
教科書 2							
参考書 1	幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5						
参考書 2	①小学校学習指導要領(平成29年告示) ②小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社						

授業科目名	教育実習 I (初等教育)				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江、鳥居 恭治					NO.	PS-CE-3-376
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼児、児童又は生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。 2 指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。 3 教育実習校(園)の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解することができる。 4 学級担任や教科担任等の補助的な役割を担うことができる。 						
概要	<p>教育実習は、観察、参加、実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることが求められる。</p> <p>教育実習においては、幼児・児童や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校(園)の幼児、児童の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、大学で学んだ教科・領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を、各教科や教科外活動の指導場面・保育で実践するための基礎を身に付けることが必要である。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	<p>実習園・実習校からの成績評価(50%)、実習日誌・指導案作成およびレポート提出(40%)、事前説明会、教員採用試験への積極的な取り組みなど(10%)による総合的評価で行う。また普段からの講義での予習・復習を忘れないようにする。なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「教育実習指導」の単位修得ができていない学生、教職志望意識が目立って低い学生については、実習を行うことはできない。実習前に各実習園・校における事前打ち合わせがあるため、実習学生は日程や事前準備などをしっかり把握・確認しておくことが必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に資料などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園・小学校の役割や1日の流れを理解する 2. 子ども達の実際の様子を観察する 3. 観察実習をもとに、実際に子ども達の学びに関わる(参加実習) 4. 参加実習を重ね、子ども理解を深める 5. 一人一人に対する子ども理解をもとに、学級全体に対する理解をする 6. 参加実習の中で教師の実際について理解する 7. 部分実習や研究授業を経験し、教師の役割を理解する 8. 部分実習や研究授業から子ども達との関わりについて理解する 9. 学校運営について理解する 10. 学年運営について理解する 11. 学級運営について理解する 12. 学習指導について理解する 13. 生徒指導について理解する 14. 教員研修について理解する 15. 教育者の任務について理解する 	<p>実習</p> <p>実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習 実習 実習</p>	<p>全員</p> <p>全員 全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員 全員 全員 全員 全員 全員</p>		
教科書 1	実習日誌・指導案は大学専用の実習簿を使用。						
教科書 2							
参考書 1	<p>幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5</p>						
参考書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03461-4</p>						

授業科目名	教育実習Ⅱ(初等教育)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎、雲津 英子、川上 はる江、鳥居 恭治					NO.	PS-CE-3-377
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育者としての実践的力量的形成を図る。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領・幼稚園教育要領及び児童・幼児の実態等を踏まえた適切な学習指導案・指導案を作成し、授業・保育を実践することができる。 2 学習指導・保育に必要な基礎的技術(話法、板書、学習・保育形態、授業・保育展開、環境構成等)を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。 3 学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 4 教科指導以外の様々な活動の場面で適切に児童・幼児と関わるることができる。 						
概要	<p>教育実習Ⅱは、教育実習Ⅰの経験を踏まえた上で、教育者としての実践的力量的形成を図ることを企図している。すなわち幼稚園・小学校に身を置き、幼児・児童と向き合うことで発達の実際や接し方について理解を深める。幼稚園実習では、指導教員の指導を受けながら、見学・観察・部分保育、全日保育、研究保育などを順次体験することになる。また小学校実習は、見学・模擬授業・研究授業などから構成される。見学・観察実習においては、指導教員の授業・保育を観察の視点をもって見させていなければならない。ただ漠然と授業・保育を観察していることがあってはならない。また、授業実習・保育実習に当たっては、幼児や児童に対し、彼らの大切な時間の一部を提供してもらっているのだという感謝の念をもち、幼児や児童に楽しくかつ充実した授業・保育が展開できるように周到に準備をする必要がある。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	<p>実習園・実習校からの成績評価(50%)、実習日誌・指導案作成およびレポート提出(40%)、事前説明会、教員採用試験への積極的な取り組みなど(10%)による総合的評価で行う。また普段からの講義での予習・復習を忘れないようにする。なお、実習中での経験や疑問については、実習終了後にフィードバックするので、しっかり見直して自分の将来につながるようにしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「教育実習指導」の単位修得ができていない学生、教職志望意識が目立って低い学生については、実習を行うことはできない。実習前に各実習園・校における事前打ち合わせがあるため、実習学生は日程や事前準備などをしっかり把握・確認しておくことが必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に資料などを読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて実習に臨むこと。 復習として、実習後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習復習は必ず行い、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1.幼稚園・小学校の役割や1日の流れを理解する 2.子ども達の実際の様子を観察する 3.観察実習をもとに、実際に子ども達の学びに関わる(参加実習) 4.参加実習を重ね、子ども理解を深める 5.一人一人に対する子ども理解をもとに、学級全体に対する理解をする 6.参加実習の中で教師の実際について理解する 7.部分実習や研究授業を経験し、教師の役割を理解する 8.部分実習や研究授業から子ども達との関わりについて理解する 9.学校運営について理解する 10.学年運営について理解する 11.学級運営について理解する 12.学習指導について理解する 13.生徒指導について理解する 14.教員研修について理解する 15.教育者の任務について理解する 	<p>実習</p> <p>実習 実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習 実習 実習 実習 実習</p>	<p>全員</p> <p>全員 全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員</p> <p>全員 全員 全員 全員 全員</p>		
教科書 1	実習日誌・指導案は大学専用の実習簿を使用。						
教科書 2							
参考書 1	<p>幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者:文部科学省 出版社:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5</p>						
参考書 2	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03461-4</p>						

授業科目名	子ども総合演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	藤井 和郎					NO.	PS-CE-3-403		
配当学科	子ども発達教育				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>【テーマ】児童等を指導するための方法及び技術を身に付ける。 【到達目標】子ども総合演習Ⅲは教職全般に関する科目であり、教育場面における諸課題に対する理解力と対応能力を身に付ける。</p>								
概要	<p>本演習では、上述のとおり教職を目指す学生が児童等に対する理解を深めるとともに、教育実践力を養成・向上することを目的としている。したがって、受講生が主体的、積極的に学修に取り組み、自らの課題を探り、真摯に受け止めて克服する努力が求められる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>								
評価方法	<p>演習の取り組み(30%)、レポート試験(70%)をもとに、授業への参画状況等を含め総合的に評価する。 演習はその都度、試験は個別にフィードバックを行う。</p>								
履修条件・注意事項	<p>教員をめざす強い意志を持って学修に臨むことを期待する。毎回授業資料を配付するので授業後はファイリングし、必ず事後学修を行うこと。</p>								
自己学習	<p>授業内容に関する自己学修(事前・事後学修)を行うことにより、本演習の学修効果を高めることができるので、関心を持ったことを自発的にしっかり調べ、多面的に理解を深めていくこと。なお、それぞれ約2時間の事前・事後学修が必要である。</p>								
オフィスワ-	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(保育者・教員の資質)			講義	藤井					
2. 学習指導要領改訂の背景			講義・演習	藤井					
3. 生徒指導提要			講義・演習	藤井					
4. いじめ防止対策推進法			講義・演習	藤井					
5. 不登校			講義・演習	藤井					
6. 学校教育相談			講義・演習	藤井					
7. 教育心理			講義・演習	藤井					
8. キャリア教育			講義・演習	藤井					
9. 人権教育			講義・演習	藤井					
10. 特別支援教育			講義・演習	藤井					
11. 学校教育に関する教育法規			講義・演習	藤井					
12. 子どもに関する教育法規			講義・演習	藤井					
13. 教員に関する教育法規			講義・演習	藤井					
14. 日本教育史			講義・演習	藤井					
15. 西洋教育史			講義・演習	藤井					
16. 試験			レポート試験	藤井					
教科書 1	使用しない。適宜、資料を配付する。								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する。								
参考書 2									

授業科目名	里山総合演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-2-408	
配当学科	子ども発達教育				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	里山というフィールドでの様々な体験学習を通して、人や自然に対する柔らかな感性を身につけること、また、社会や教育・保育現場での様々な課題に対して、創造力を発揮して確実に解決していくことが出来る実践力を身に付けることができる。本演習を受講することにより、1.状況対応能力の修得、2.感性・創造力の養成、3.体力・運動能力の向上、4.相互関係力の育成を行うことができる。							
概要	里山という自然環境の中で子どもたちと行動を共にしながら、彼らが動植物などに関心を抱き、種々の活動の中での発見や工夫、成功の喜びなどの感動体験を経験したり、熱中し没頭する様子を観察し、「子どもの世界」に触れることにより、子どもにとって自然と直接かかわる活動体験の意義を理解する。 具体的には、①子どもたちの里山活動の援助、支援体験学習を通して、里山での遊びや学習を、教育・保育へと接続させる理論と方法を学ぶ、②四季の里山の変化に相応する活動体験(生産・制作活動、自然観察等)を行う。							
評価方法	定期試験は実施せず、授業ポートフォリオ(50%)、活動への取り組み姿勢(50%)で評価する。なお、ポートフォリオについては毎授業後に教員のコメント付してフィードバックするので次回受講の参考にしてほしい。							
履修条件・注意事項	授業計画書で授業内容を確認して、服装、注意事項など準備をしっかりとって授業に臨むこと。また、授業後、ふりかえりシートによるポートフォリオ作成を必ず行う必要がある。							
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。なお、予習・復習については各2時間以上の取り組みが必要である。							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認のこと。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1.オリエンテーション 2.里山交流活動の目的・意義 3.里山活動とは 4.森の幼稚園に学ぶ 5.昨年度の里山交流活動を振り返って 6.自然と関わるということ(「センス・オブ・ワンダー」に学ぶ) 7.保育現場のDVDから子どもと自然の関わりについて学ぶ 8.「どろだんご」について考える 9.自然の素材で遊ぶ 10.里山交流活動で楽しむ手遊び 11.身近な植物で遊ぶ 12.野外活動の保育実践に学ぶ 13.里山交流活動に向けての課題 14.振り返りと今後に向けての計画 15.まとめ	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	全教員 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 全教員 全教員						
教科書 1	特に指定しない。							
教科書 2								
参考書 1	授業の中で適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-3-410
配当学科	子ども発達教育			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、「道德教育」について、理論的な考察や学校現場での指導方法を実際の授業と関連付けて学ぶことができる。到達目標は次のとおりである。</p> <p>(1) 道德性の発達の理論について学び、現在の道德教育との関連を理解することができる。 (2) わが国の道德教育の歴史を学び、「教科化」へ向けての経緯を理解することができる。 (3) 道德教育の目標を理解し、内容について演習を通して学び方を習得することができる。</p>						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ピアジェ、コールバーグ、ブルの発達理論について学び、現在の道德教育との関連を理解する。 修身教科書による道德教育、戦後の全面主義的道德教育から総合単元的な道德教育、道德の教科化へ動き、現在問題になっていることなどを理解する。 学習指導要領、読みもの資料、各種の実践を基に、道德の内容項目の理解を深める。 <p>※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な演習を実施する</p>						
評価方法	<p>課題・討議内容・発表内容で総合的に評価する。 課題(レポート・提出物) (50%)、討議内容・発表内容 (50%) 特にレポートは、毎時間レポートを書き、その積み重ねで評価する。なお、レポートについては、授業の中で常にフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート、提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 関連文献等を事前に読み、各自研究を進め、課題をもつ。 復習2時間 要点を整理しておくこと</p>						
オフィスワ-	木, 金4限目 個人研究室(10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 道德正の発達理論 3. グループ討議 4. コールバーグ 5. 道德性の発達(グループ) 6. 道德教育の歴史 7. 日本における道德教育 8. 教授法における位置づけ 9. 解釈学的な教授法 10. 教育のモデル 11. 道德的な人格への教育 12. 社会学的な視点 13. 美徳への教育 14. グループ討議・発表まとめ 15. まとめ、振り返り		講義 演習 演習 AL AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	適宜指示する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-4-412		
配当学科	子ども発達教育				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習は卒業必修科目であるが、対人援助に関する種々の理論について学ぶと共に、子ども福祉現場における援助の実際を理解することをテーマとする。受講により具体的な援助方法を修得し、成長発達の援助者としての専門性や実践力を身につけることができる。								
概要	演習Ⅰ・Ⅱの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを定め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。								
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・課題レポート(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。								
履修条件・注意事項	課題発表担当者は事前にレジュメを作成し(予習)、責任を持って発表すること。やむを得ず欠席する場合には必ず欠席理由を届けること。 また、発表後は内容について再確認し、次の発表に向け課題を整理しておくこと(復習)。								
自己学習	1)事前にファイル提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2)毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。								
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 春期オリエンテーション 2. 各自の研究テーマ設定指導(文献検索の方法) 3. 各自の研究テーマ設定指導(文献の解釈法) 4. 各自の研究テーマ設定指導(文献のまとめ方) 5. 個別研究発表の準備(参考資料の収集) 6. 個別研究発表の準備(参考資料の選別・整理) 7. 個別研究発表の準備(発表資料作成) 8. 個別発表とグループ討議(問題のとらえ方) 9. 個別発表とグループ討議(テーマの設定) 10. 個別発表とグループ討議(研究目的の妥当性) 11. 個別発表とグループ討議(研究方法の妥当性) 12. 個別発表とグループ討議(研究方法の信頼性) 13. 個別発表とグループ討議(考察方法) 14. 前期のまとめ 15. 課題レポート			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田					
教科書 1	初回講義時および毎授業時に授業用資料ファイルを提示する。								
教科書 2									
参考書 1	大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方 著者:吉田健正 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-868-1								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-4-412
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、「道徳教育」に関する分野から、各自で研究テーマを設定し、研究テーマに基づく資料収集・研究発表・討議を行うことにより、理論的考察や実践方法について学ぶことができる。到達目標は次のとおりである。</p> <p>(1) 卒業論文作成に向けて、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行うことができる。</p> <p>(2) 研究テーマに基づく、教育問題や子ども問題のとらえ方を習得することができる。</p>						
概要	<p>演習Ⅰ，Ⅱの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを決め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。</p> <p>※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な演習を実施する</p>						
評価方法	<p>課題・討議内容・発表内容で総合的に評価する。</p> <p>課題(レポート・提出物)(50%)，討議内容・発表内容(50%)</p> <p>特にレポートは、毎時間レポートを書き、その積み重ねで評価する。なお、レポートについては、授業の中で常にフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート、提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 テキスト、文献等を読み、各自研究を進め、課題をもつ。</p> <p>復習2時間 要点を整理しておくこと</p>						
オフィスワ-	木、金4限目 個人研究室(10309)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 各自の研究テーマ検討 各自の研究テーマ検討 研究テーマの相互検討 研究テーマの相互検討 テーマに沿った個別研究 個別研究(資料選別、整理) 個別研究(発表資料作成) グループ(問題のとらえ方) 個別発表(テーマの設定) 研究目的の妥当性 個別発表、グループ討議 個別発表(考察方法) グループ討議・発表まとめ まとめ、振り返り 		講義・ 演習 演習・AL 演習・AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上				
教科書 1	適宜指示する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	PS-CE-4-412	
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育にかかわる各種教育技術を身に付け、積極的に子どもや保護者と向き合い、専門家としての責任を自覚した行動がとれる。</p> <p>【到達目標】積極的生徒指導及び包括的相談についての理解を深め、学校現場における具体的な実践例を知る。さらに、各自が研究テーマを定め、そのテーマに見合った学習を進めることができる。</p>						
概要	<p>学校現場においては、生徒指導上の問題行動等への対応に追われている実態もあるが、それにとどまらず積極的生徒指導及び包括的教育相談の実践がなされている例も多い。これらの実践例をもとに、その方向性や課題等について分析し各自の研究テーマに沿った研究を推進する。また、関係学会または学校現場での教員研修会に参加し、実践力を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポート課題、課題発表、コメント用紙等(60%)、発表及び発言内容、教職への意欲や態度等授業への参画状況(40%)を総合的に評価する。 レポート課題等の評価は授業の中でその都度フィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	グループ・ディスカッションや演習、個別に課されたレポート作成等に積極的に参加する態度が望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。						
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。						
オフィスアワー	月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション		講義・演習	藤井				
2. 研究テーマの設定①(文献検討)		演習	藤井				
3. 研究テーマの設定②(研究の柱)		演習	藤井				
4. 研究テーマの相互検討		演習	藤井				
5. 学会または学校現場における研修会への参加①		演習	藤井				
6. 学会または学校現場における研修会への参加②		演習	藤井				
7. 学会または学校現場における研修会への参加③		演習	藤井				
8. 個別発表及びグループ討議①(1グループ発表)		演習・AL	藤井				
9. 個別発表及びグループ討議②(2グループ発表)		演習・AL	藤井				
10. 個別発表及びグループ討議③(3グループ発表)		演習・AL	藤井				
11. 個別発表及びグループ討議④(4グループ発表)		演習・AL	藤井				
12. ワークショップ体験①(SEL)		演習	藤井				
13. ワークショップ体験②(感受性訓練)		演習	藤井				
14. ワークショップ体験③(エンカウンターグループ)		演習	藤井				
15. まとめ		講義・演習	藤井				
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-4-412		
配当学科	子ども発達教育				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	学生は、演習ⅠおよびⅡから得た研究課題に対する学習内容をより深め、発展させることができる。研究課題に基づく資料収集や発表を通じて、課題に対しての理解を深め、グループ討議を通して、より客観的な視点を獲得することができる。								
概要	演習ⅠおよびⅡで得た経験や知識から、自己のテーマをしっかりと見つけ出し、深めていく取り組みを行う。発表とグループ討議を繰り返し行うことで、さまざまな方向性を見つけ出し、確固たる理論構築を進めていく。								
評価方法	発表内容、自己研究に対しての積極的姿勢などから評価する。 発表内容に関しては、フィードバックを行うので必ず参考にすること。 発表内容(50%)、自己研究に対しての姿勢(50%)								
履修条件・注意事項	計画的に自らの意思で取り組むこと。 自らのテーマに対する他の意見を熟考すること(復習)。 自らの問題意識がいかなる結論に達するのか、また期待する結論とは何かをしっかりと作り上げること(予習)。								
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。								
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 論文作成に対するのオリエンテーション			講義	秀					
2. 自己のテーマに関する資料収集			演習	秀					
3. 発表とグループ討議			演習	秀					
4. 発表とグループ討議			演習	秀					
5. 発表とグループ討議			演習	秀					
6. 発表とグループ討議			演習	秀					
7. 発表とグループ討議			演習	秀					
8. 発表とグループ討議			演習	秀					
9. 発表とグループ討議			演習	秀					
10. 発表とグループ討議			演習	秀					
11. 発表とグループ討議			演習	秀					
12. 発表とグループ討議			演習	秀					
13. 中間発表			演習	秀					
14. 中間発表			演習	秀					
15. 後期に向けての課題設定			講義	秀					
教科書 1	特に指定しない								
教科書 2									
参考書 1	適宜紹介する								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-4-412
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>子どもを取り巻く状況や保育の今日的課題について調査し、保育の専門性を深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに沿った現地調査や先行研究から子どもや保育についての課題をつかむことができる。 ・乳幼児を取り巻く今日の環境について課題をもち、よりよい保育環境を創造しようとする。 ・自己の課題に向けて、研究的態度で臨むことができる。 						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育についての先行研究や保育現場に出向いての保育観察や参加をとおして、現在の乳幼児がどのような人的・物的、また自然や文化環境のなかで育っているのかを把握し、自己の課題を深める。 ・学生同士お互いの課題についてコメントし合い、共に学び合うとともに課題を深める。 ・保育技術を磨くとともに、幼児の発達を促す保育教材の制作を行う。 						
評価方法	この演習では、子どもを取り巻く環境について関心をもち、各自が演習Ⅱを通して課題を見だし、主体的に研究的視点をもって取り組むことが求められる。したがって評価については、ゼミへの取り組みの状況(30%)、レポート及び保育教材の制作(30%)、成果の発表内容(40%)とする。毎回の授業の中で学生個々の課題についてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	1回1回のゼミを丁寧にお互い学び合う姿勢を大切に、積み上げていきましょう。						
自己学習	自分の課題について、常に意識し情報の収集やレポート作成など各自で取り組むことが求められる。ゼミではその成果を発表し合いさらに発展するよう努めましょう。授業は各自の予習復習を基に進めるので、各2時間程度必要である。						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 論文作成にあたって 2. 先行研究調査 3. 自己のテーマへの仮説 4. 自己の研究テーマと研究方法 5. 調査・資料収集 6. 調査・資料収集 7. 調査内容の検討 作品の制作の検討 8. 調査・資料収集 9. 調査・資料収集 10. 調査内容の検討 作品制作の検討 11. 調査内容の検討 作品制作の検討 12. 中間のまとめ 13. 中間発表 14. 中間発表を終えての課題 15. 今後の課題について		講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井				
教科書 1	適宜指導する。						
教科書 2							
参考書 1	明日の保育・教育にいかす子ども文化 著者:田中卓也 他 出版社:溪水社 ISBN:978-4-86327-284-2						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子					NO.	PS-CE-4-412
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、教育(国語教育を含む)に関する分野から、各自で研究テーマを選定し、研究テーマに基づく資料収集・研究発表・討議を行うことにより、理論的考察や実践方法について学ぶことである。</p> <p>到達目標は、次のとおりである。</p> <p>(1) 卒業論文作成に向けて、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行う。</p> <p>(2) 研究テーマに基づく、教育問題や子ども問題の反省的な見方や捉え方を習得する。</p>						
概要	<p>演習Ⅰ・Ⅱの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを定め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>受講態度、課題(レポート・提出物)、発表・討議参加などで総合的に評価する。</p> <p>課題(レポート・提出物)(40%)、発表・討議(40%)、受講態度(20%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート・提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習として事前に関連文献に目を通して講義に参加し、復習として講義後のまとめをしっかりと行うこと。予習および復習は、各2時間程度行うこと。</p>						
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション		演習	雲津				
2. 各自の研究テーマ設定指導(文献検索の方法)		演習	雲津				
3. 各自の研究テーマ設定指導(文献の解釈法)		演習	雲津				
4. 各自の研究テーマ設定指導(文献のまとめ方)		演習	雲津				
5. 個別研究発表の準備(参考資料の収集)		演習	雲津				
6. 個別研究発表の準備(参考資料の選別・整理)		演習	雲津				
7. 個別研究発表の準備(発表資料作成)		演習	雲津				
8. 個別発表とグループ討議(問題のとらえ方)		演習	雲津				
9. 個別発表とグループ討議(テーマの設定)		演習	雲津				
10. 個別発表とグループ討議(研究目的の妥当性)		演習	雲津				
11. 個別発表とグループ討議(研究方法の妥当性)		演習	雲津				
12. 個別発表とグループ討議(研究方法の信頼性)		演習	雲津				
13. 個別発表とグループ討議(考察方法)		演習	雲津				
14. グループ討議・発表まとめ		演習	雲津				
15. まとめ		演習	雲津				
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-4-413
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習は卒業必修科目であるが、対人援助に関する種々の理論について学ぶと共に、子ども福祉現場における援助の実際を理解することをテーマとする。受講により具体的な援助方法を修得し、成長発達の援助者としての専門性や実践力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅰ～Ⅲの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを定め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。						
評価方法	受講態度(20%)、発表への取り組み(40%)、課題レポート(40%)で総合的に評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	課題発表担当者は事前にレジュメを作成し(予習)、責任を持って発表すること。やむを得ず欠席する場合には必ず欠席理由を届けること。 また、発表後は内容について再確認し、次の発表に向け課題を整理しておくこと(復習)。						
自己学習	1) 事前に配布する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 秋期オリエンテーション 2. 各自の研究課題指導(文献検索の方法) 3. 各自の研究課題指導(文献の解釈法) 4. 各自の研究課題指導(文献のまとめ方) 5. 個別研究発表の準備(参考資料の収集) 6. 個別研究発表の準備(参考資料の選別・整理) 7. 個別研究発表の準備(発表資料作成) 8. 個別発表とグループ討議(問題のとらえ方) 9. 個別発表とグループ討議(テーマの設定) 10. 個別発表とグループ討議(研究目的の妥当性) 11. 個別発表とグループ討議(研究方法の妥当性) 12. 個別発表とグループ討議(研究方法の信頼性) 13. 個別発表とグループ討議(考察方法) 14. グループ討議・発表まとめ 15. 学習のまとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田
教科書 1	初回授業時に資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	心の理論 著者:子安増生他編著 出版社:新曜社 ISBN:978-4-7885-1467-6						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-4-413
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマは、「道徳教育」に関する分野から、各自で研究テーマを設定し、研究テーマに基づく資料収集・研究発表・討議を行うことにより、理論的考察や実践方法について学ぶことである。到達目標は次のとおりである。</p> <p>(1) 卒業論文作成に向けて、関心のあるテーマを見つけ、研究情報の収集、研究テーマの設定を行う。 (2) 研究テーマに基づく、教育問題や子ども問題のとらえ方を習得する。</p>						
概要	<p>演習Ⅰ，Ⅱの学習内容をさらに深め発展させるために、受講学生各自の個別演習テーマを決め、そのテーマに基づく資料収集・研究発表・集団討議を中心に演習を進める。</p> <p>※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な研究や論文指導を行う。</p>						
評価方法	<p>課題・討議内容・発表内容で総合的に評価する。 課題(レポート・提出物)(50%)，討議内容・発表内容(50%) 特にレポートは、毎時間レポートを書き、その積み重ねで評価する。なお、レポートについては、授業の中で常にフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>関連文献の輪読を行うとともに、課題(レポート、提出物)や発表を課すため、積極的な参加が必要である。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 テキスト、文献等を読み、各自研究を進め、課題をもつ。 復習2時間 要点を整理しておくこと</p>						
オフィスワ-	木、金4限目 個人研究室(10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 研究の中間発表及び討議 3. 研究の中間発表及び討議 4. 研究の中間発表及び討議 5. 研究発表の方法 6. 研究の見直し、修正、追究 7. 研究修正(発表資料作成) 8. 研究修正(発表資料作成) 9. 個別発表、グループ討議 10. 個別発表、グループ討議 11. 個別発表、グループ討議 12. 研究発表の準備 13. 研究発表の準備 14. 研究発表会 15. まとめ・振り返り	講義・演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上		
教科書 1	適宜指示する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎					NO.	PS-CE-4-413
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>【テーマ】教育にかかわる各種教育技術を身に付け、積極的に子どもや保護者と向き合い、専門家としての責任を自覚した行動がとれる。</p> <p>【到達目標】積極的生徒指導及び包括的相談についての理解を深め、学校現場における具体的な実践例を知る。さらに、各自が研究テーマを定め、そのテーマに見合った学習を進めることができる。</p>						
概要	<p>学校現場においては、生徒指導上の問題行動等への対応に迫られている実態もあるが、それにとどまらず積極的生徒指導及び包括的教育相談の実践がなされている例も多い。これらの実践例をもとに、その方向性や課題等について分析し各自の研究テーマに沿った研究を推進する。また、関係学会または学校現場での教員研修会に参加し、実践力を身に付ける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポート課題、課題発表、コメント用紙等(60%)、発表及び発言内容、教職への意欲や態度等授業への参画状況(40%)を総合的に評価する。 レポート課題等の評価は授業の中でその都度フィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	グループ・ディスカッションや演習、個別に課されたレポート作成等に積極的に参加する態度が望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。						
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。						
オフィスアワー	月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研究の中間発表及びグループ討議①(1グループ発表) 3. 研究の中間発表及びグループ討議②(2グループ発表) 4. 研究の中間発表及びグループ討議③(3グループ発表) 5. 研究発表の方法 6. 研究の修正と追究①(発表方法の選択) 7. 研究の修正と追究②(発表資料の計画) 8. 研究の修正と追究③(発表資料の作成) 9. 学会または学校現場における研修会への参加① 10. 学会または学校現場における研修会への参加② 11. 学会または学校現場における研修会への参加③ 12. 研究発表の準備①(個別作業) 13. 研究発表の準備②(個別指導) 14. 研究発表会 15. まとめ 	講義・演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 講義・演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井		
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中野 明子					NO.	PS-CE-4-413
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの学習を踏まえ、学生が障害児・者を取り巻く問題を理解することをテーマとし、関連文献を読み解き、制度や法体系、相談援助技術、障害理解など様々な角度から考察し、解決の方向を見い出すことができることを到達目標とする。						
概要	演習Ⅲでのグループ学習の経験を踏まえ、演習Ⅳではそれぞれのテーマを設定し、個々で研究した内容の発表をおこなう。						
評価方法	課題(レポート・提出物)(評価基準4割)、発表(3割)、討議参加(3割)など総合的に評価する。これらの課題や発表、討議参加に関しては、ディスカッションや教員によるコメントによってフィードバックする。						
履修条件・注意事項	発表者はレジュメを作成すること。						
自己学習	事前配布の資料によく目を通しておくこと。毎回の発表や討論の内容について、関連資料を探すなど学習を深めること。発表者は事前に十分な準備をすること。予習・復習には、毎回90分ずつあてること。						
オフィスアワー	10号館3階10312研究室にて、毎週火曜日4限をオフィスアワーとします。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. 個人発表・討議(インクルージョン) 2. 個人発表・討議(自己決定) 3. 個人発表・討議(合理的配慮) 4. 個人発表・討議(障害者総合支援法・介護給付) 5. 個人発表・討議(障害者総合支援法・訓練等給付) 6. 個人発表・討議(地域生活支援) 7. 個人発表・討議(障害者の雇用) 8. 個人発表・討議(障害者の所得保障) 9. 個人発表・討議(障害理解の実際、保育園) 10. 個人発表・討議(障害理解の実際、幼稚園・小学校) 11. 個人発表・討議(特別支援教育の歴史) 12. 個人発表・討議(特別支援教育の現状・課題) 13. 発表・討議(ノーマライゼーションの実現に向けて) 14. 発表・討議(ノーマライゼーションの実現に向けて) 15. 3年生との交流(就職活動、卒論作成のアドバイス)			AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野 中野
教科書 1	適宜提示する。						
教科書 2							
参考書 1	障害者白書(最新版) 著者:内閣府 ISBN:978-4-906955-54-1						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 伊津子					NO.	PS-CE-4-413
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、を基礎として、さらに自己の研究課題を深める。そして本演習を通して、子どもを取り巻く文化について現状と課題を理解し、子どもの成長に自分なりの文化の課題や文化財を提案をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の研究テーマについて、情報を収集し、学修を深めることができる。 他者の発表に関心を持ち、的確なコメントをすることができる。 						
概要	<ul style="list-style-type: none"> 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをさらに深めていこうという意欲を持って自己の課題に挑戦する。 収集した情報、資料を整理しながら研究的な視点をもつ。 発表したり、コメントしたりしながら共同で、育ち合う。 保育を取り巻く環境について課題を探り、分析する。 親子の信頼関係形成について考察する。 児童文化財についての考察と提案等 						
評価方法	<p>毎回の授業における調査レポートや保育教材作品についての制作過程の発表とコメント等行う。そのため、主体的な授業への参加態度(50%)。課題レポートおよび保育教材作品(50%)で評価する。</p> <p>毎回のレポート等についてはその都度評価し、授業でフィードバックする。最終発表における評価は発表後に評価シフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>自分のテーマにこだわりながら、資料収集や先行研究の調査を基にレポート作成に取り組みましょう。ディスカッションやコメントは役割を意識して、共に深めていきましょう。</p>						
自己学習	<p>自分の課題をいつも意識し、各自で取り組むことが求められる。レポートや保育教材の制作には授業時間以外の事前・事後の学修が重要である。1コマの授業には各2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室において、毎週水曜日5限をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏季休業中の成果報告 2. 各自の研究についての再構想 3. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 4. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 5. 中間発表 6. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 7. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 8. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 9. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 10. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 11. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 12. 研究課題への取り組みと発表、他者へのコメント 13. まとめ、発表 14. 発表を終えて、振り返り 15. 今後に向けて 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井 藤井
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	保育者の地平 著者:津守真 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:9.78E+12						
参考書 2	子どもたちのミーティング りんごの木の保育実践からー 著者:柴田愛子・青木誠 出版社:りんごの木 ISBN:9.78E+12						

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-4-414
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	本科目は卒業必修科目であるが、社会福祉・子ども福祉・心理学等の分野から、受講生が各自で研究テーマを選定し、文献調査やアンケート調査、討議等を行うことにより、卒業論文としてまとめることができる。						
概要	演習Iや演習IIを通じて設定した個別研究テーマについて、先行研究のレビューとその検証、研究方法と論文構成等について指導する。						
評価方法	取り組み態度(20%)、資料収集力(20%)、論文構成・執筆力(40%)、プレゼンテーション・応答力(20%)、および課題レポートで総合的に評価する。なお、課題レポートについては学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	先行研究に関する文献資料の収集に努力すること(予習)。授業後の資料確認・整理を行うこと(復習)。ゼミ独自の「卒業論文執筆の手引き資料」をファイル資料により呈示するので活用すること。						
自己学習	1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. 論文執筆のオリエンテーション(基本的事項)	演習	栗田	1. 論文作成の計画発表	演習	栗田
2. 論文執筆のオリエンテーション(専門的事項)	演習	栗田	2. グループ討議(計画の妥当性)	演習	栗田
3. 各自のテーマ確認(妥当性の検討)	演習	栗田	3. 論文作成の進行経過発表	演習	栗田
4. 各自のテーマ確認(信頼性の検討)	演習	栗田	4. グループ討議(計画の信頼性)	演習	栗田
5. 各自のテーマ確認(総合的検討)	演習	栗田	5. 論文作成の中間発表	演習	栗田
6. 各自のテーマ確認と研究方法の検討(オリジナリティ)	演習	栗田	6. グループ討議(オリジナリティ)	演習	栗田
7. 各自のテーマ確認と研究方法の検討(エビデンス)	演習	栗田	7. 論文作成上の課題整理	演習	栗田
8. 個別研究指導(研究の導入法)	演習	栗田	8. グループ討議(エビデンス)	演習	栗田
9. 個別研究指導(過去の研究検索法)	演習	栗田	9. 論文のまとめ(問題の提起)	演習	栗田
10. 個別研究指導(研究目的の設定)	演習	栗田	10. 論文のまとめ(過去の研究成果)	演習	栗田
11. 個別研究指導(研究方法の設定)	演習	栗田	11. 論文のまとめ(テーマの妥当性)	演習	栗田
12. 個別研究指導(分析方法)	演習	栗田	12. 論文のまとめ(研究方法の妥当性と信頼性)	演習	栗田
13. 個別研究指導(結果のまとめ方と考察方法)	演習	栗田	13. 論文のまとめと総括	演習	栗田
14. 個別研究指導(引用参考文献の扱い方)	演習	栗田	14. 論文の評価(構成)	演習	栗田
15. 課題レポート作成	演習	栗田	15. 論文の評価(内容)	演習	栗田

教科書 1 初回授業時に論文執筆資料等をファイルにより呈示する。

教科書 2

参考書 1 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方
著者: 吉田健正
出版社: ナカニシヤ出版
ISBN: 4-88848-868-1

参考書 2

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	川上 はる江					NO.	PS-CE-4-414		
配当学科	子ども発達教育				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	理科教育法について、先行研究文献を読み、生徒自身の研究課題を明らかにする。その後、研究の方法を決め、調査、研究、実践をしながら論文を仕上げる。そのため、学校現場における体験や調査研究が必要である。随時、学校現場と連携をとりながら研究を深める。理科教育法については、さまざまな課題が考えられる。児童の見方や考え方が一層深まるように、「単元計画と提供する事象の開発」や「実感的理解を促す単元計画」「効果的な学習環境デザイン」など、実際の学校現場に活用できるテーマを定めて、研究を深める。								
概要	理科教育について、先行文献を研究し、残されている課題や明らかにされていない課題などを把握する。研究したいテーマを決めた後、研究計画を立て、必要な調査研究に取りかかる。調査結果を分析、整理したのち、テーマに沿った単元計画、指導案等を作成し授業を実施した後、まとめて論文を仕上げる。 ※ 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ理論的、実践的な研究や論文指導を行う。								
評価方法	ゼミへ参加態度(30%)、途中提出するレポート、中間発表論文やプレゼン(30%)、論文(40%) なお、レポート、論文については、授業の中で常にフィードバックする。								
履修条件・注意事項	必要な参考文献は熟読すること、教材開発、観察、実験は必須								
自己学習	予習2時間 各自のテーマに沿ってまとめておき疑問点課題を整理しておく。 復習2時間 指導されたことを基に修正する。								
オフィスワ-	木、金4限目 昼休み 個人研究室(10309)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 論文の書き方 2. 先行研究論文の分析1 3. 先行研究論文の分析2 4. 先行研究論文の分析3 5. 各自の研究テーマの検討 6. 各自の研究テーマの検討詳細 7. 研究テーマ中間発表 8. 研究テーマ、研究計画見直し 9. 個別研究 事前調査 10. 個別研究 事前調査分析 11. 個別研究 教材開発 12. 個別研究 教材開発 13. 個別研究 単元計画、評価 14. 検証授業1 15. 授業考察			講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上	1. 中間発表1 2. 授業考察 3. 検証授業2 4. 授業考察 5. 事後調査1 6. 事後調査2 7. 調査結果分析 8. 調査結果分析 9. 教材研究、教材開発 10. 単元計画の見直し 11. 評価見直し 12. 中間発表2 13. 論文作成 14. 論文作成 15. パワポ資料検討 16. 論文発表会			AL 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 AL 演習 AL 演習 演習 演習 演習 講義・演習	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上
教科書 1	小学校学習指導要領解説 理科編 著者:文部科学省 出版社:大日本図書 ISBN:978-4-477-01949-9								
教科書 2	新しい学びを拓く理科 授業の理論と実践 著者:角屋重樹 編集 出版社:ミネルバ書房 ISBN:978-4-623-06042-9								
参考書 1	教科書「新しい理科」3～6年 著者:毛利 衛編 出版社:東京書籍株式会社 ISBN:978-4-487-10453-6								
参考書 2									

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	秀 真一郎					NO.	PS-CE-4-414		
配当学科	子ども発達教育				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	学生は、文献収集と読解を行うことで、自らの論理を構築することができる。そして、自らの研究課題を熟考し、論文を作成することができる。								
概要	卒業論文を作り上げる上でのステップを理解し、計画的に進む。テーマ決定・アウトライン製作の重要性を理解する。その過程を経て、しっかりと計画に沿った卒業論文を進めていく。								
評価方法	文献の収集と読解力、論文作成への取り組み状況や姿勢、完成した論文の構成、独自の視点からの考察力を総合的に評価する。 卒業論文の内容に関しては、その都度フィードバックを行うので、必ず参考にする。								
履修条件・注意事項	計画的に自らの意思で取り組むこと。 毎時における指導箇所に関して、熟考(復習)の後に再度執筆に取り組むこと。 さらに、書き進めた内容やこれからの展開をよく考えて(予習)、さらに執筆に取り組むこと。								
自己学習	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、自らの理解を高めた上で、疑問をまとめて授業を受けること。 復習として、受講後に内容を振り返り、内容に対する理解度を高めること。また、課題に対して積極的に取り組み、発表などを通してその成果を自らの力に変えること。 予習・復習においては2時間程度を要する。								
オフィスアワー	毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。(10号館3階研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 卒業論文ガイダンス 2. テーマ決定 1 3. テーマ決定 2 4. テーマ決定 3 5. アウトライン作成 1 6. アウトライン作成 2 7. アウトライン作成 3 8. アウトライン作成 4 9. アウトライン作成 5 10. 資料収集 1 11. 資料収集 2 12. グループ指導 13. グループ指導 14. グループ指導 15. 中間発表			講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀	1. 後期ガイダンス 2. 個別指導 3. 個別指導 4. 個別指導 5. 個別指導 6. 個別指導 7. 個別指導 8. 個別指導 9. 個別指導 10. 個別指導 11. 個別指導 12. 個別指導 13. 個別指導 14. 個別指導 15. 卒業論文発表会			講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀 秀
教科書 1	特に指定しない								
教科書 2									
参考書 1	適宜紹介する。								
参考書 2									

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	雲津 英子					NO.	PS-CE-4-414
配当学科	子ども発達教育			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	教育(国語教育を含む)に関する分野から、各自で研究テーマを選定し、研究テーマに基づく資料収集・研究発表・討議を行うことにより、卒業論文としてまとめることができる。						
概要	<p>演習Ⅰ・Ⅱを通じて設定した個別研究テーマについて、先行研究のレビューとその検証、研究方法と論文構成等について指導する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員および高等学校における進路指導助手(小論文指導)としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>取り組み態度(20%)、資料収集力(20%)、論文構成・執筆力(40%)、プレゼンテーション・応答力(20%)で総合的に評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>先行研究に関する文献資料の収集に努力すること。</p> <p>授業後は、資料確認・整理を行うこと。</p>						
自己学習	<p>予習として事前に関連文献に目を通して講義に参加し、復習として講義後のまとめをしっかりと行うこと。予習および復習は、各2時間程度行うこと。</p>						
オフィスワ-	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 論文執筆のオリエンテーション(基本的事項)		演習	雲津	1. 論文作成の計画発表		演習	雲津
2. 論文執筆のオリエンテーション(専門的事項)		演習	雲津	2. グループ討議(計画の妥当性)		演習	雲津
3. 各自のテーマ確認(妥当性の検討)		演習	雲津	3. 論文作成の進行経過発表		演習	雲津
4. 各自のテーマ確認(信頼性の検討)		演習	雲津	4. グループ討議(計画の信頼性)		演習	雲津
5. 各自のテーマ確認(総合的検討)		演習	雲津	5. 論文作成の中間発表		演習	雲津
6. 各自のテーマ確認と研究方法の検討(オリジナリティ)		演習	雲津	6. グループ討議(オリジナリティ)		演習	雲津
7. 各自のテーマ確認と研究方法の検討(エビデンス)		演習	雲津	7. 論文作成上の課題整理		演習	雲津
8. 個別研究指導(研究の導入法)		演習	雲津	8. グループ討議(エビデンス)		演習	雲津
9. 個別研究指導(過去の研究検索法)		演習	雲津	9. 論文のまとめ(問題の提起)		演習	雲津
10. 個別研究指導(研究目的の設定)		演習	雲津	10. 論文のまとめ(過去の研究成果)		演習	雲津
11. 個別研究指導(研究方法の設定)		演習	雲津	11. 論文のまとめ(テーマの妥当性)		演習	雲津
12. 個別研究指導(分析方法)		演習	雲津	12. 論文のまとめ(研究方法の妥当性と信頼性)		演習	雲津
13. 個別研究指導(結果のまとめ方)		演習	雲津	13. 論文のまとめと総括		演習	雲津
14. 個別研究指導(考察方法)		演習	雲津	14. 論文の評価(構成)		演習	雲津
15. 個別研究指導(引用参考文献の扱い方)		演習	雲津	15. 論文の評価(内容)		演習	雲津
		演習	雲津				
		演習	雲津				
		演習	雲津				
教科書 1	適宜指示する。						
教科書 2							
参考書 1	個別テーマに関連する文献資料を適宜紹介する。						
参考書 2							